

7 市の取組に対する評価・要望

(1) 市の取組の評価

問 54. 吹田市が進めているさまざまな取組などについて、あなたはどのように思いますか。以下の①～⑯の項目について、それぞれ1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

※『肯定』:「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計

『否定』:「どちらかというと思わない」と「そう思わない」の合計

評価点:「そう思う」=100点、「どちらかというと思う」=75点、

「どちらとも言えない」=50点、「どちらかというと思わない」=25点、

「そう思わない」=0点として算出

(評価点については、p. 30 参照)

図 3.7.1 吹田市の取組に対する評価

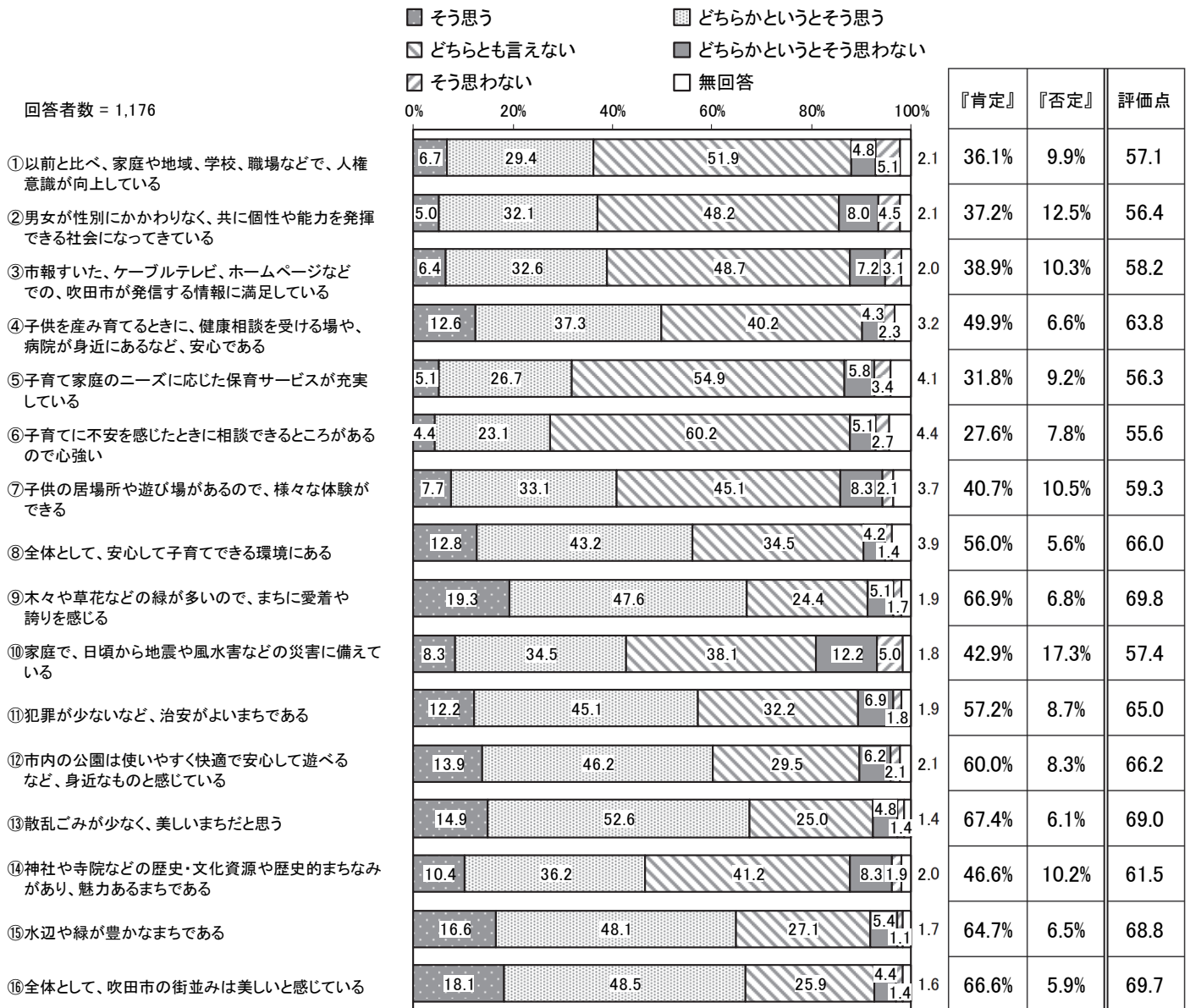
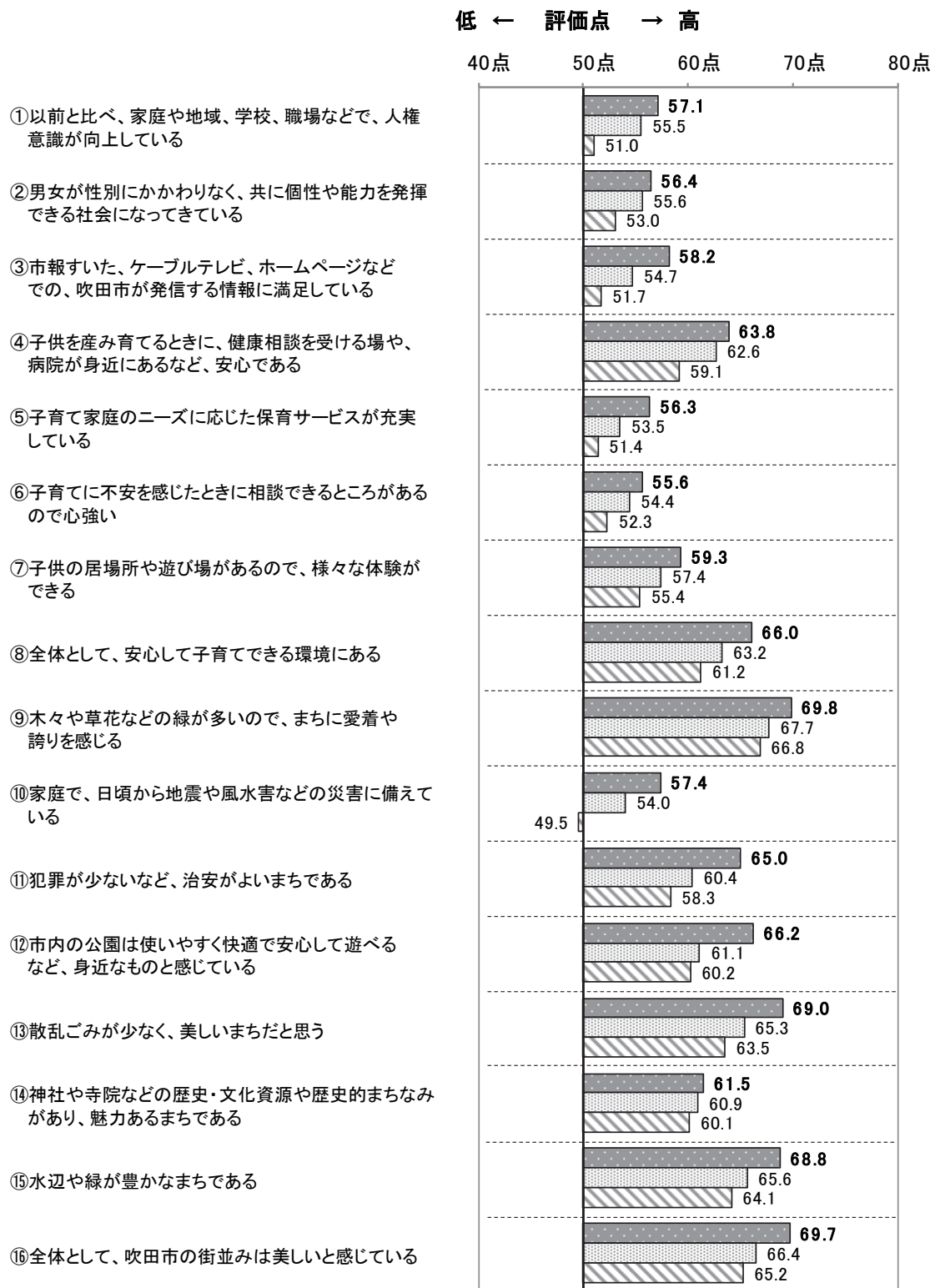


図 3.7.2 吹田市の取組に対する評価(評価点経年比較)



■ 令和4年度調査
(回答者数 = 1,176)

▨ 平成30年度調査
(回答者数 = 1,165)

▧ 平成26年度調査
(回答者数 = 1,193)

吹田市の取組に対する評価（図 3.7.1）は、全ての取組で『肯定』の方が『否定』に比べて割合が高くなっています。特に『肯定』の割合が高い項目は《⑬散乱ごみが少なく、美しいまちだと思う》（67.4%）、《⑨木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる》（66.9%）、《⑯全体として、吹田市の街並みは美しいと感じている》（66.6%）となっています。

評価点は、全ての取組で 55 点以上の評価となっています。特に、《⑨木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる》（69.8 点）、《⑯全体として、吹田市の街並みは美しいと感じている》（69.7 点）、《⑬散乱ごみが少なく、美しいまちだと思う》（69.0 点）、《⑮水辺や緑が豊かなまちである》（68.8 点）では 7 割近くと高くなっています。

平成 30 年度調査と比較（図 3.7.2～図 3.7.6）すると、全ての取組で平成 30 年度調査よりも評価点が高くなっています。特に、評価点が平成 30 年度調査よりも高くなっているのは《⑫市内の公園は使いやすく快適で安心して遊べるなど、身近なものと感じている》（5.1 点増）、《⑪犯罪が少ないなど、治安がよいまちである》（4.6 点増）となっています。

性別に評価点（図 3.7.7～図 3.7.22）をみると、女性は《⑨木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる》（70.6点）、《⑩全体として、吹田市の街並みは美しいと感じている》（70.6点）が、男性は《⑩全体として、吹田市の街並みは美しいと感じている》（68.7点）が最も高くなっています。また、女性では《②男女が性別にかかわらず、共に個性や能力を発揮できる社会になってきている》（55.3点）が最も低く、男性では《⑥子育てに不安を感じたときに相談できる場所があるので心強い》（55.2点）が最も低くなっています。

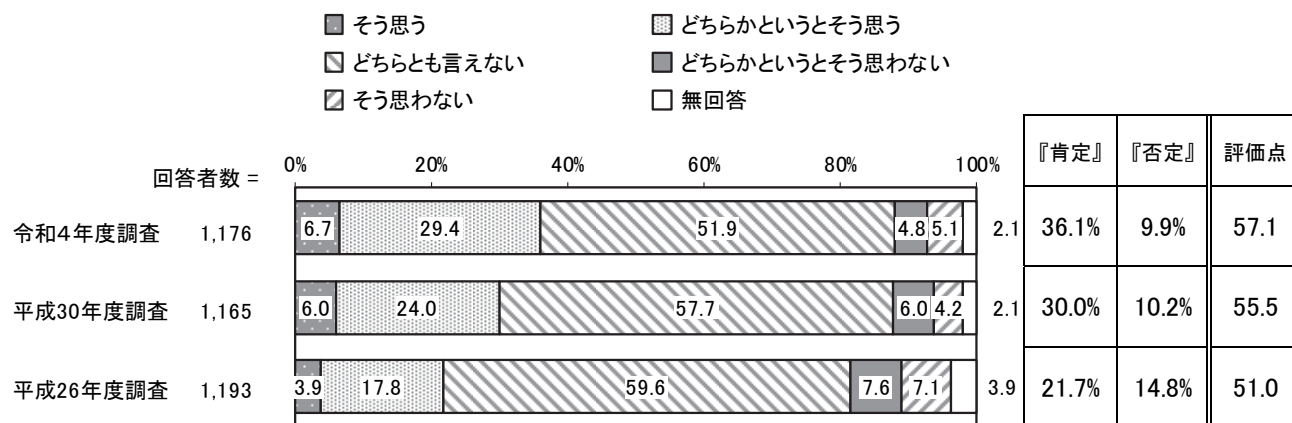
年齢別に評価点をみると、年齢層による差が最も大きいのは《⑪犯罪が少ないなど、治安がよいまちである》で、30歳未満では74.1点となっていますが、50歳代では63.3点で、差が10.8点となっています。次いで差が大きいのは《⑦子供の居場所や遊び場があるので、様々な体験ができる》で、30歳代では64.2点となっていますが、60歳代は54.1点で、差が10.1点となっています。

居住地域別に評価点をみると、JR以南地域では《⑬散乱ごみが少なく、美しいまちだと思う》、片山・岸部地域では《⑧全体として、安心して子育てできる環境にある》、豊津・江坂・南吹田地域では《⑩全体として、吹田市の街並みは美しいと感じている》、千里山・佐井寺地域、山田・千里丘地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域では《⑨木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる》が最も高くなっています。

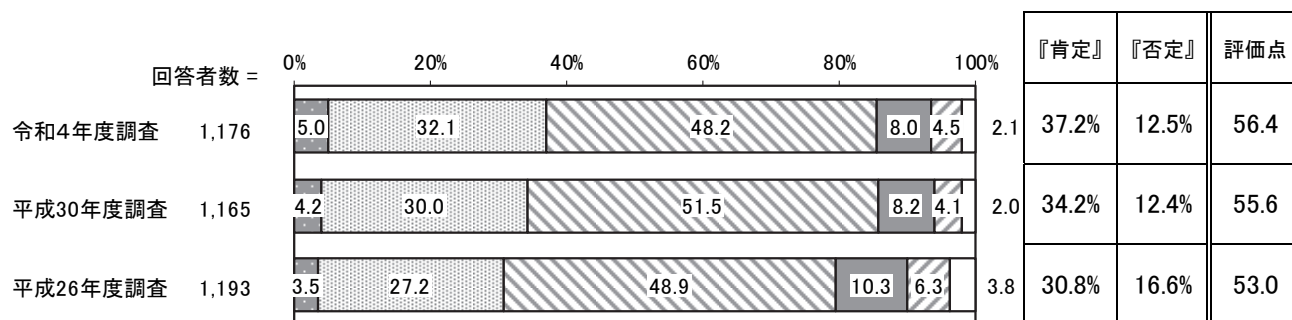
また、地域による差が最も大きいのは《⑨木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる》で、千里ニュータウン・万博・阪大地域では81.1点となっていますが、JR以南地域では58.8点で、差が22.3点となっています。次いで差が大きいのは《⑩全体として、吹田市の街並みは美しいと感じている》で、千里ニュータウン・万博・阪大地域では80.1点となっていますが、JR以南地域では60.9点で、差が19.2点となっています。

図 3.7.3 吹田市の取組に対する評価①(経年比較)

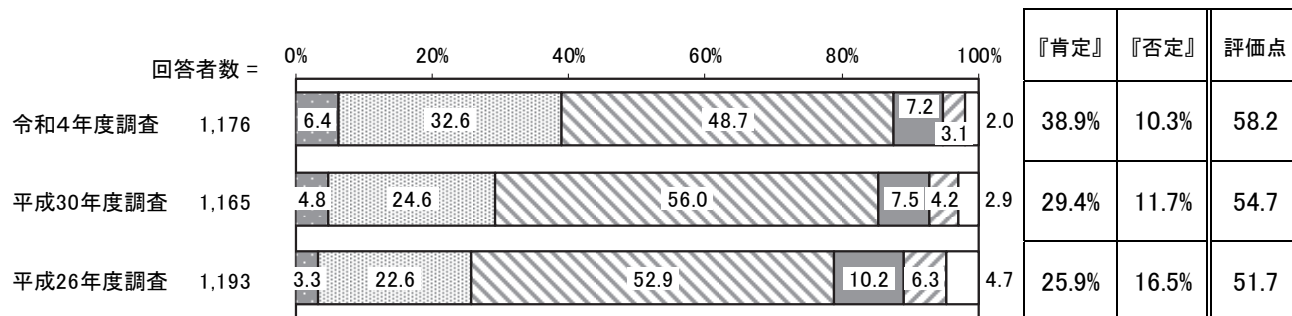
①以前と比べ、家庭や地域、学校、職場などで、人権意識が向上している



②男女が性別にかかわらず、共に個性や能力を発揮できる社会になってきている



③市報すいた、ケーブルテレビ、ホームページなどでの、吹田市が発信する情報に満足している



④子供を産み育てるときに、健康相談を受ける場や、病院が身近にあるなど、安心である

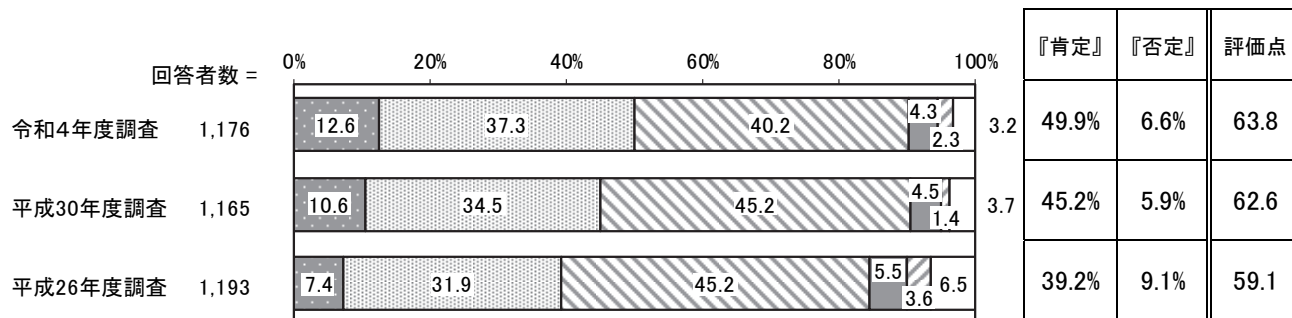
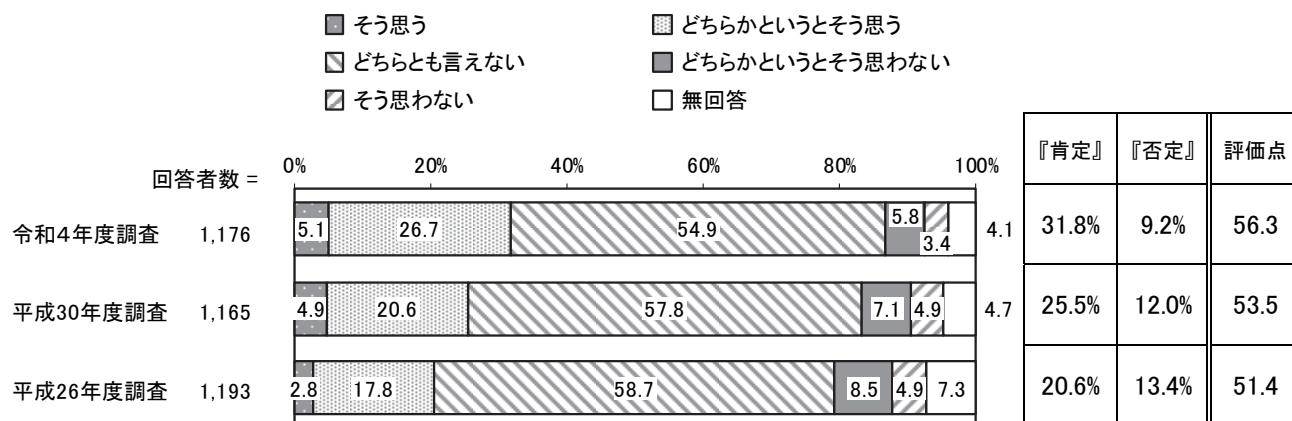
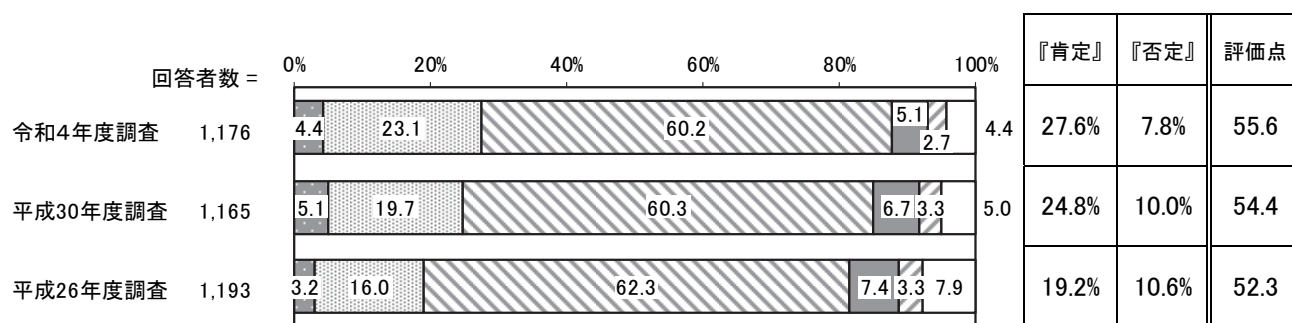


図 3.7.4 吹田市の取組に対する評価②(経年比較)

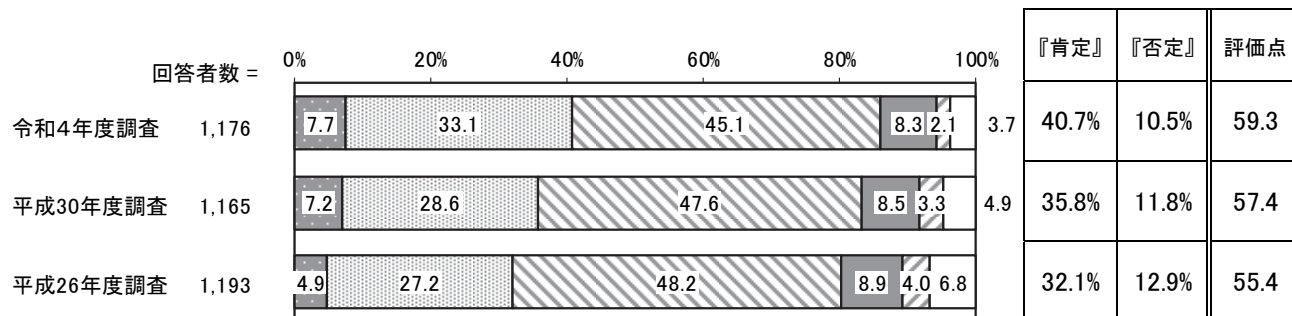
⑤子育て家庭のニーズに応じた保育サービスが充実している



⑥子育てに不安を感じたときに相談できるところがあるので心強い



⑦子供の居場所や遊び場があるので、様々な体験ができる



⑧全体として、安心して子育てできる環境にある

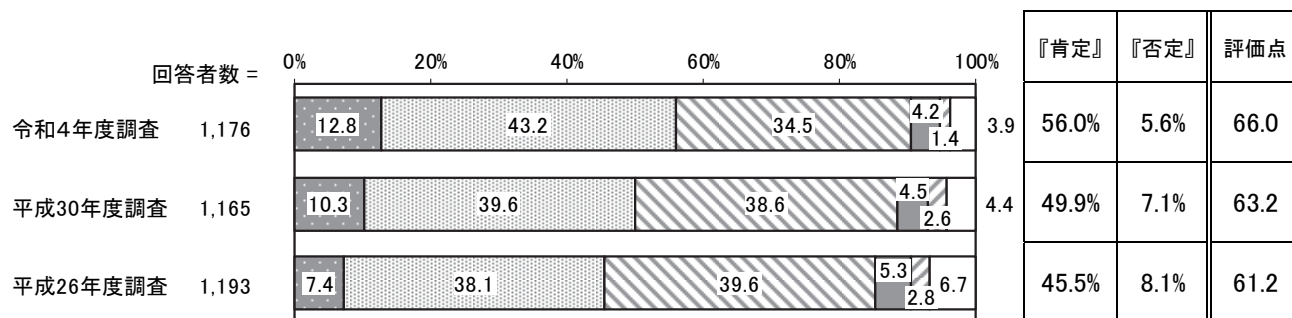
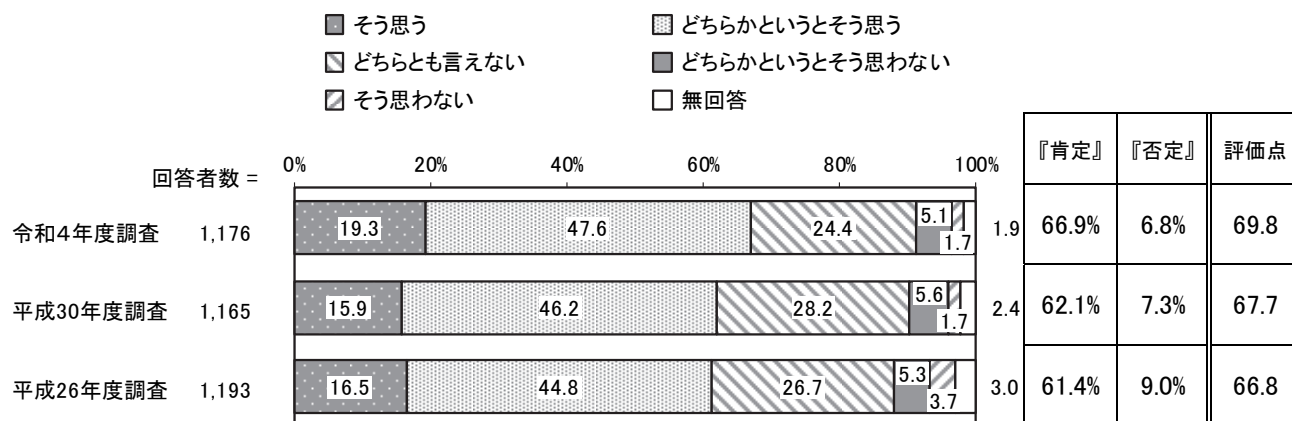
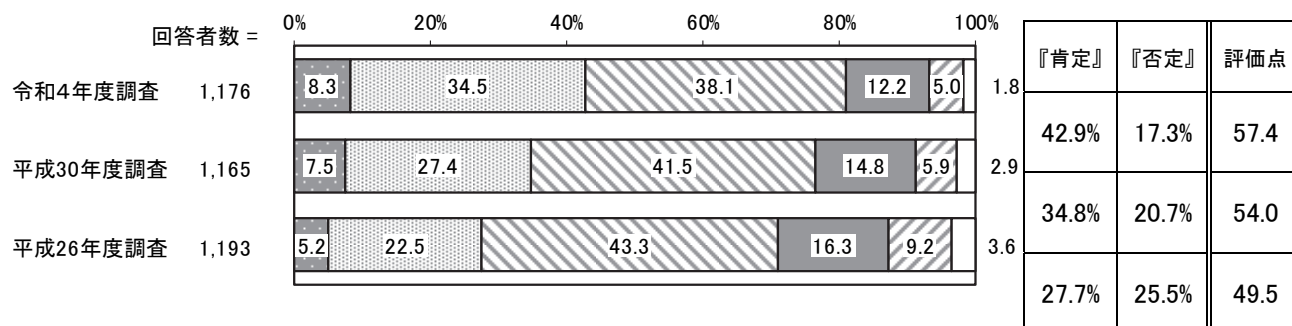


図 3.7.5 吹田市の取組に対する評価③(経年比較)

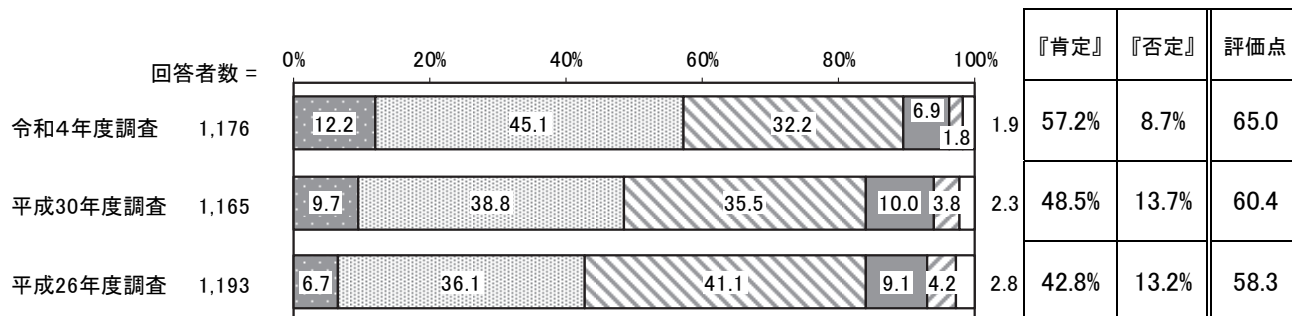
⑨木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる



⑩家庭で、日頃から地震や風水害などの災害に備えている



⑪犯罪が少ないなど、治安がよいまちである



⑫市内の公園は使いやすく快適で安心して遊べるなど、身近なものと感じている

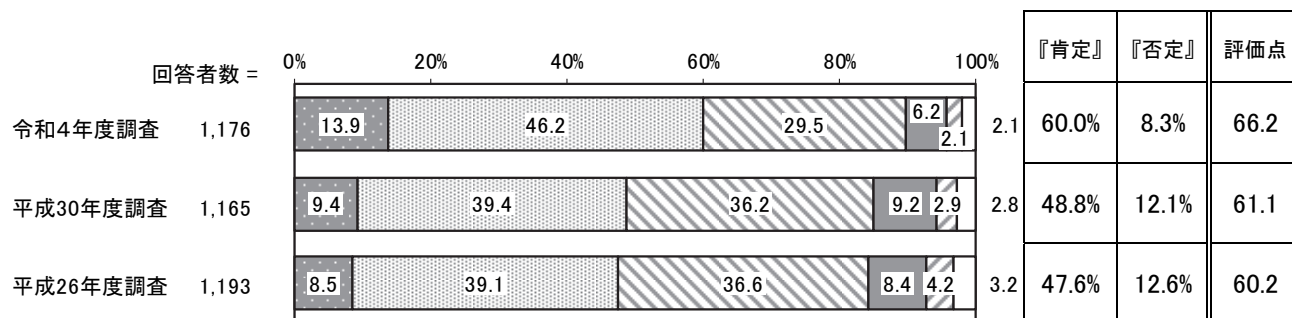
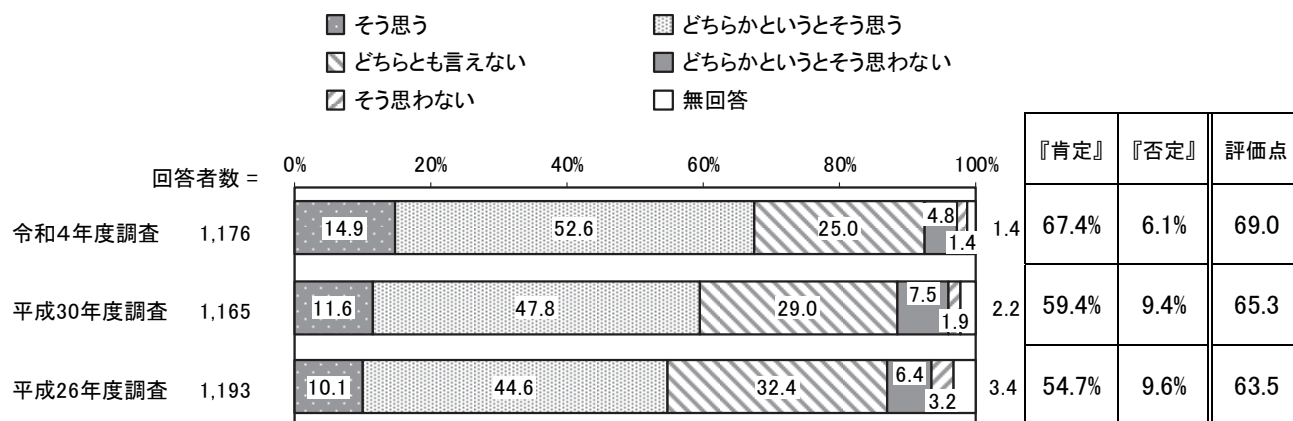
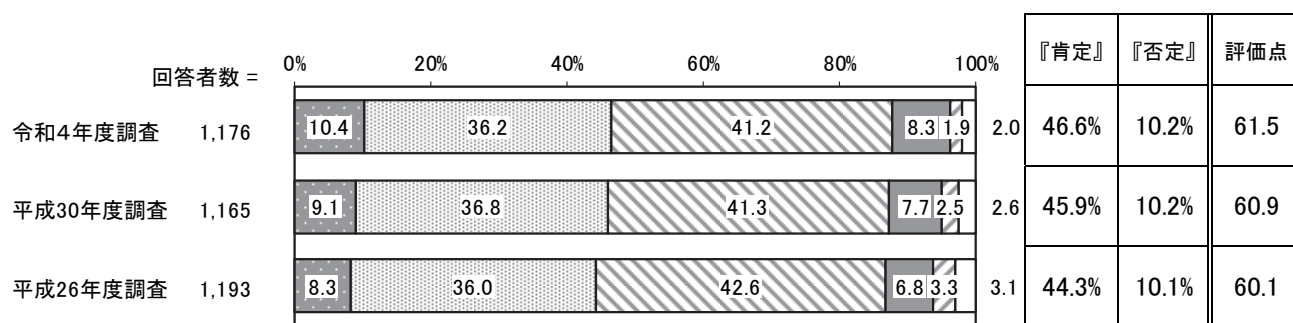


図 3.7.6 吹田市の取組に対する評価④(経年比較)

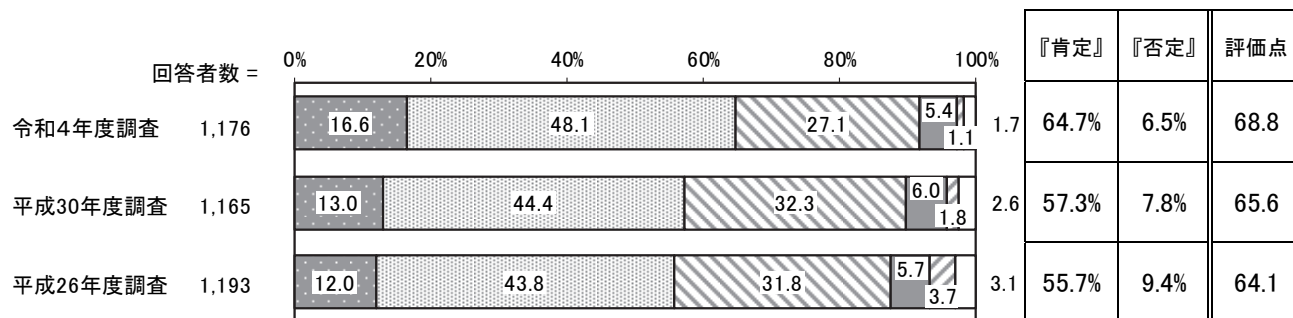
⑬散乱ごみが少なく、美しいまちだと思う



⑭神社や寺院などの歴史・文化資源や歴史的まちなみがあり、魅力あるまちである



⑮水辺や緑が豊かなまちである



⑯全体として、吹田市の街並みは美しいと感じている

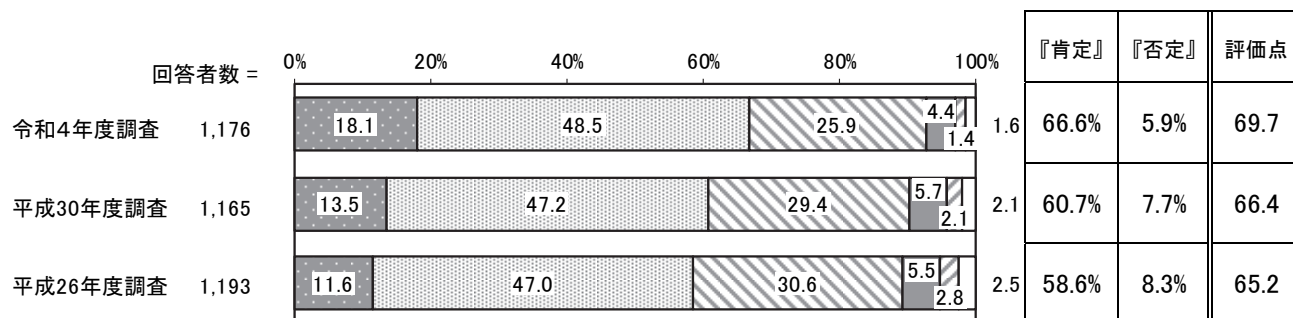


図 3.7.7 吹田市の取組に対する評価①(性別・年齢別・居住地域別)

①以前と比べ、家庭や地域、学校、職場などで、人権意識が向上している

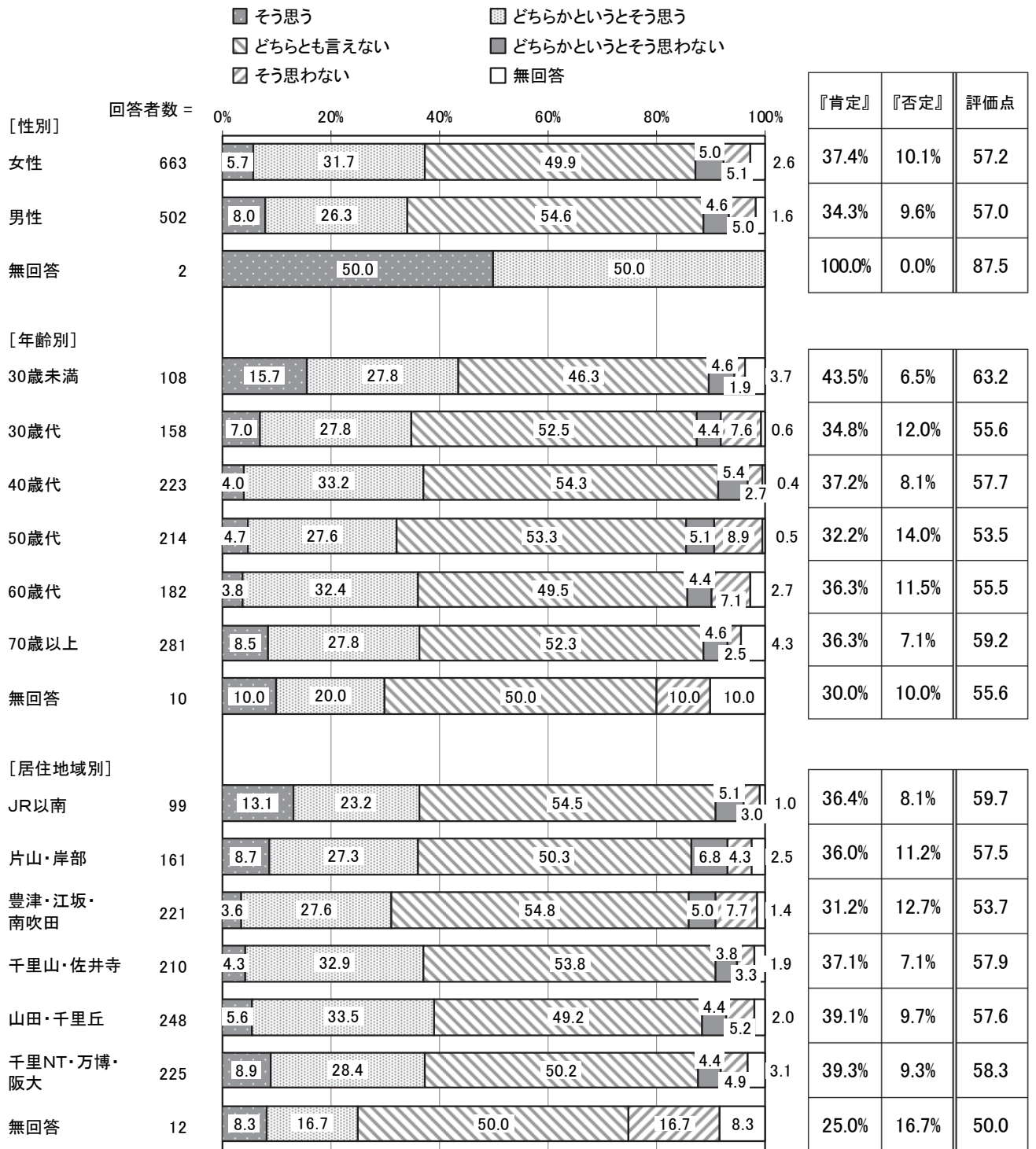


図 3.7.8 吹田市の取組に対する評価②(性別・年齢別・居住地域別)

②男女が性別にかかわらず、共に個性や能力を発揮できる社会になってきている

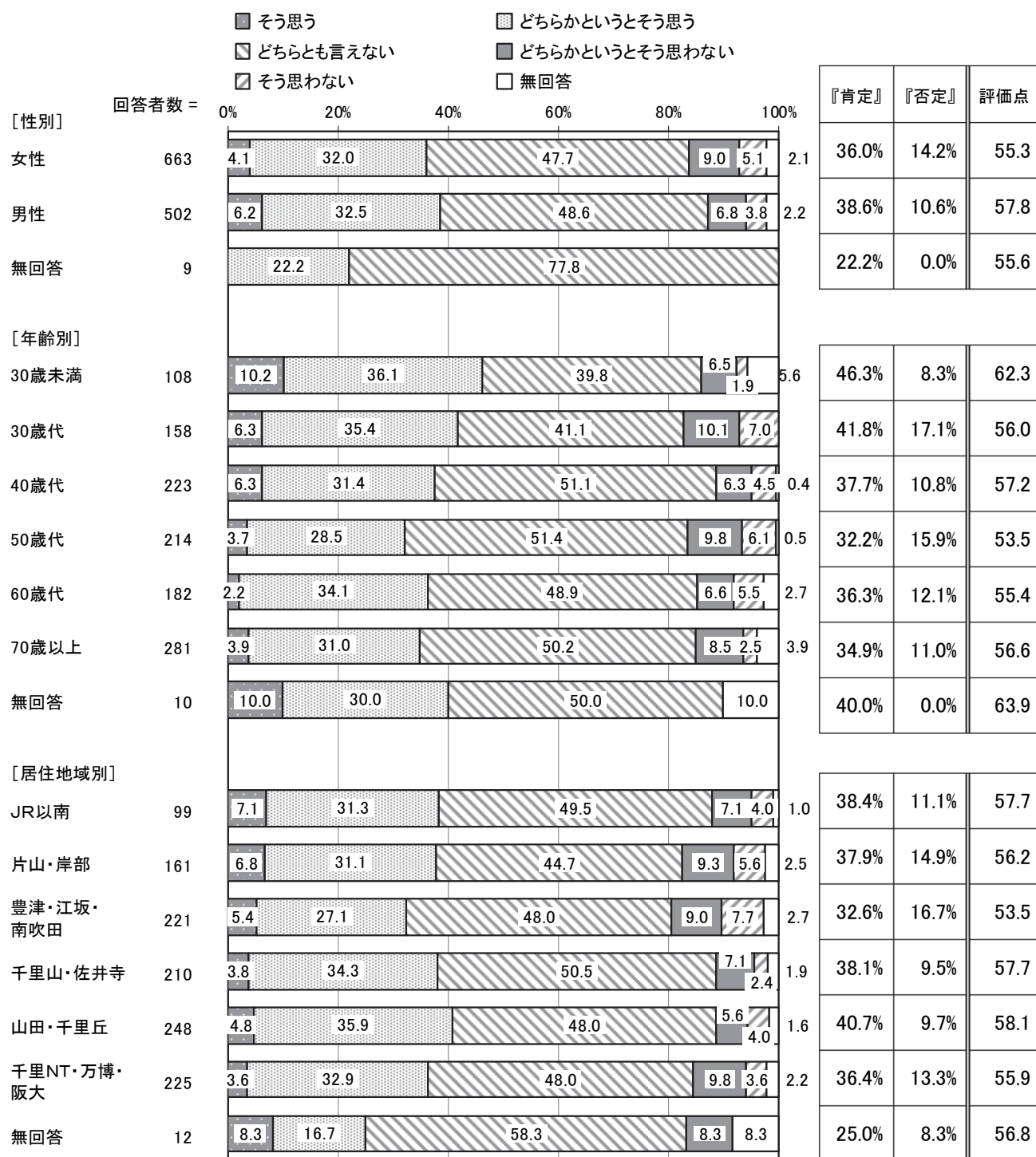


図 3.7.9 吹田市の取組に対する評価③(性別・年齢別・居住地域別)

③市報すいた、ケーブルテレビ、ホームページなどでの、吹田市が発信する情報に満足している

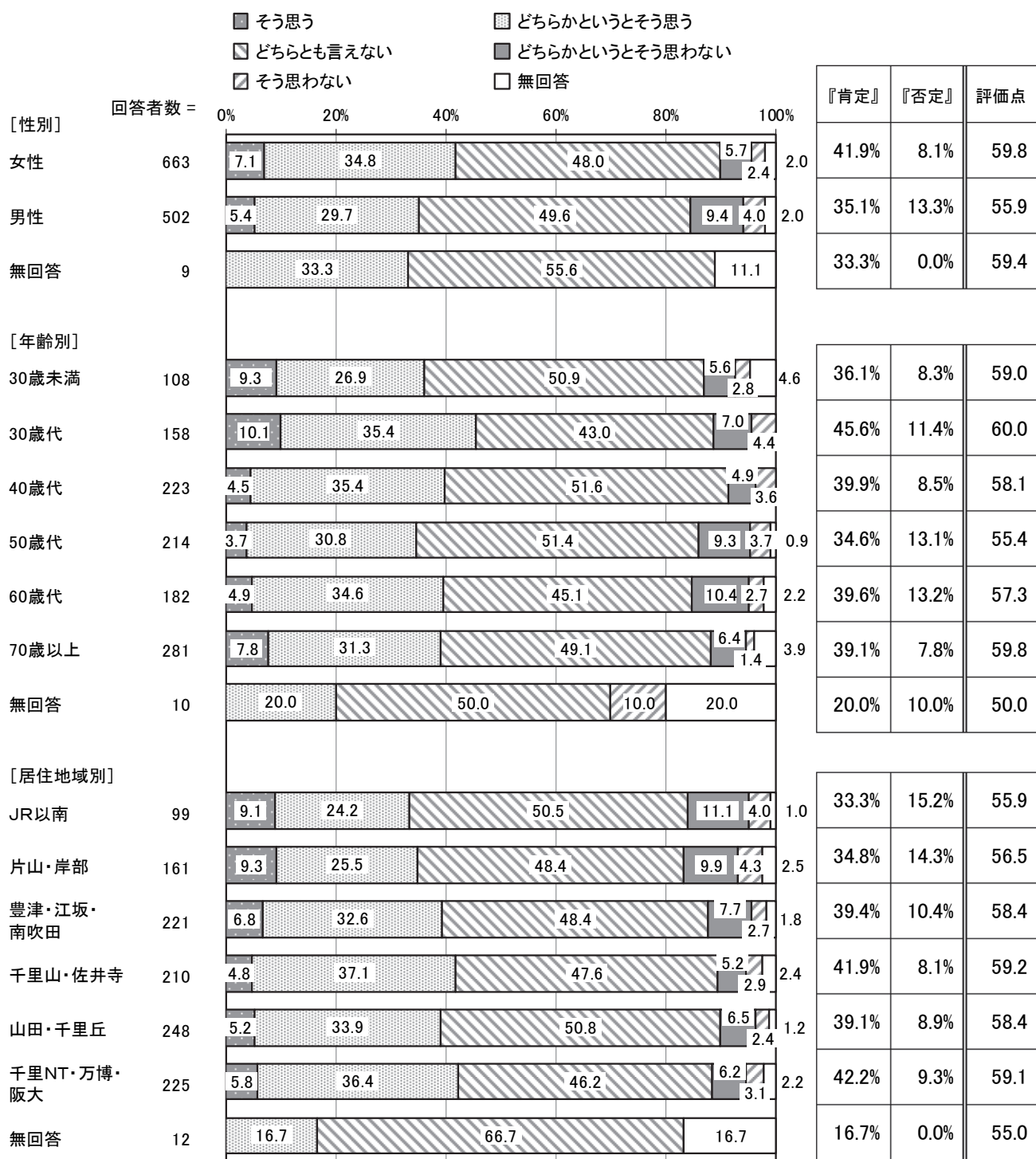


図 3.7.10 吹田市の取組に対する評価④(性別・年齢別・居住地域別)

④子供を産み育てるときに、健康相談を受ける場や、病院が身近にあるなど、安心である

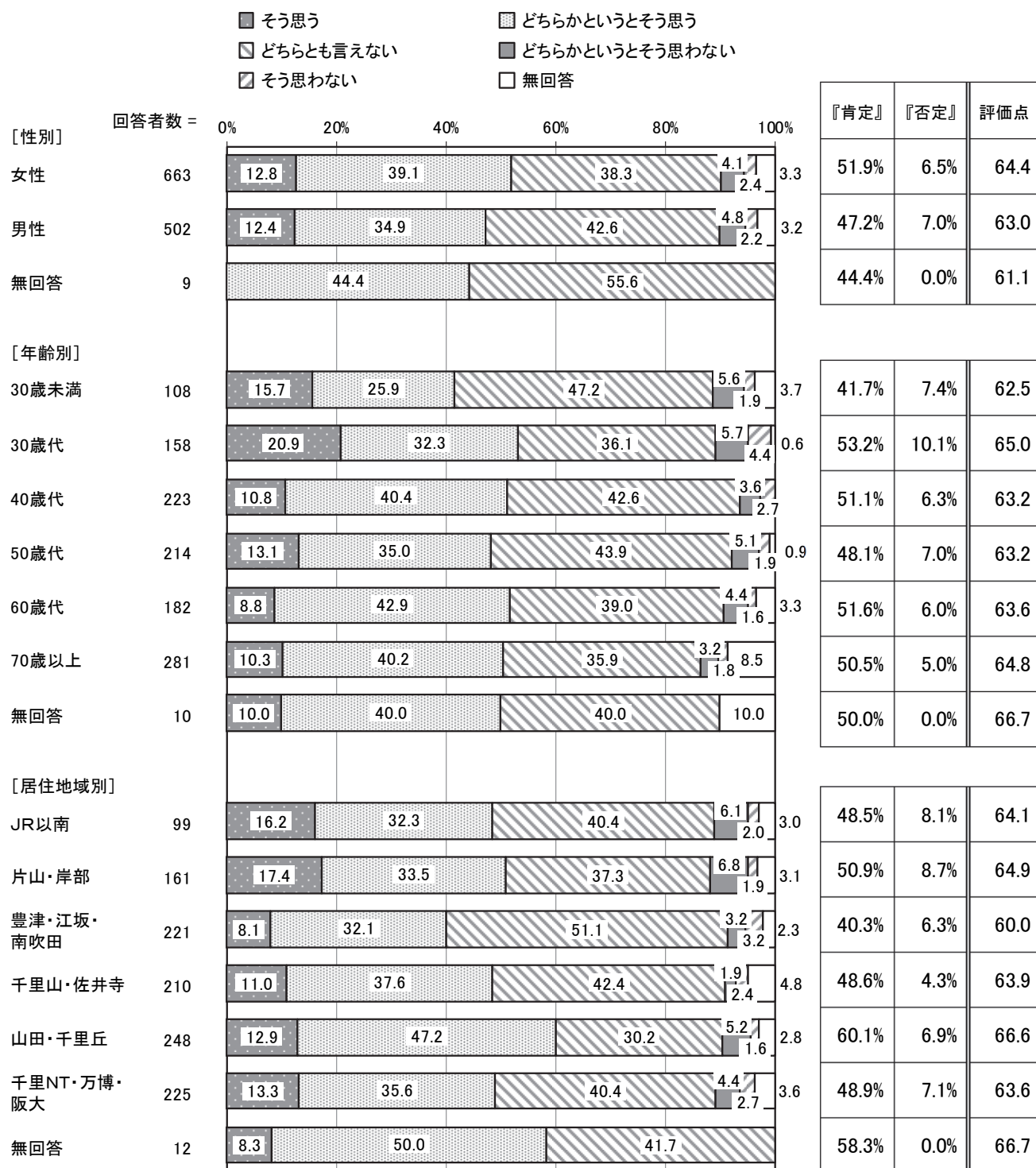


図 3.7.11 吹田市の取組に対する評価⑤(性別・年齢別・居住地域別)

⑤子育て家庭のニーズに応じた保育サービスが充実している

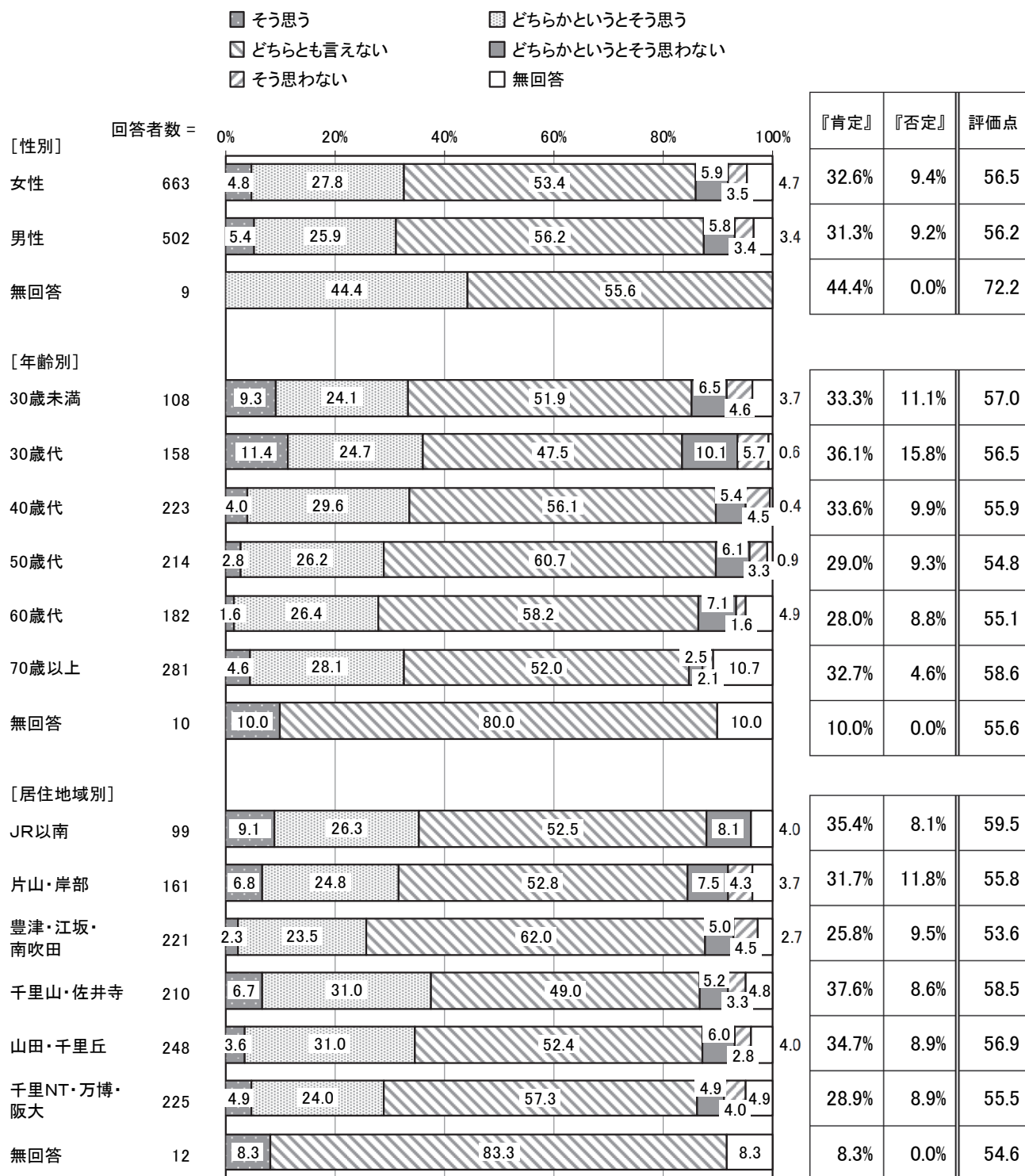


図 3.7.12 吹田市の取組に対する評価⑥(性別・年齢別・居住地域別)

⑥子育てに不安を感じたときに相談できるところがあるので心強い

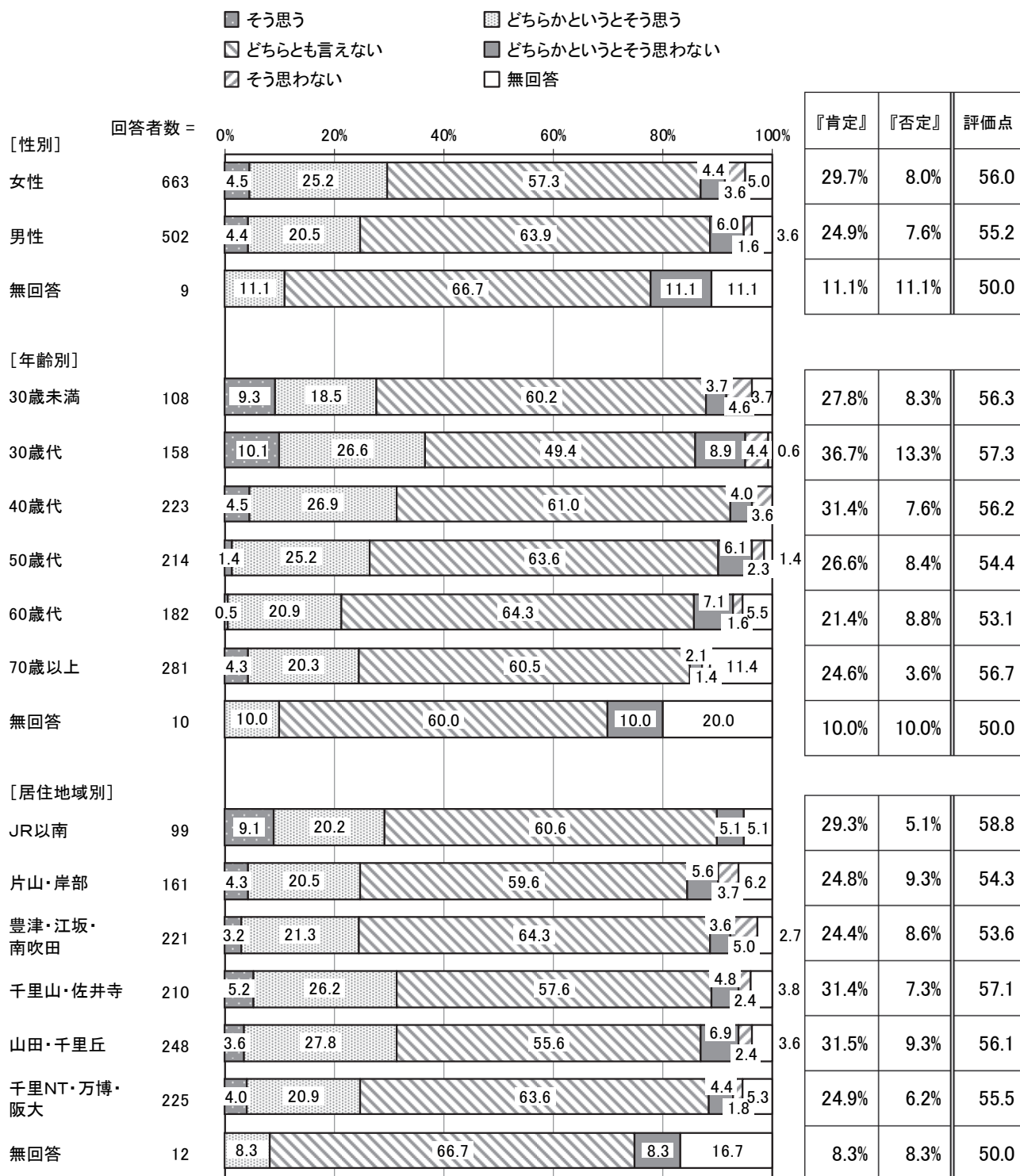


図 3.7.13 吹田市の取組に対する評価⑦(性別・年齢別・居住地域別)

⑦子供の居場所や遊び場があるので、様々な体験ができる

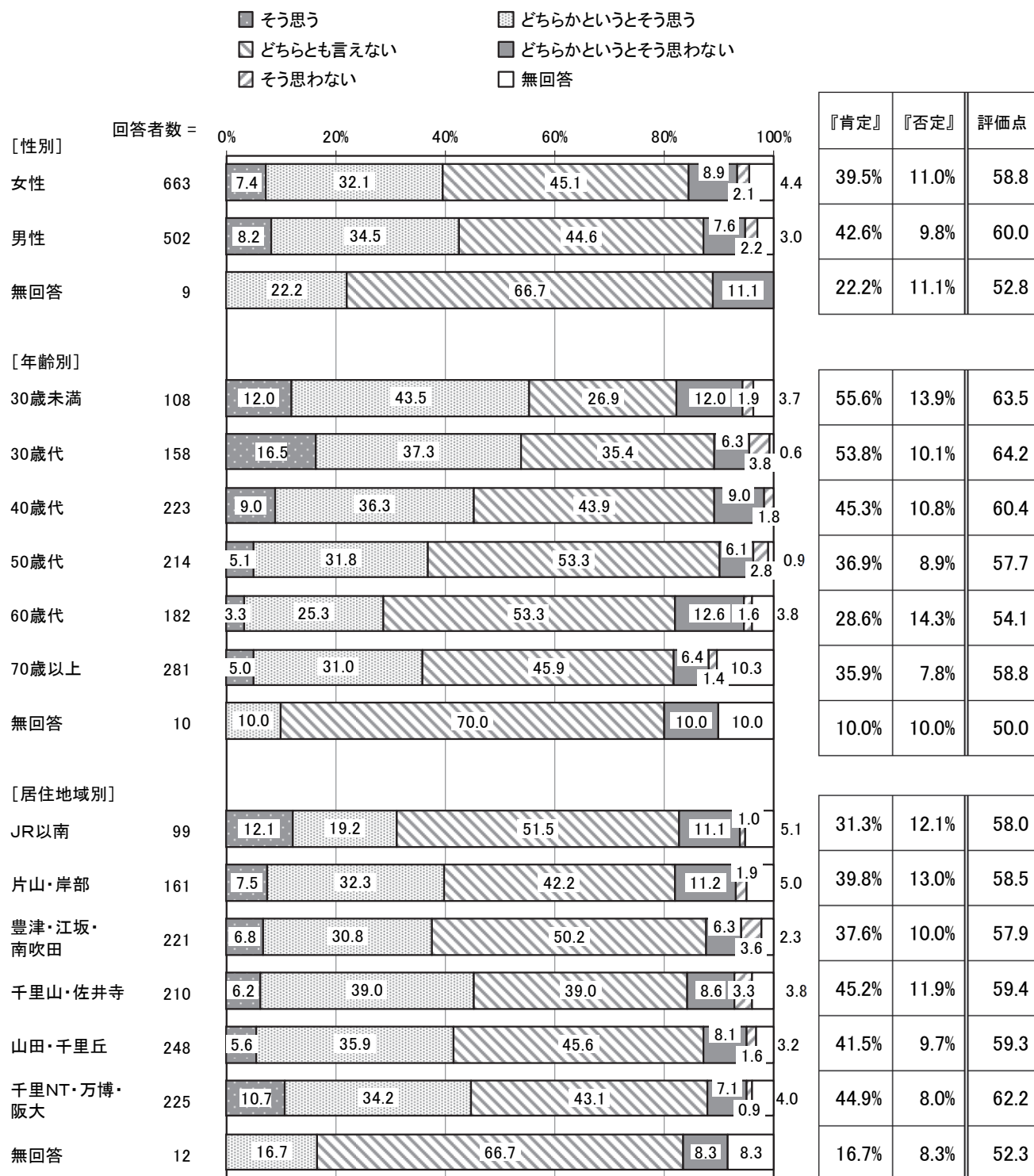


図 3.7.14 吹田市の取組に対する評価⑧(性別・年齢別・居住地域別)

⑧全体として、安心して子育てできる環境にある

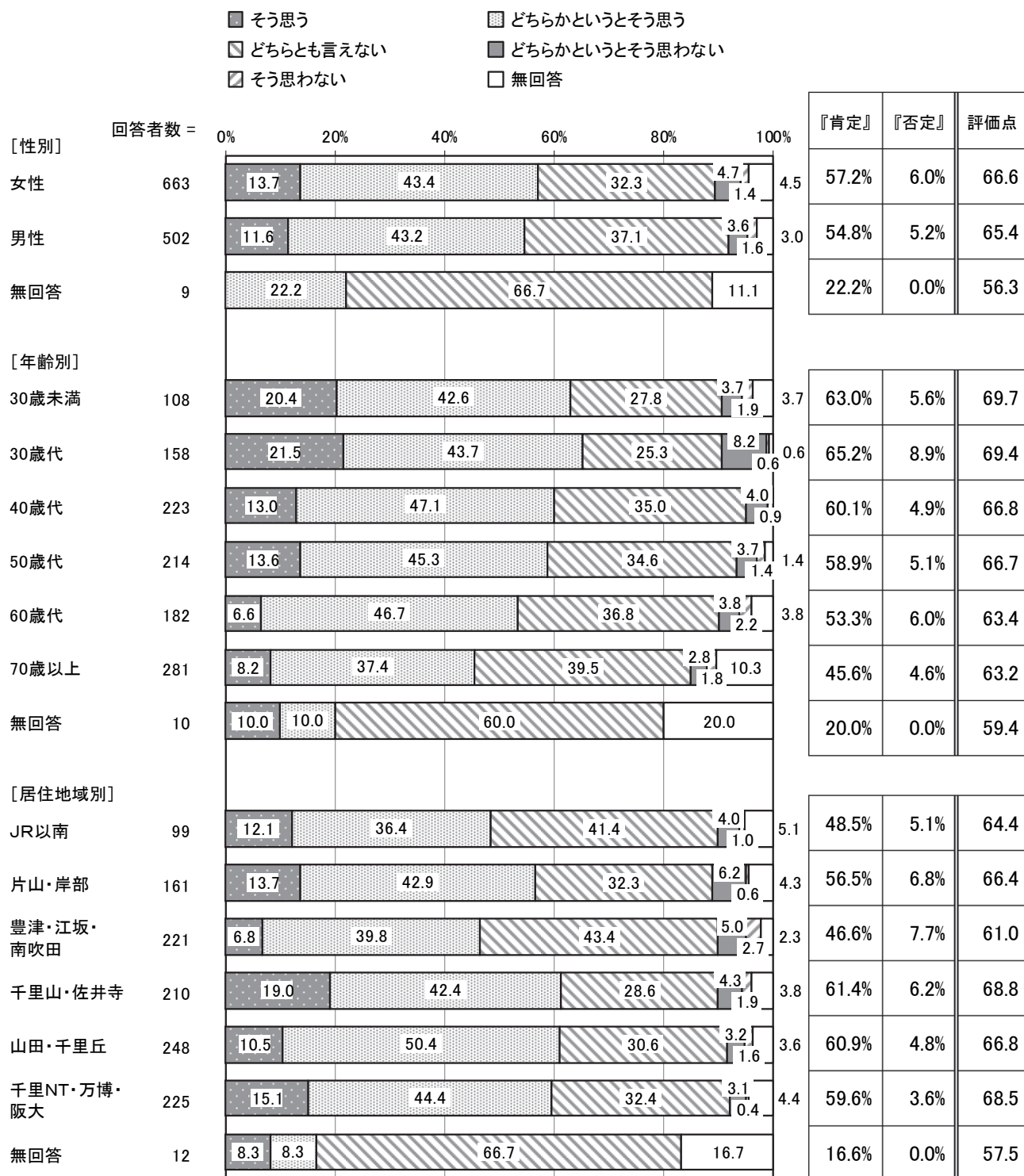


図 3.7.15 吹田市の取組に対する評価⑨(性別・年齢別・居住地域別)

⑨木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる

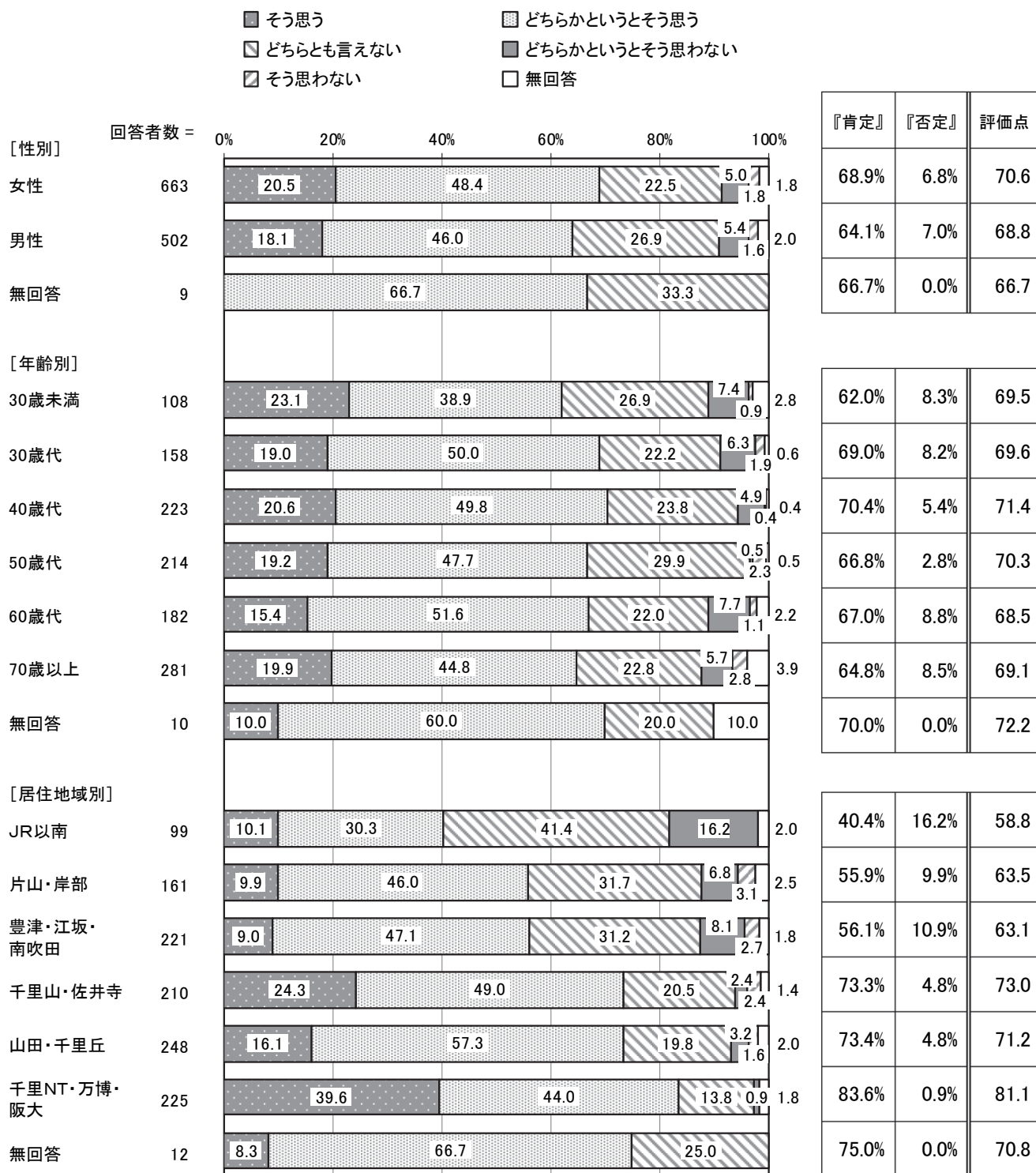


図 3.7.16 吹田市の取組に対する評価⑩(性別・年齢別・居住地域別)

⑩家庭で、日頃から地震や風水害などの災害に備えている

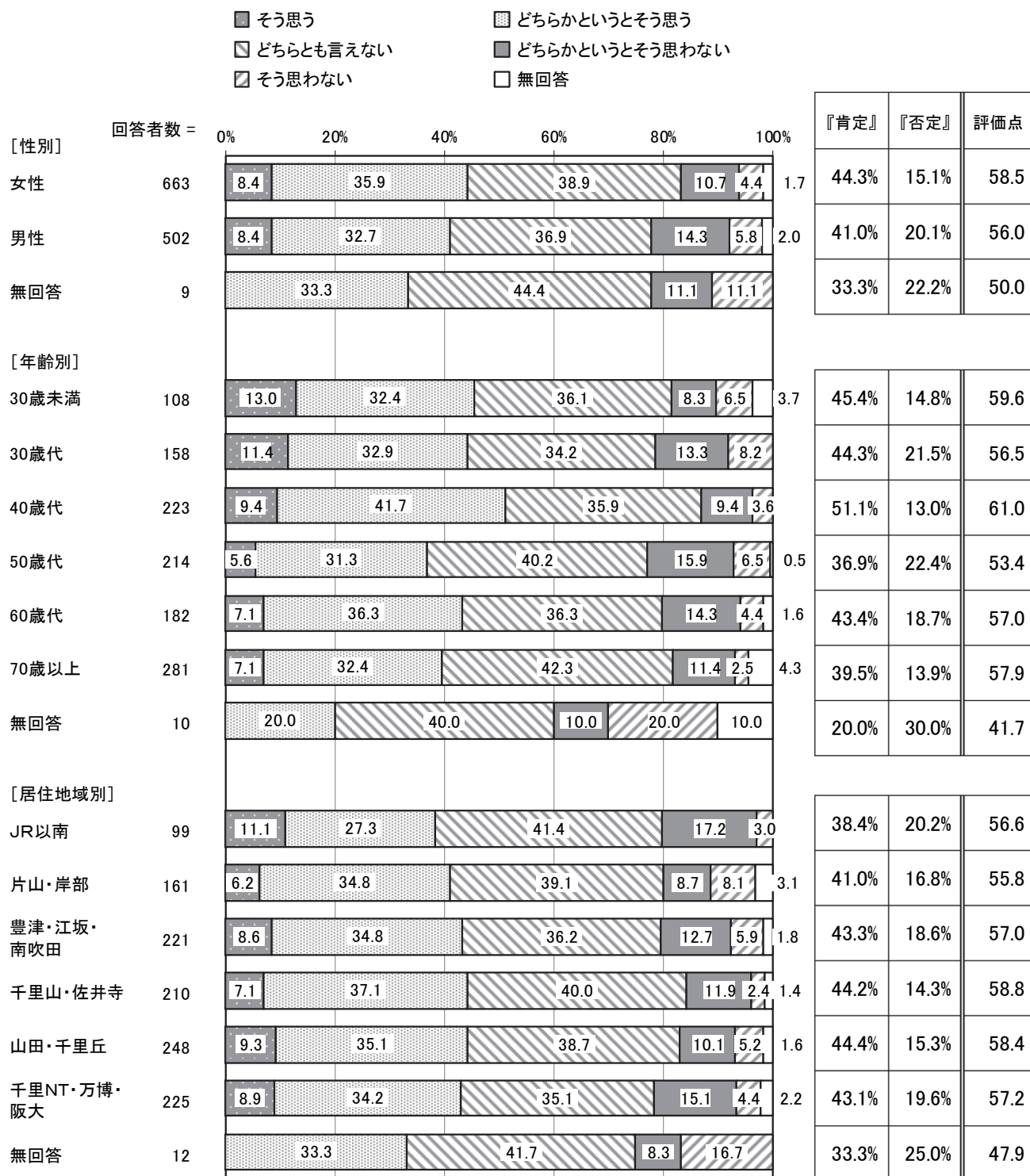


図 3.7.17 吹田市の取組に対する評価①(性別・年齢別・居住地域別)

①犯罪が少ないなど、治安がよいまちである

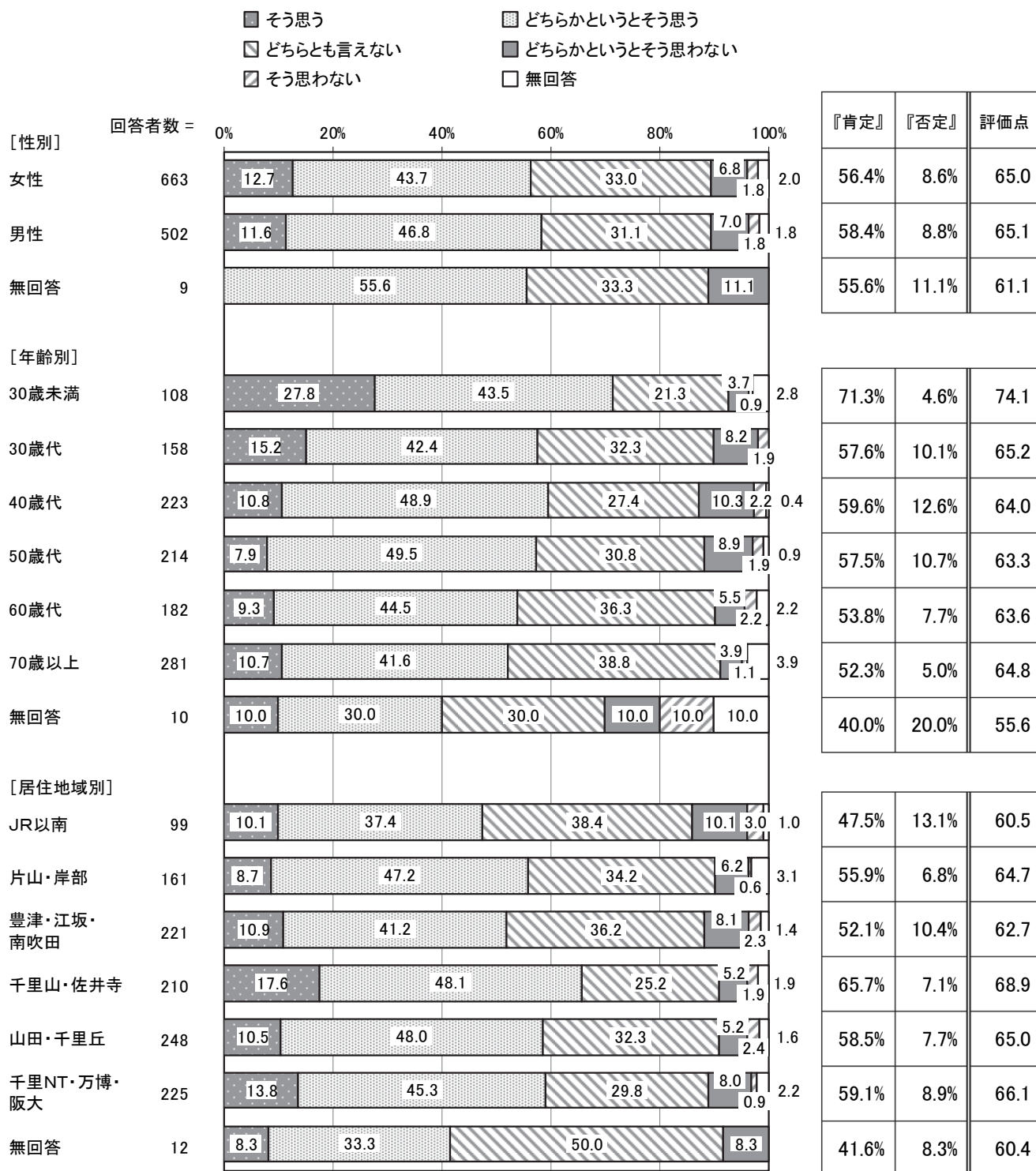


図 3.7.18 吹田市の取組に対する評価⑫(性別・年齢別・居住地域別)

⑫吹田市内の公園は使いやすく快適で安心して遊べるなど、身近なものと感じている

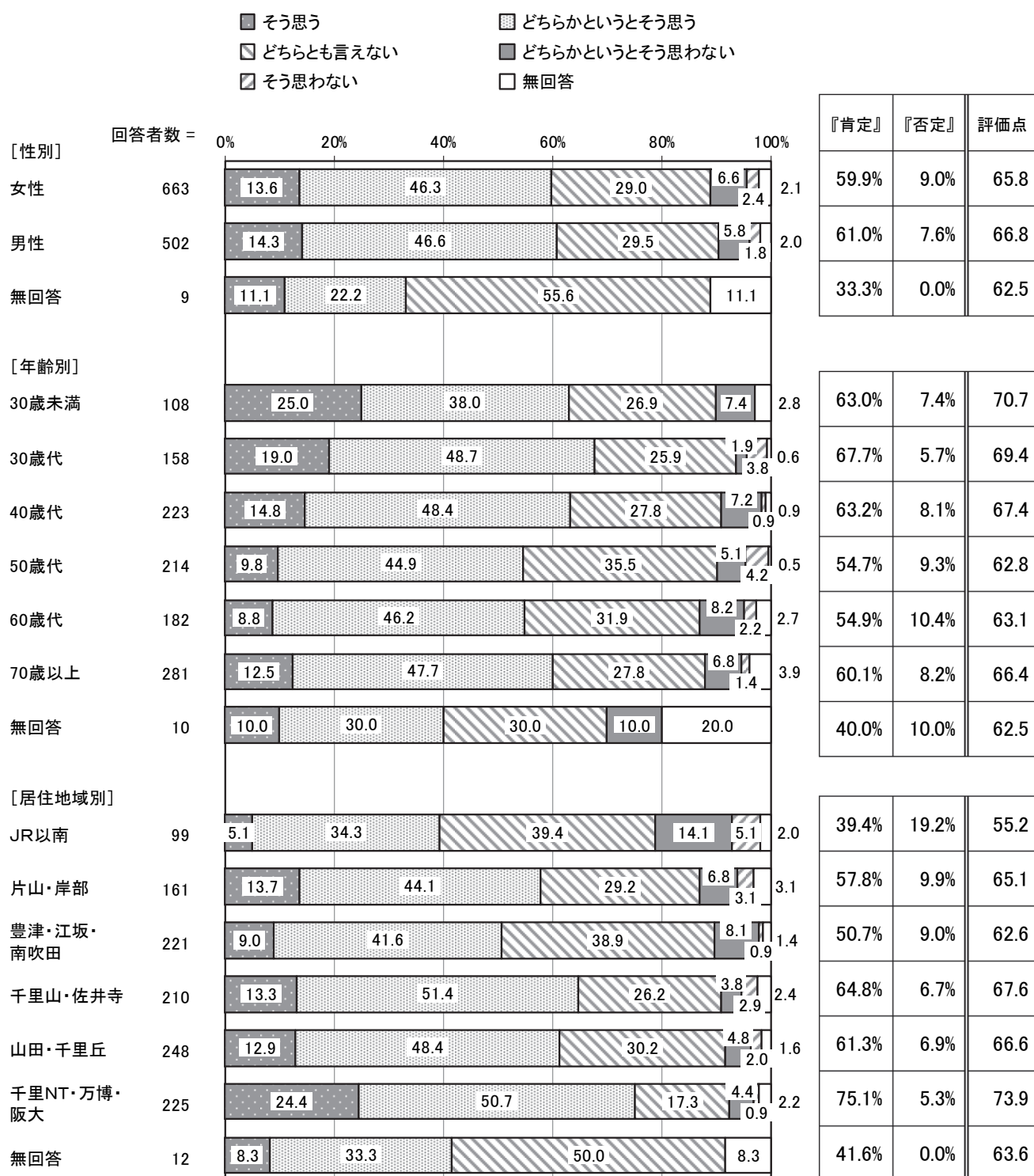


図 3.7.19 吹田市の取組に対する評価⑬(性別・年齢別・居住地域別)

⑬散乱ごみが少なく、美しいまちだと思う

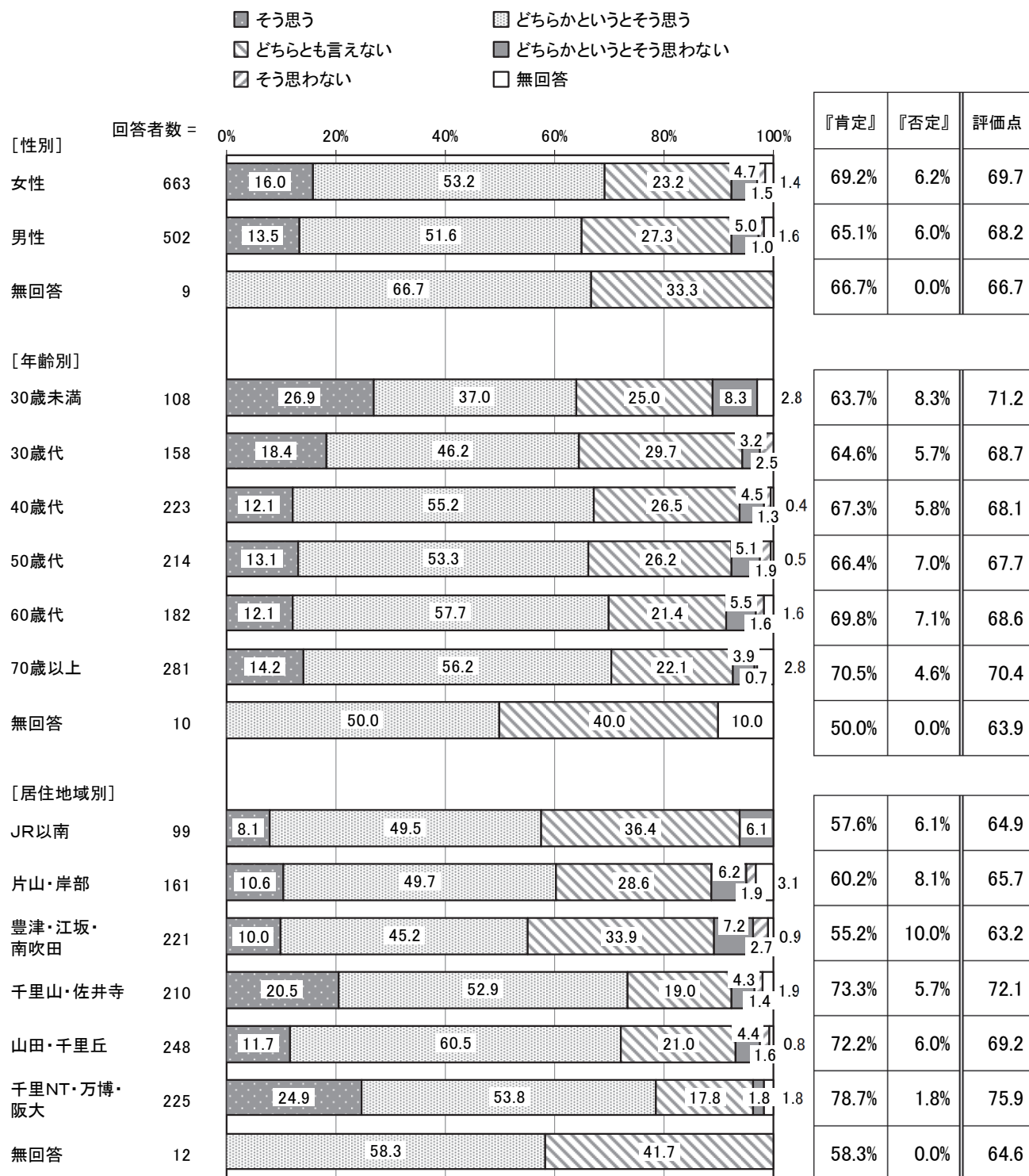


図 3.7.20 吹田市の取組に対する評価⑭(性別・年齢別・居住地域別)

⑭神社や寺院などの歴史・文化資源や歴史的まちなみがあり、魅力あるまちである

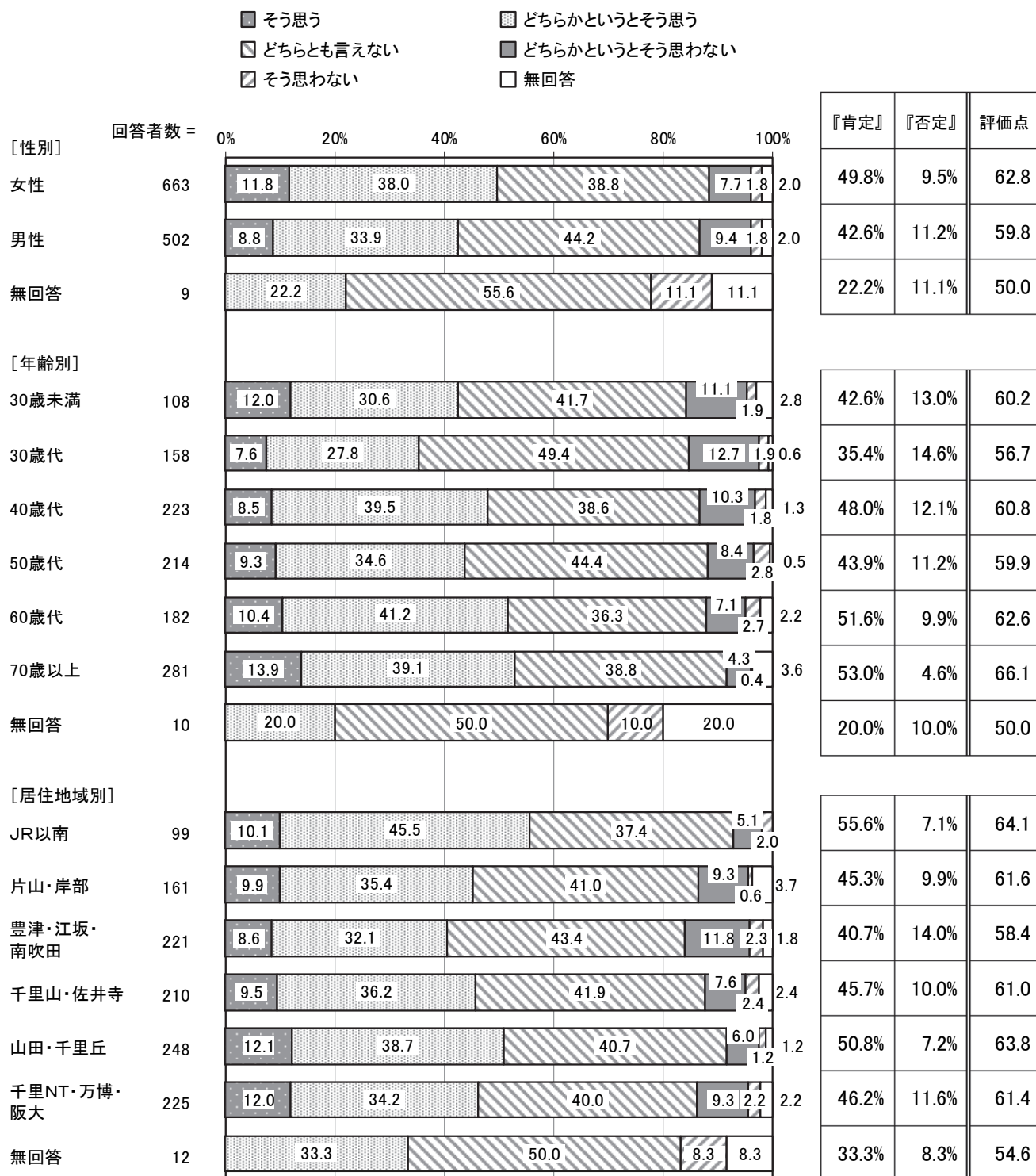


図 3.7.21 吹田市の取組に対する評価⑮(性別・年齢別・居住地域別)

⑮水辺や緑が豊かなまちである

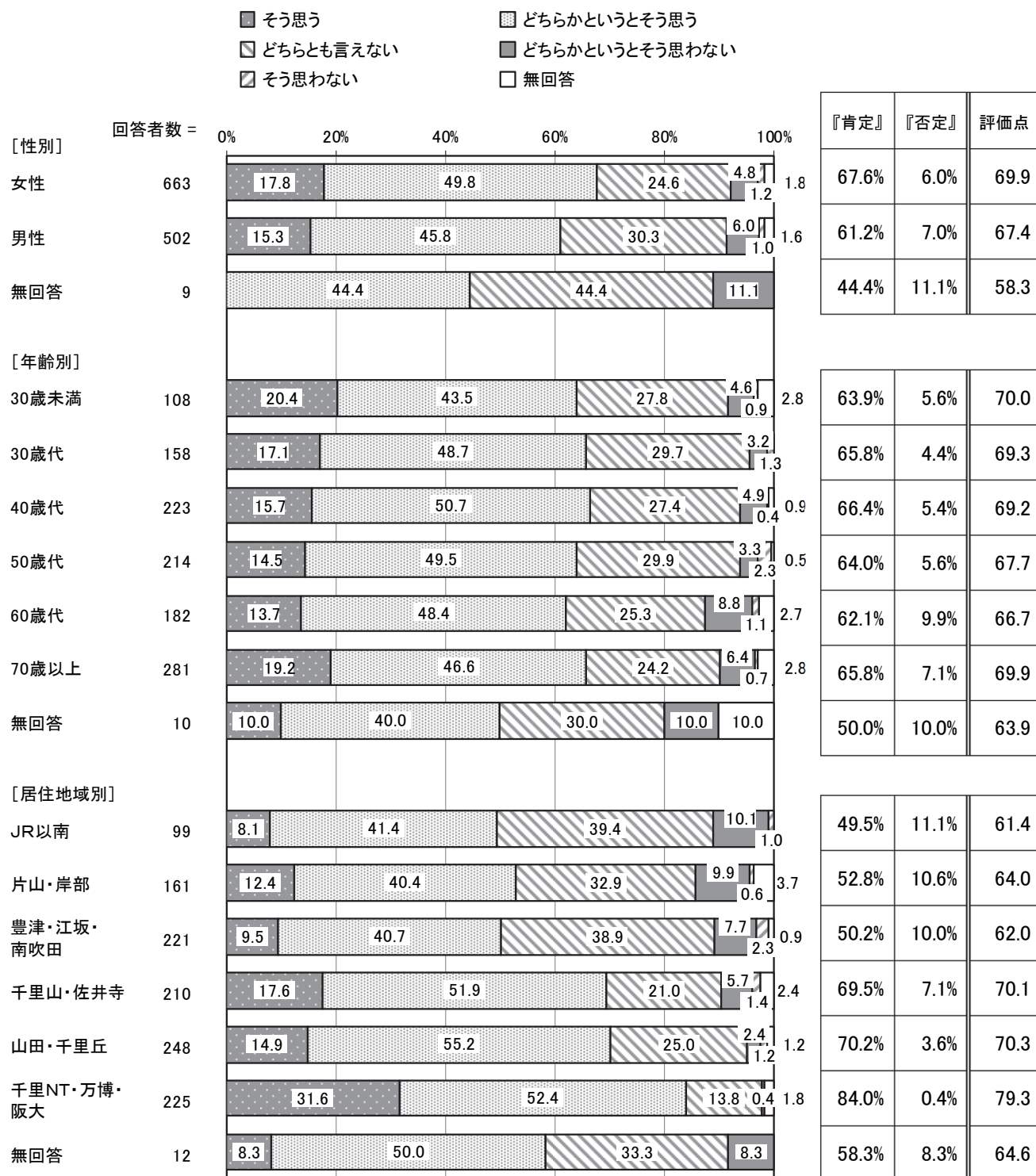
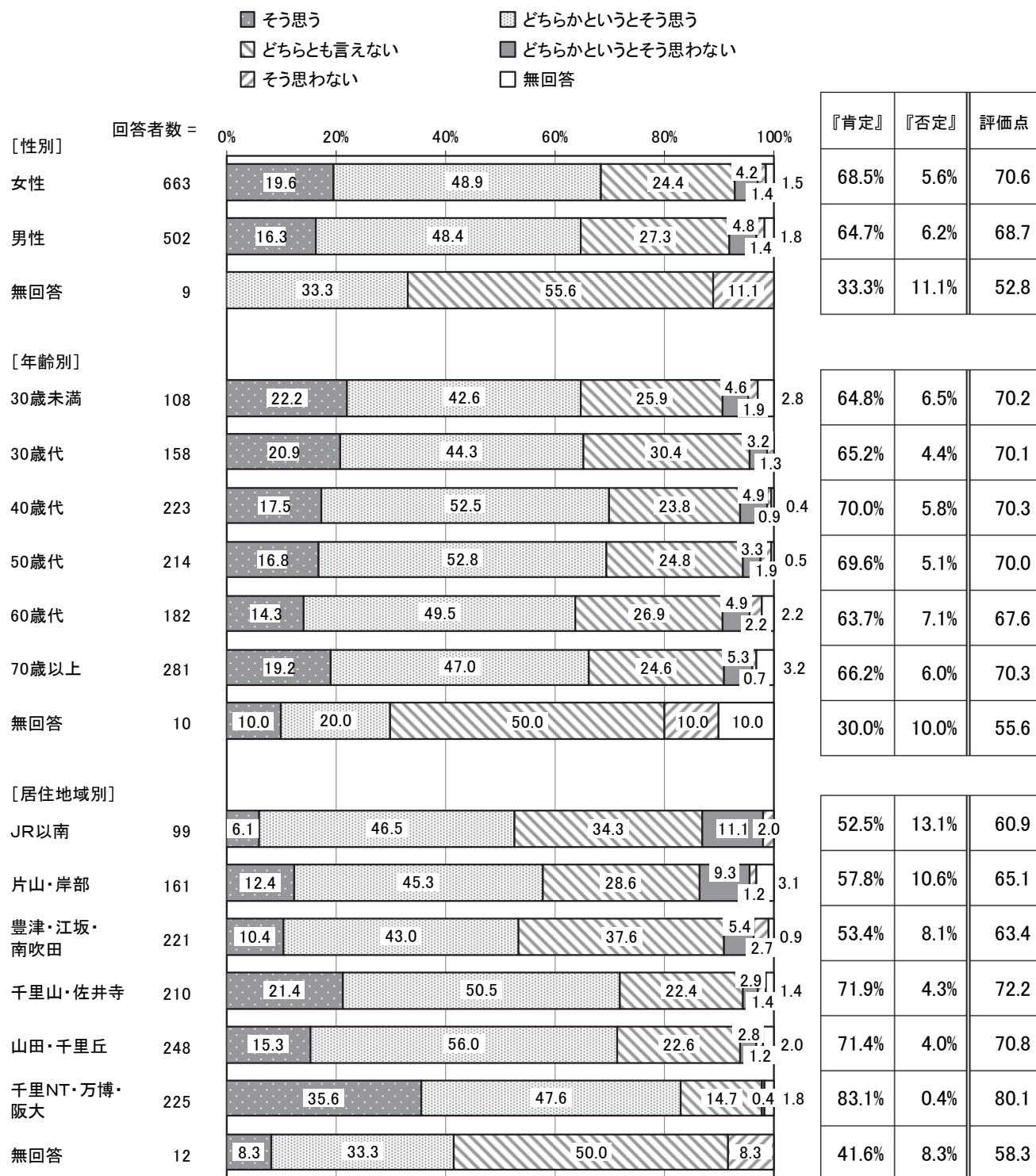


図 3.7.22 吹田市の取組に対する評価⑩(性別・年齢別・居住地域別)

⑩全体として、吹田市の街並みは美しいと感じている



(2) 市政の満足度・重要度

問 55. あなたは、吹田市における 1～50 の項目について、どの程度満足していますか。また、今後の市政を進めるにあたってどの程度重要だと思いますか。あなたの考え方に一番近いものを、「満足度」と「重要度」からそれぞれ 1 つずつ選んで番号に○印をつけてください。

※『満足』:「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計
 『不満』:「どちらかといえば不満である」と「不満である」の合計
 満足度評価点:「満足している」=100点、「どちらかといえば満足している」=75点、「普通」=50点、「どちらかといえば不満である」=25点、「不満である」=0点として算出

※『重要である』:「重要である」と「どちらかといえば重要である」の合計
 『重要ではない』:「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」の合計
 重要度評価点:「重要である」=100点、「どちらかといえば重要である」=75点、「今の程度で良い」=50点、「どちらかといえば重要ではない」=25点、「重要ではない」=0点として算出
 (評価点については、p. 30 参照)

[人権・平和・男女共同参画についての満足度・重要度]

図 3.7.23 人権・平和・男女共同参画についての満足度

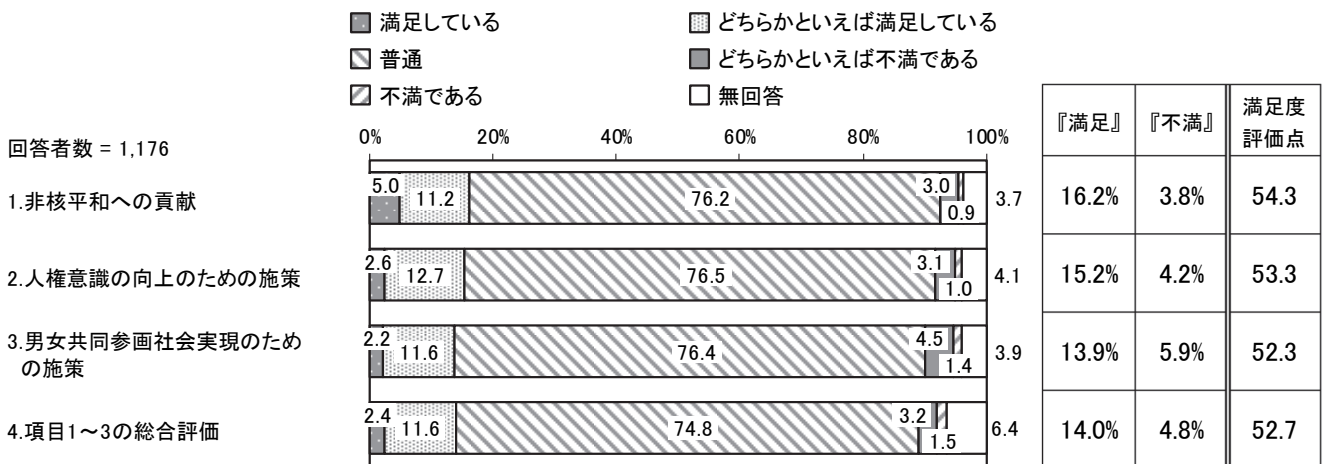


図 3.7.24 人権・平和・男女共同参画についての重要度

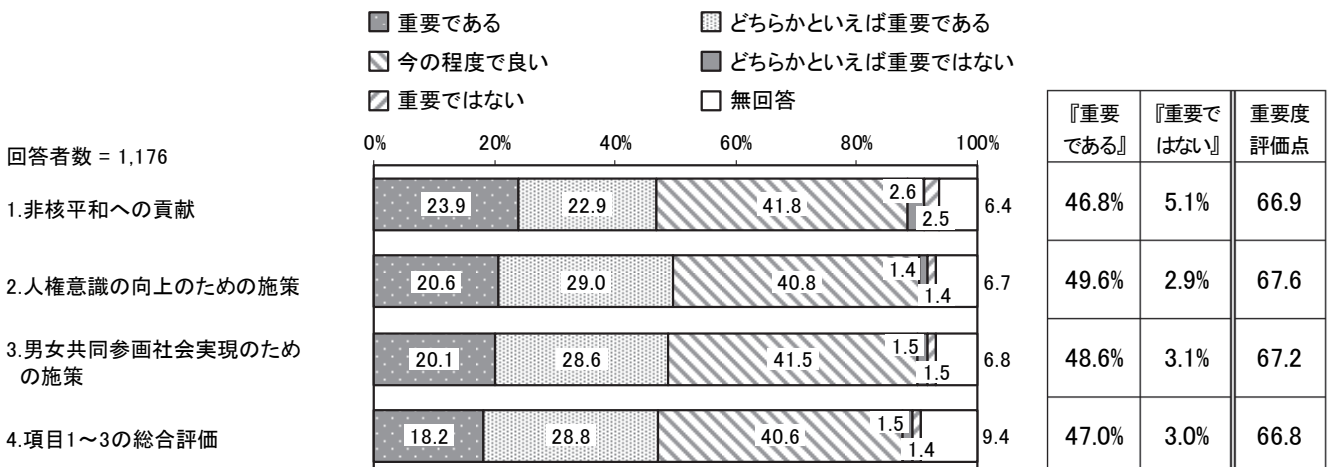


図 3.7.25 人権・平和・男女共同参画についての満足度評価点の経年比較

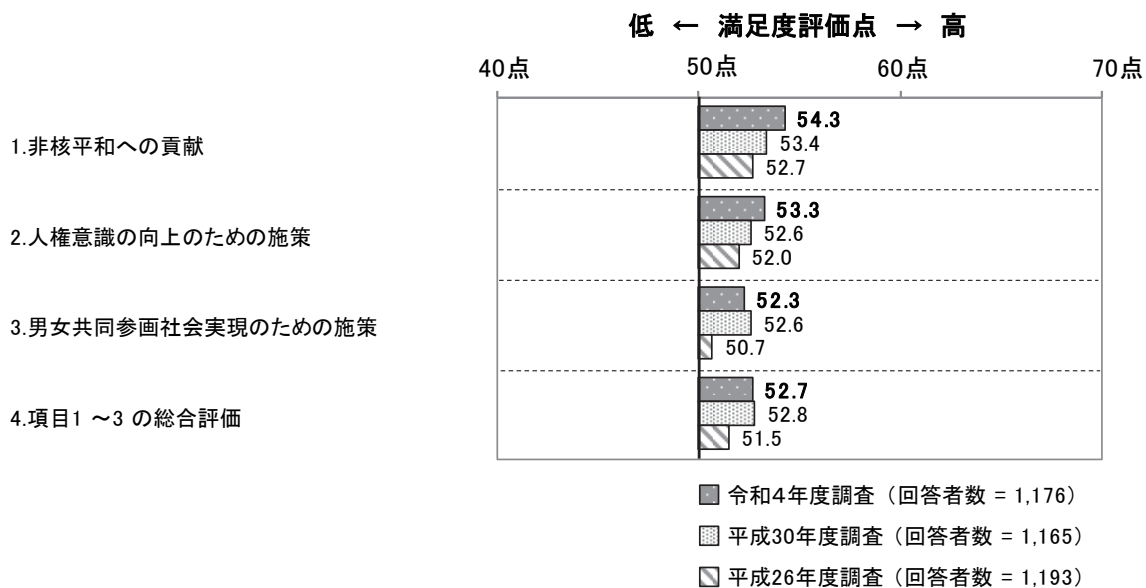
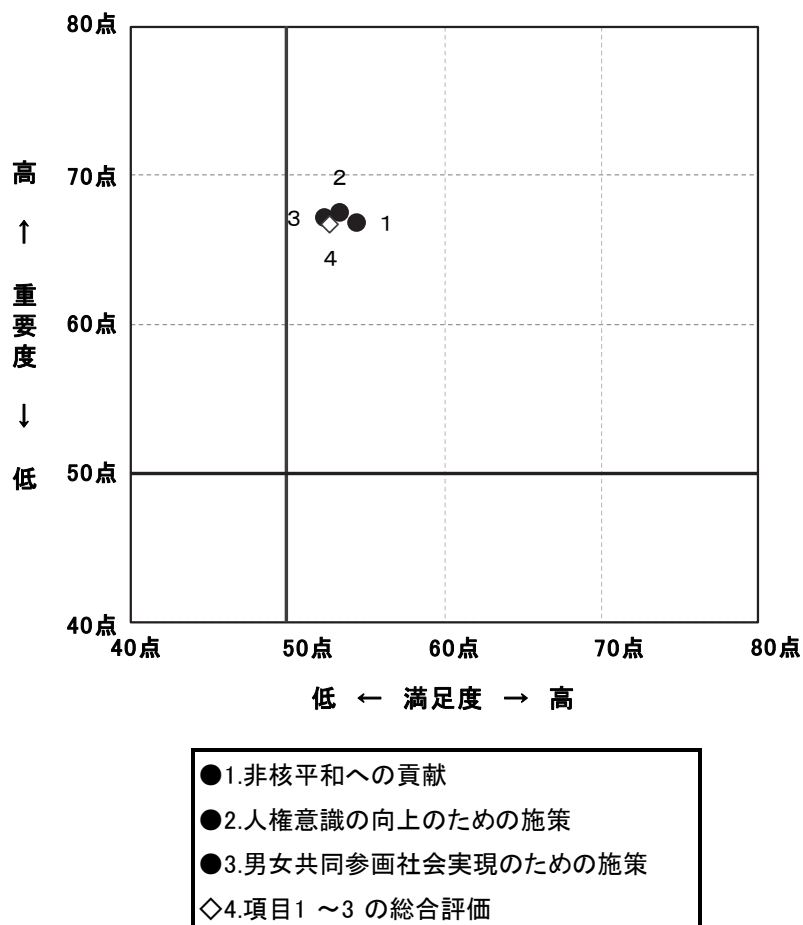


図 3.7.26 人権・平和・男女共同参画についての満足度と重要度の関係



■満足度

人権・平和・男女共同参画についての満足度（図 3.7.23）は、全ての項目で「普通」が7割台を占めています。また、全ての項目で『満足』の方が『不満』に比べ割合が高くなっています。

満足度の評価点は、《1. 非核平和への貢献》（54.3点）が最も高くなっていますが、いずれも50点台となっています。

平成30年度調査と比較（図 3.7.25）すると、《1. 非核平和への貢献》、《2. 人権意識の向上のための施策》で評価点が高くなっています。

性別に評価点（図 3.7.27～図 3.7.29）をみると、大きな差はみられません。

年齢別に評価点をみると、全ての項目で30歳未満が最も高くなっています。

居住地域別に評価点をみると、《3. 男女共同参画社会実現のための施策》はJR以南地域、それ以外の項目は千里山・佐井寺地域が最も低くなっています。

■重要度

人権・平和・男女共同参画についての重要度（図 3.7.24）は、全ての項目で「今の程度で良い」が4割台を占めています。また、全ての項目で『重要である』の方が『重要ではない』に比べ割合が高くなっています。

重要度の評価点は、《2. 人権意識の向上のための施策》（67.6点）が最も高くなっていますが、いずれも60点台となっています。

性別に評価点（図 3.7.27～図 3.7.29）をみると、男性は《2. 人権意識の向上のための施策》が最も高くなっています。また、全ての項目で男性より女性の方が評価点が高く、特に《1. 非核平和への貢献》（女性69.6点、男性63.4点）は差が大きくなっています。

年齢別に評価点をみると、全ての項目で60歳代が最も高くなっています。また、《1. 非核平和への貢献》は年齢層による差が大きく、最も高い60歳代（72.7点）と最も低い30歳代（63.4点）では9.3点の差がみられます。

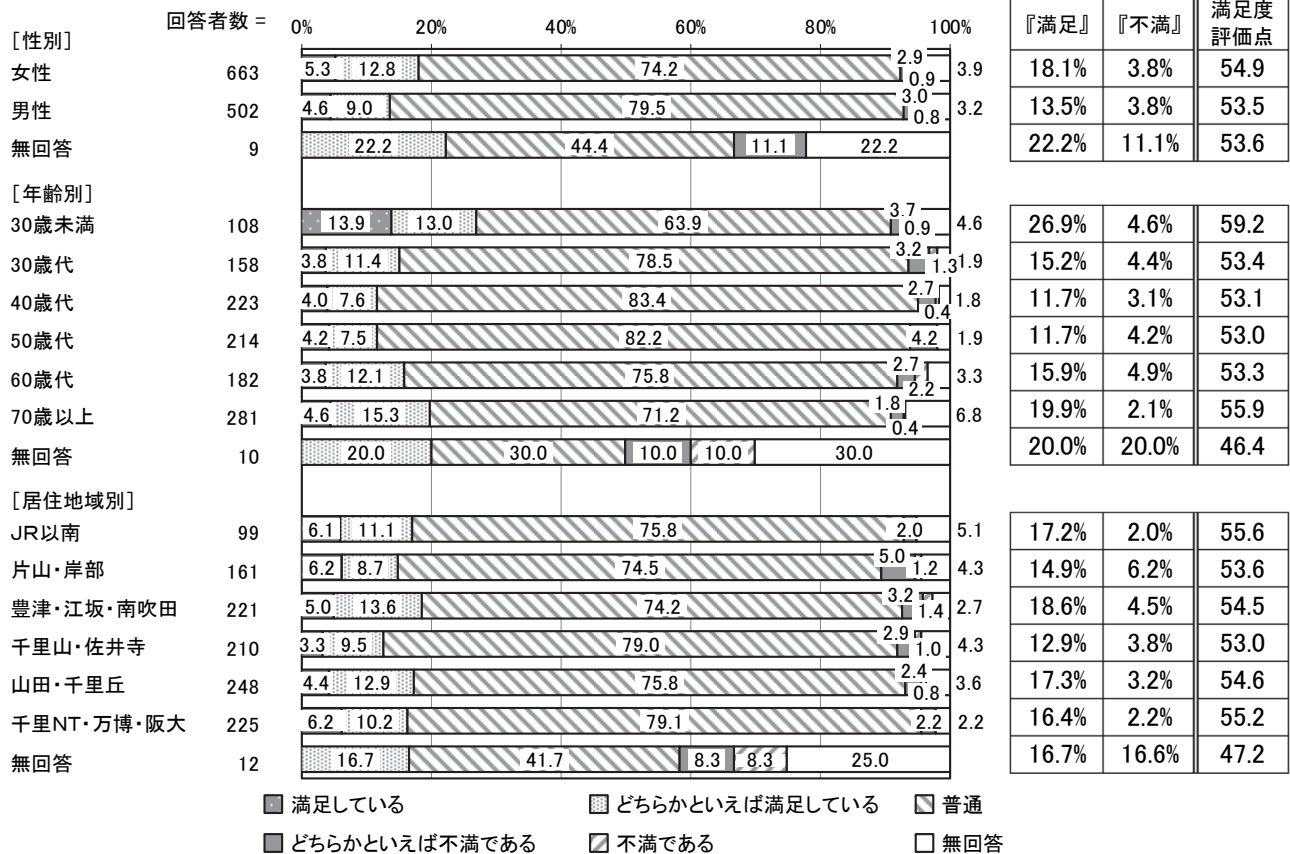
居住地域別に評価点をみると、全ての項目で千里ニュータウン・万博・阪大地域が最も高くなっています。

■満足度と重要度の関係

満足度と重要度の関係（図 3.7.26）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）は、《3. 男女共同参画社会実現のための施策》（満足度52.3点、重要度67.2点、差14.9点）、《2. 人権意識の向上のための施策》（満足度53.3点、重要度67.6点、差14.3点）となっています。

図 3.7.27 人権・平和・男女共同参画についての満足度・重要度①(性別・年齢別・居住地域別)

1. 非核平和への貢献【満足度】



1. 非核平和への貢献【重要度】

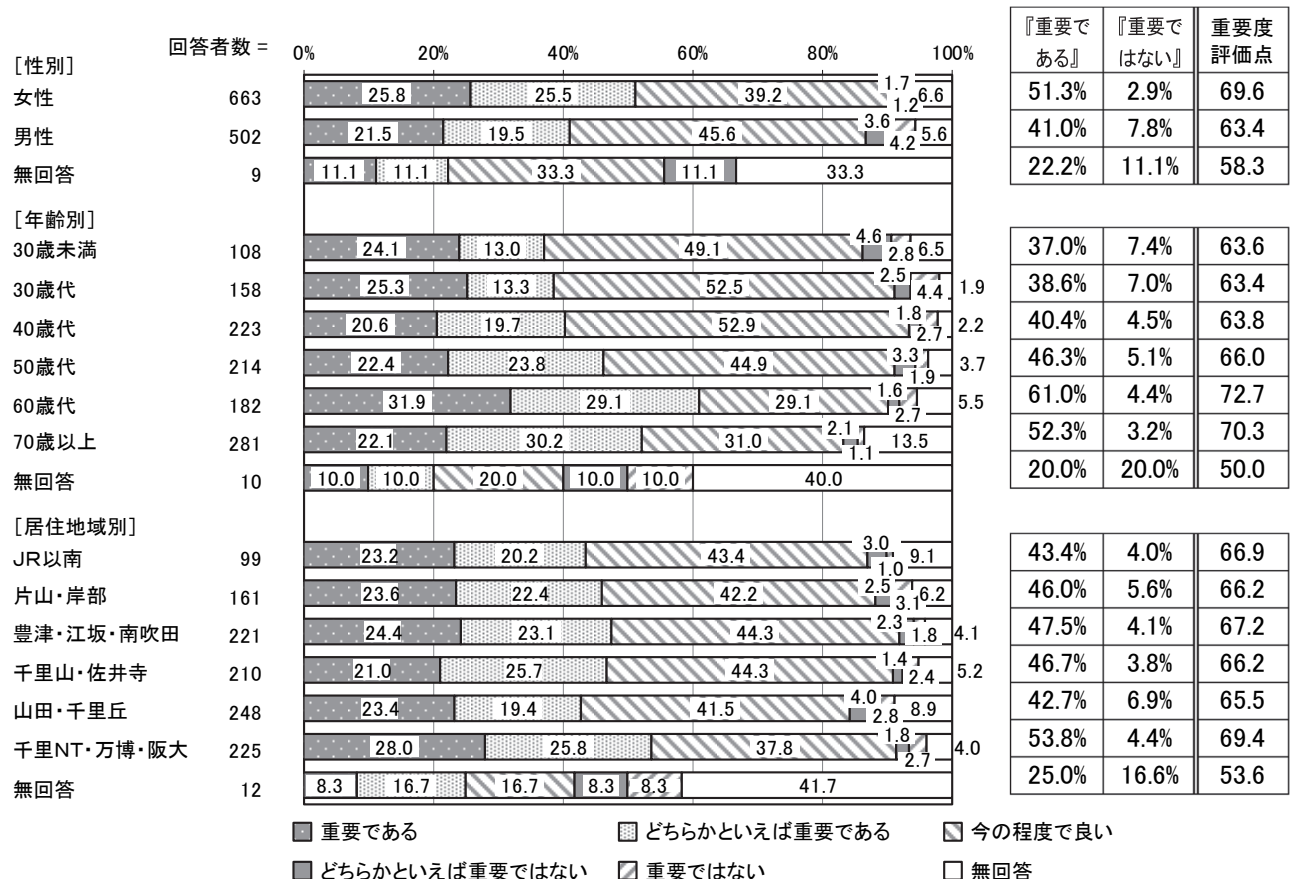
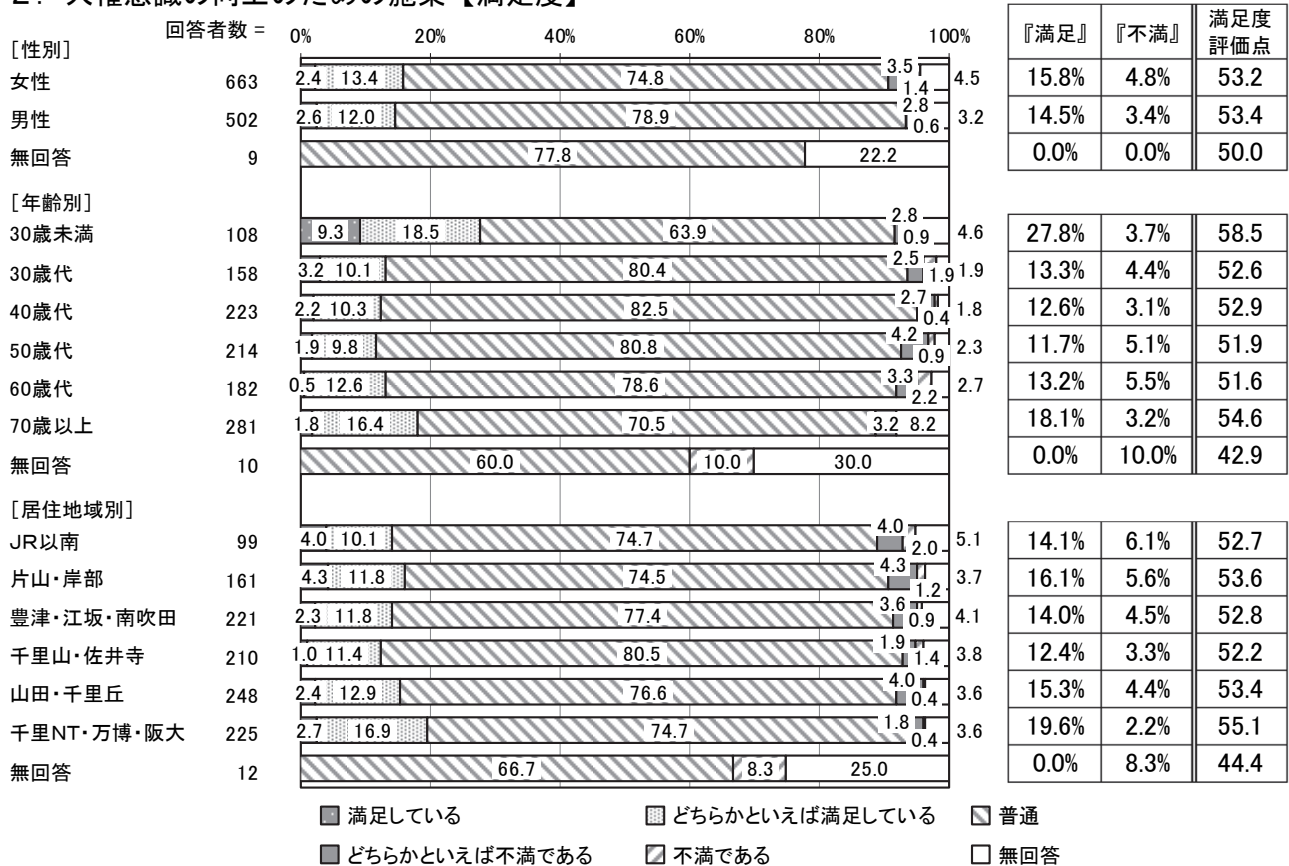


図 3.7.28 人権・平和・男女共同参画についての満足度・重要度②(性別・年齢別・居住地域別)

2. 人権意識の向上のための施策【満足度】



2. 人権意識の向上のための施策【重要度】

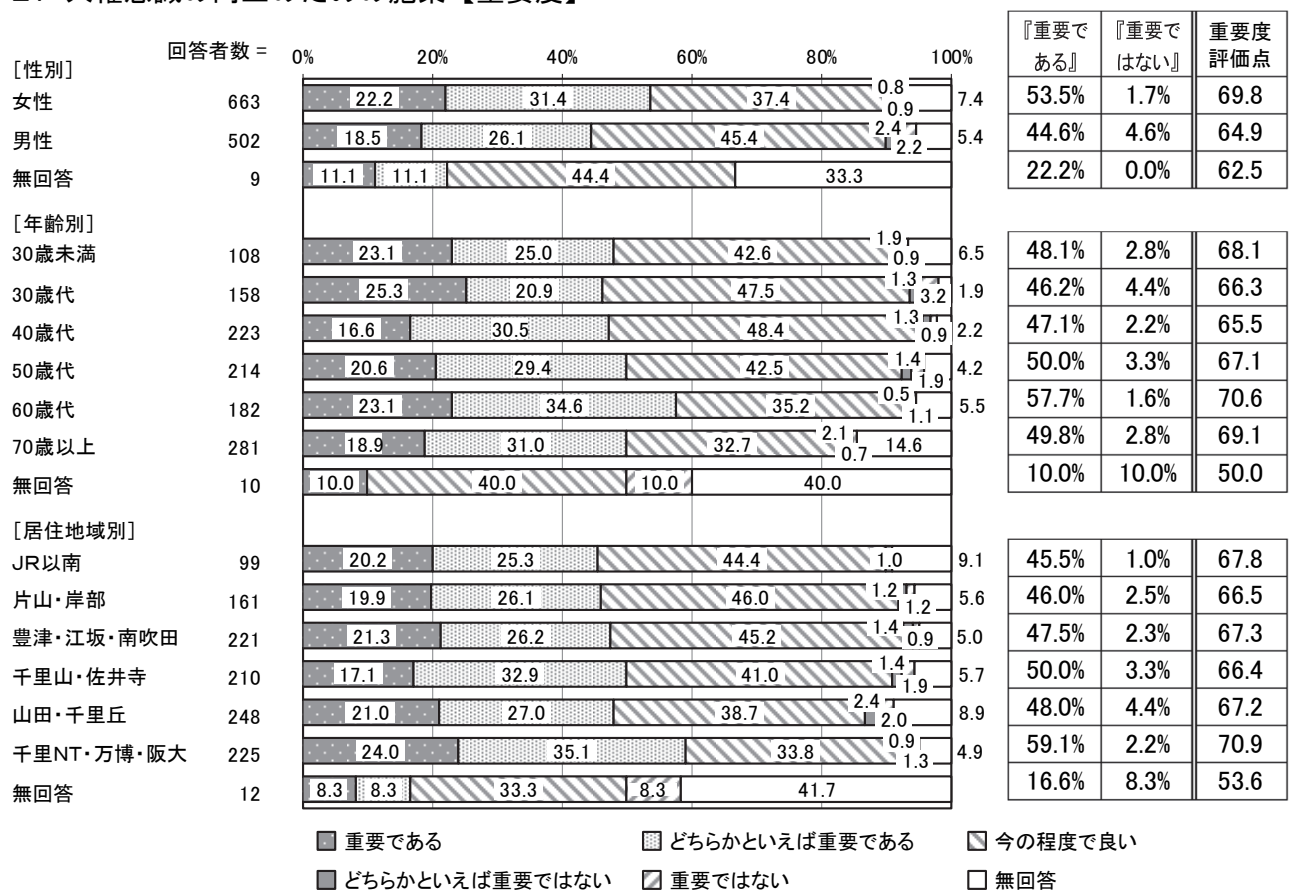
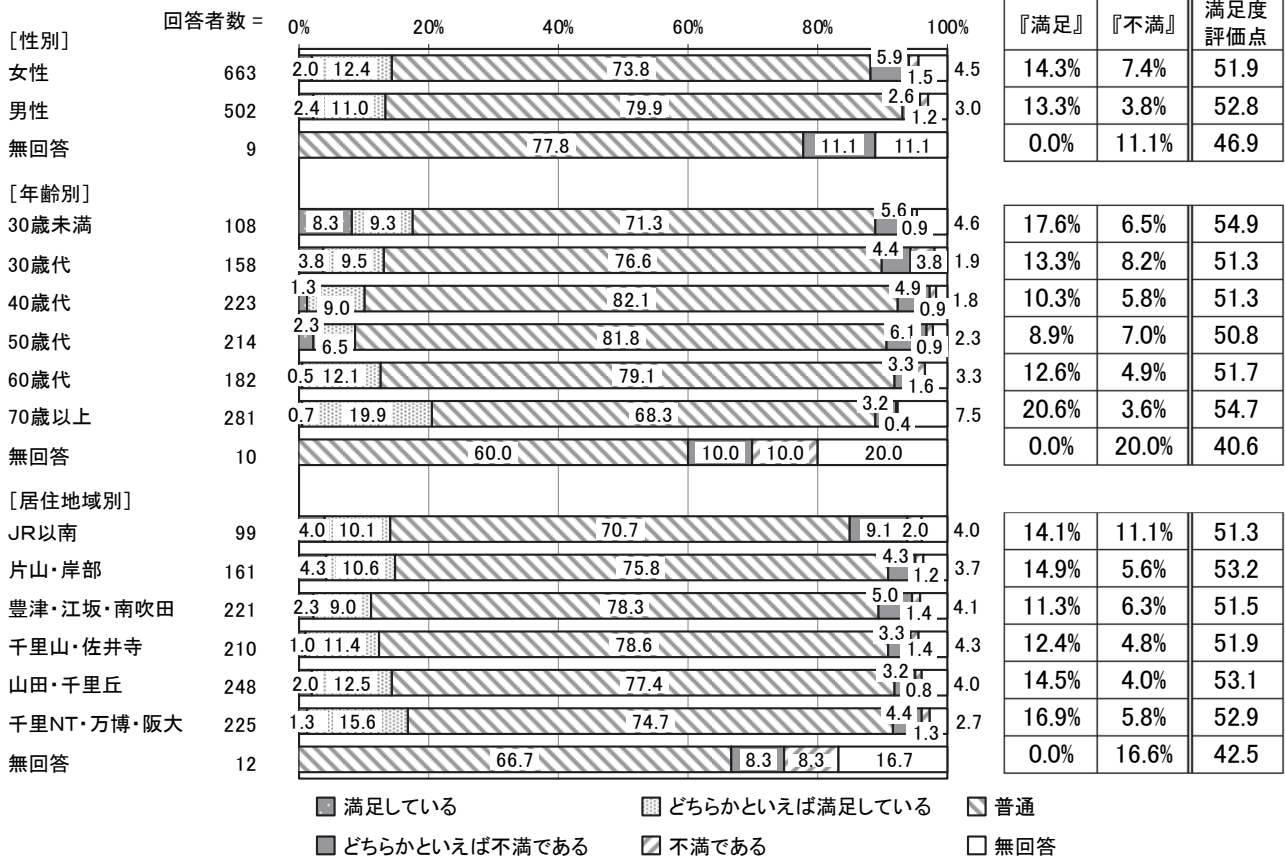


図 3.7.29 人権・平和・男女共同参画についての満足度・重要度③(性別・年齢別・居住地域別)

3. 男女共同参画社会実現のための施策【満足度】



3. 男女共同参画社会実現のための施策【重要度】

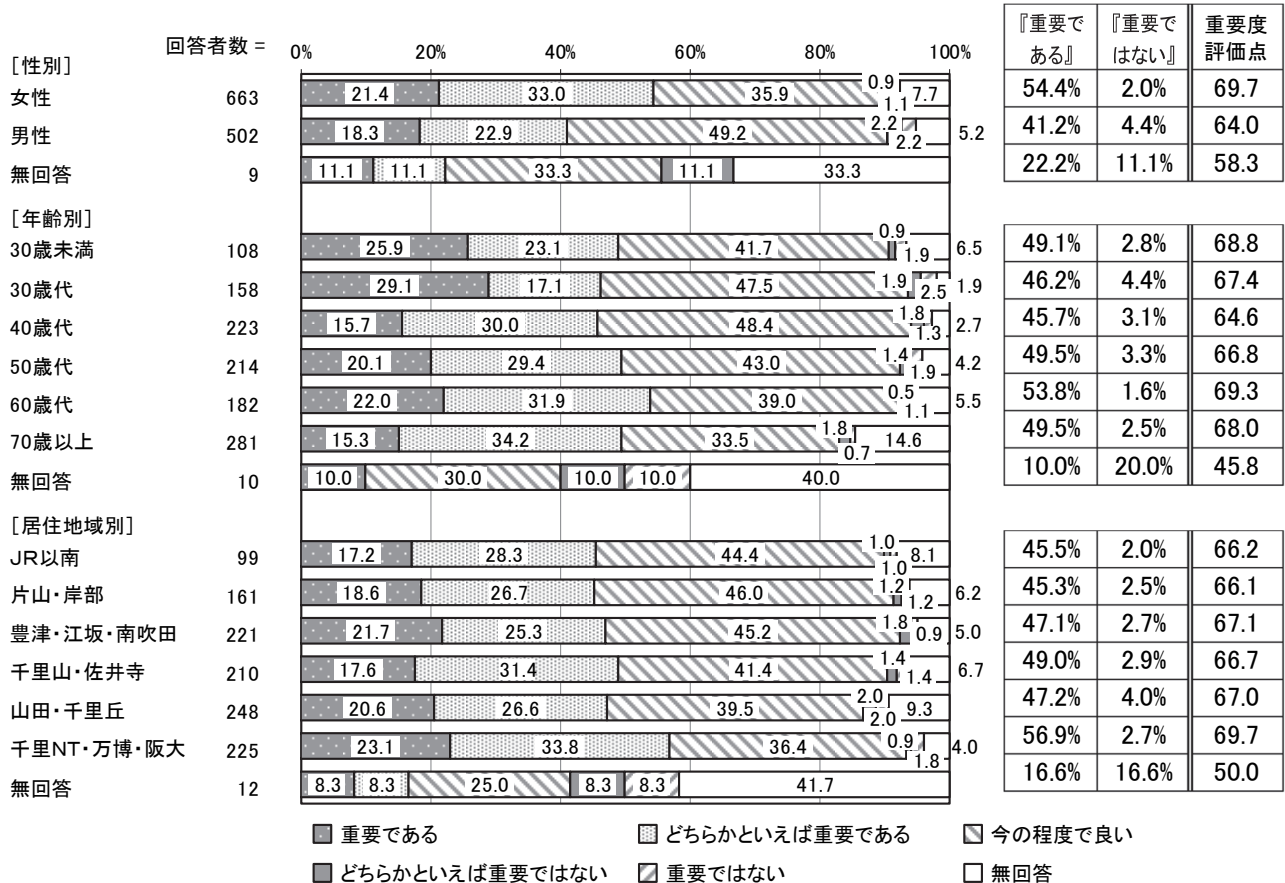
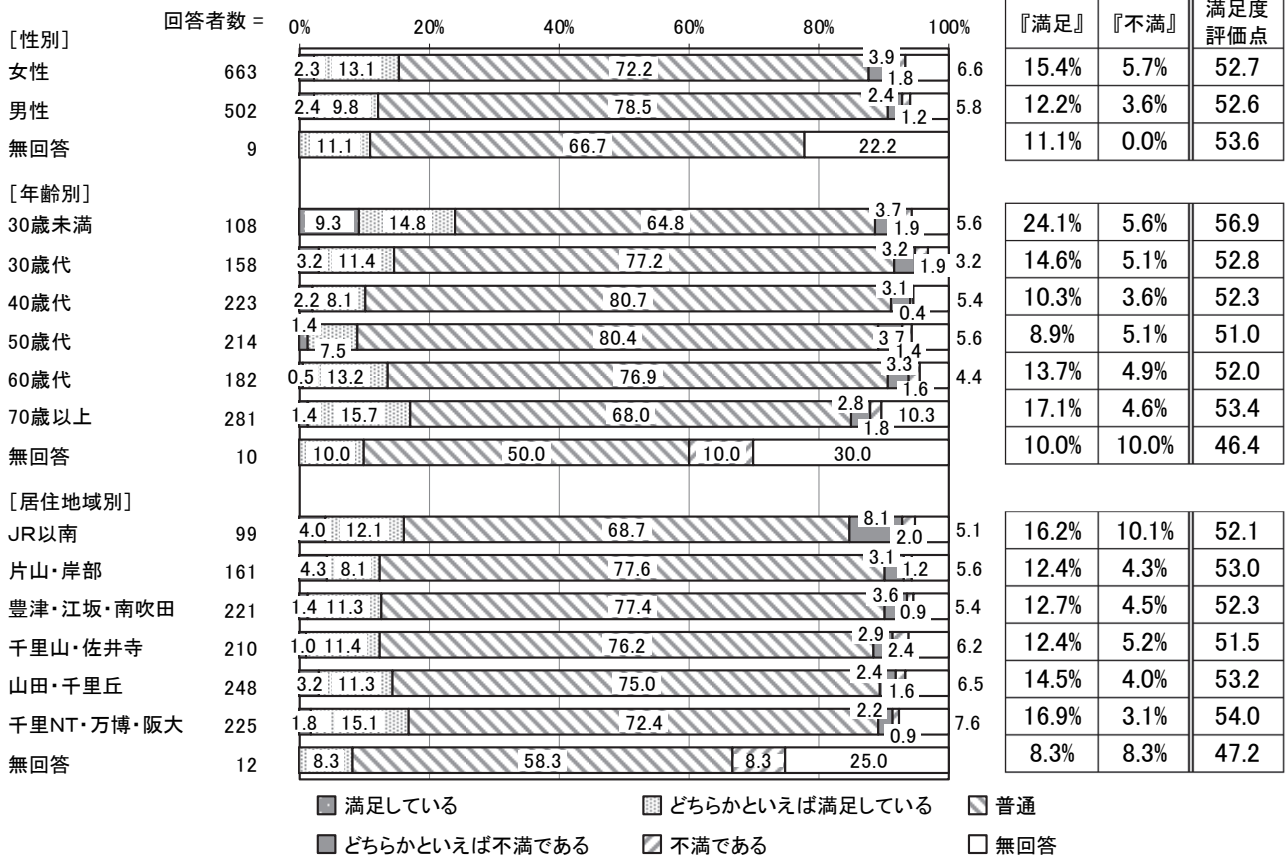
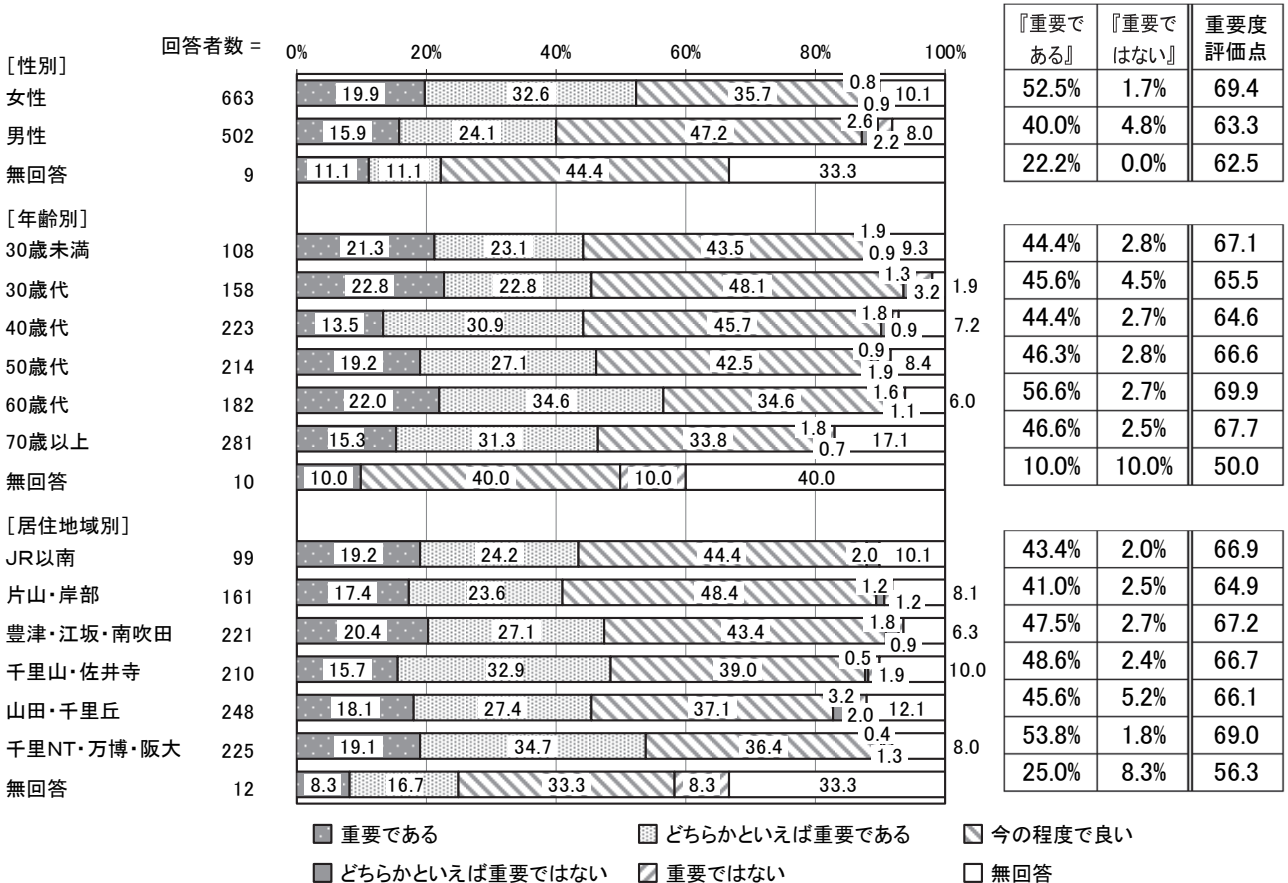


図 3.7.30 人権・平和・男女共同参画についての満足度・重要度④(性別・年齢別・居住地域別)

4. 項目 1～3 の総合評価【満足度】



4. 項目 1～3 の総合評価【重要度】



[市民自治についての満足度・重要度]

図 3.7.31 市民自治についての満足度

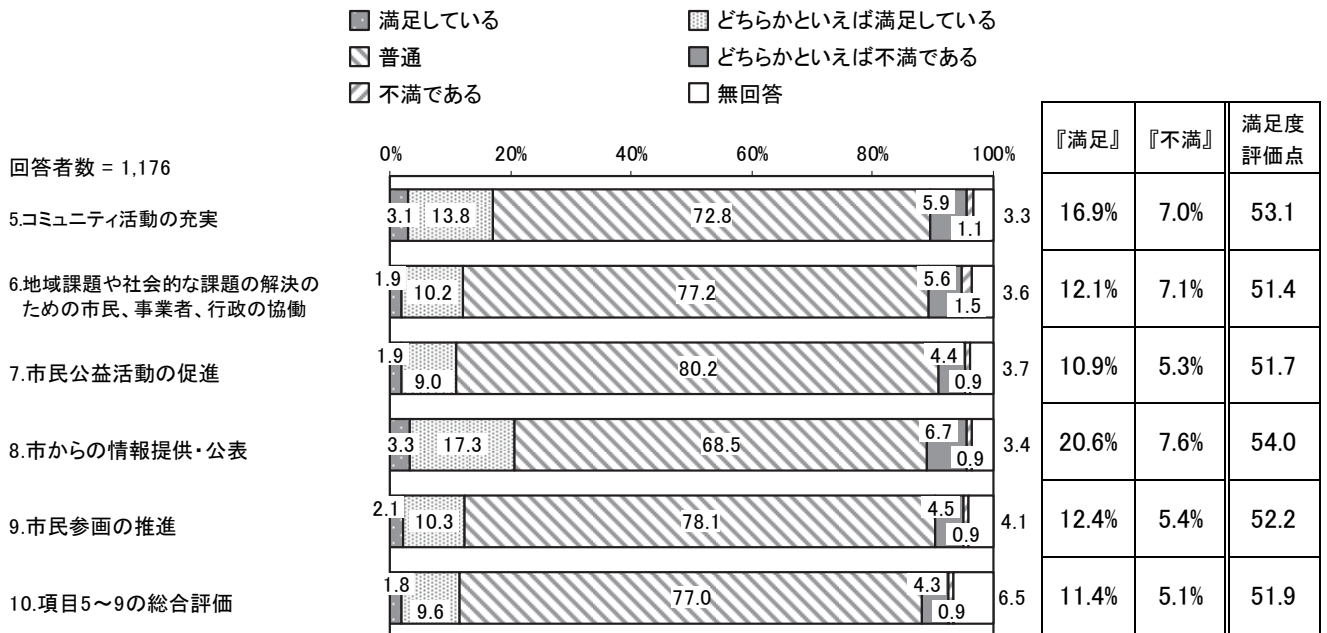


図 3.7.32 市民自治についての重要度

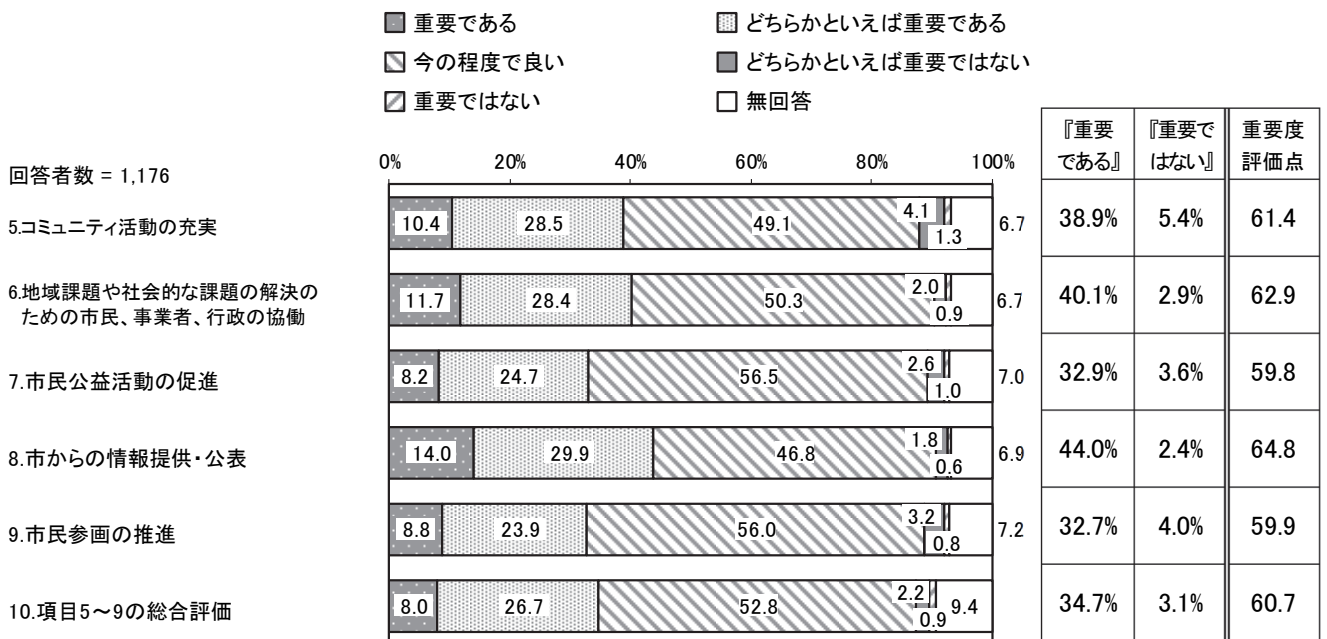


図 3.7.33 市民自治についての満足度評価点の経年比較

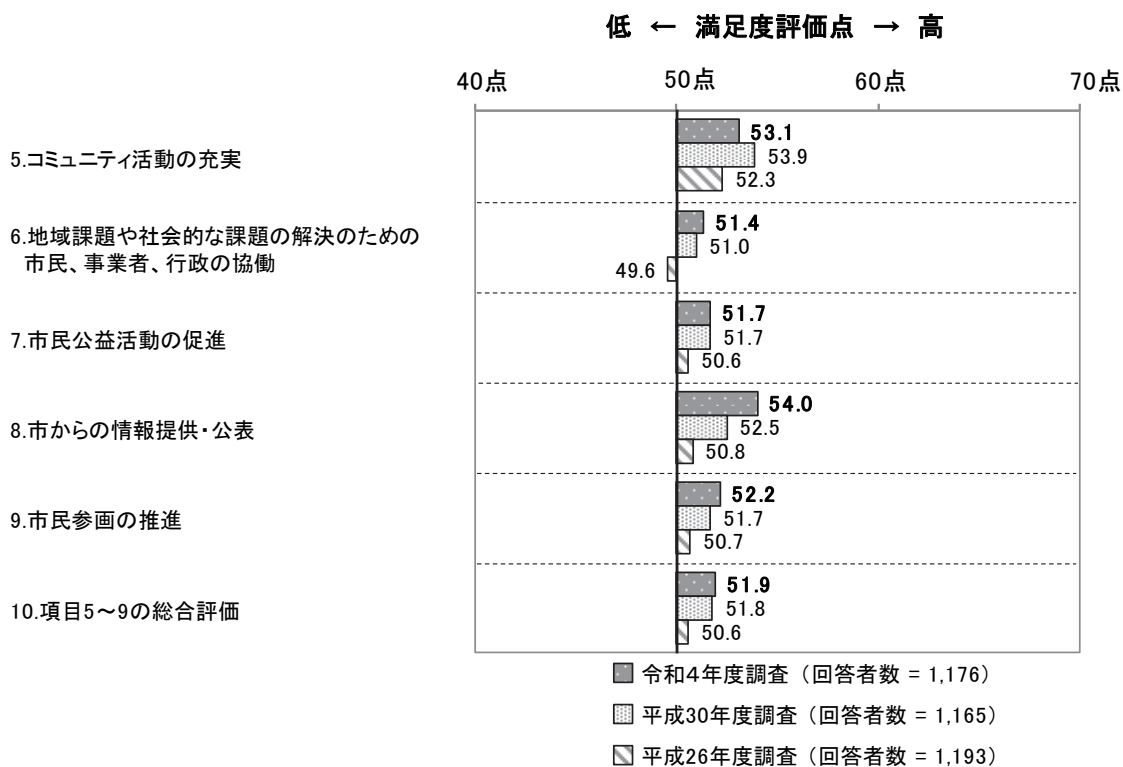
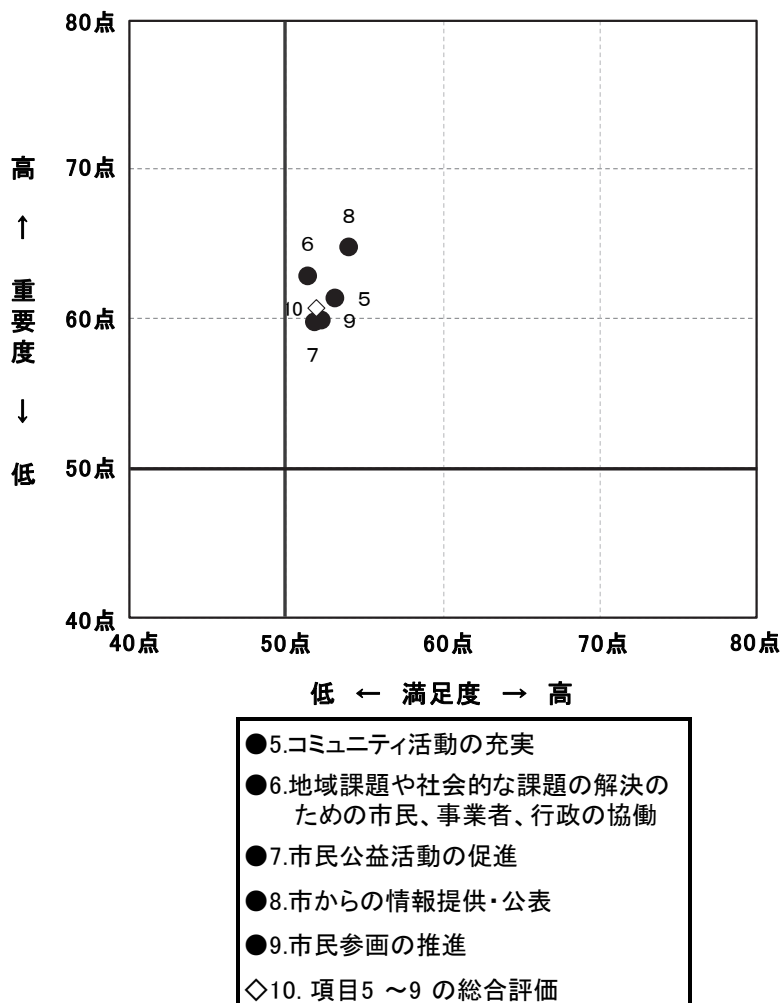


図 3.7.34 市民自治についての満足度と重要度の関係



■満足度

市民自治についての満足度（図 3.7.31）は、《8. 市からの情報提供・公表》を除く全ての項目で「普通」が7割以上を占めています。また、全ての項目で『満足』の方が『不満』に比べ割合が高くなっており、特に《8. 市からの情報提供・公表》（20.6%）が最も高くなっています。

満足度の評価点は、《8. 市からの情報提供・公表》（54.0点）が最も高くなっているのに対し、《6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働》（51.4点）が最も低くなっていますが、いずれも50点台となっています。

平成30年度調査と比較（図 3.7.33）すると、《6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働》、《8. 市からの情報提供・公表》、《9. 市民参画の推進》で評価点が高くなっています。

性別に評価点（図 3.7.35～図 3.7.39）をみると、女性・男性ともに《8. 市からの情報提供》が最も高くなっています。

年齢別に評価点をみると、全ての項目で30歳未満が最も高くなっています。また、《5. コミュニティ活動の充実》は最も高い30歳未満（57.3点）と最も低い50歳代、60歳代（いずれも51.4点）との差が5.9点と大きくなっています。

居住地域別に評価点をみると、《8. 市からの情報提供・公表》は千里ニュータウン・万博・阪大地域が、それ以外の項目はJR以南地域が最も高くなっています。また、《5. コミュニティ活動の充実》（JR以南地域56.5点、豊津・江坂・南吹田地域51.4点）で地域による差が大きくなっています。

■重要度

市民自治についての重要度（図 3.7.32）は、全ての項目で「今の程度で良い」が5割前後を占めています。また、全ての項目で『重要である』の方が『重要ではない』に比べ割合が高くなっています。特に、《8. 市からの情報提供・公表》（44.0%）が最も高くなっています。

重要度の評価点は、《8. 市からの情報提供・公表》（64.8点）が最も高く、次いで、《6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働》（62.9点）、《5. コミュニティ活動の充実》（61.4点）となっています。

性別に評価点（図 3.7.35～図 3.7.39）をみると、女性・男性ともに《8. 市からの情報提供・公表》が最も高く、次いで《6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働》となっています。

年齢別に評価点をみると、《6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働》、《8. 市からの情報提供・公表》では 60 歳代が、それ以外の項目では 70 歳以上が最も高くなっています。

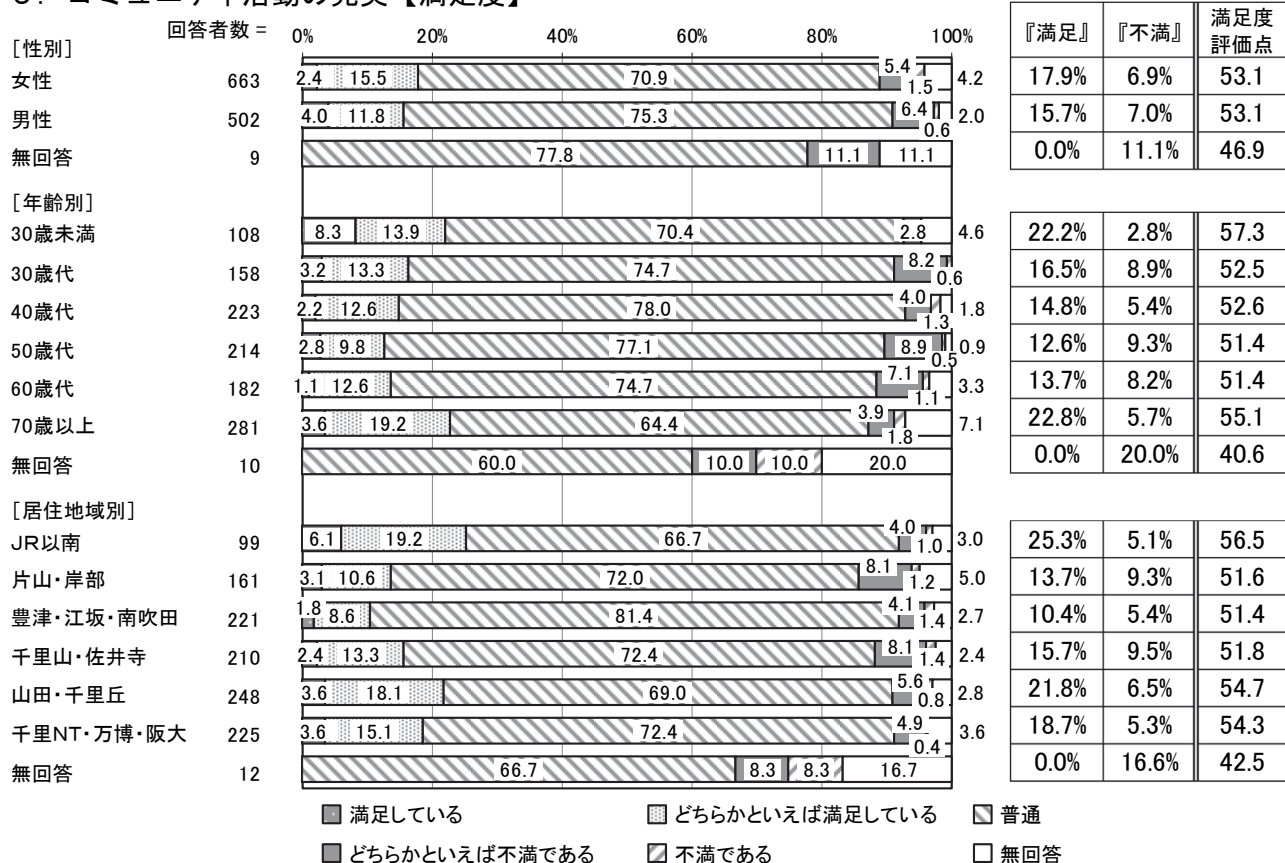
居住地域別に評価点をみると、《5. コミュニティ活動の充実》、《7. 市民公益活動の促進》は山田・千里丘地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域が最も高く、それ以外の項目では千里ニュータウン・万博・阪大地域が最も高くなっています。

■満足度と重要度の関係

満足度と重要度の関係（図 3.7.34）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働》（満足度 51.4 点、重要度 62.9 点、差 11.5 点）、《8. 市からの情報提供・公表》（満足度 54.0 点、重要度 64.8 点、差 10.8 点）となっています。

図 3.7.35 市民自治についての満足度・重要度①(性別・年齢別・居住地域別)

5. コミュニティ活動の充実【満足度】



5. コミュニティ活動の充実【重要度】

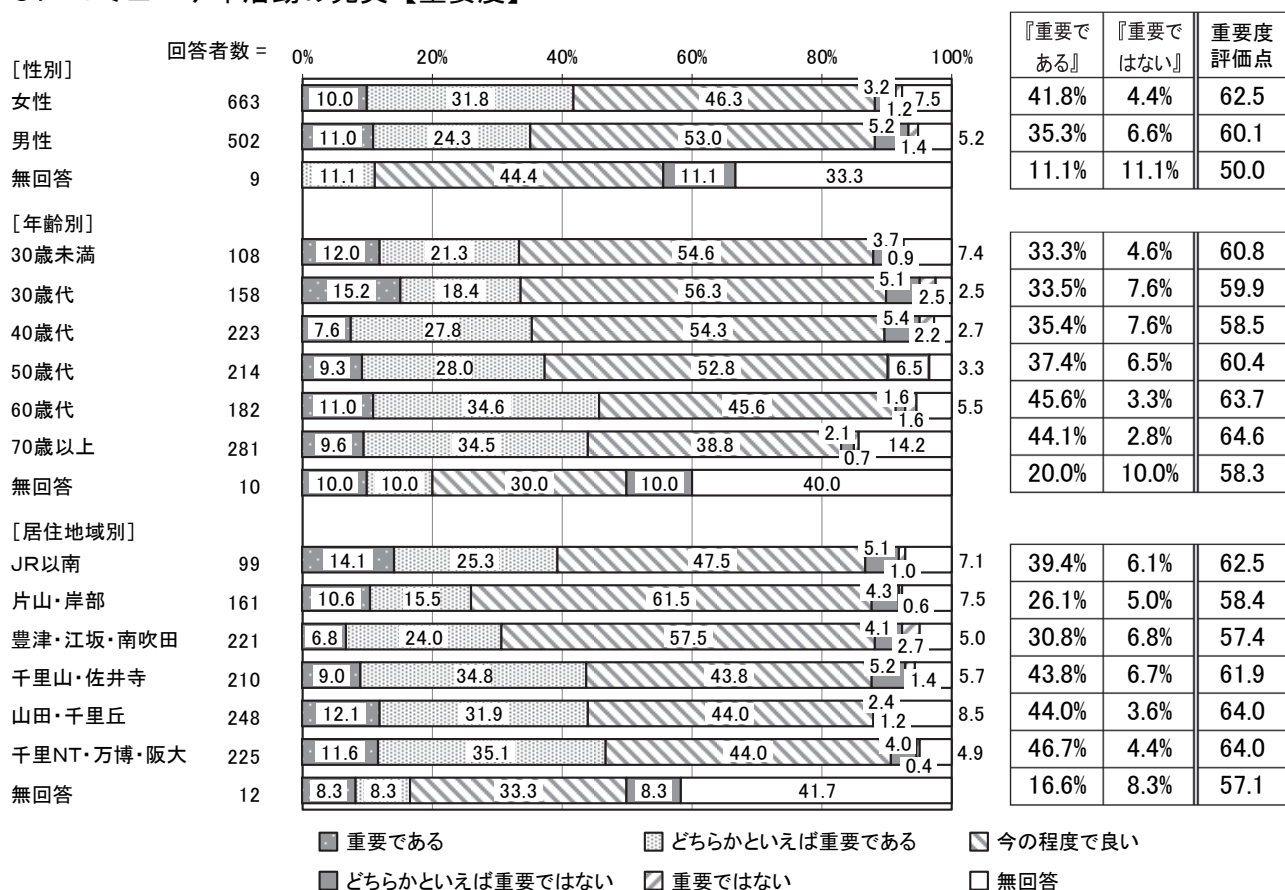
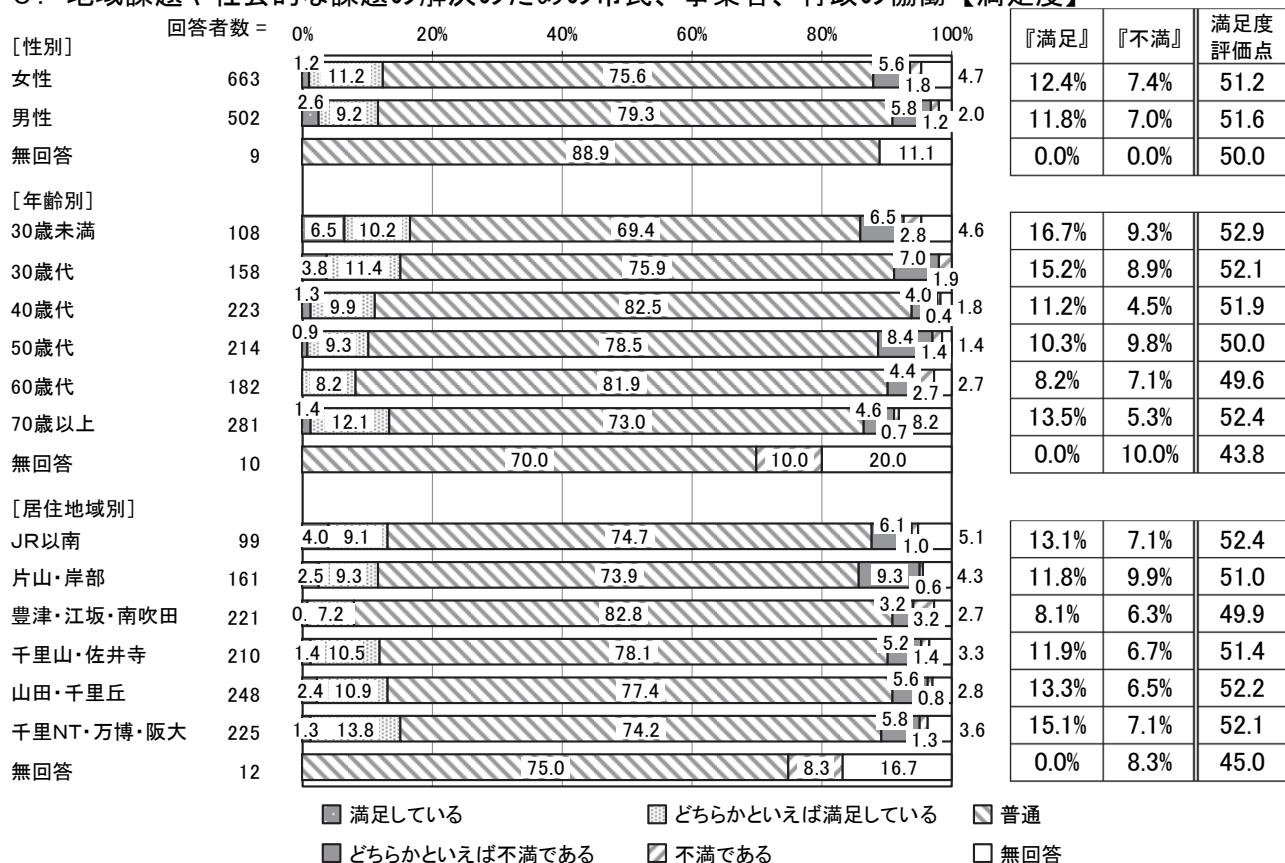


図 3.7.36 市民自治についての満足度・重要度②(性別・年齢別・居住地域別)

6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働【満足度】



6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働【重要度】

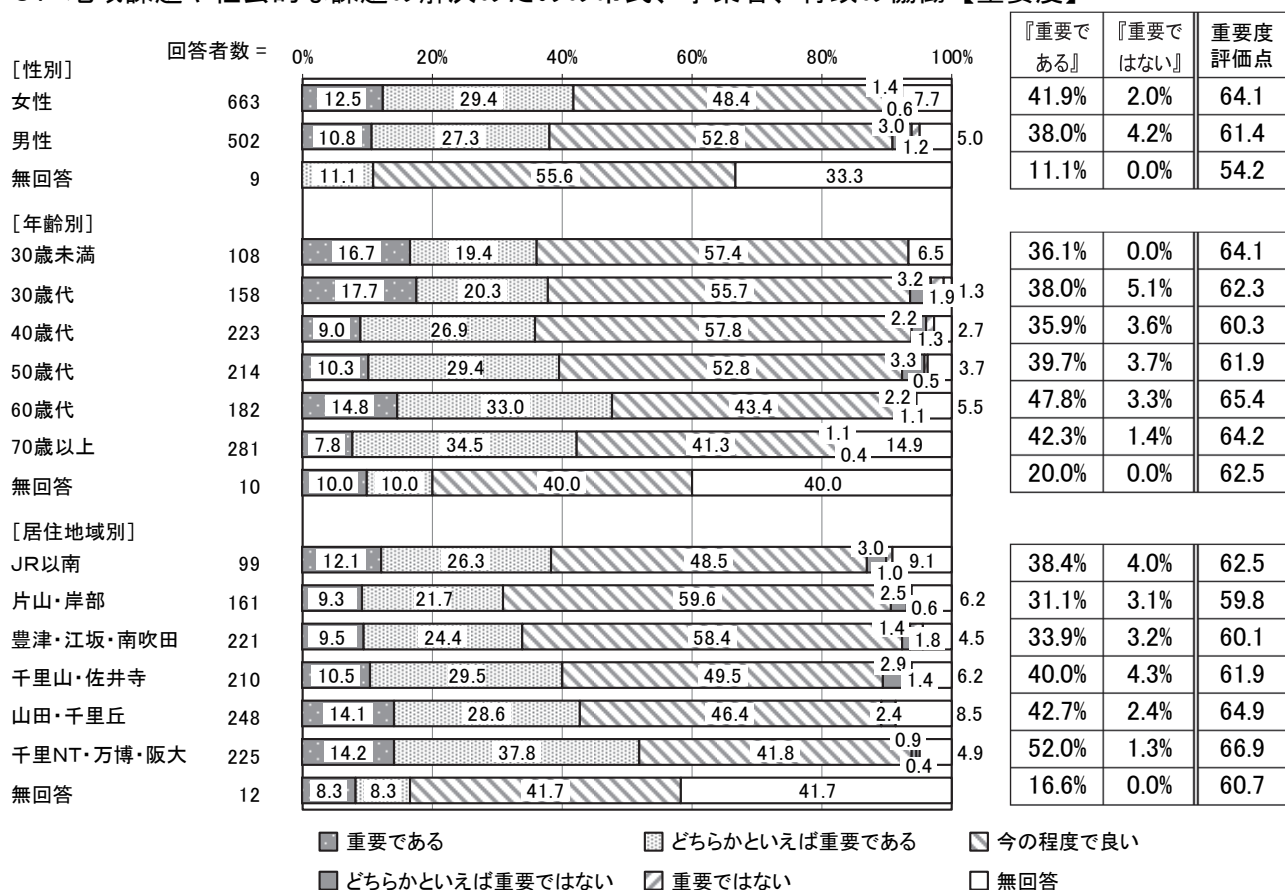
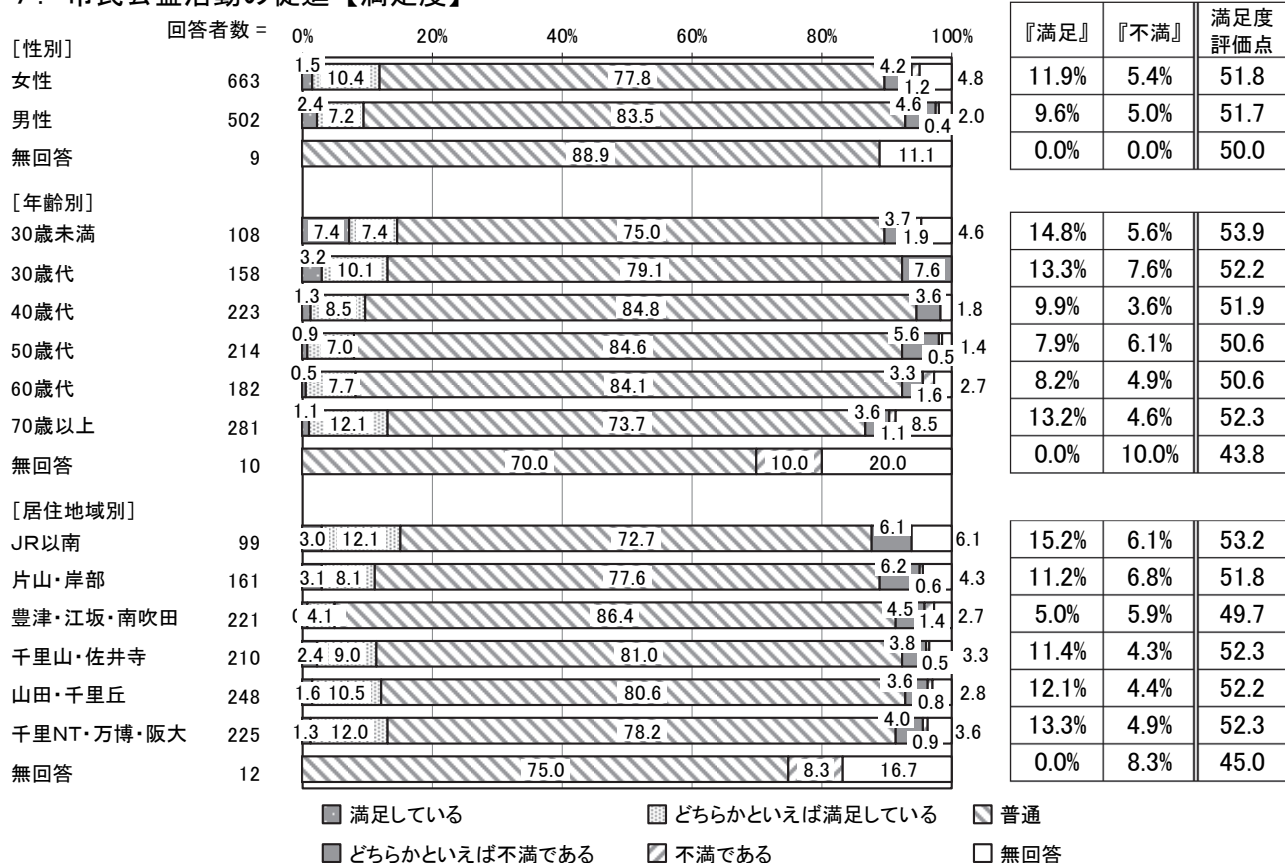


図 3.7.37 市民自治についての満足度・重要度③(性別・年齢別・居住地域別)

7. 市民公益活動の促進【満足度】



7. 市民公益活動の促進【重要度】

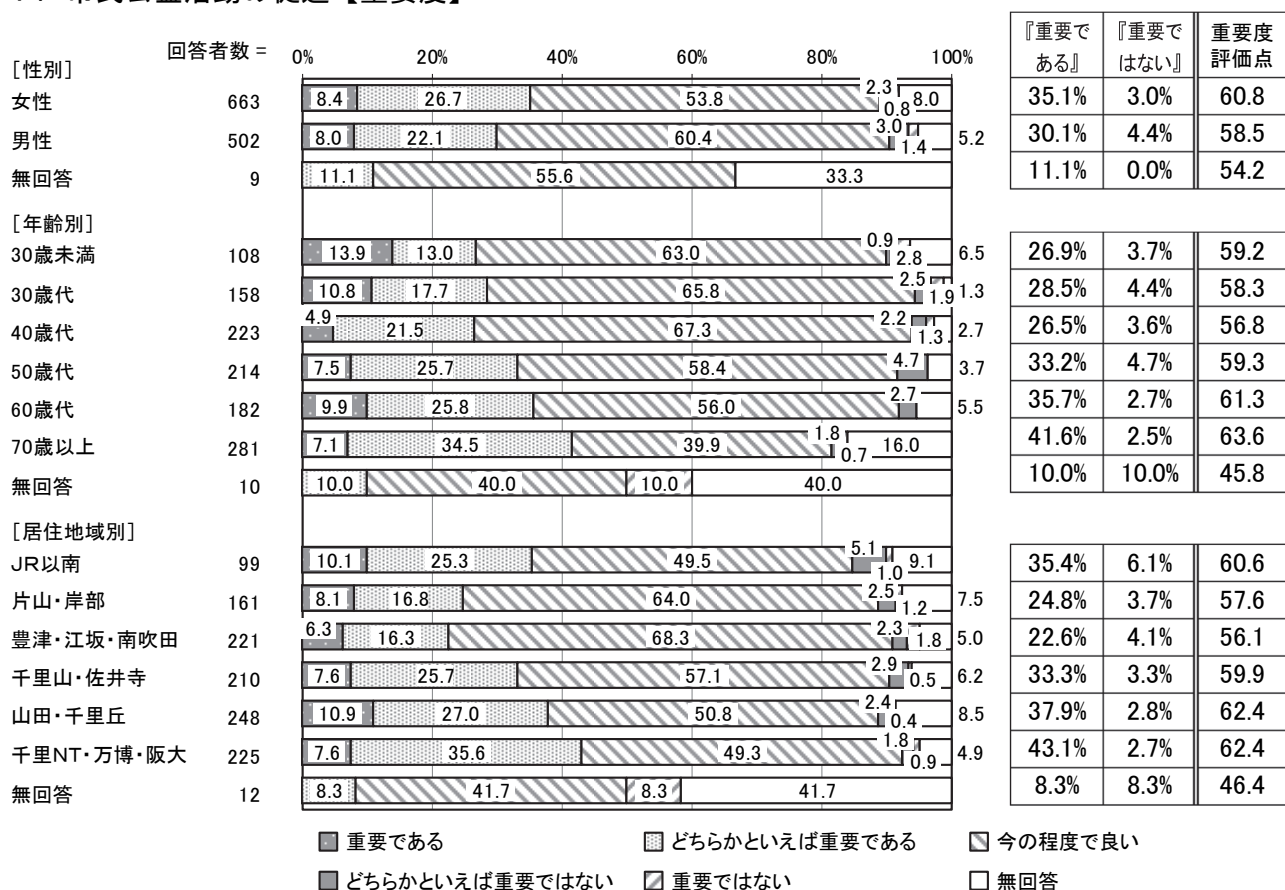
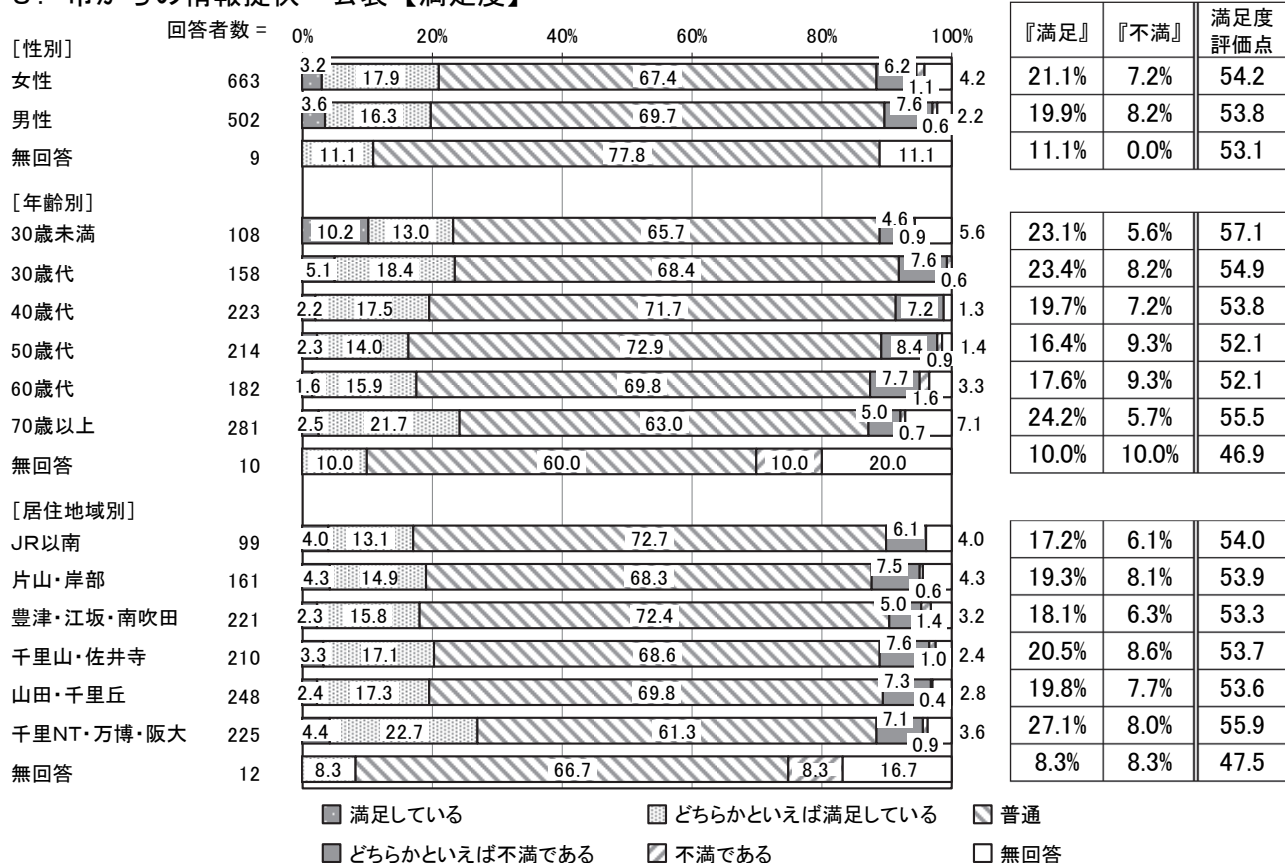


図 3.7.38 市民自治についての満足度・重要度④(性別・年齢別・居住地域別)

8. 市からの情報提供・公表【満足度】



8. 市からの情報提供・公表【重要度】

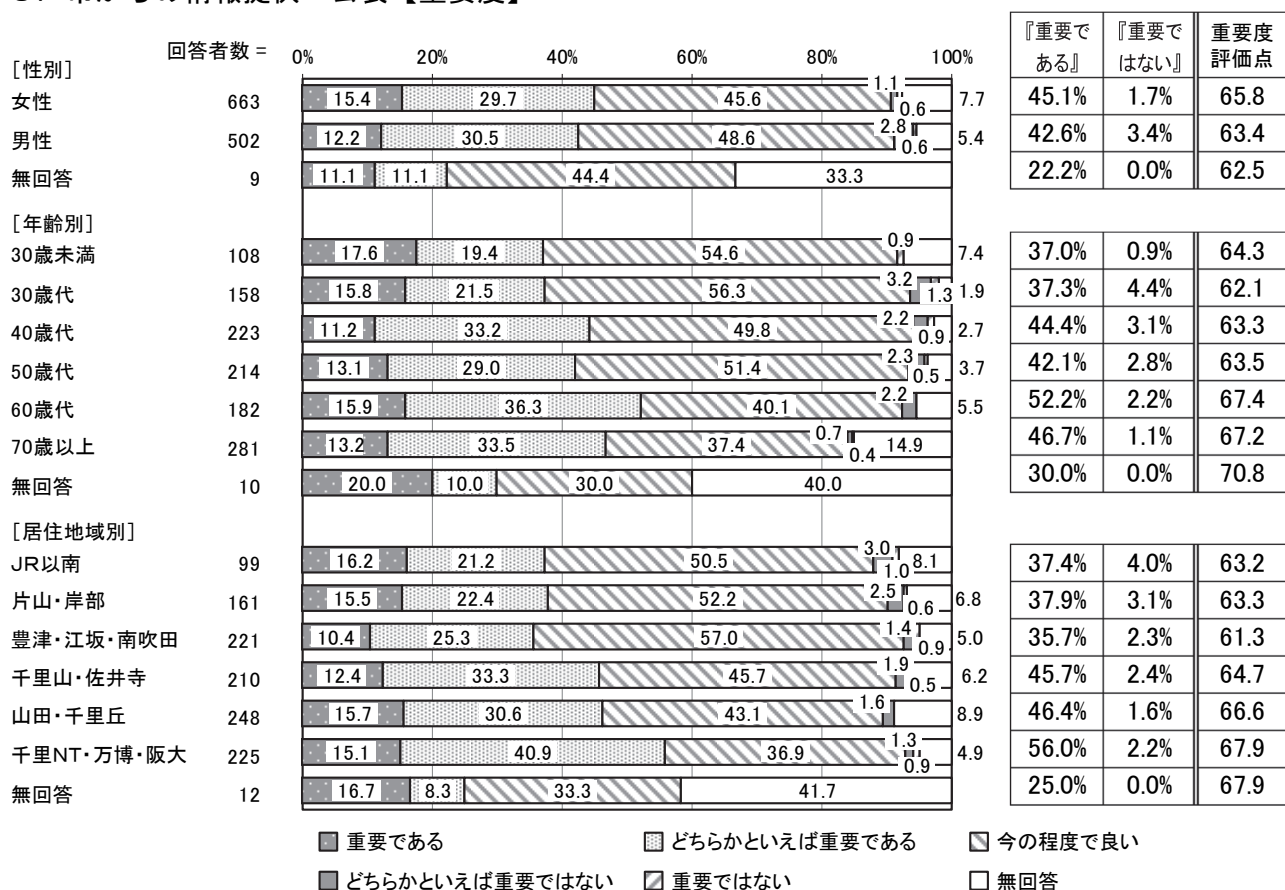
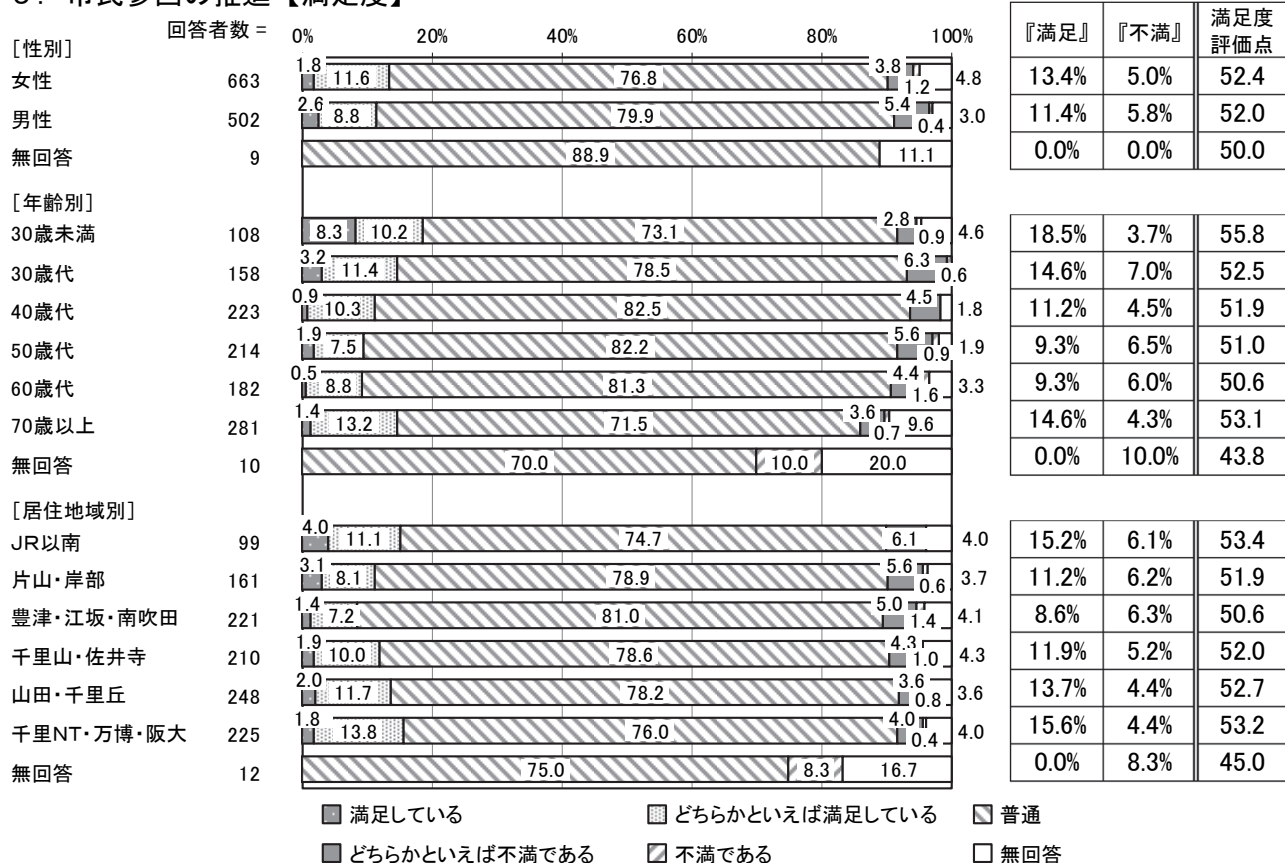


図 3.7.39 市民自治についての満足度・重要度⑤(性別・年齢別・居住地域別)

9. 市民参画の推進【満足度】



9. 市民参画の推進【重要度】

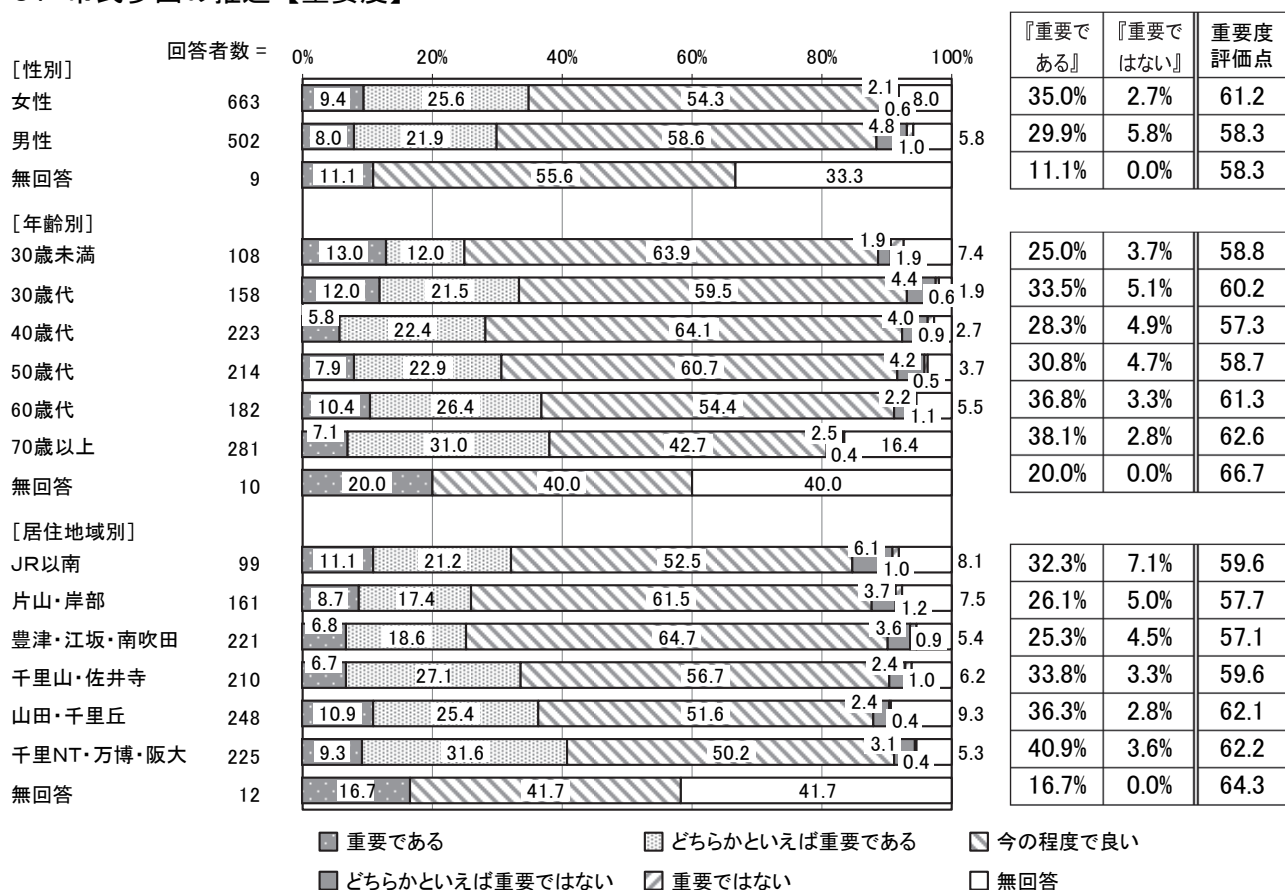
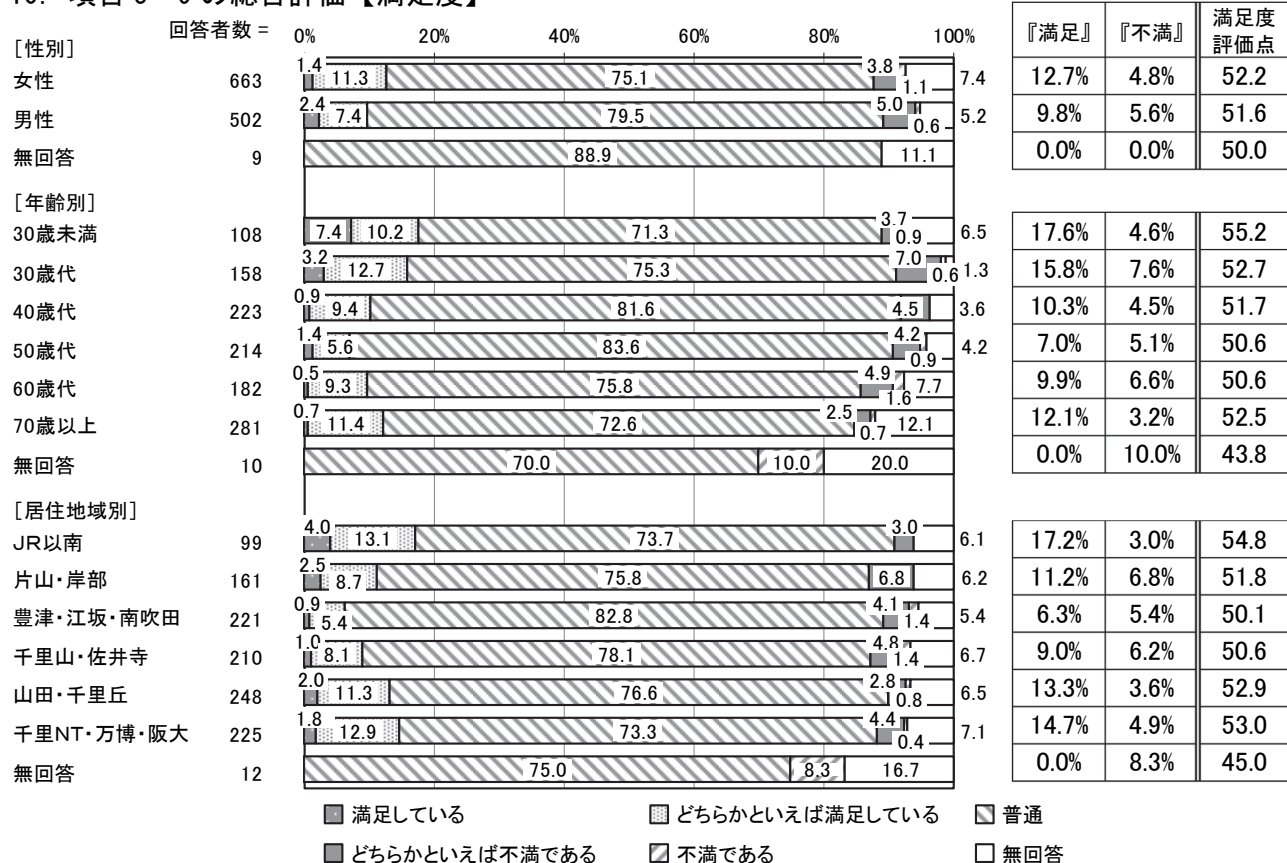
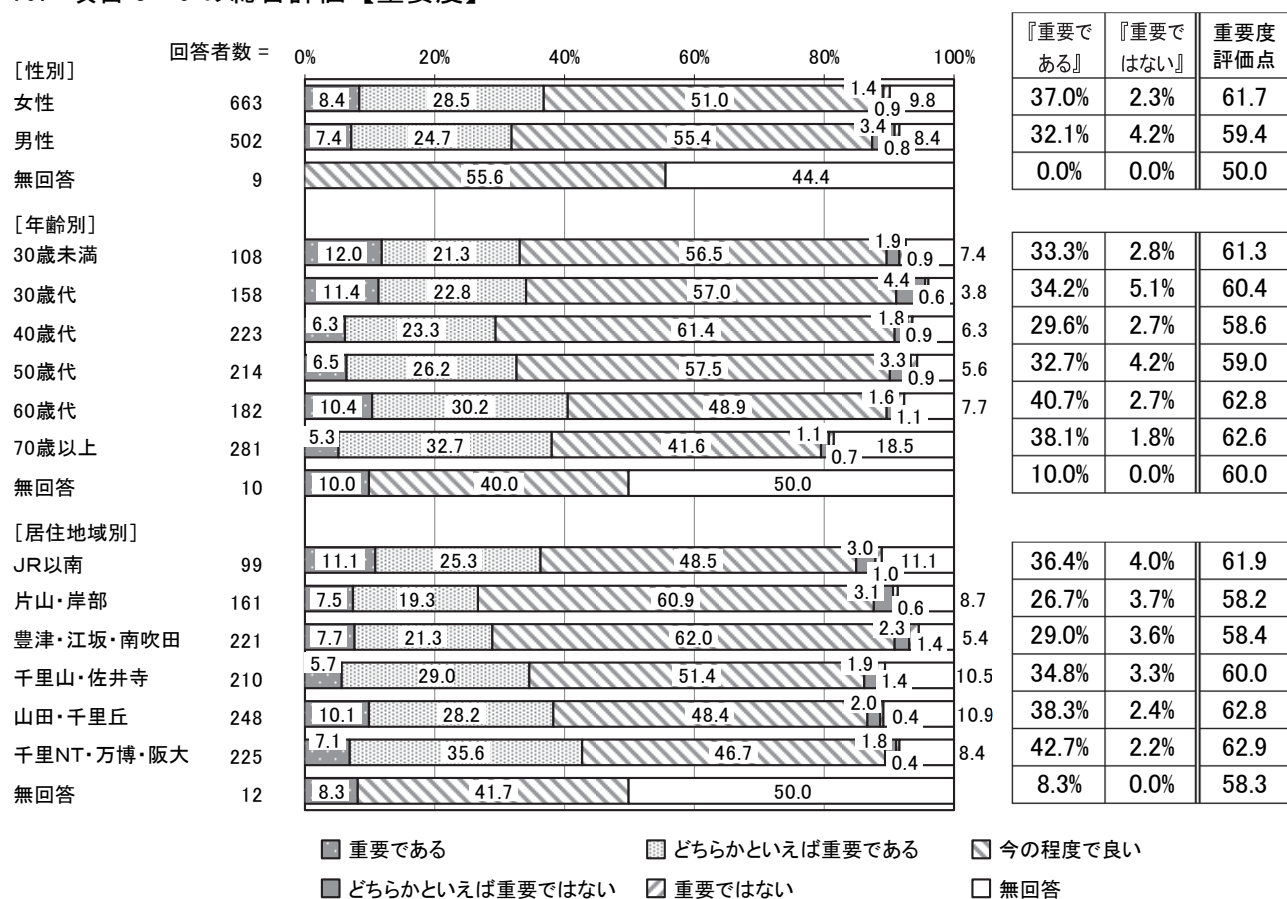


図 3.7.40 市民自治についての満足度・重要度⑥(性別・年齢別・居住地域別)

10. 項目 5~9 の総合評価【満足度】



10. 項目 5~9 の総合評価【重要度】



[くらし・健康についての満足度・重要度]

図 3.7.41 くらし・健康についての満足度

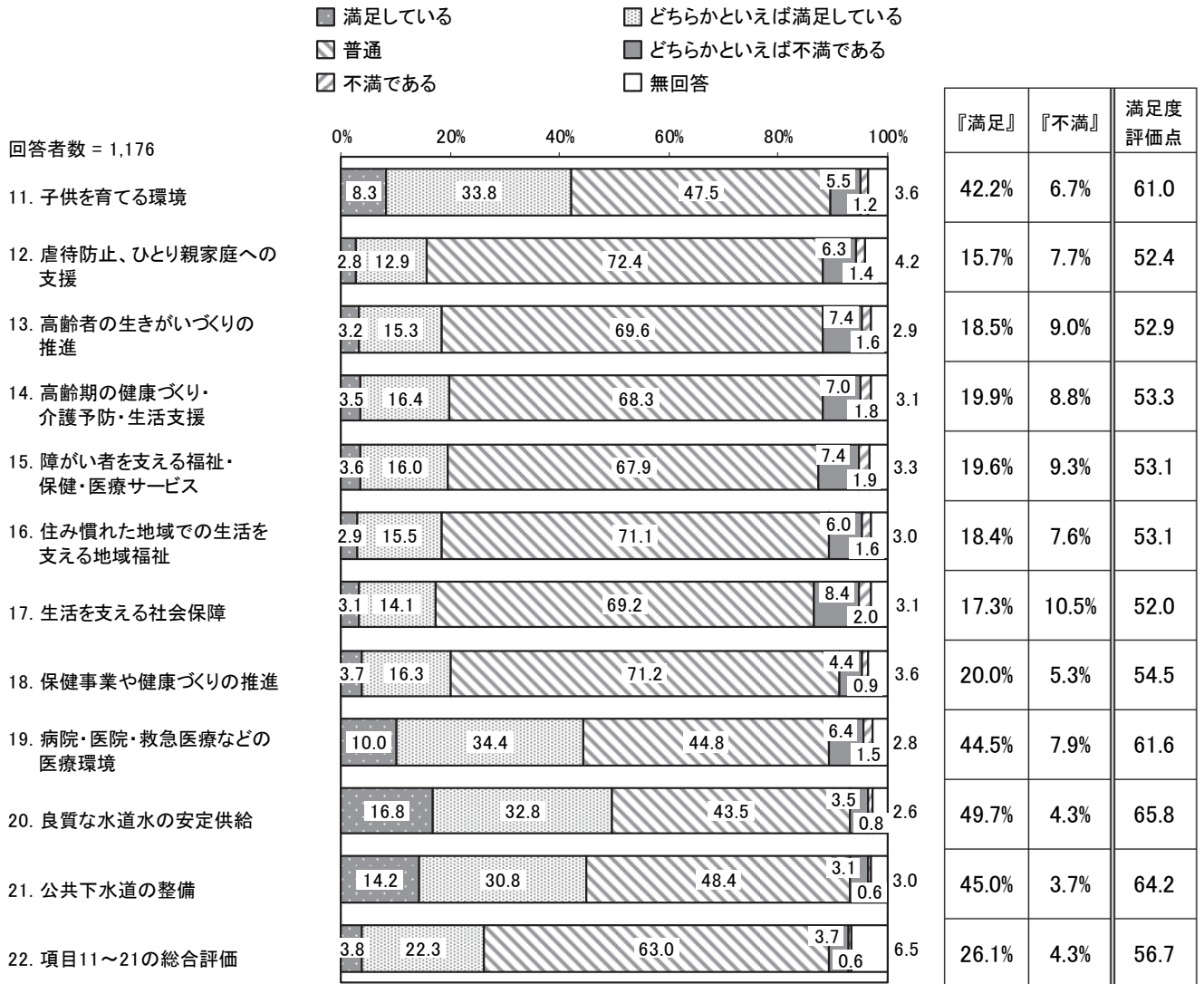


図 3.7.42 暮らし・健康についての重要度

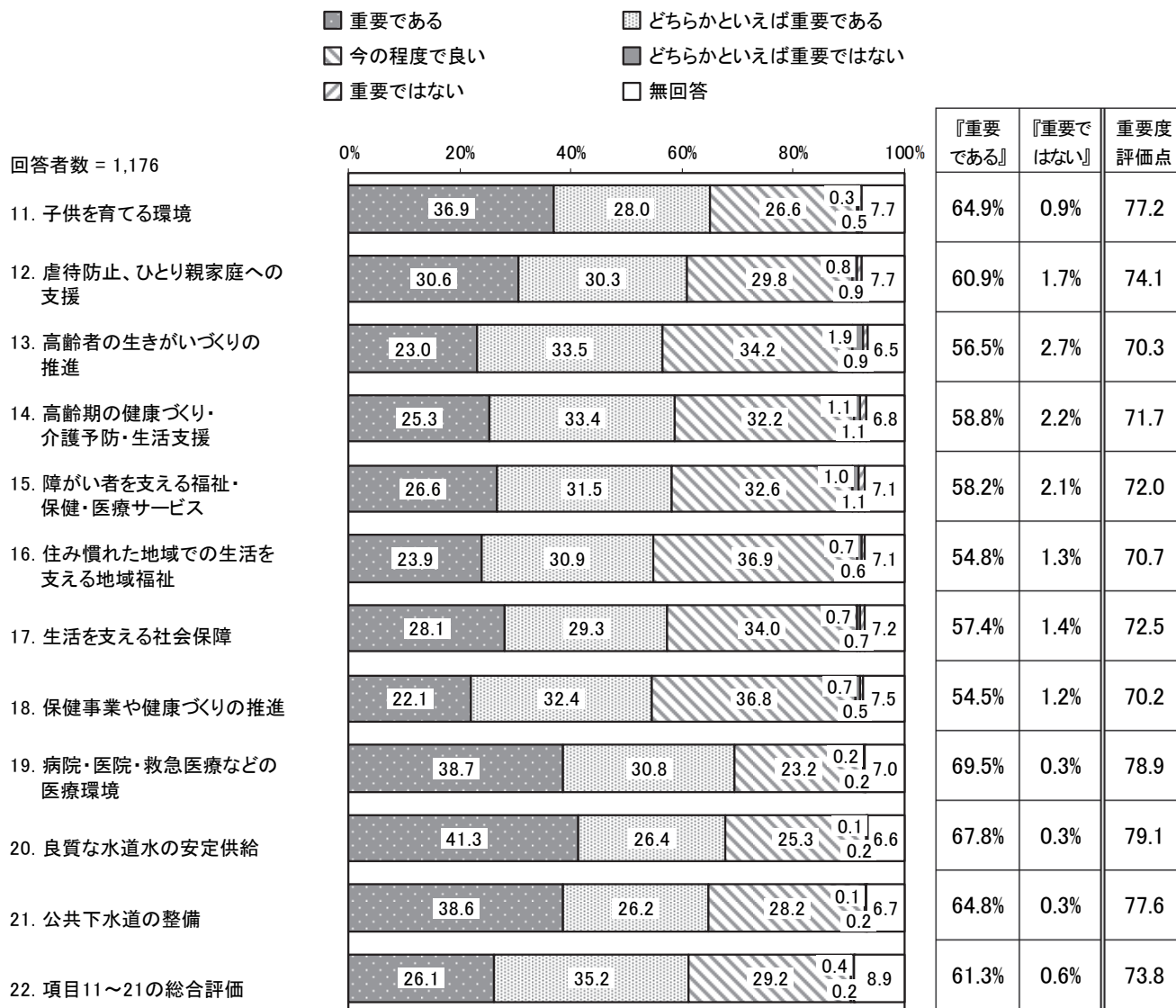


図 3.7.43 暮らし・健康についての満足度評価点の経年比較

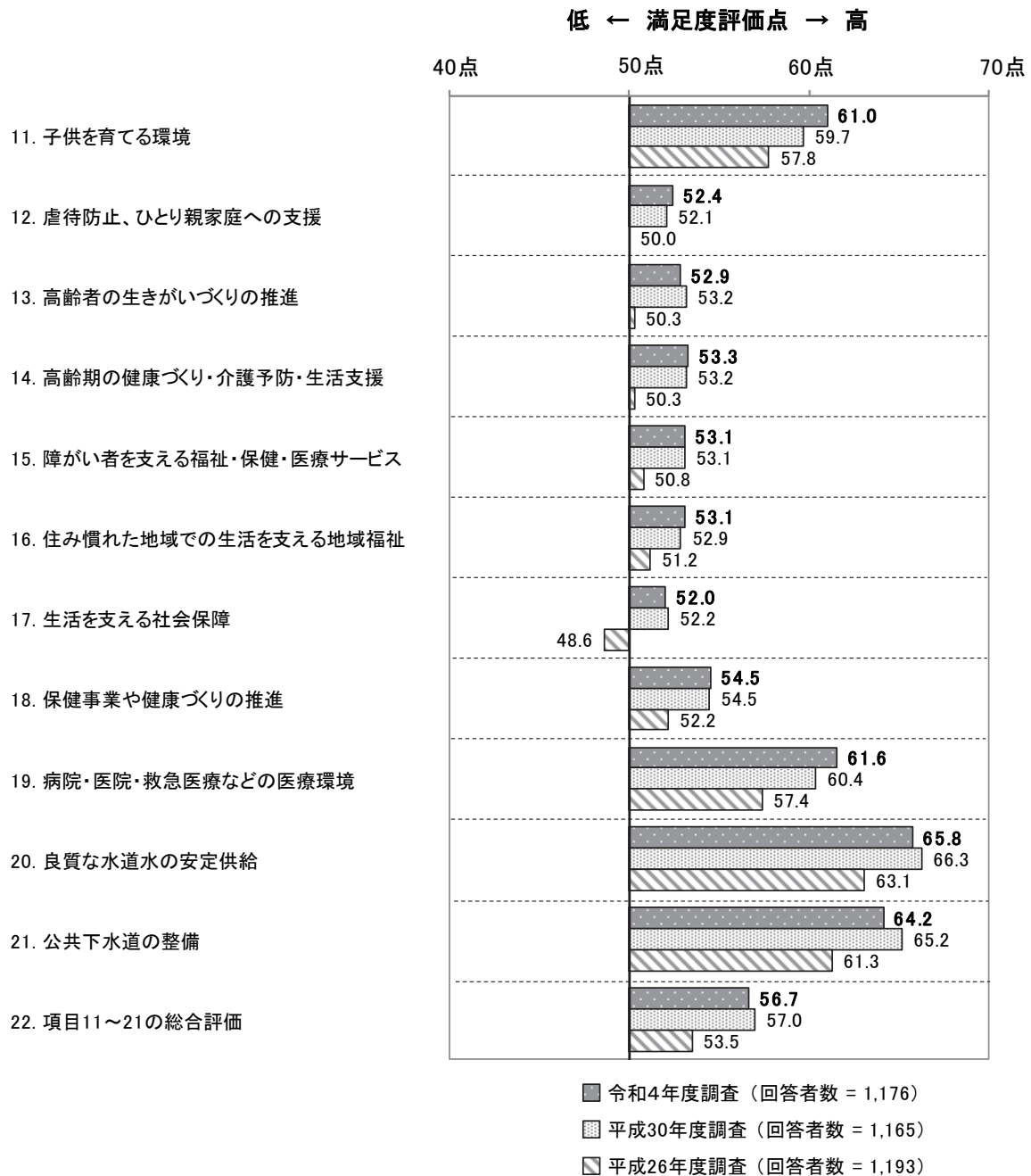
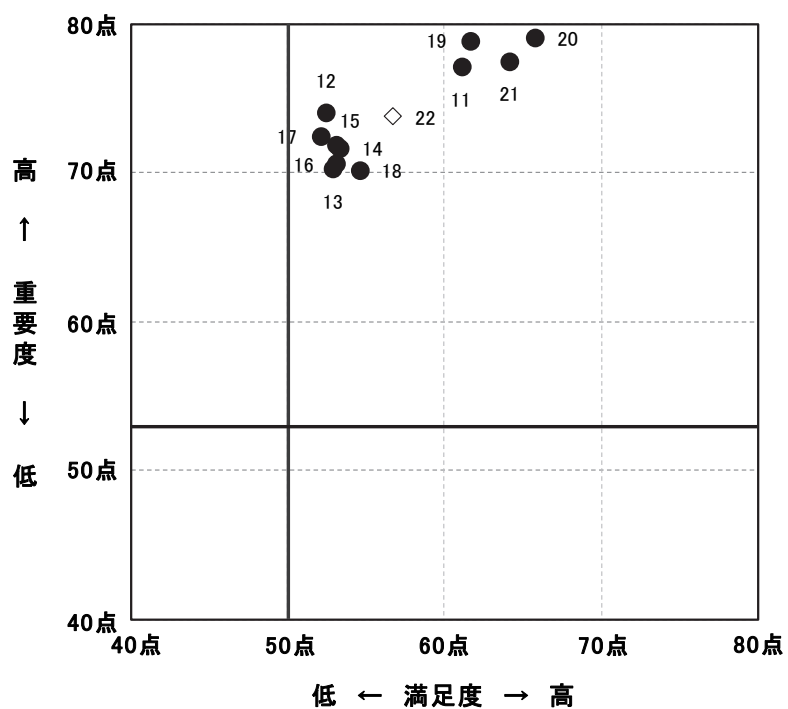


図 3.7.44 暮らし・健康についての満足度と重要度の関係



- 11. 子供を育てる環境
- 12. 虐待防止、ひとり親家庭への支援
- 13. 高齢者の生きがいづくりの推進
- 14. 高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援
- 15. 障がい者を支える福祉・保健・医療サービス
- 16. 住み慣れた地域での生活を支える地域福祉
- 17. 生活を支える社会保障
- 18. 保健事業や健康づくりの推進
- 19. 病院・医院・救急医療などの医療環境
- 20. 良質な水道水の安定供給
- 21. 公共下水道の整備
- ◇22. 項目11～21の総合評価

■満足度

くらし・健康についての満足度（図 3.7.41）は、全ての項目で「普通」の割合が最も高くなっています。また、全ての項目で『満足』の方が『不満』に比べ割合が高くなっています。特に、《20. 良質な水道水の安定供給》（49.7%）、《21. 公共下水道の整備》（45.0%）、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（44.5%）、《11. 子供を育てる環境》（42.2%）が他の項目と比べて高くなっています。

満足度の評価点は、《20. 良質な水道水の安定供給》（65.8点）、《21. 公共下水道の整備》（64.2点）、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（61.6点）、《11. 子供を育てる環境》（61.0点）で60点以上となっています。

平成30年度調査と比較（図 3.7.43）すると、《11. 子供を育てる環境》で1.3点、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》で1.2点高くなっています。一方、《21. 公共下水道の整備》では1.0点低くなっています。

性別に評価点（図 3.7.45～図 3.7.55）をみると、女性・男性ともに《20. 良質な水道水の安定供給》が最も高くなっています。一方、女性では《17. 生活を支える社会保障》、男性では《12. 虐待防止、ひとり親家庭への支援》が最も低くなっています。

年齢別に評価点をみると、《14. 高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援》（30歳未満 58.3点、60歳代 49.4点）、《13. 高齢者の生きがいの推進》（30歳未満 57.8点、60歳代 49.2点）、《16. 住み慣れた地域での生活を支える》（30歳未満 57.3点、60歳代 48.7点）などでは年齢層による差が大きくなっています。

居住地域別に評価点をみると、《21. 公共下水道の整備》（千里ニュータウン・万博・阪大地域 68.8点、JR以南地域 60.3点）、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（山田・千里丘地域 65.7点、JR以南地域、豊津・江坂・南吹田地域 57.8点）、《20. 良質な水道水の安定供給》（千里ニュータウン・万博・阪大地域 70.1点、JR以南地域 62.2点）で地域による差が大きくなっています。

■重要度

くらし・健康についての重要度（図 3.7.42）は、全ての項目で『重要である』の方が『重要ではない』に比べ割合が高くなっています。また、全ての項目で『重要である』が5割以上となっています。特に、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（69.5%）が他の項目と比べて高くなっています。

重要度の評価点は、いずれの項目も70点以上、12項目中4項目が75点以上と高くなっています。なかでも《20. 良質な水道水の安定供給》（79.1点）が最も高く、次いで、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（78.9点）、《21. 公共下水道の整備》（77.6点）となっています。

性別に評価点（図 3.7.45～図 3.7.55）をみると、女性では《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》、《20. 良質な水道水の安定供給》が最も高く、男性では《20. 良質な水道水の安定供給》が最も高くなっています。また、全ての項目で男性より女性の方が評価点が高く、70点以上となっています。

年齢別に評価点をみると、《11. 子供を育てる環境》（30歳代 83.3点、60歳代 74.7点）、《14. 高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援》（60歳代 74.4点、30歳代 66.5点）、《21. 公共下水道の整備》（60歳代 80.4点、30歳未満 72.8点）は年齢層による差が大きくなっています。

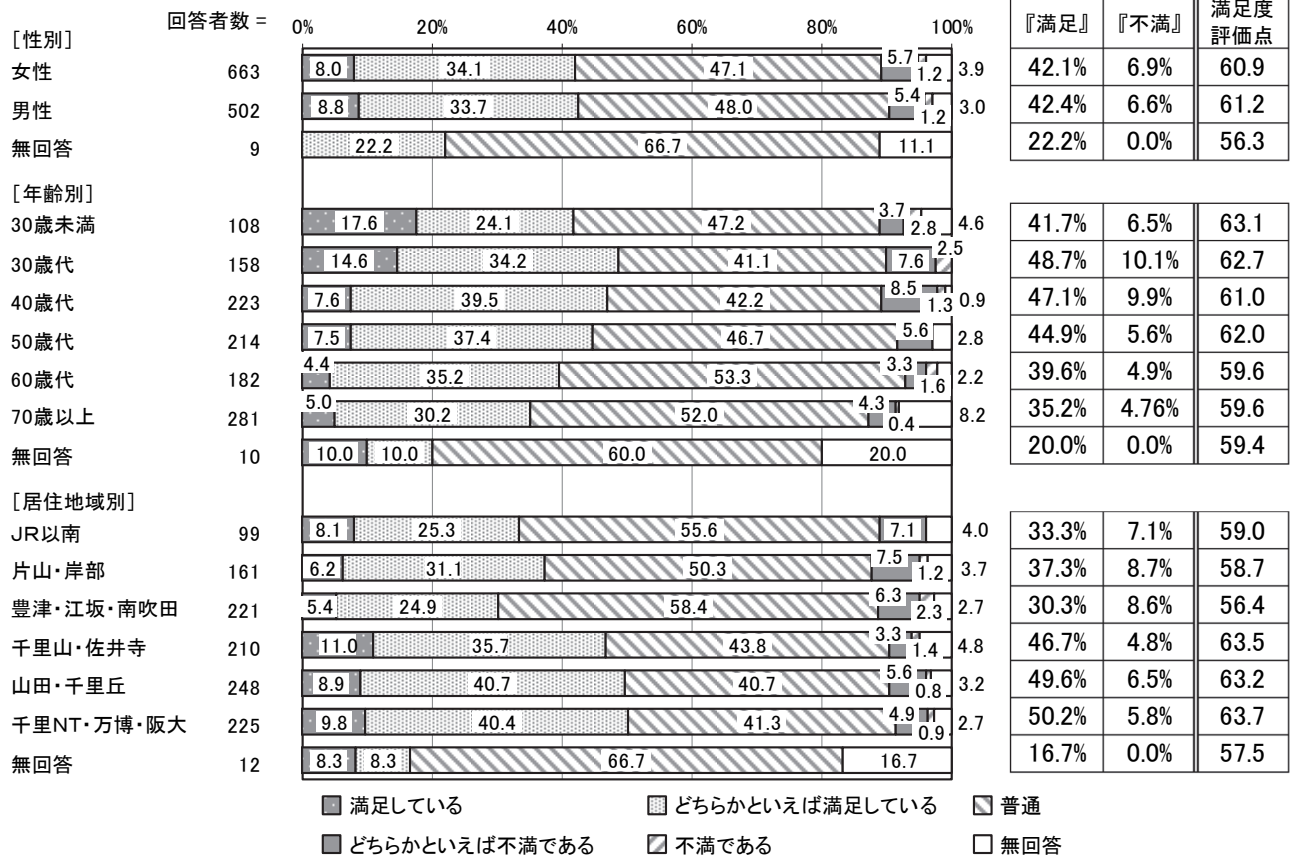
居住地域別に評価点をみると、全ての項目で千里ニュータウン・万博・阪大地域が最も高くなっています。また、《13. 高齢者の生きがいの推進》（千里ニュータウン・万博・阪大地域 74.5点、豊津・江坂・南吹田地域 66.2点）、《11. 子供を育てる環境》（千里ニュータウン・万博・阪大地域 80.6点、豊津・江坂・南吹田地域 72.5点）、《21. 公共下水道の整備》（千里ニュータウン・万博・阪大地域 81.5点、JR以南地域 73.4点）は地域による差が大きくなっています。

■満足度と重要度の関係

満足度と重要度の関係（図 3.7.44）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《12. 虐待防止、ひとり親家庭への支援》（満足度 52.4点、重要度 74.1点、差 21.7点）、《17. 生活を支える社会保障》（満足度 52.0点、重要度 72.5点、差 20.5点）、《15. 障がい者を支える福祉・保健・医療サービス》（満足度 53.1点、重要度 72.0点、差 18.9点）となっています。

図 3.7.45 暮らし・健康についての満足度・重要度①(性別・年齢別・居住地域別)

11. 子供を育てる環境【満足度】



11. 子供を育てる環境【重要度】

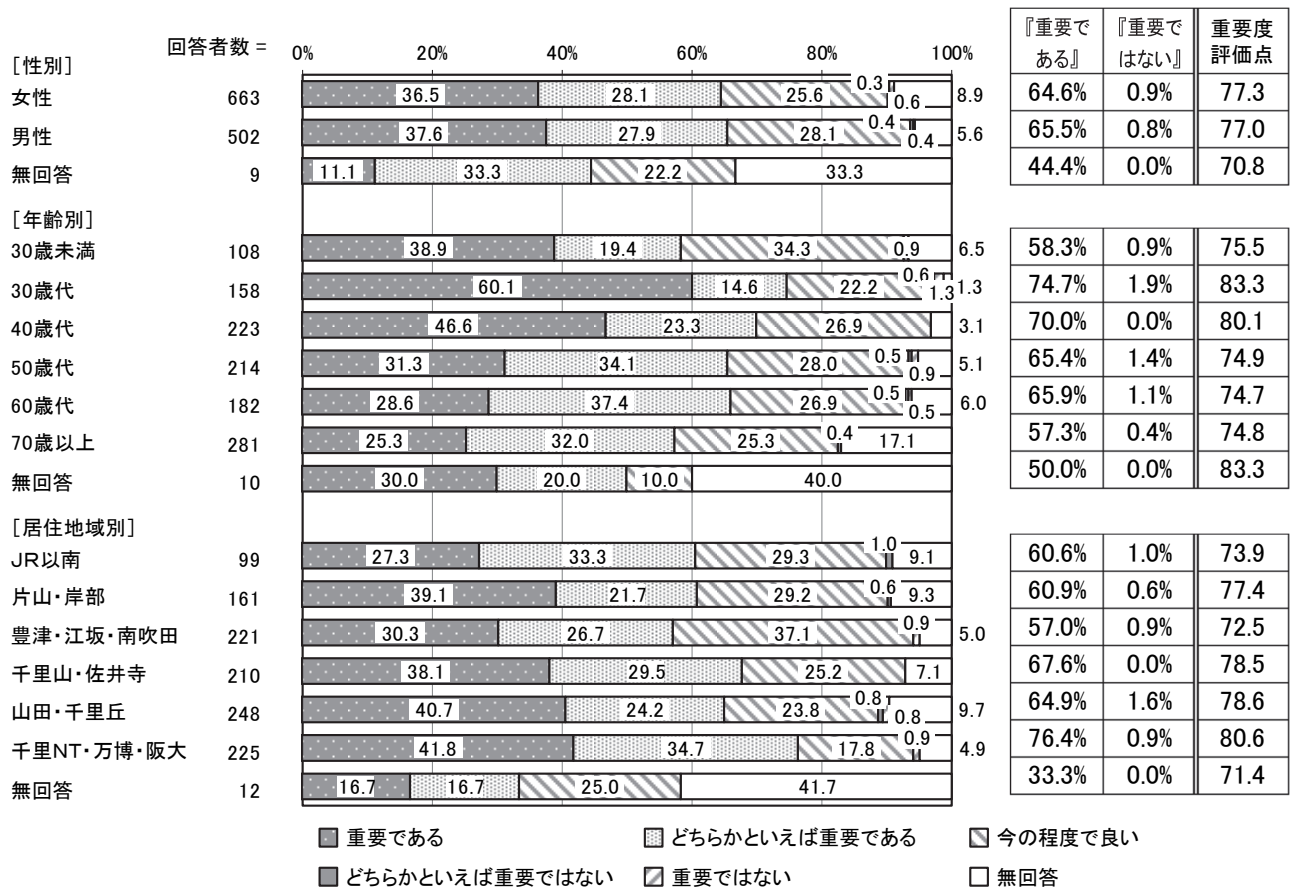
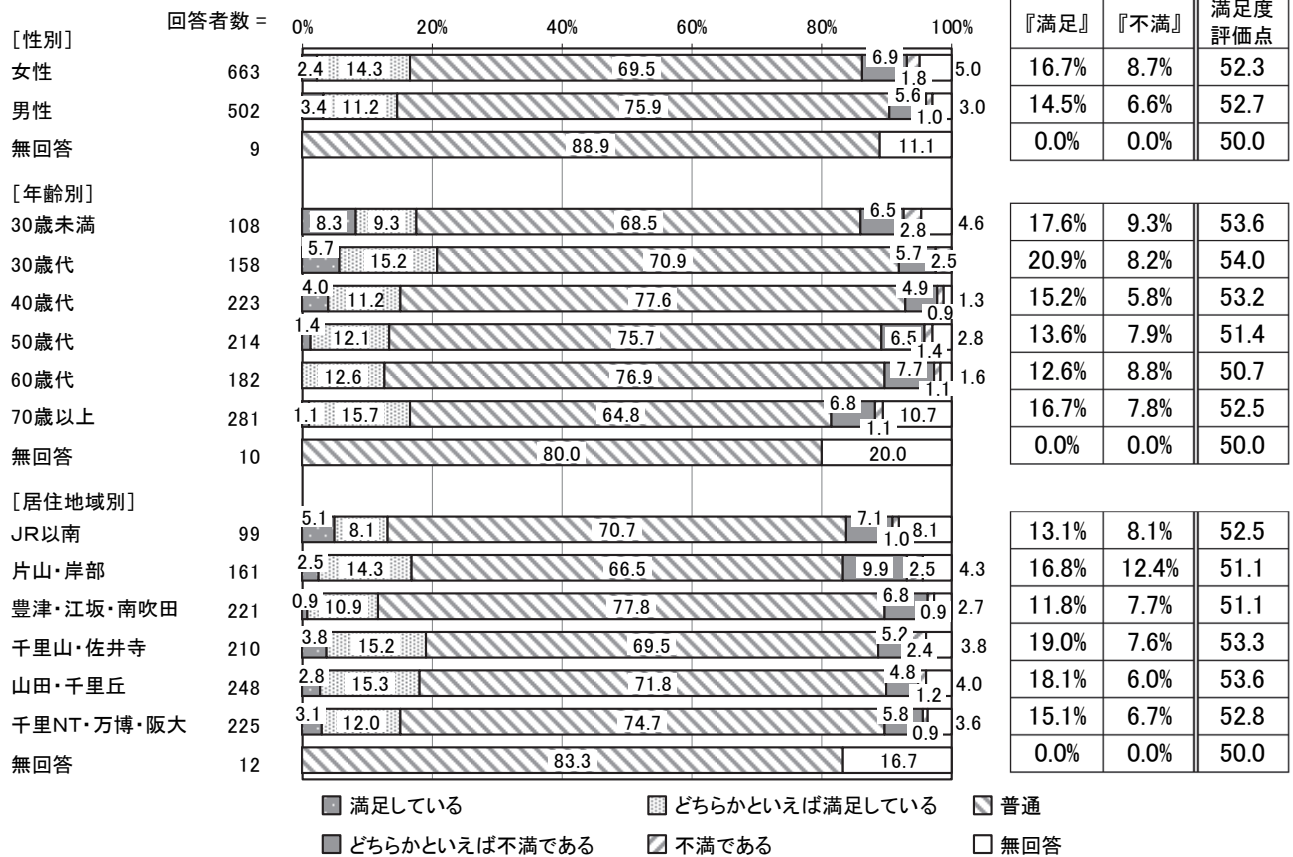


図 3.7.46 暮らし・健康についての満足度・重要度②(性別・年齢別・居住地域別)

12. 虐待防止、ひとり親家庭への支援【満足度】



12. 虐待防止、ひとり親家庭への支援【重要度】

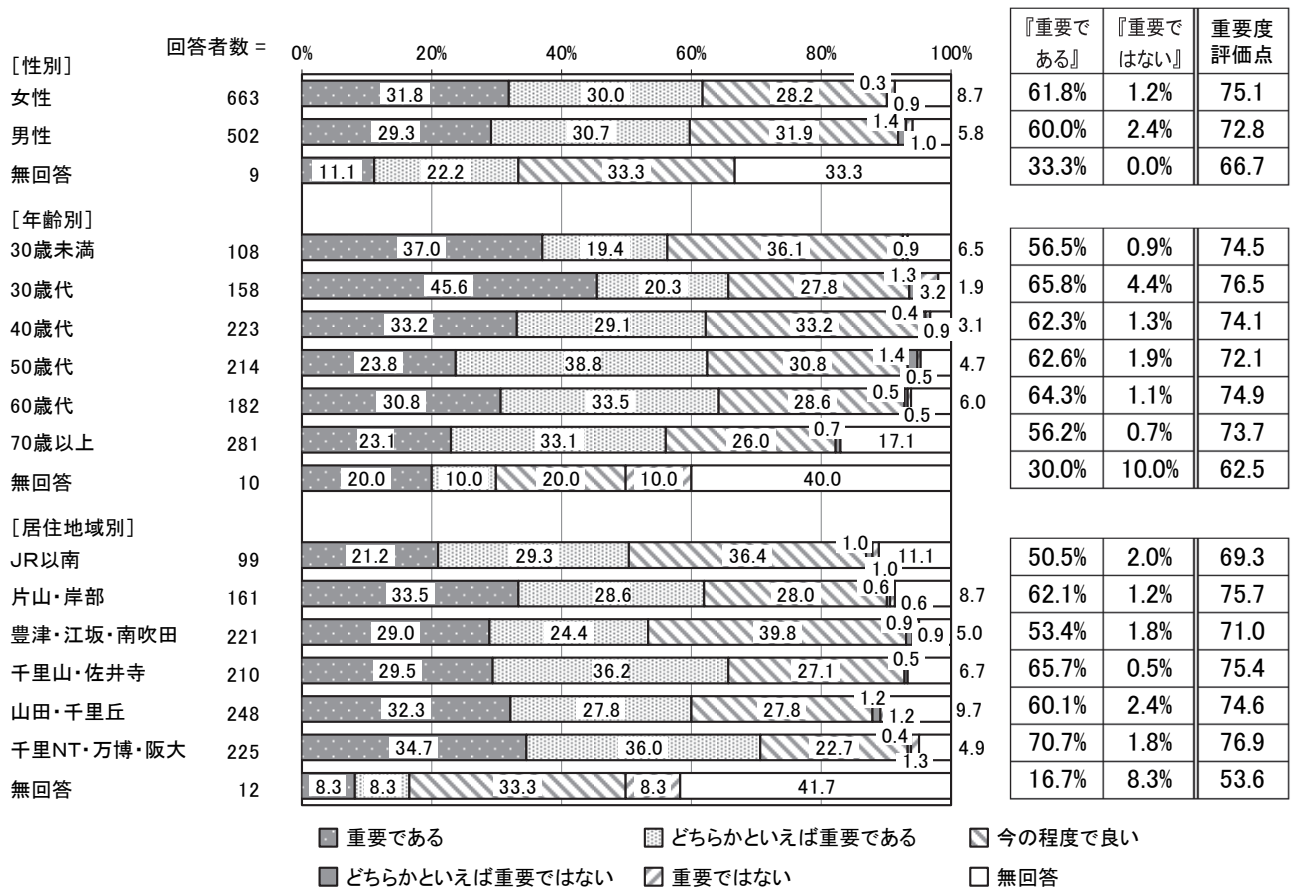
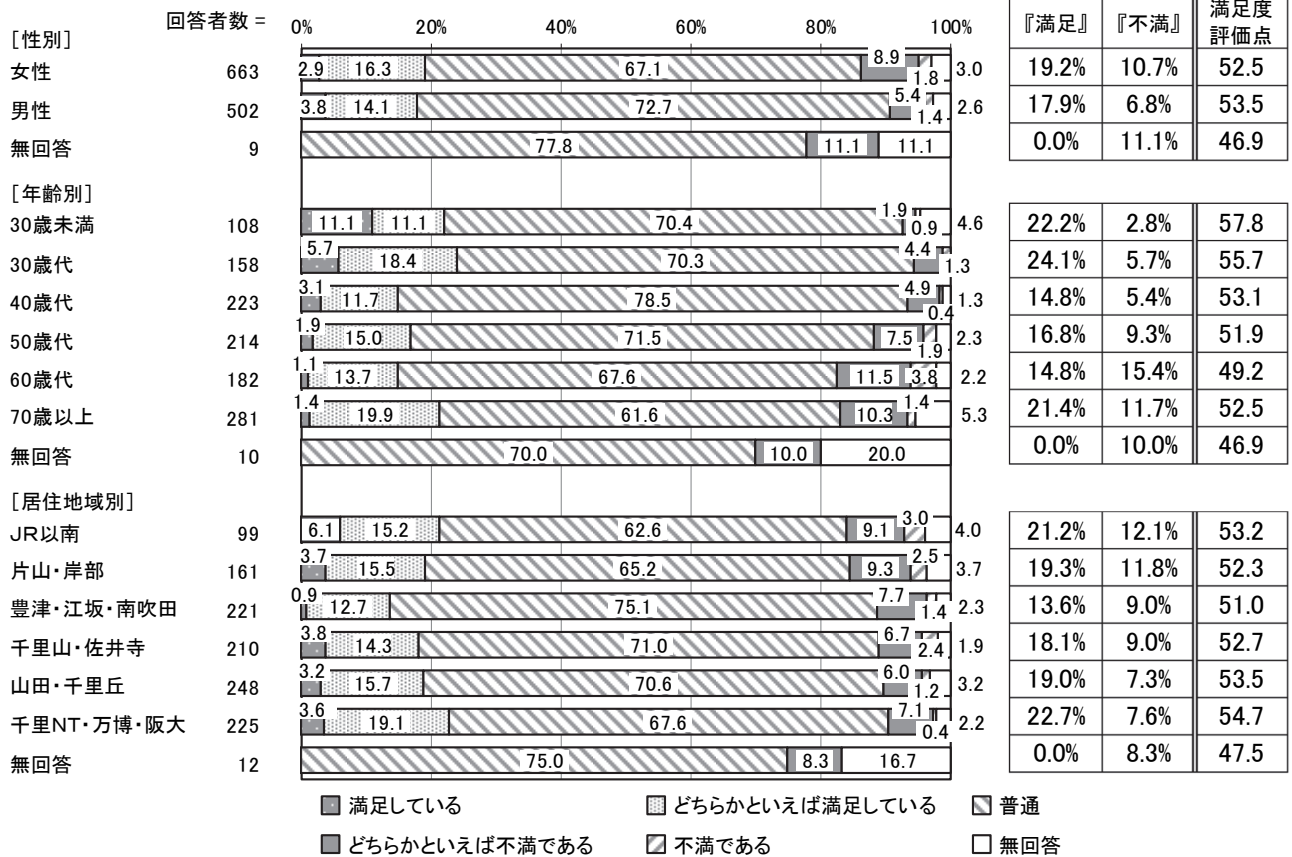


図 3.7.47 暮らし・健康についての満足度・重要度③(性別・年齢別・居住地域別)

13. 高齢者の生きがいがづくりの推進【満足度】



13. 高齢者の生きがいがづくりの推進【重要度】

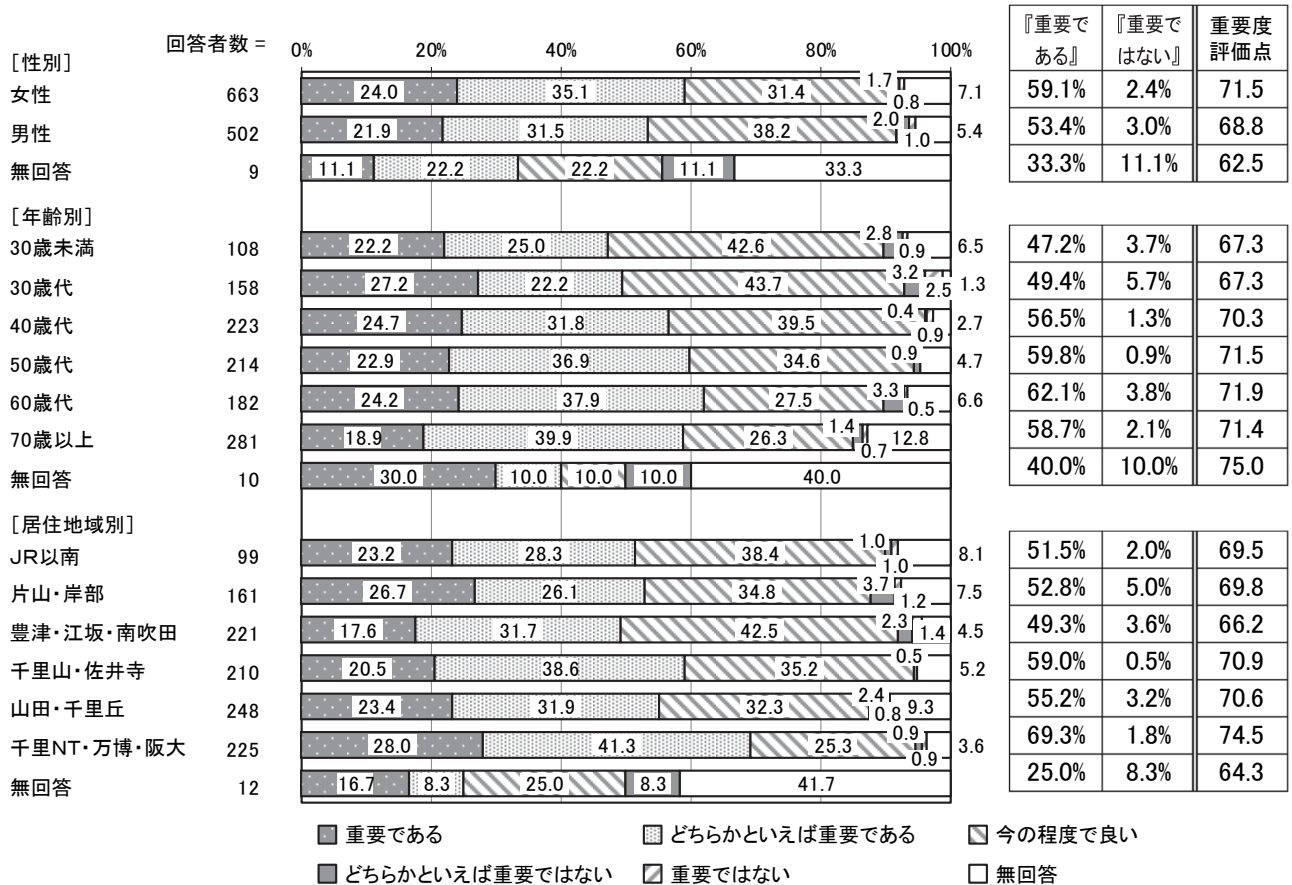


図 3.7.48 暮らし・健康についての満足度・重要度④(性別・年齢別・居住地域別)

14. 高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援【満足度】



14. 高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援【重要度】

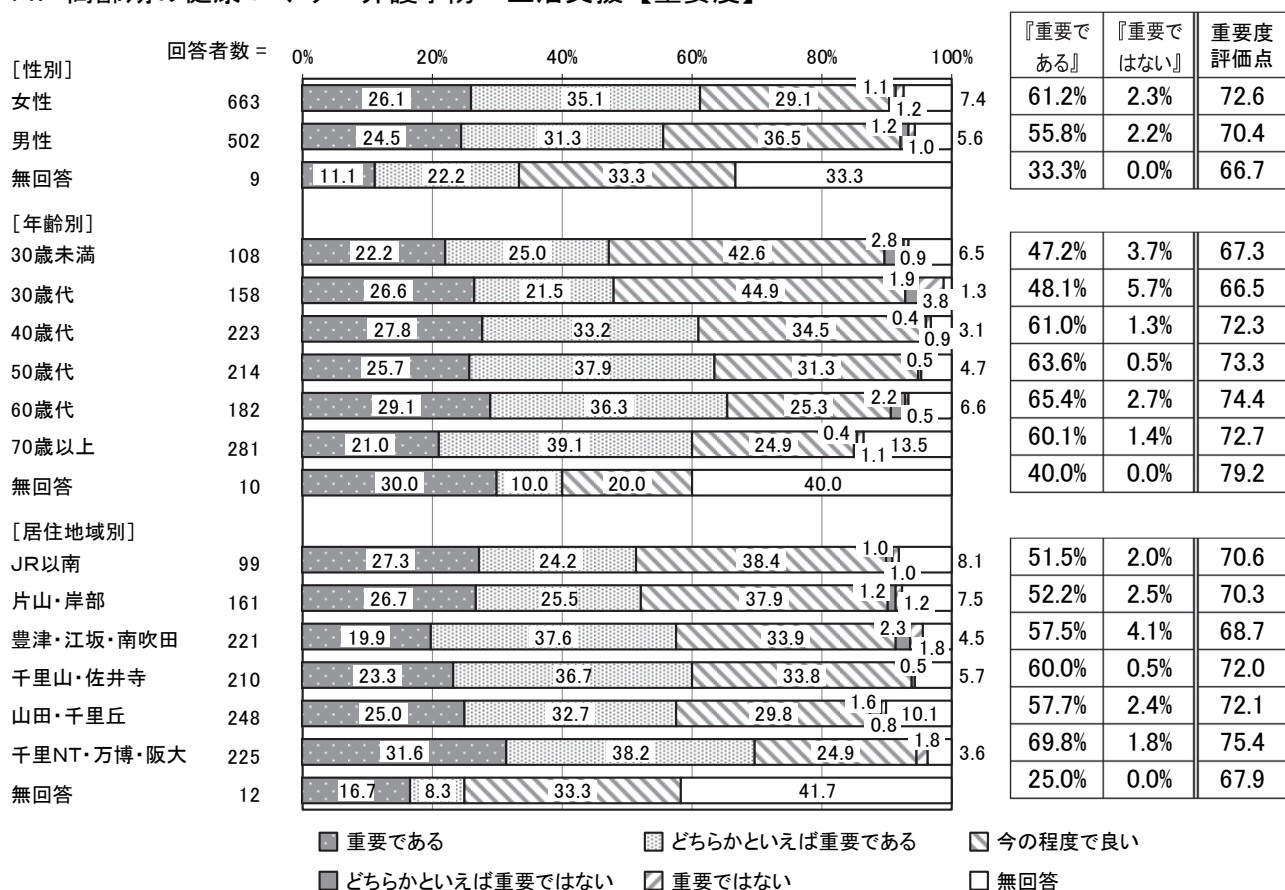
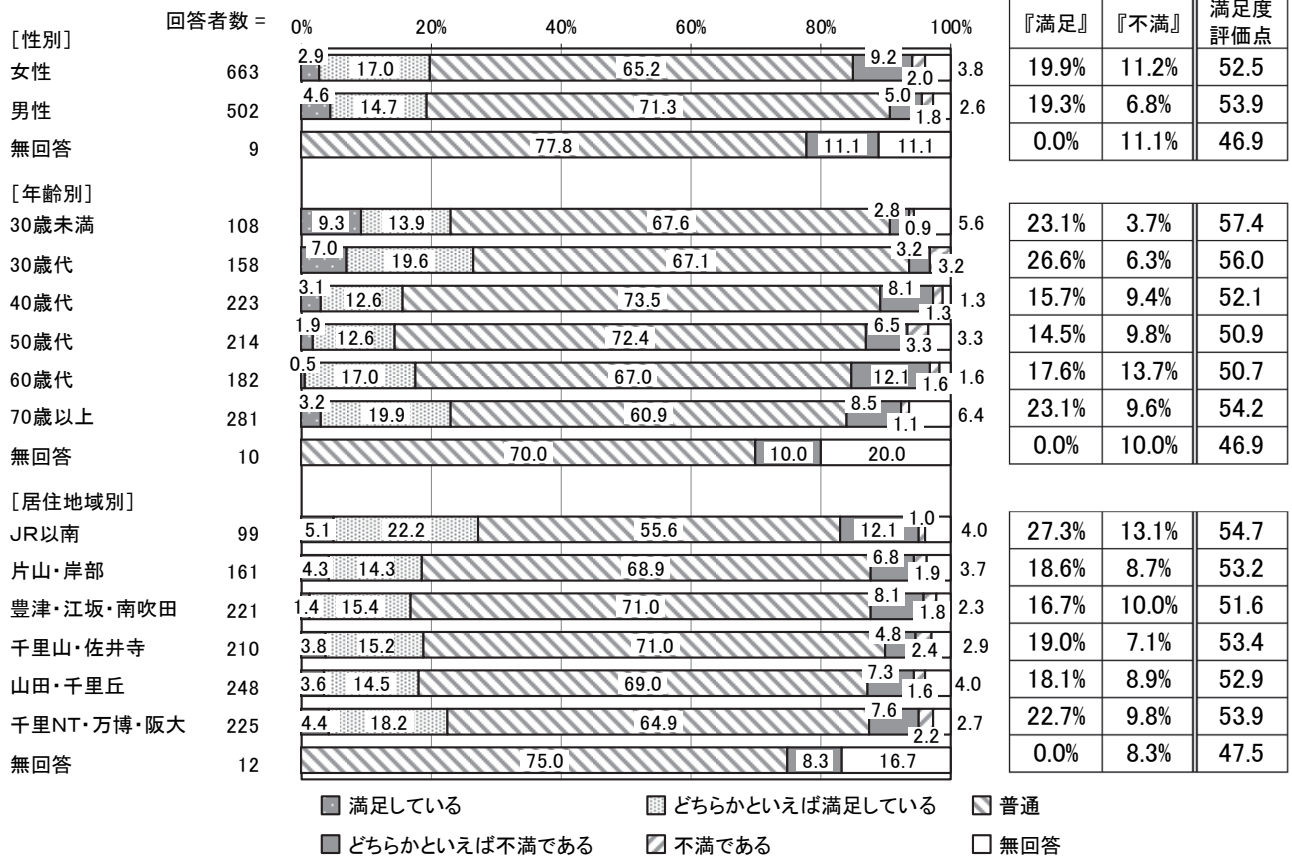


図 3.7.49 暮らし・健康についての満足度・重要度⑤(性別・年齢別・居住地域別)

15. 障がい者を支える福祉・保健・医療サービス【満足度】



15. 障がい者を支える福祉・保健・医療サービス【重要度】

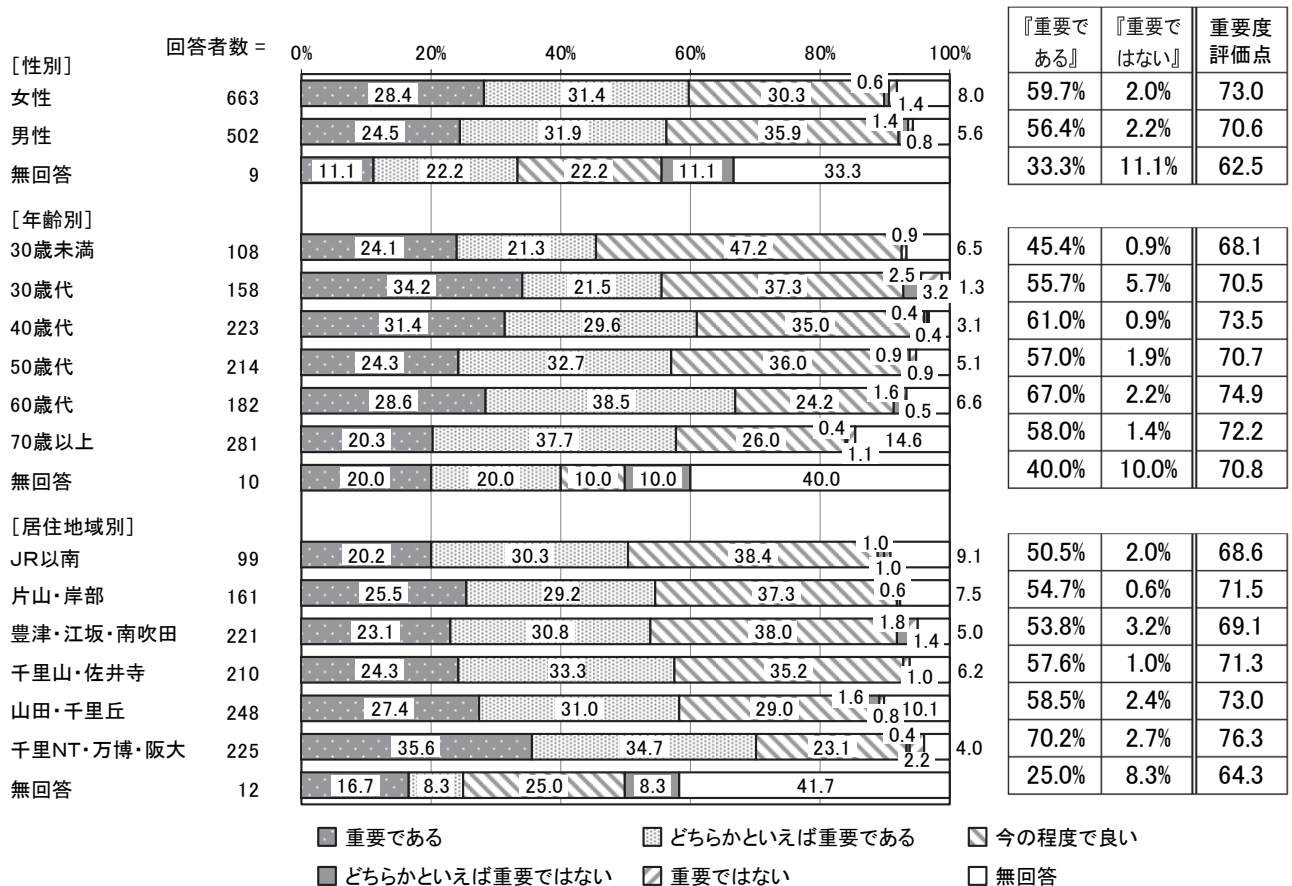
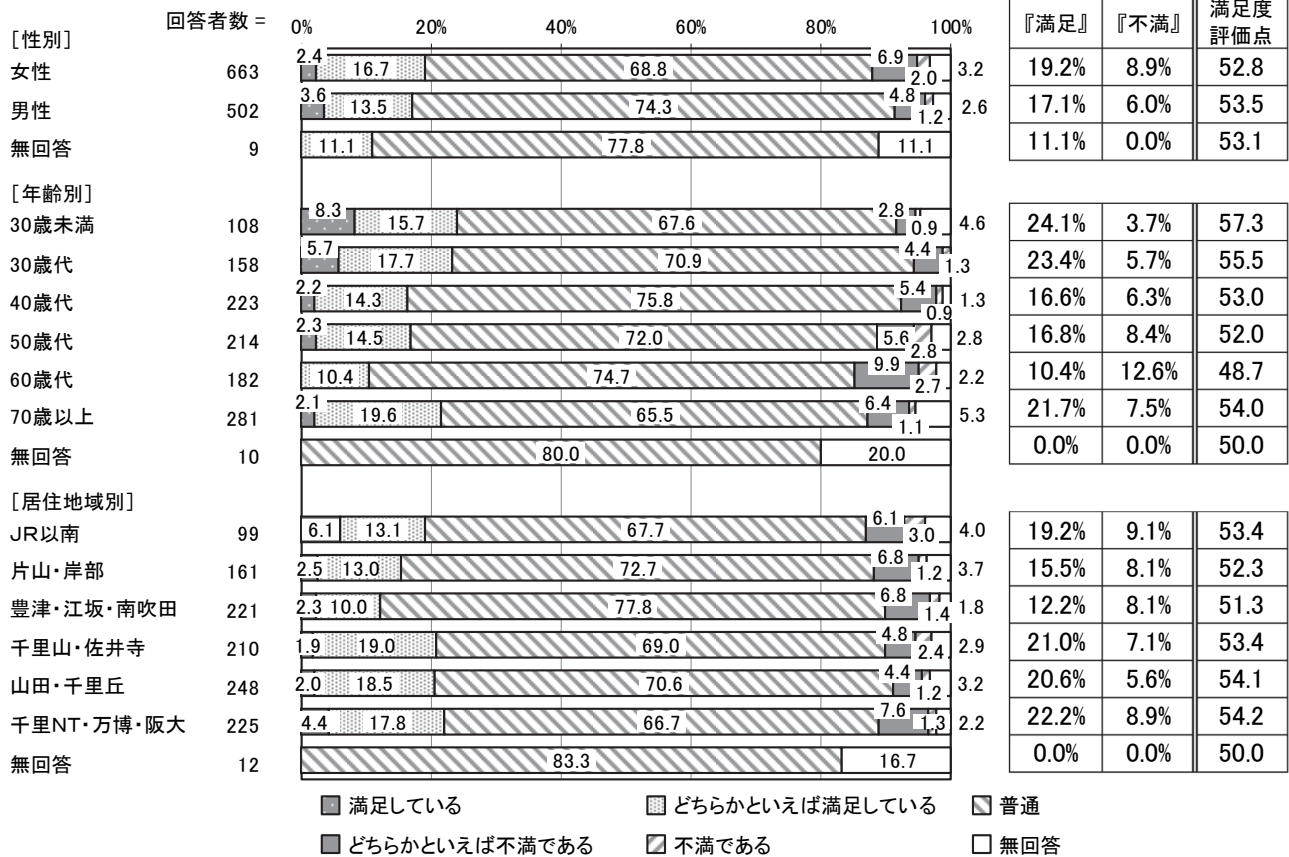


図 3.7.50 暮らし・健康についての満足度・重要度⑥(性別・年齢別・居住地域別)

16. 住み慣れた地域での生活を支える地域福祉【満足度】



16. 住み慣れた地域での生活を支える地域福祉【重要度】

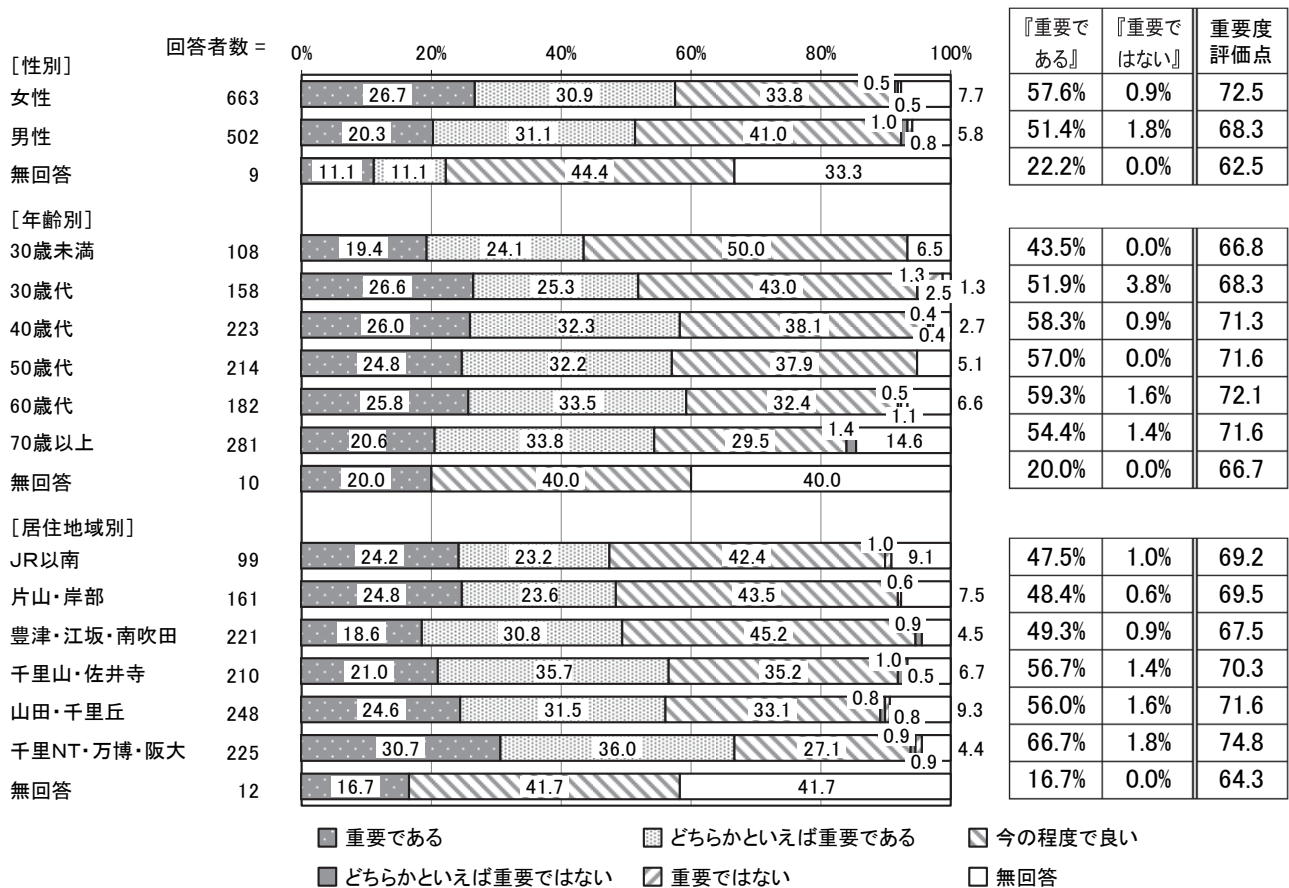
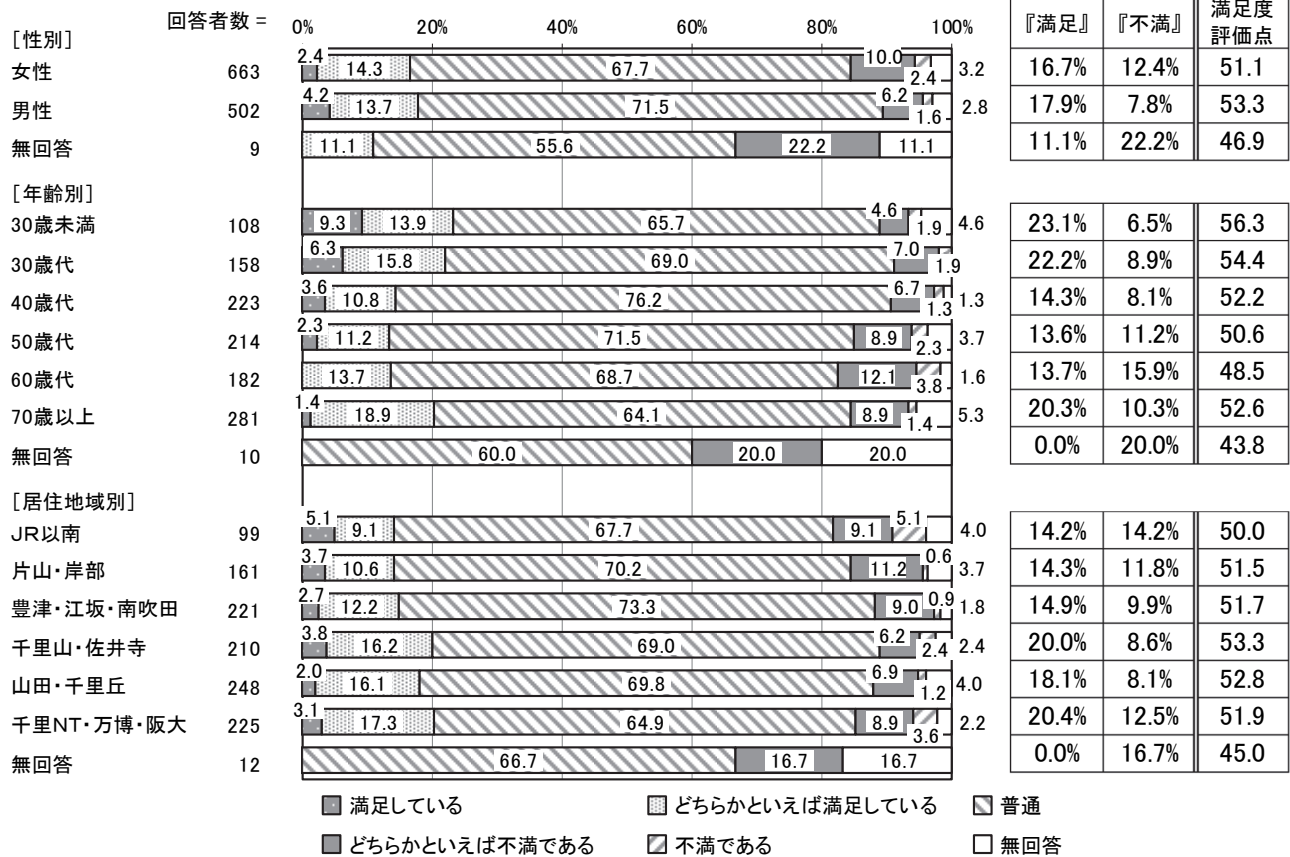


図 3.7.51 暮らし・健康についての満足度・重要度⑦(性別・年齢別・居住地域別)

17. 生活を支える社会保障【満足度】



17. 生活を支える社会保障【重要度】

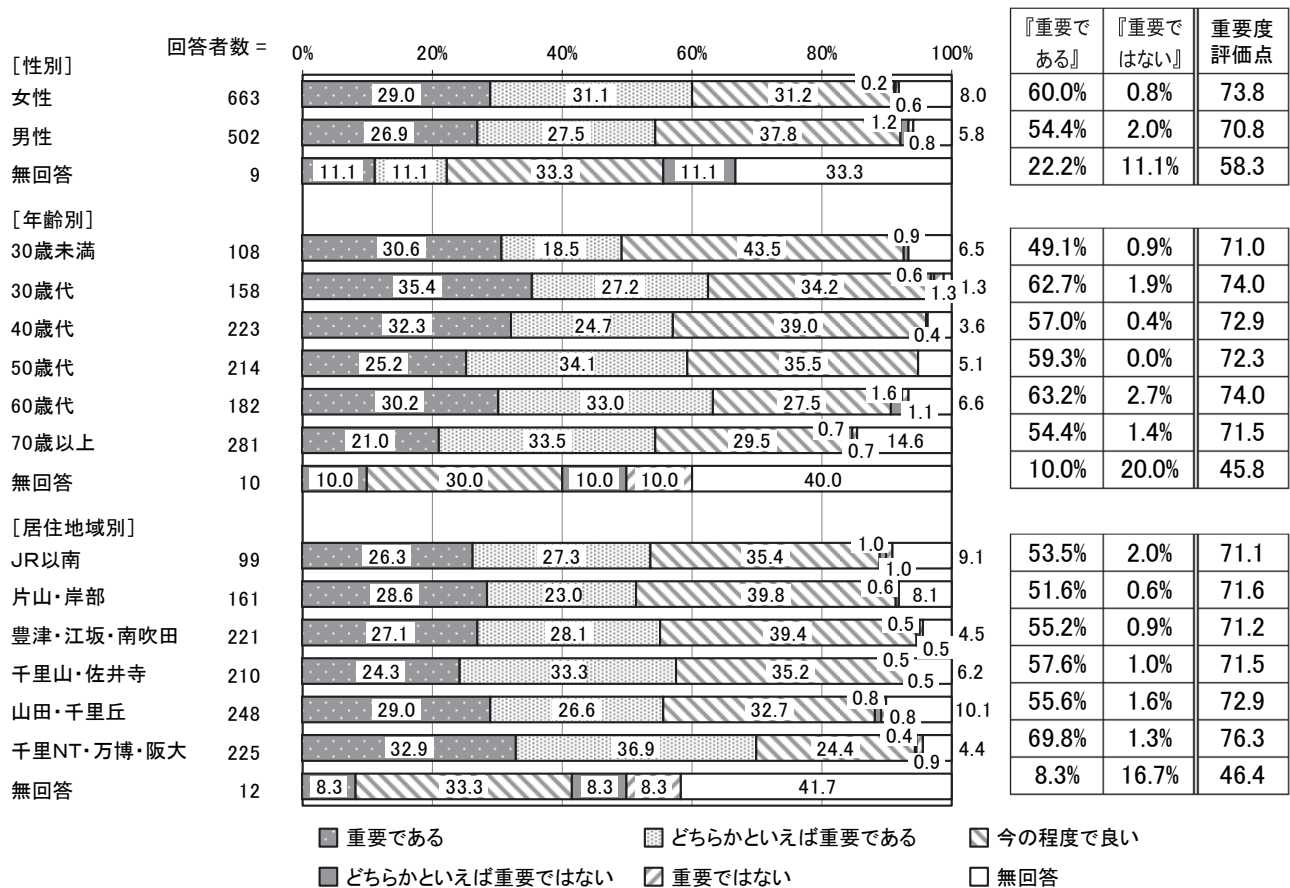
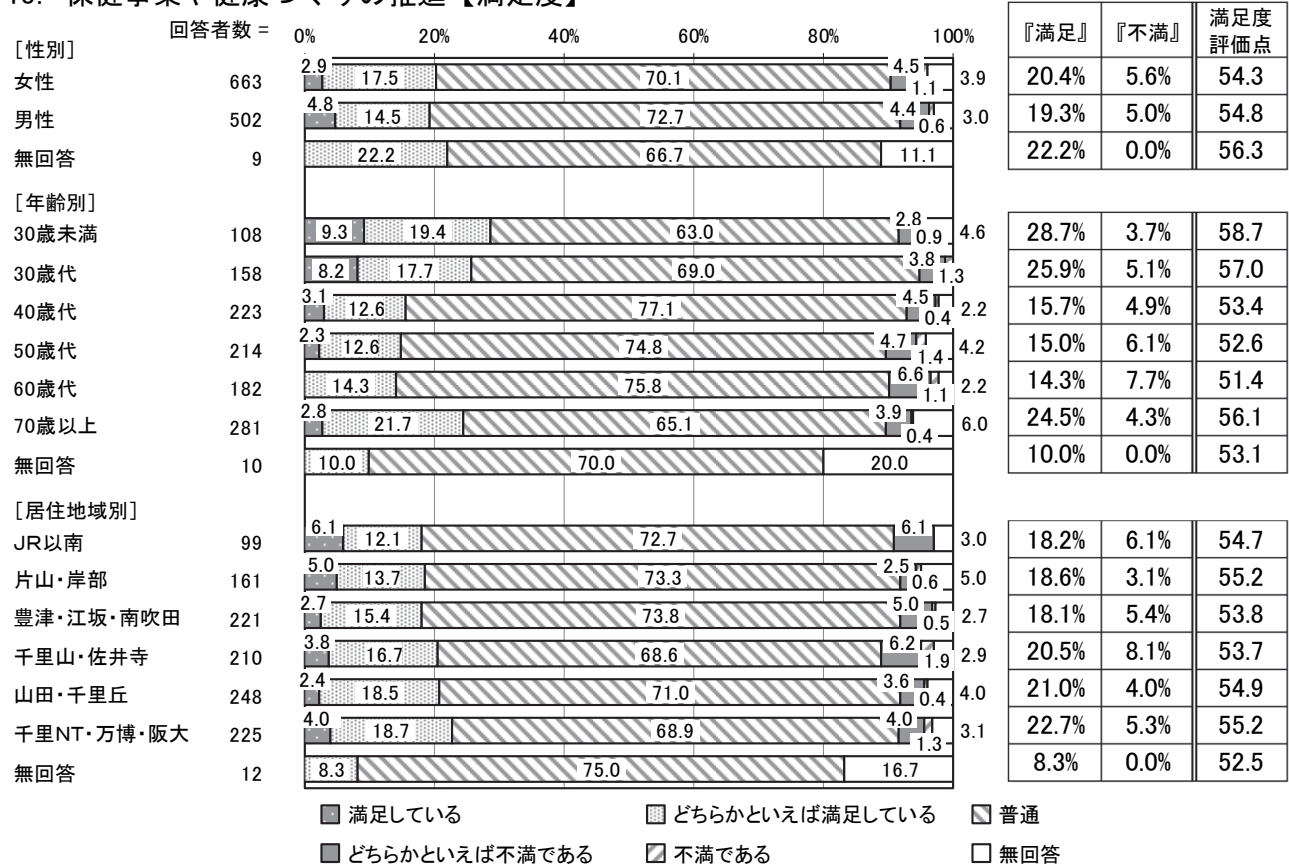


図 3.7.52 暮らし・健康についての満足度・重要度⑧(性別・年齢別・居住地域別)

18. 保健事業や健康づくりの推進【満足度】



18. 保健事業や健康づくりの推進【重要度】

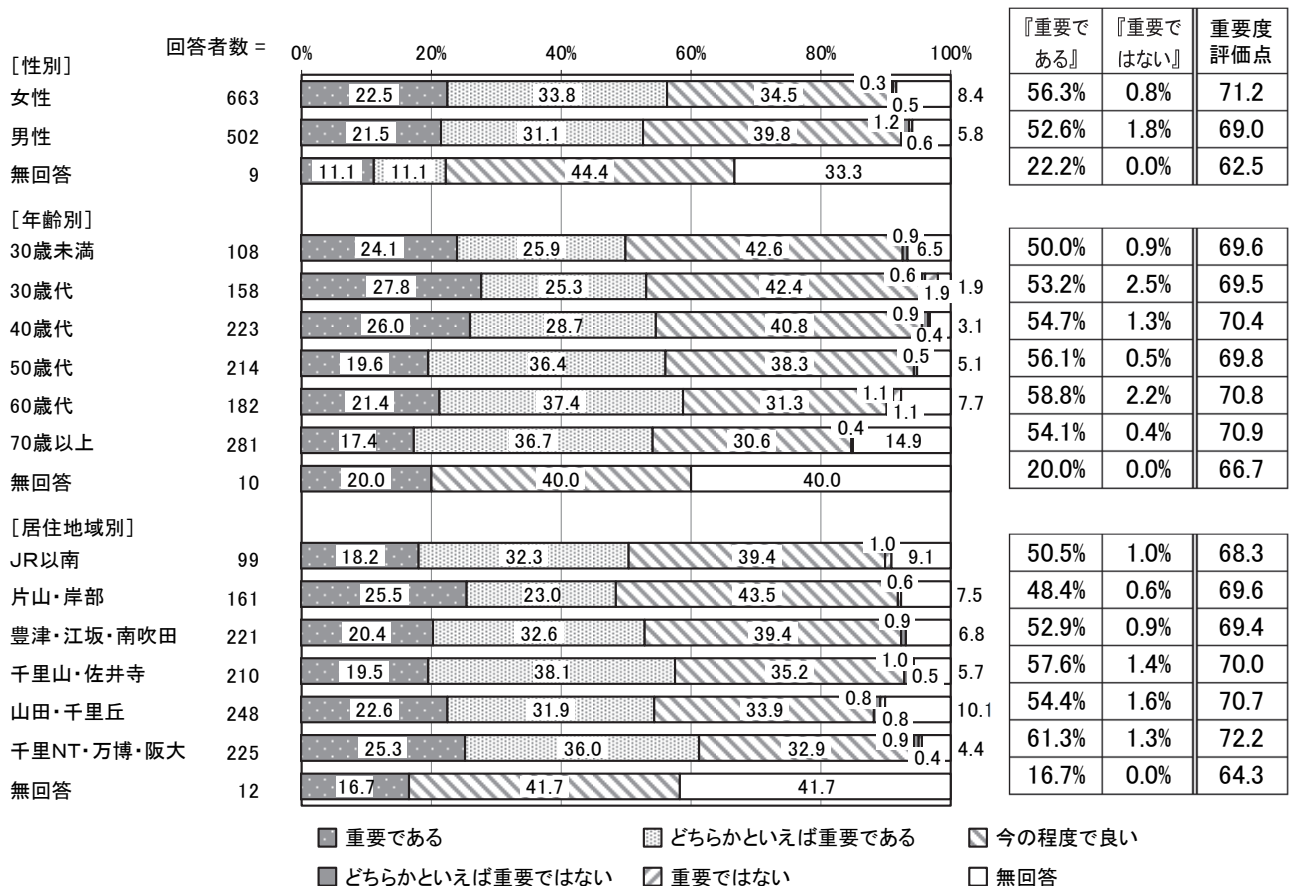
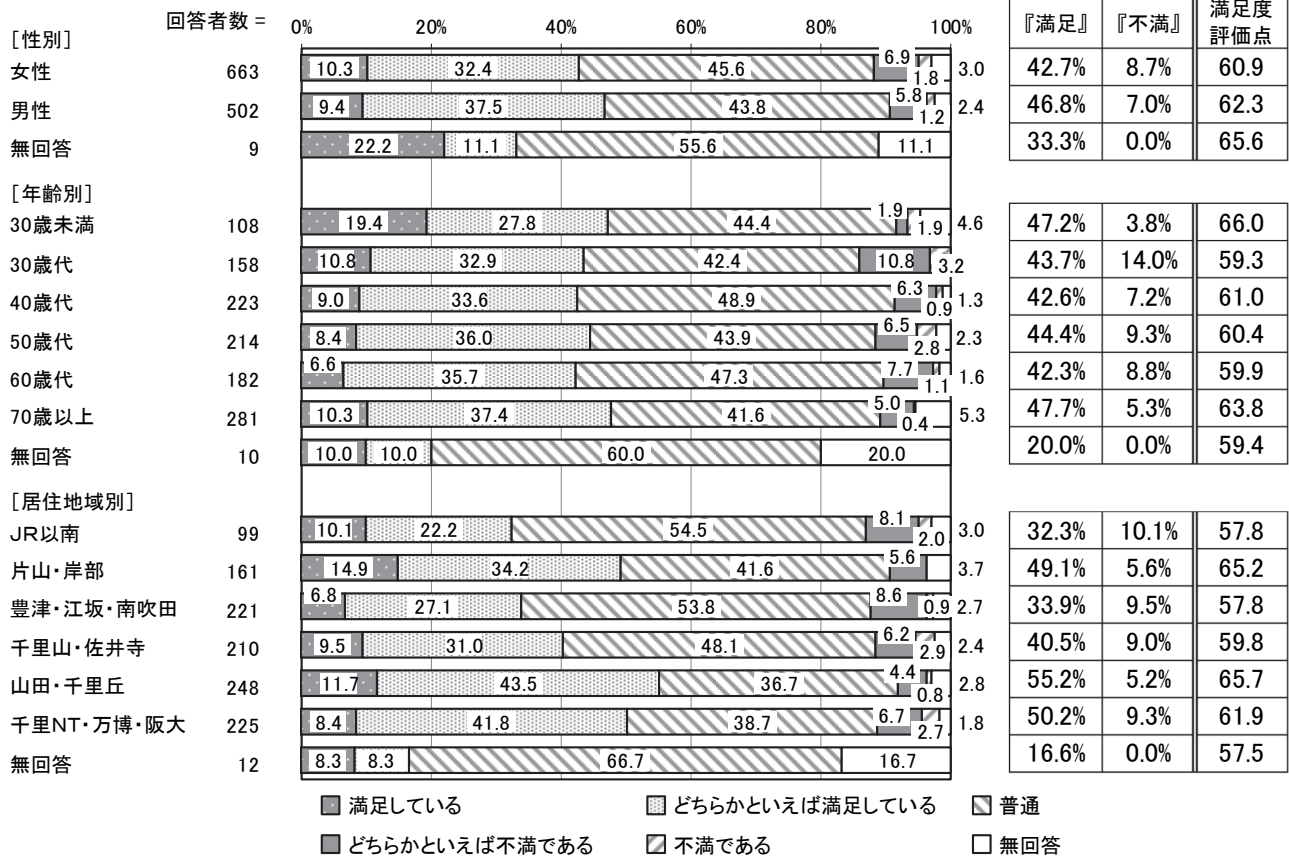


図 3.7.53 暮らし・健康についての満足度・重要度⑨(性別・年齢別・居住地域別)

19. 病院・医院・救急医療などの医療環境【満足度】



19. 病院・医院・救急医療などの医療環境【重要度】

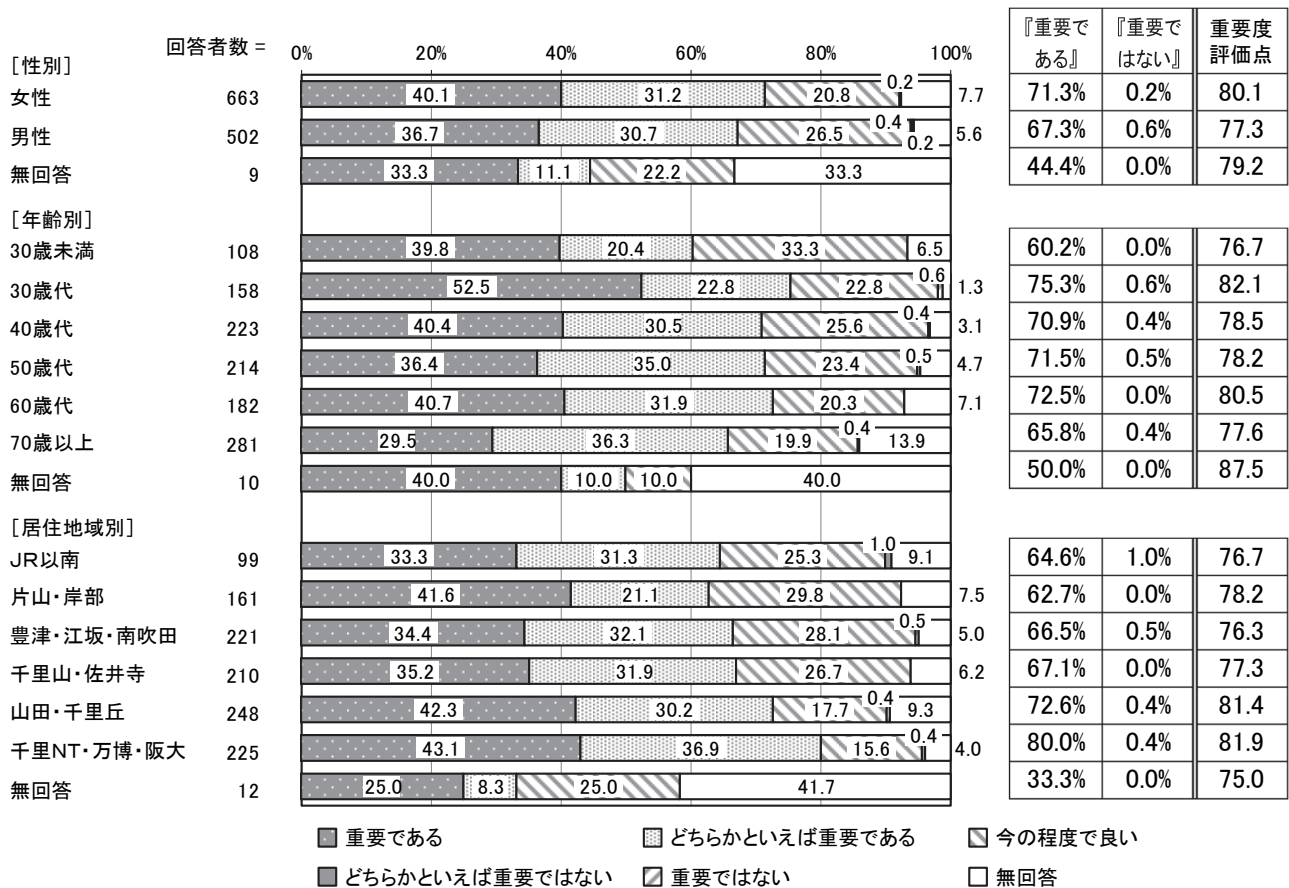
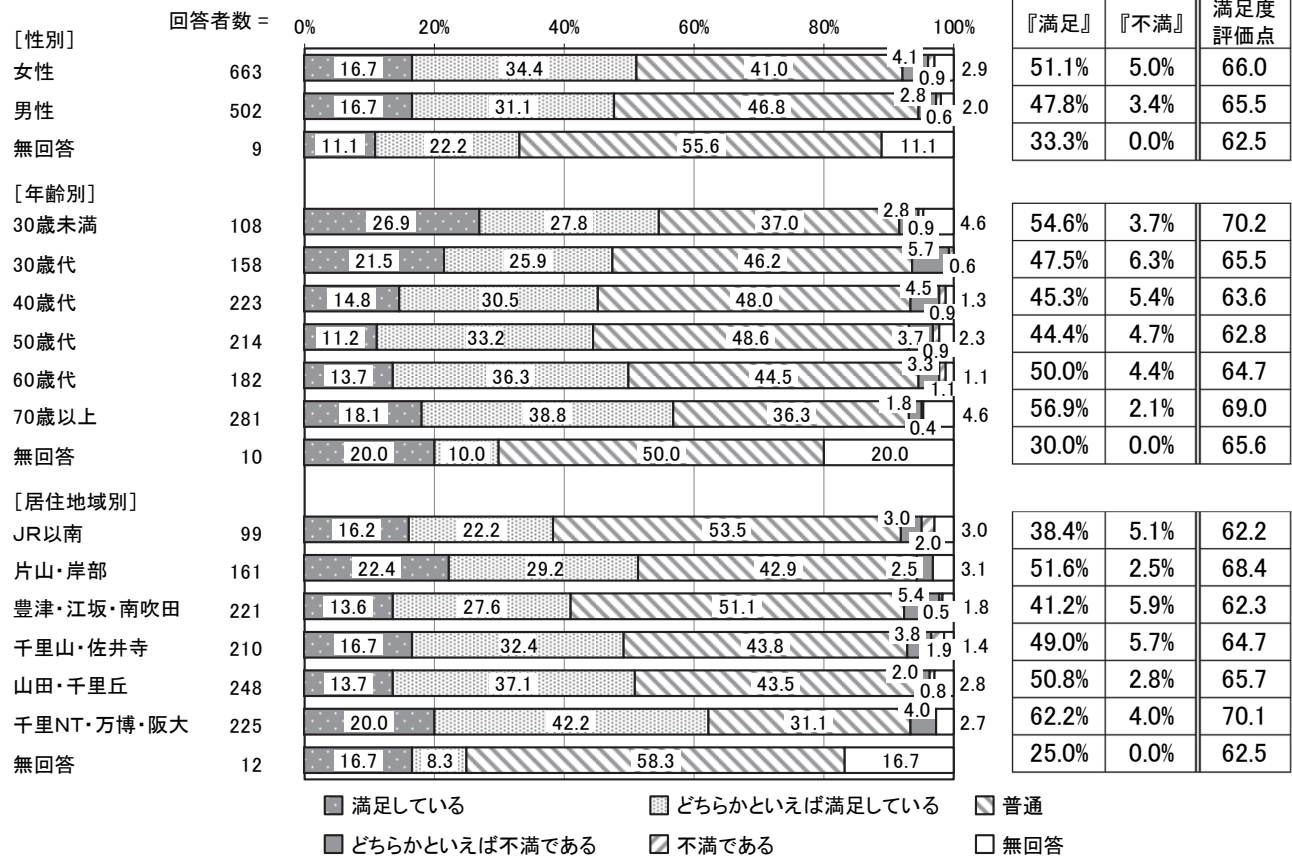


図 3.7.54 暮らし・健康についての満足度・重要度⑩(性別・年齢別・居住地域別)

20. 良質な水道水の安定供給【満足度】



20. 良質な水道水の安定供給【重要度】

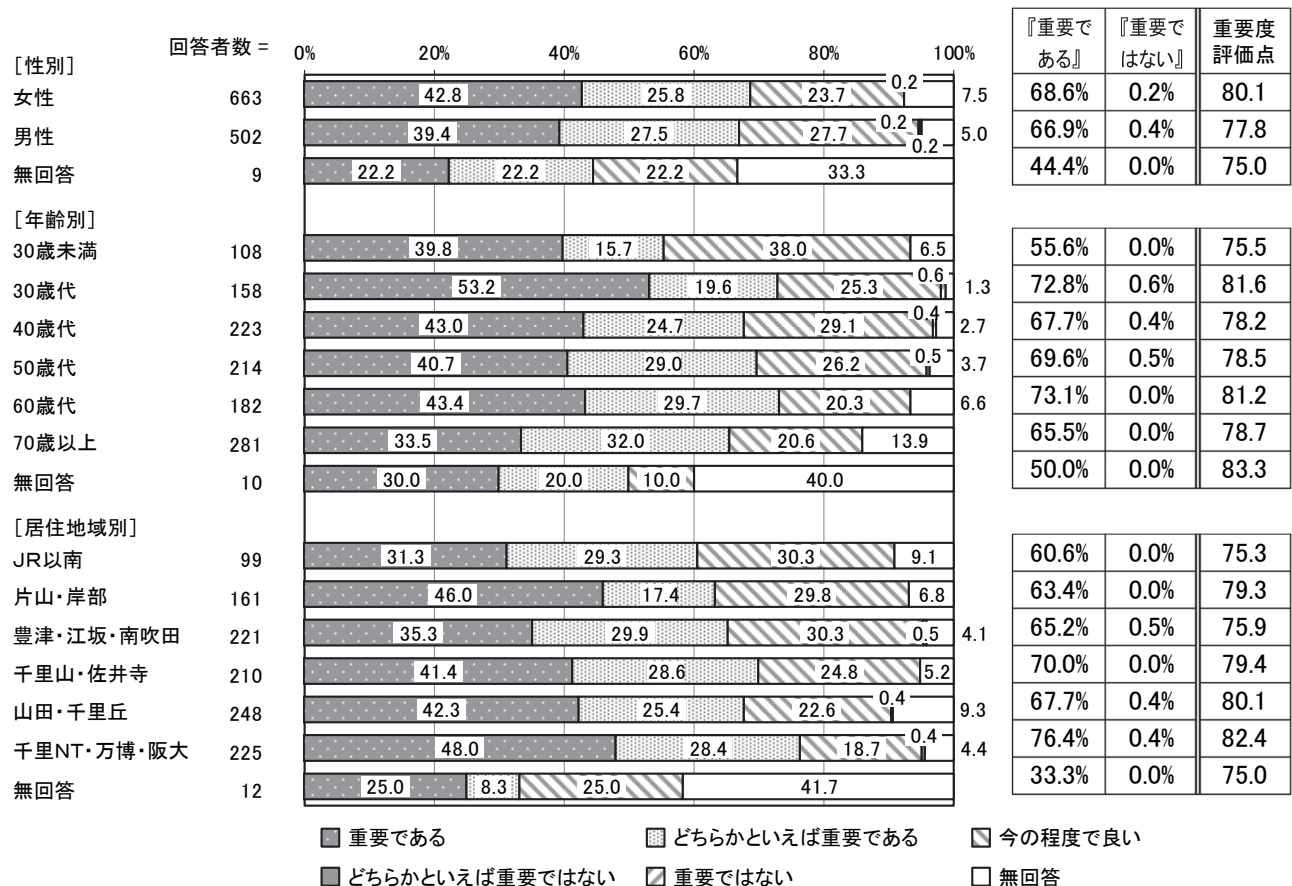
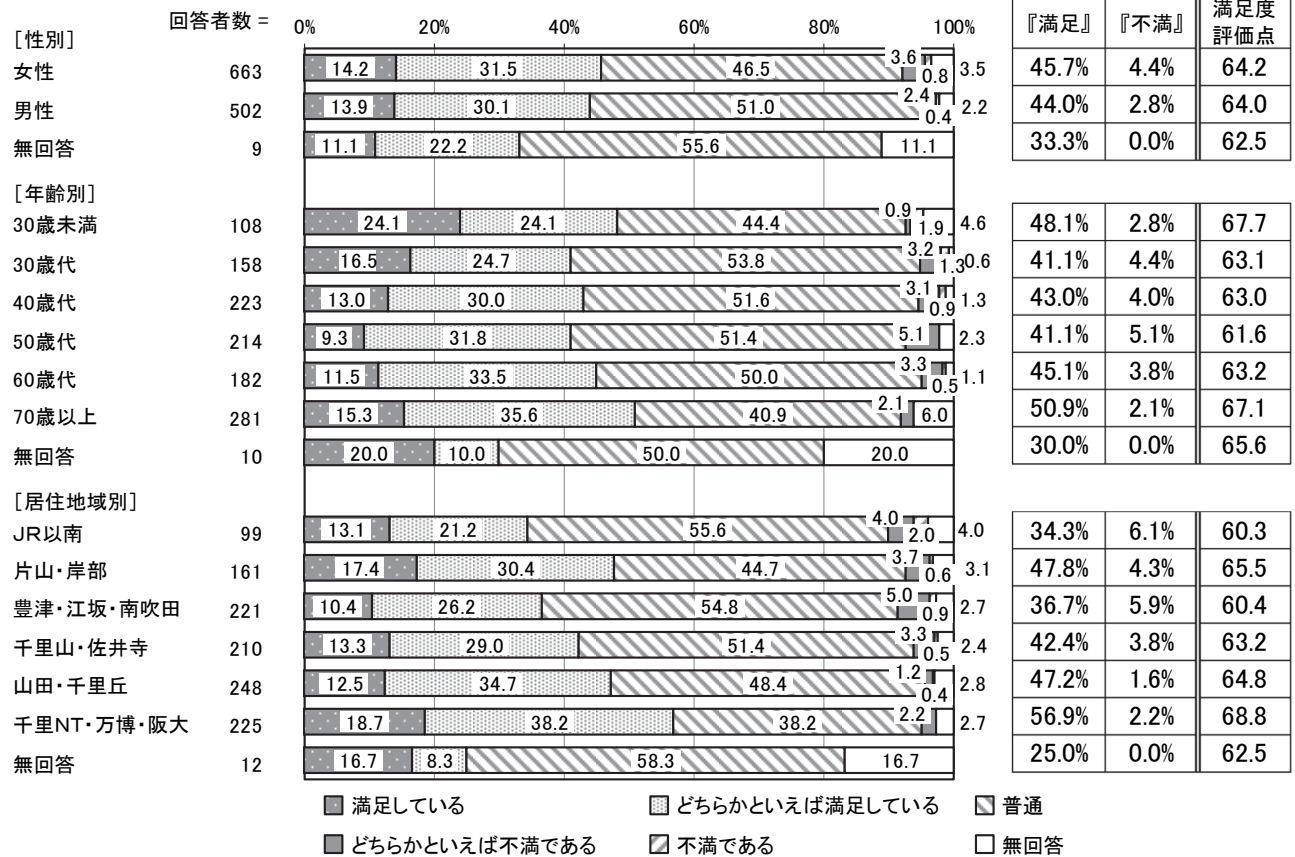


図 3.7.55 暮らし・健康についての満足度・重要度①(性別・年齢別・居住地域別)

21. 公共下水道の整備【満足度】



21. 公共下水道の整備【重要度】

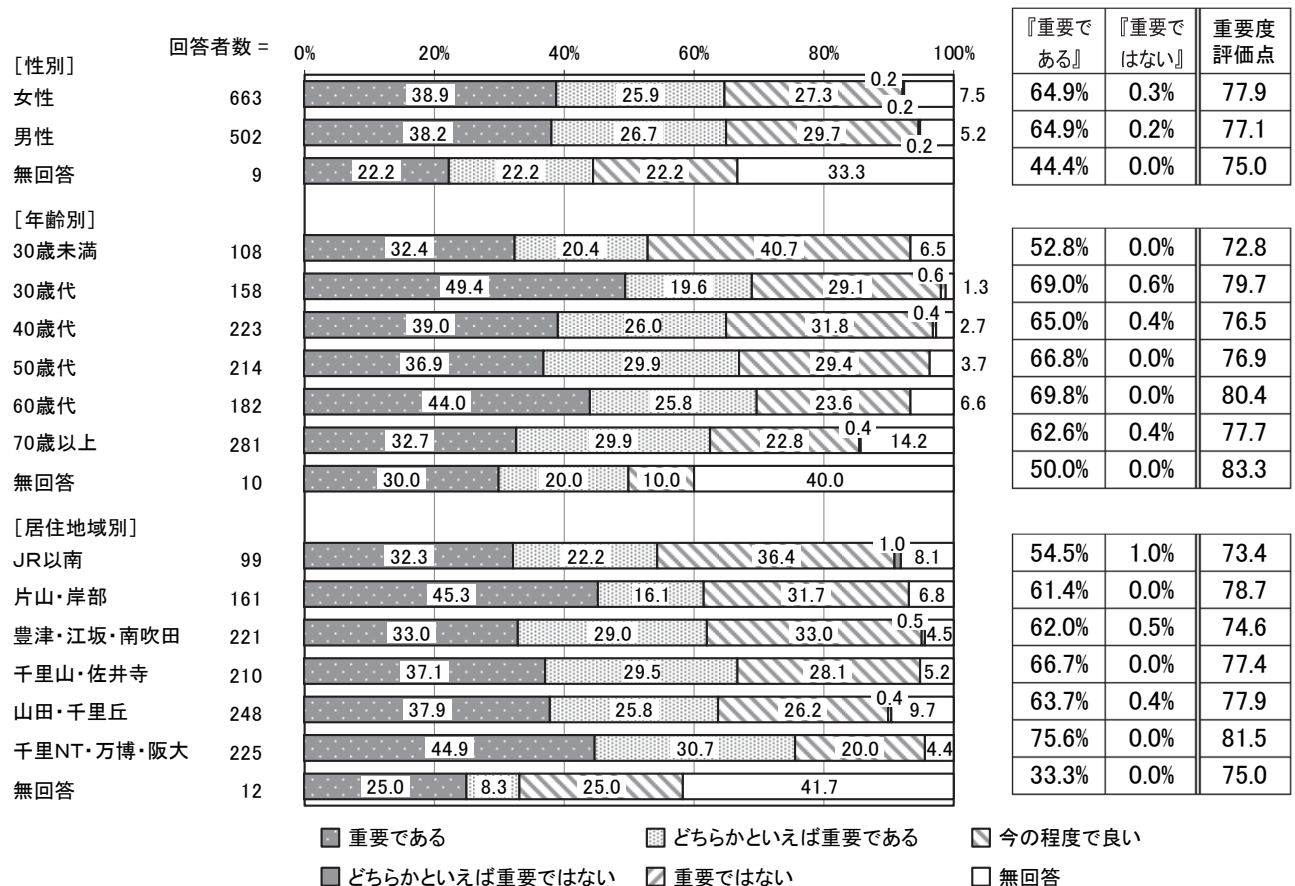
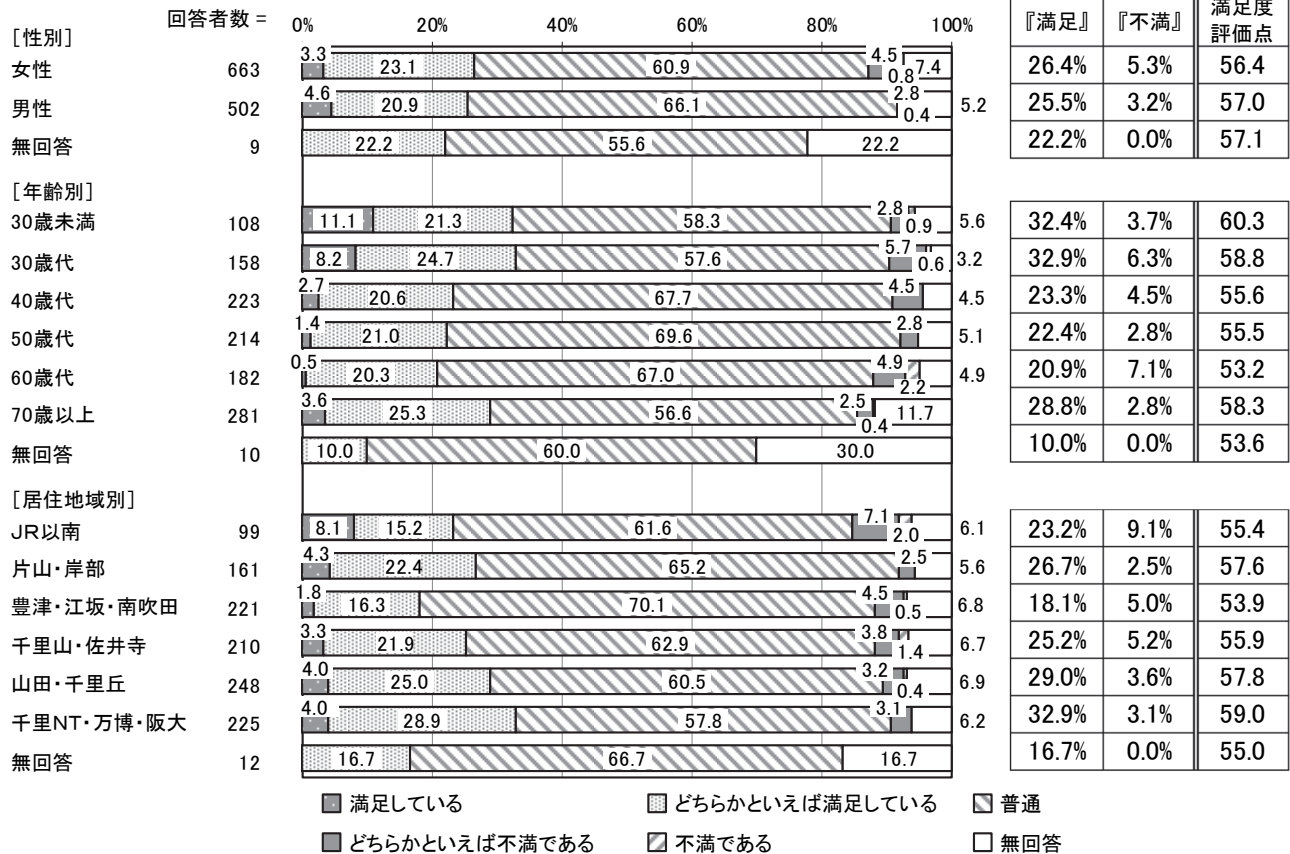
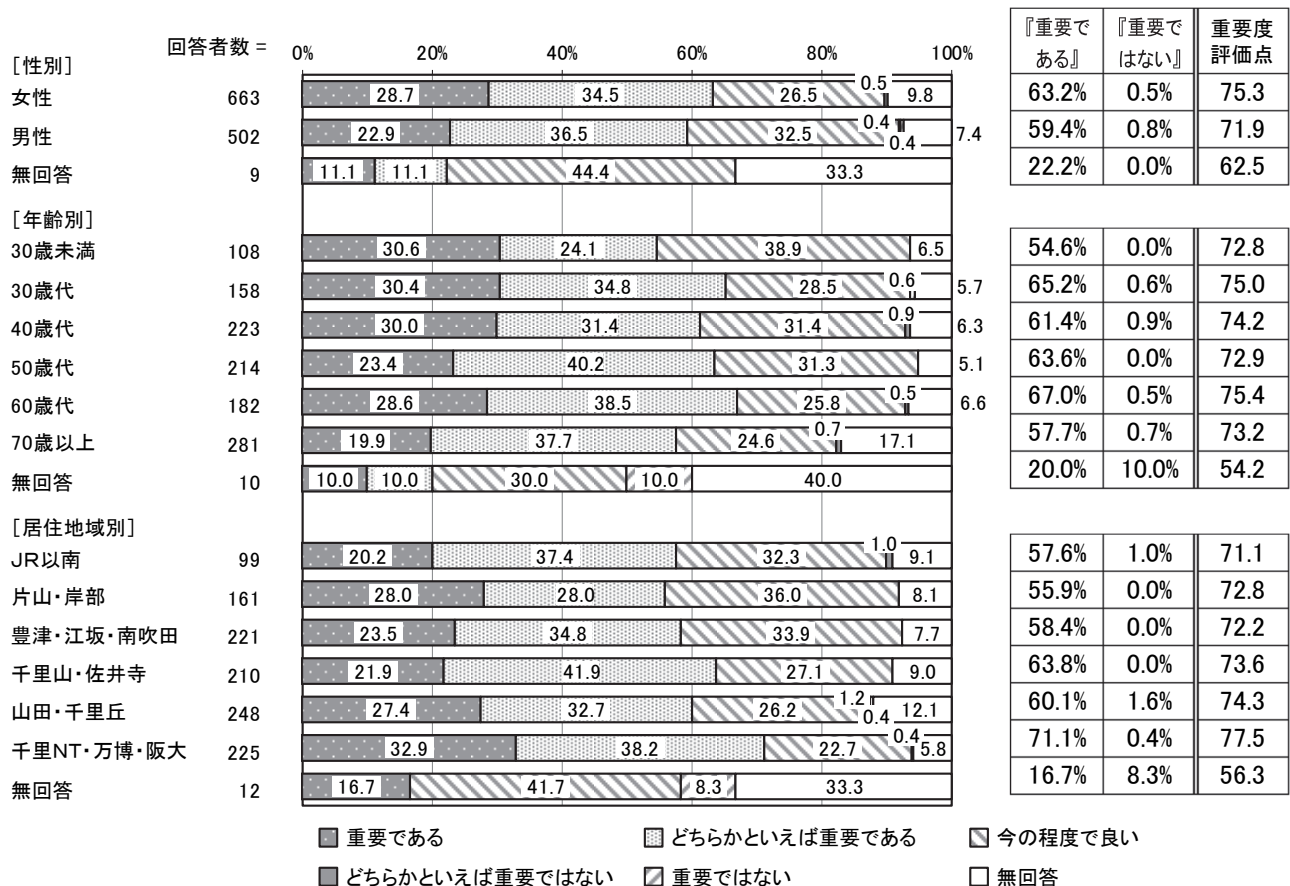


図 3.7.56 暮らし・健康についての満足度・重要度⑫(性別・年齢別・居住地域別)

22. 項目 11～21 の総合評価【満足度】



22. 項目 11～21 の総合評価【重要度】



[教育・文化についての満足度・重要度]

図 3.7.57 教育・文化についての満足度

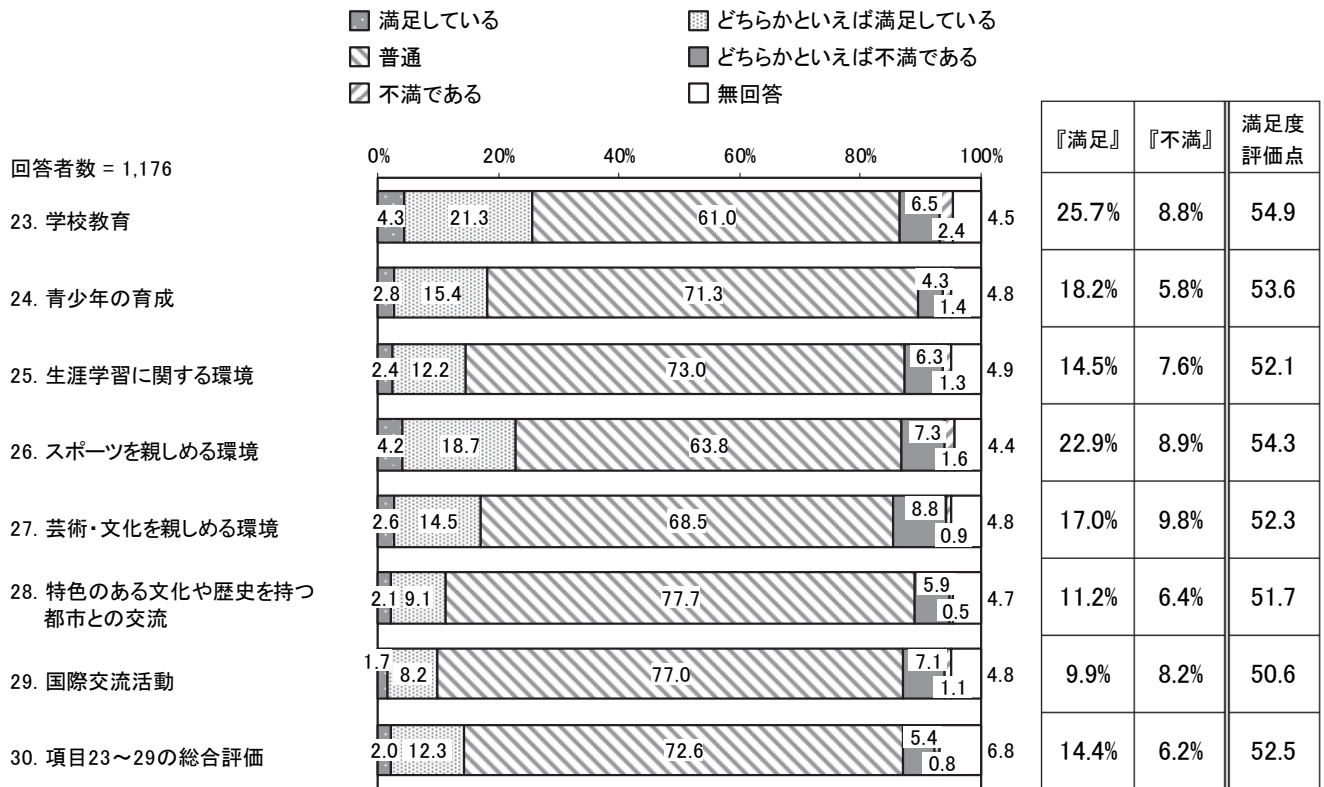


図 3.7.58 教育・文化についての重要度

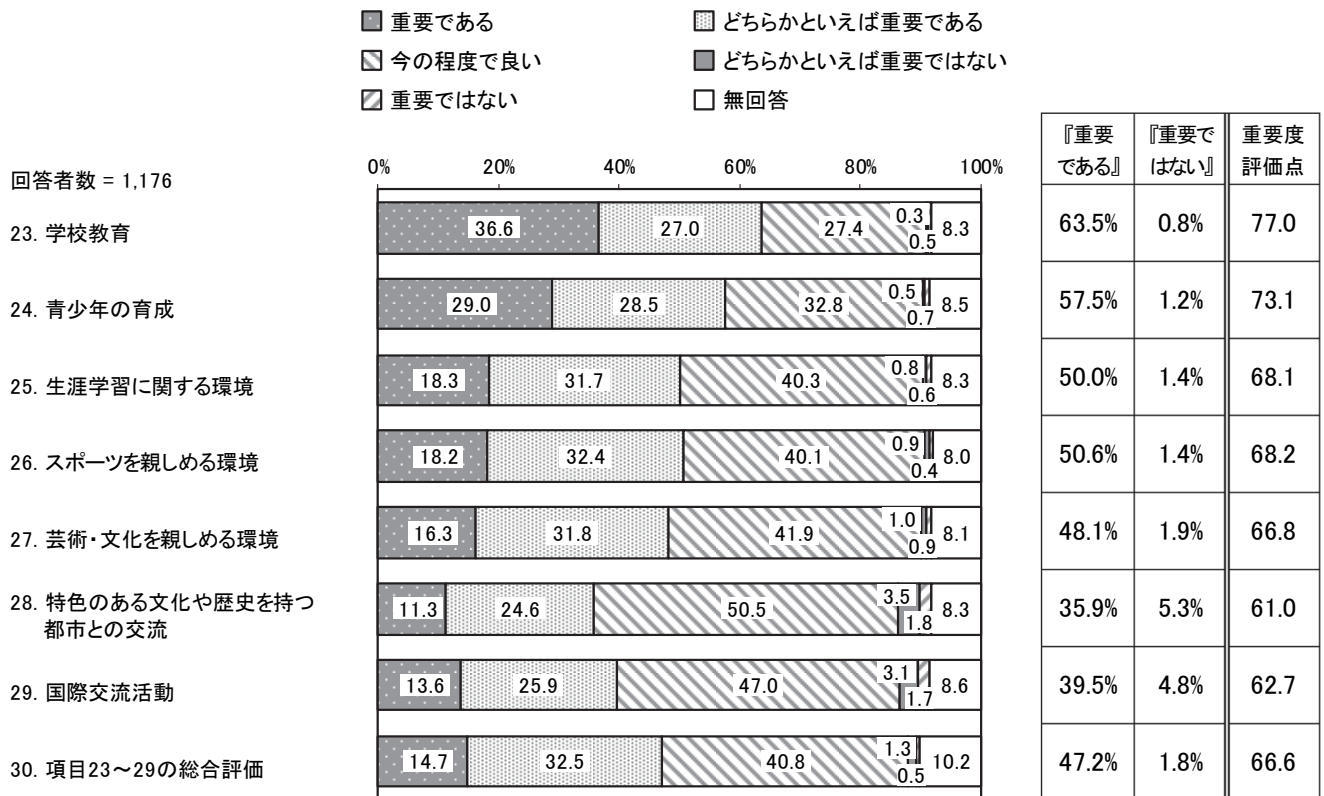


図 3.7.59 教育・文化についての満足度評価点の経年比較

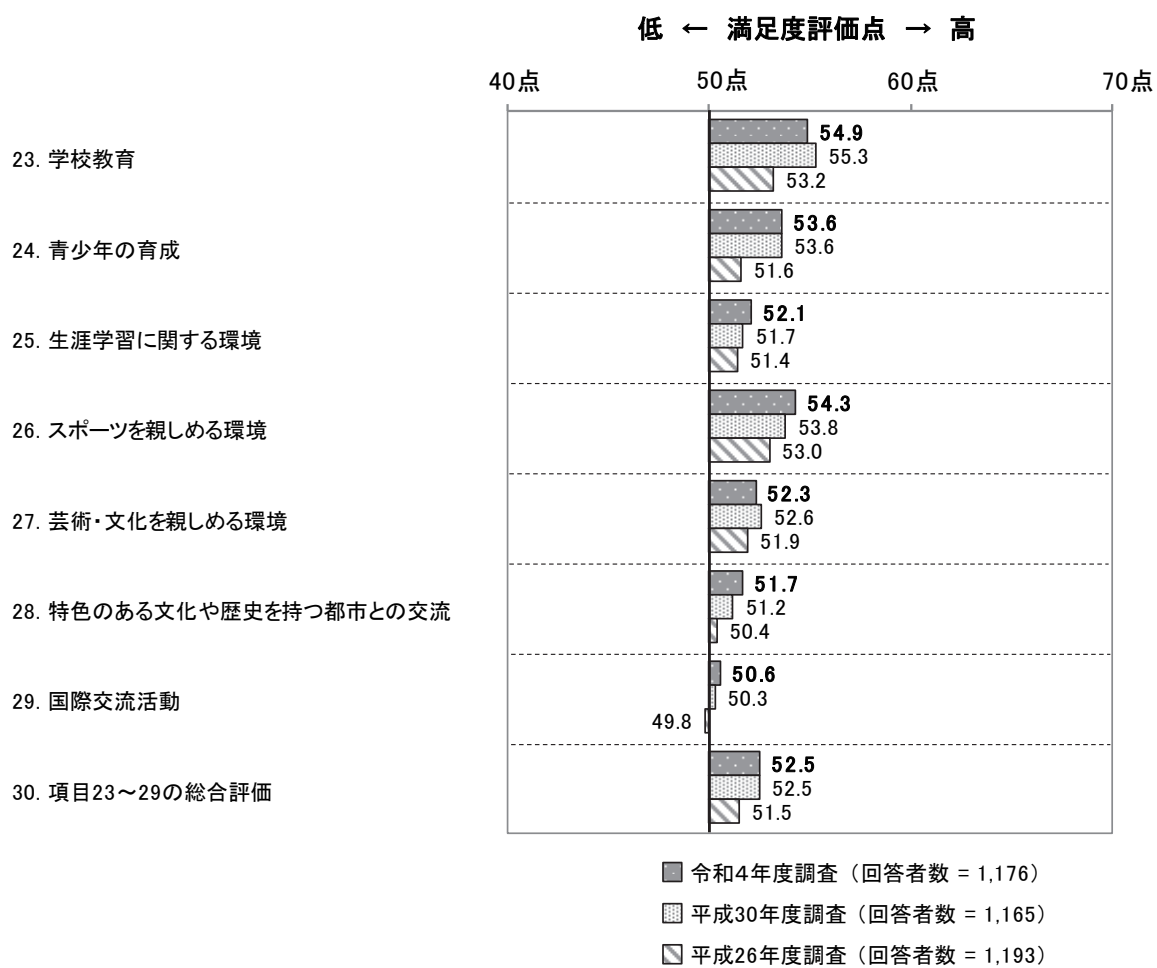
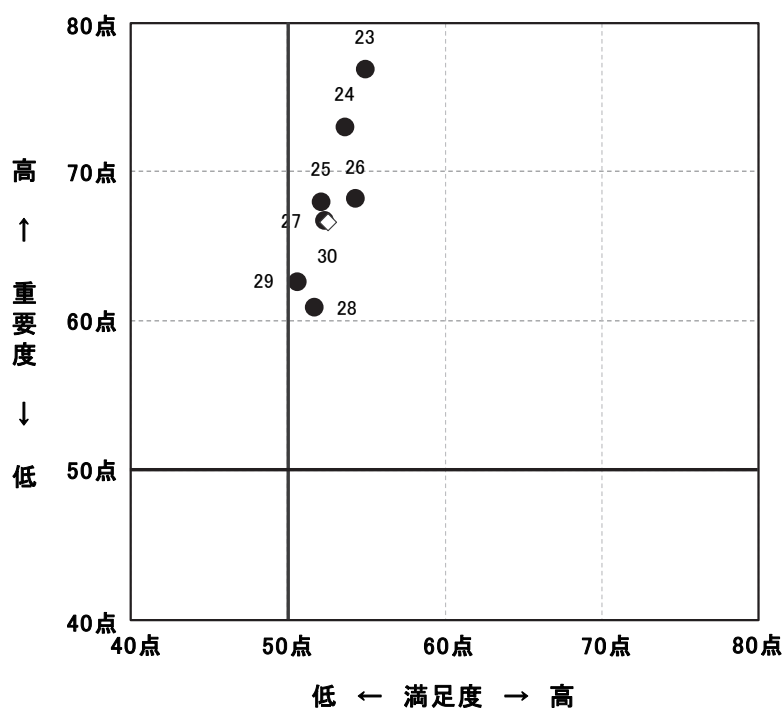


図 3.7.60 教育・文化についての満足度と重要度の関係



- 23. 学校教育
- 24. 青少年の育成
- 25. 生涯学習に関する環境
- 26. スポーツを親しめる環境
- 27. 芸術・文化を親しめる環境
- 28. 特色のある文化や歴史を持つ都市との交流
- 29. 国際交流活動
- ◇30. 項目23～29の総合評価

■満足度

教育・文化についての満足度（図 3.7.57）は、全ての項目で「普通」が6～7割を占めています。また、全ての項目で『満足』の方が『不満』に比べ割合が高くなっており、特に《23. 学校教育》（25.7%）が他の項目と比べて高くなっています。

満足度の評価点は、《23. 学校教育》（54.9点）が最も高く、次いで《26. スポーツを親しめる環境》（54.3点）となっています。

平成30年度調査・平成26年度調査と比較（図 3.7.59）すると、《25. 生涯学習に関する環境》、《26. スポーツを親しめる環境》、《28. 特色のある文化や歴史を持つ都市との交流》、《29. 国際交流活動》で増加傾向がみられます。

性別に評価点（図 3.7.61～図 3.7.67）をみると、女性は《26. スポーツを親しめる環境》、男性は《23. 学校教育》が最も高くなっています。また、女性・男性ともに《29. 国際交流活動》が最も低くなっています。

年齢別に評価点をみると、《27. 芸術・文化を親しめる環境》、《29. 国際交流活動》は70歳以上、それ以外の項目は30歳未満が最も高くなっています。また、《23. 学校教育》（30歳未満59.1点、40歳代52.8点）は年齢層による差が最も大きくなっています。

居住地域別に評価点をみると、全ての項目で豊津・江坂・南吹田地域が最も低くなっています。また、《23. 学校教育》（山田・千里丘地域57.4点、豊津・江坂・南吹田地域52.2点）、《26. スポーツを親しめる環境》（千里ニュータウン・万博・阪大地域56.2点、豊津・江坂・南吹田地域51.2点）は地域による差が大きくなっています。

■重要度

教育・文化についての重要度（図 3.7.58）は、全ての項目で『重要である』の方が『重要ではない』に比べ割合が高くなっています。特に、《23. 学校教育》（63.5%）、《24. 青少年の育成》（57.5%）が他の項目と比べて高くなっています。

重要度の評価点は、《23. 学校教育》（77.0点）が最も高く、次いで、《24. 青少年の育成》（73.1点）が70点以上となっています。

性別に評価点（図 3.7.61～図 3.7.67）をみると、女性・男性ともに《23. 学校教育》が最も高く、次いで、《24. 青少年の育成》となっています。また、全ての項目で男性より女性の方が評価点が高く、特に《29. 国際交流活動》（女性64.8点、男性60.1点）は差が大きくなっています。

年齢別に評価点をみると、《28. 特色のある文化や歴史を持つ都市との交流》では70歳以上が、《29. 国際交流活動》では60歳代が、それ以外の項目では30歳代が最も高くなっています。

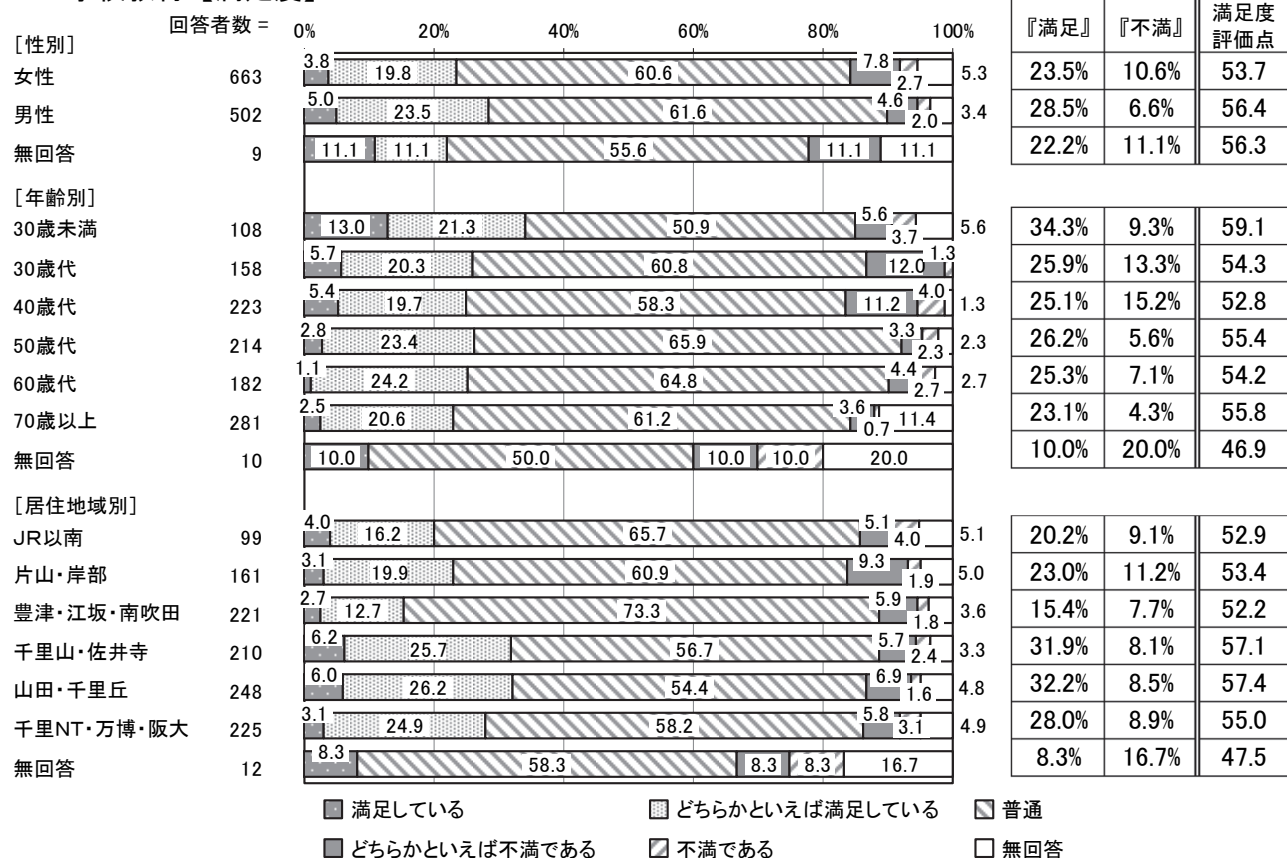
居住地域別に評価点をみると、全ての項目で千里ニュータウン・万博・阪大地域が最も高くなっています。また、《24. 青少年の育成》（千里ニュータウン・万博・阪大地域77.4点、JR以南地域69.4点）は地域による差が大きくなっています。

■満足度と重要度の関係

満足度と重要度の関係（図 3.7.60）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《23. 学校教育》（満足度 54.9 点、重要度 77.0 点、差 22.0 点）、《24. 青少年の育成》（満足度 53.6 点、重要度 73.1 点、差 19.5 点）、《25. 生涯学習に関する環境》（満足度 52.1 点、重要度 68.1 点、差 16.0 点）となっています。

図 3.7.61 教育・文化についての満足度・重要度①(性別・年齢別・居住地域別)

23. 学校教育【満足度】



23. 学校教育【重要度】

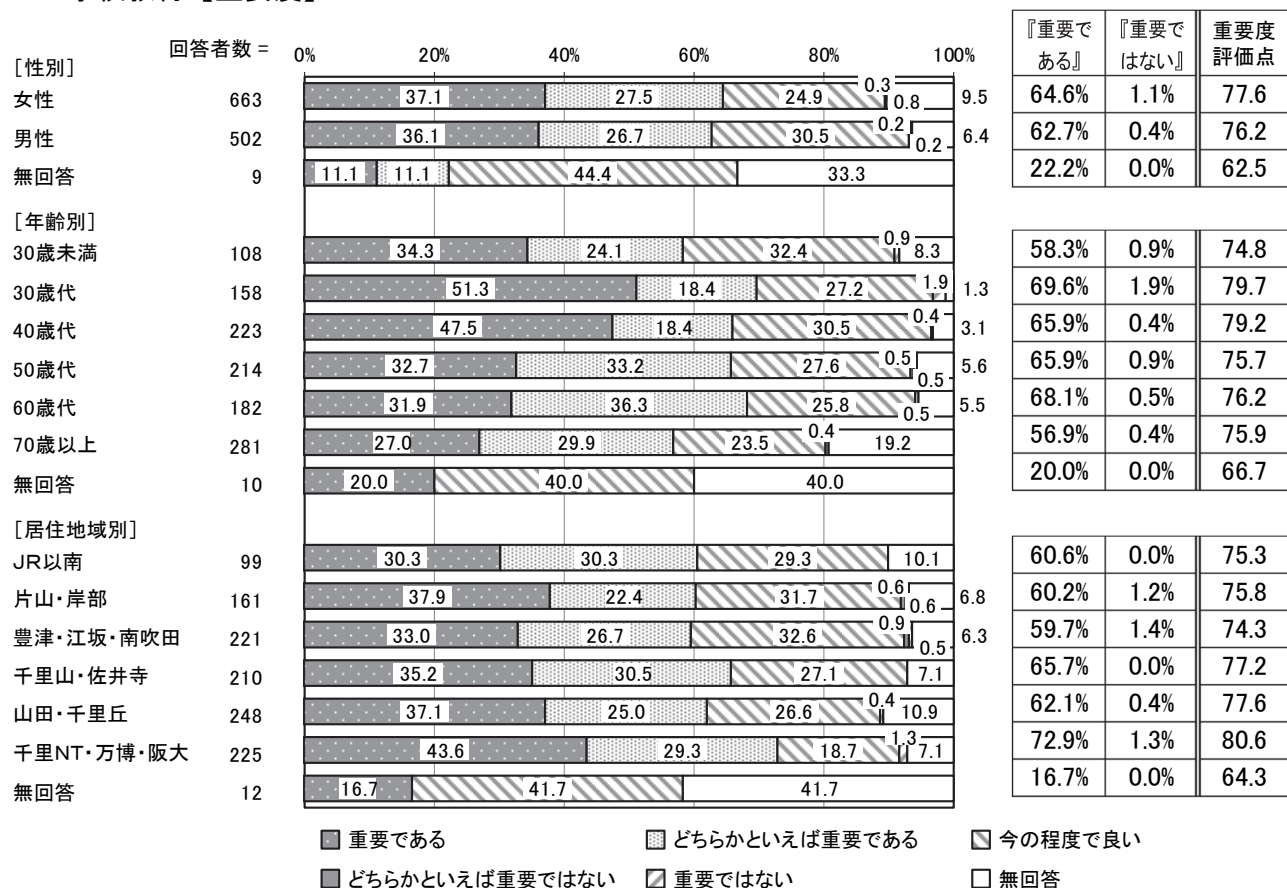
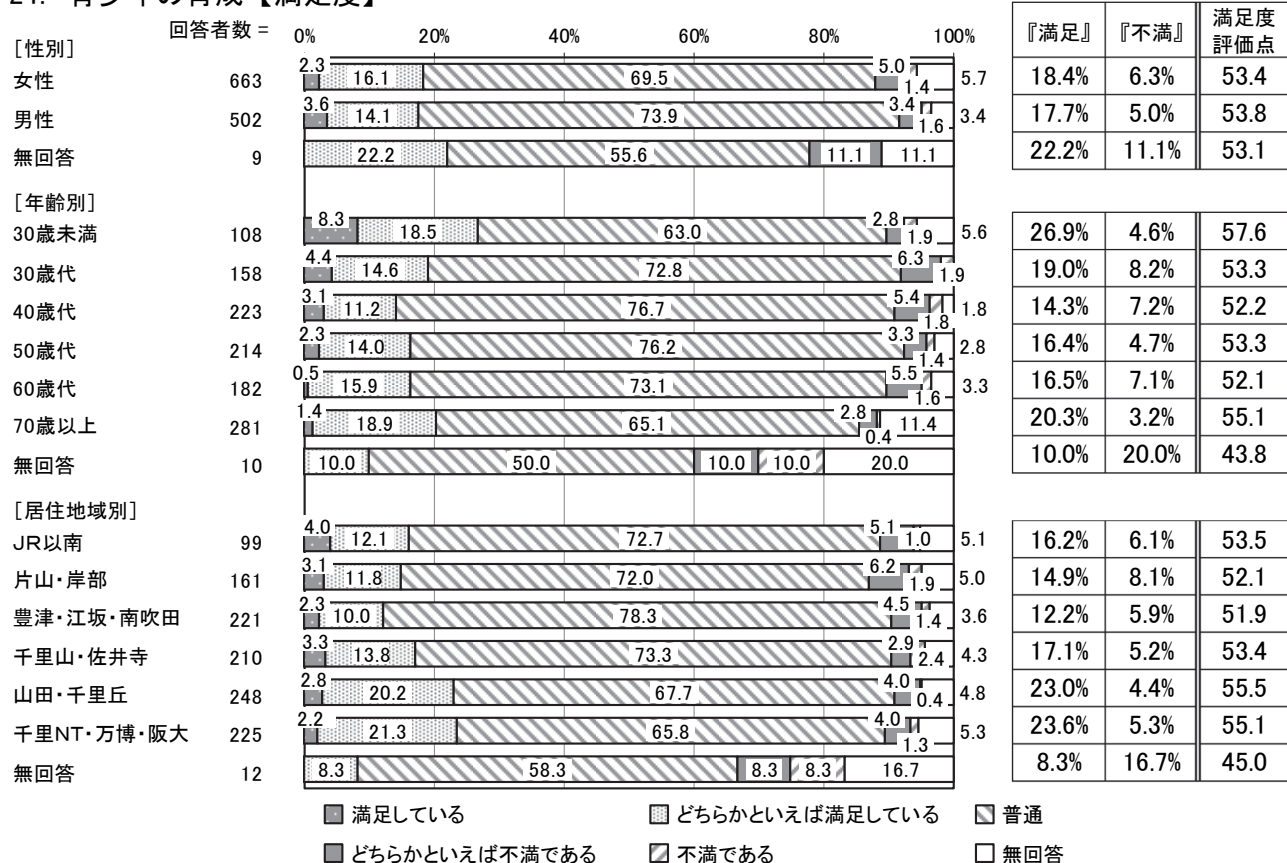


図 3.7.62 教育・文化についての満足度・重要度②(性別・年齢別・居住地域別)

24. 青少年の育成【満足度】



24. 青少年の育成【重要度】

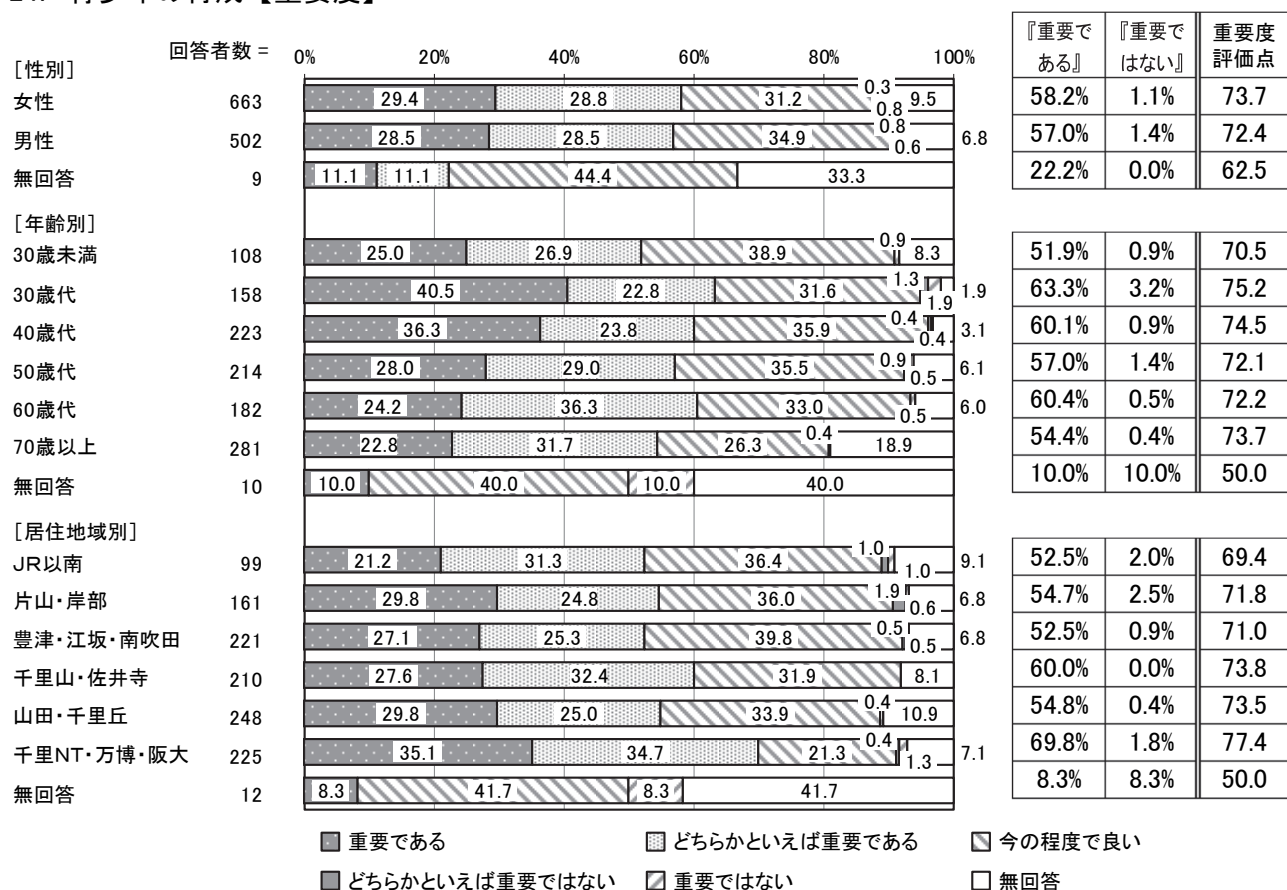
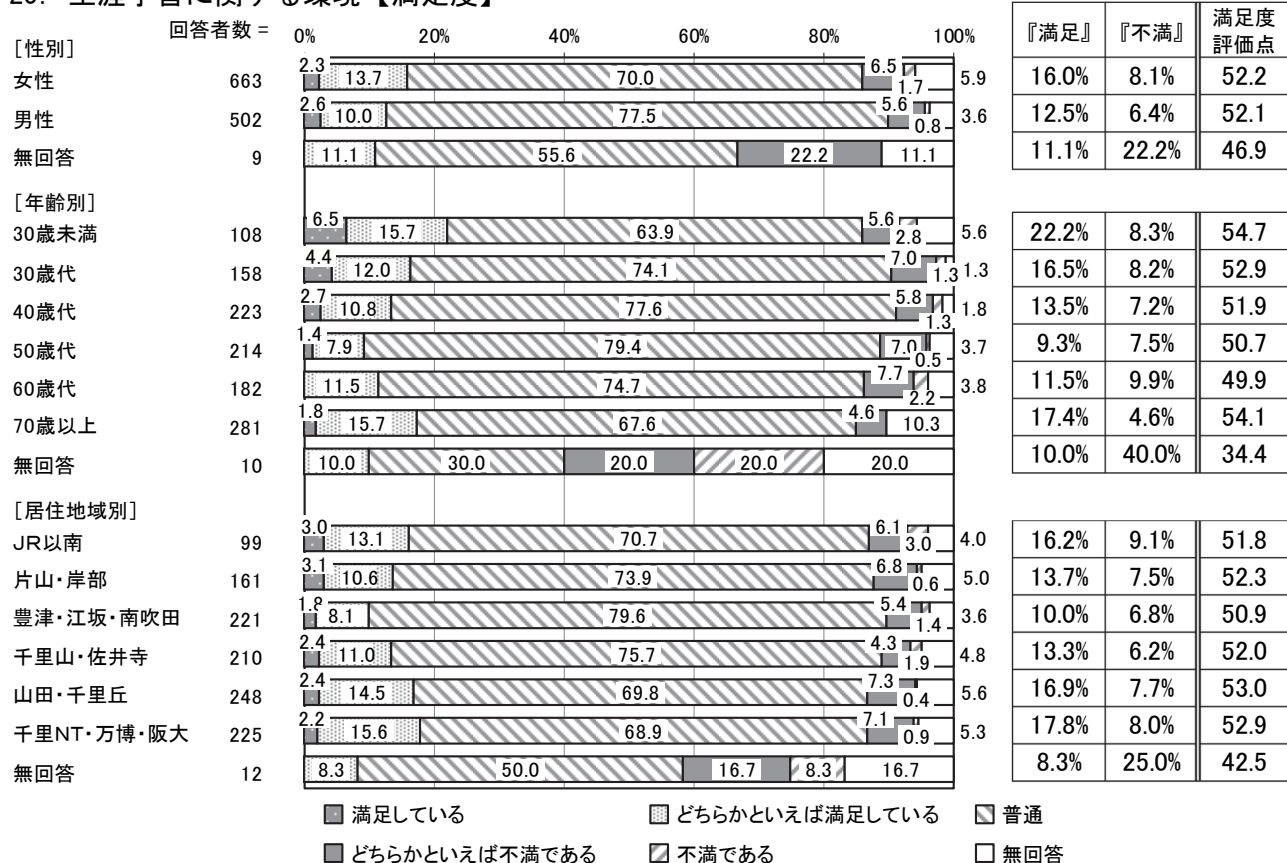


図 3.7.63 教育・文化についての満足度・重要度③(性別・年齢別・居住地域別)

25. 生涯学習に関する環境【満足度】



25. 生涯学習に関する環境【重要度】

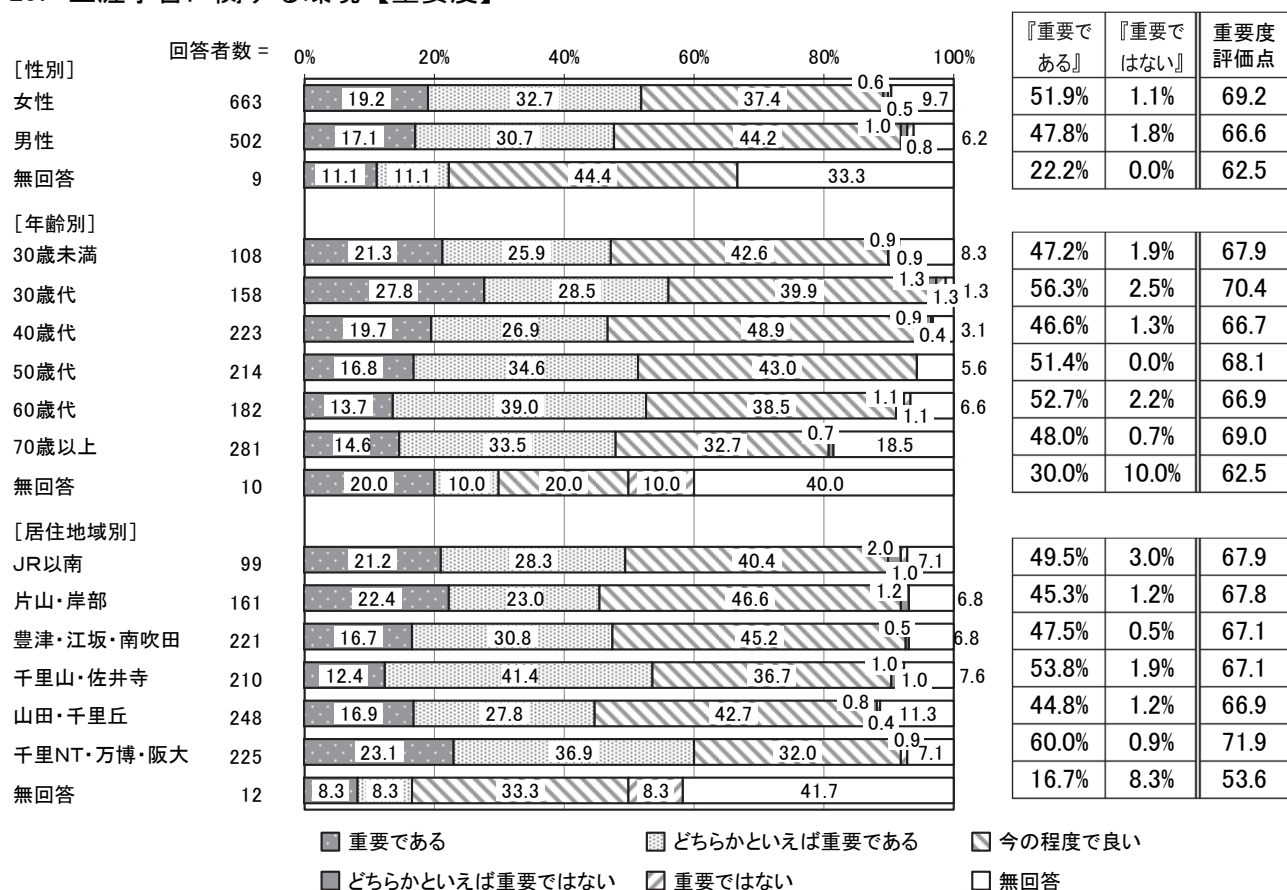
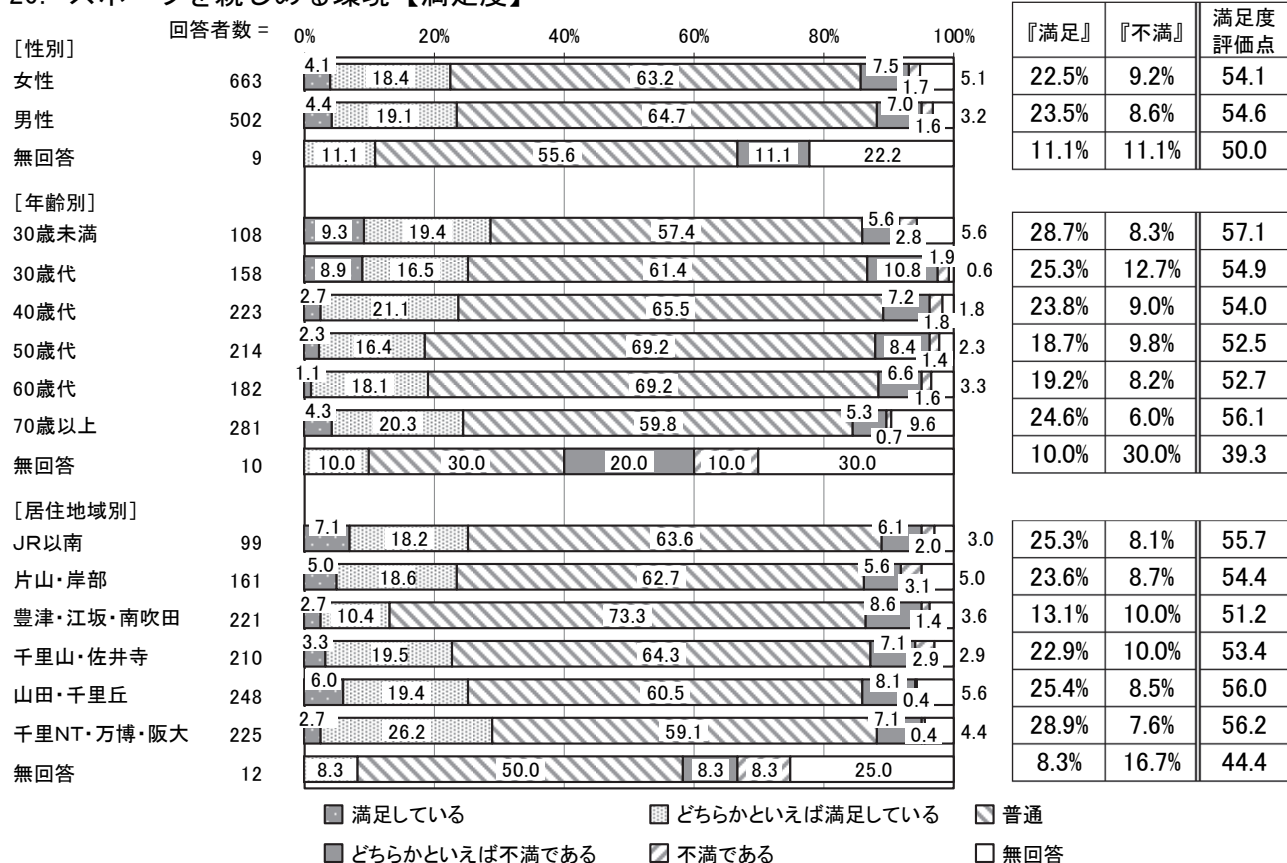


図 3.7.64 教育・文化についての満足度・重要度④(性別・年齢別・居住地域別)

26. スポーツを親しめる環境【満足度】



26. スポーツを親しめる環境【重要度】

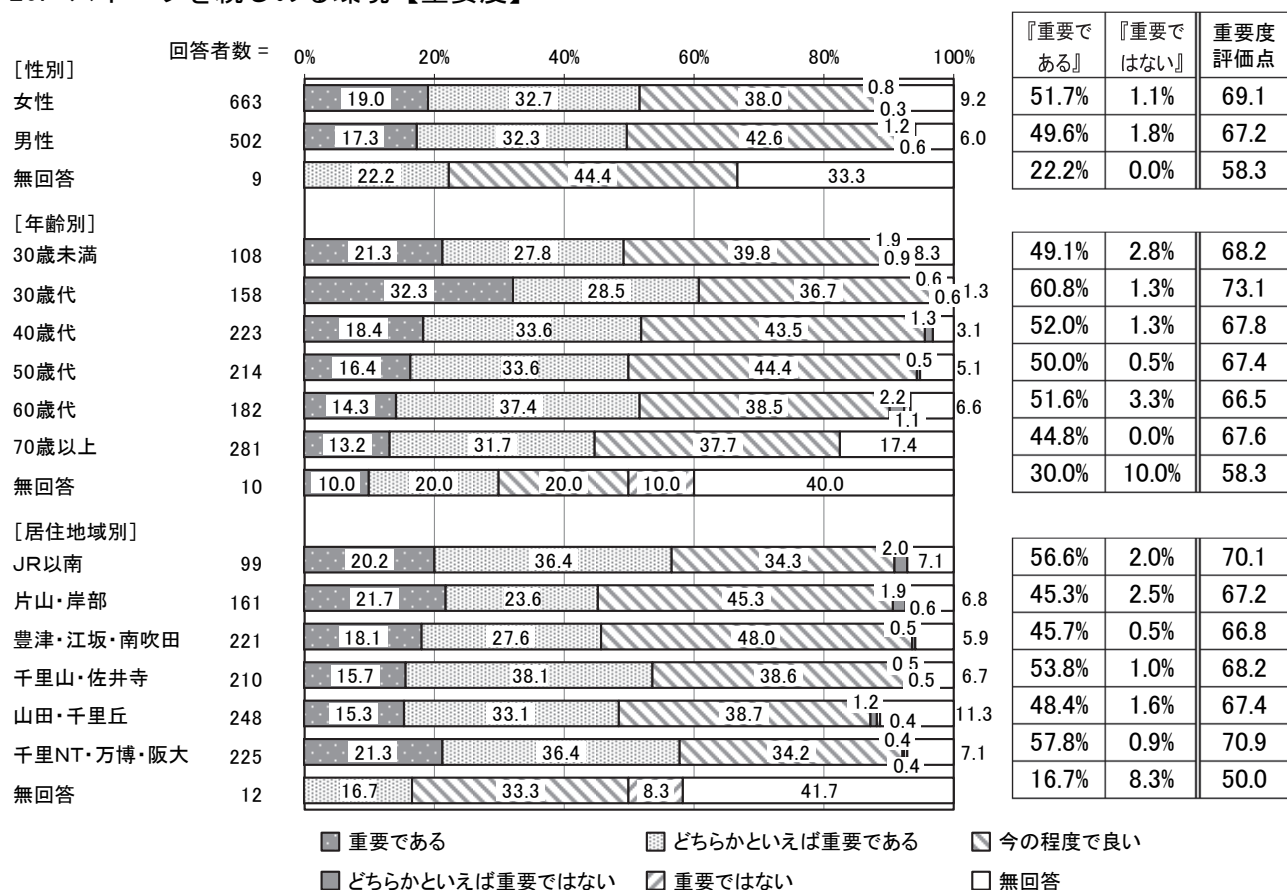
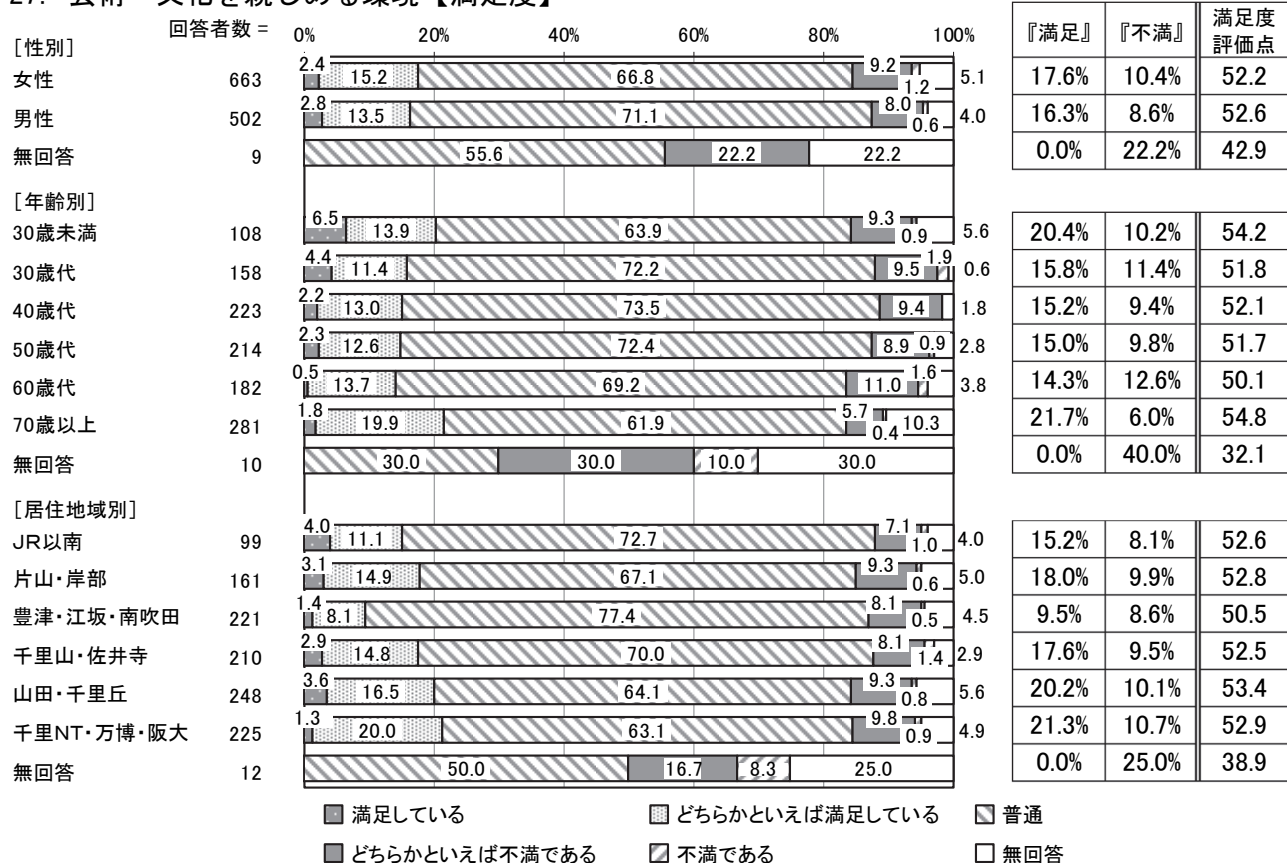


図 3.7.65 教育・文化についての満足度・重要度⑤(性別・年齢別・居住地域別)

27. 芸術・文化を親しめる環境【満足度】



27. 芸術・文化を親しめる環境【重要度】

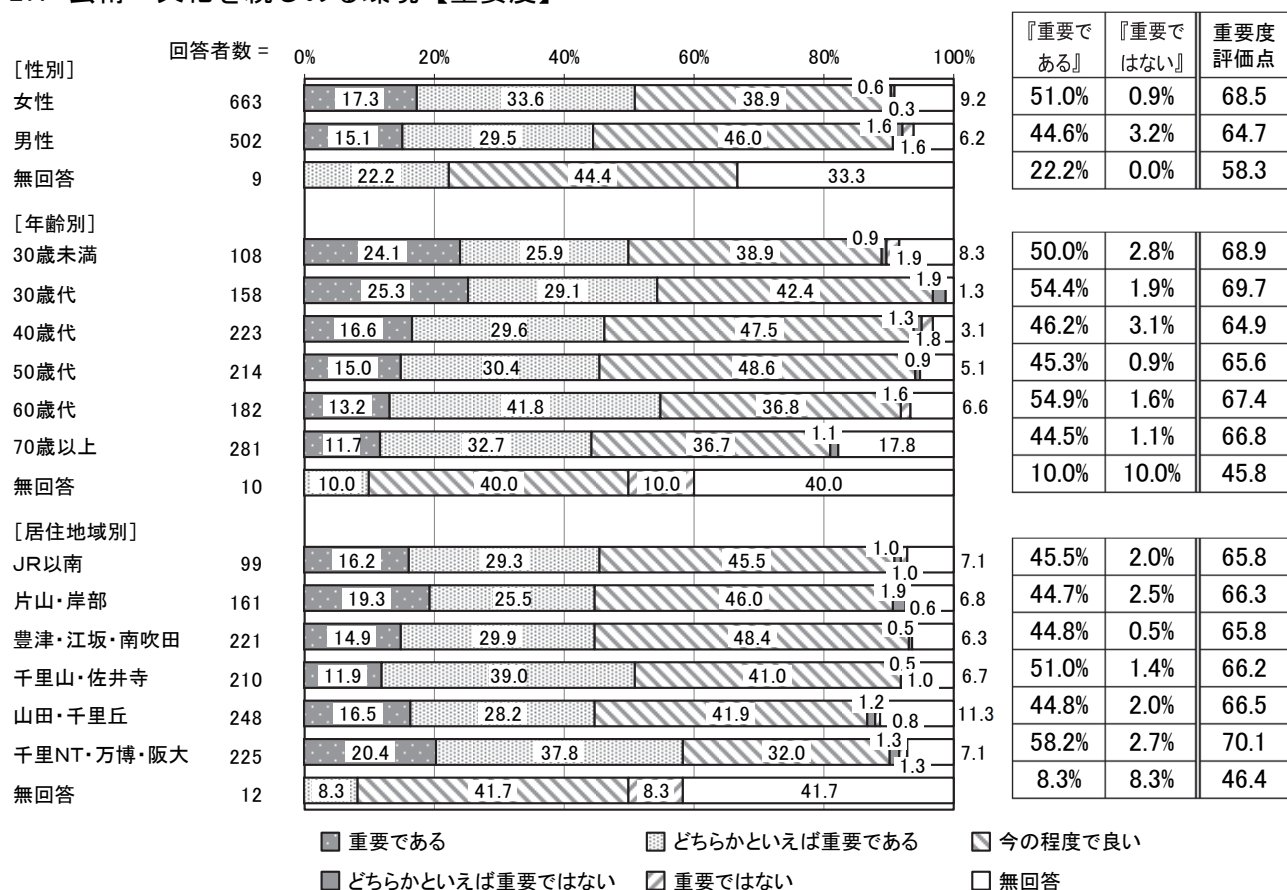
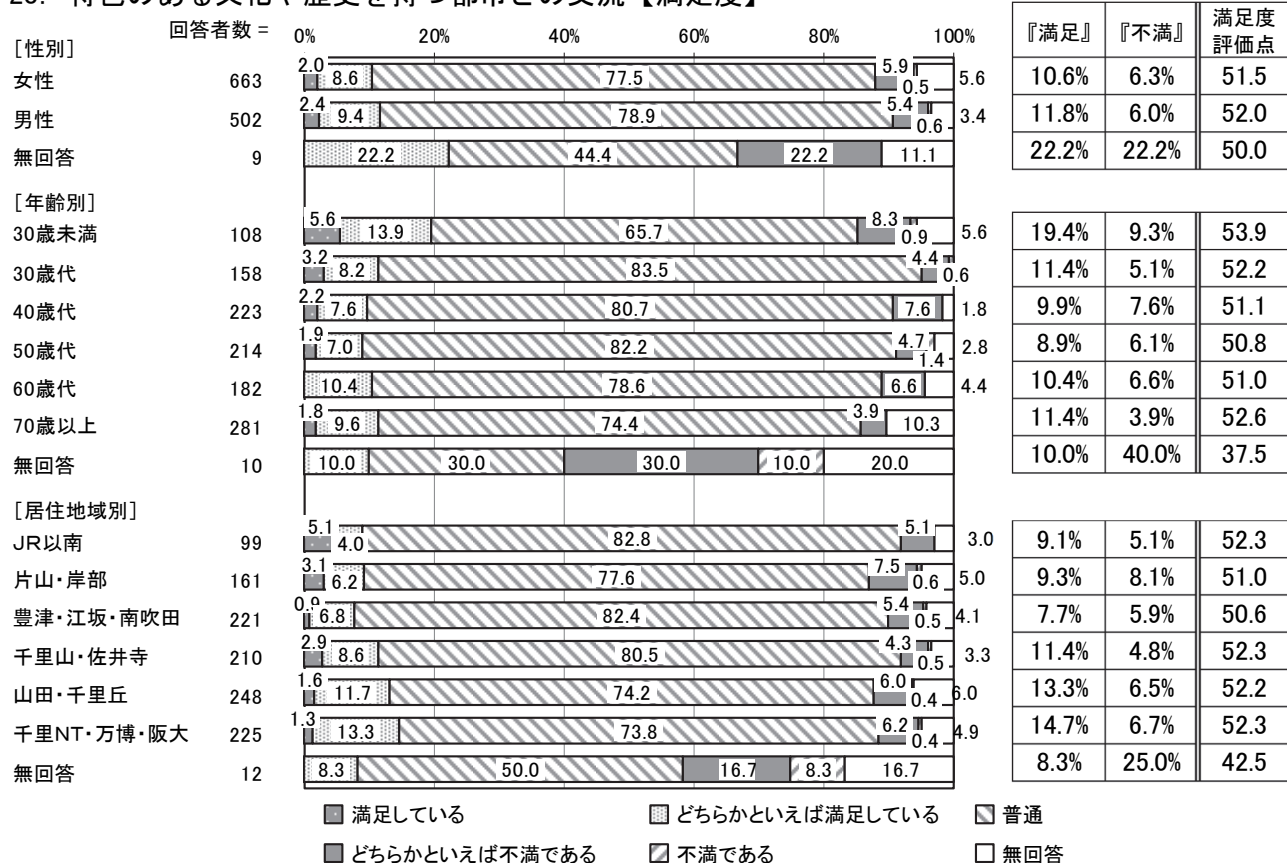


図 3.7.66 教育・文化についての満足度・重要度⑥(性別・年齢別・居住地域別)

28. 特色のある文化や歴史を持つ都市との交流【満足度】



28. 特色のある文化や歴史を持つ都市との交流【重要度】

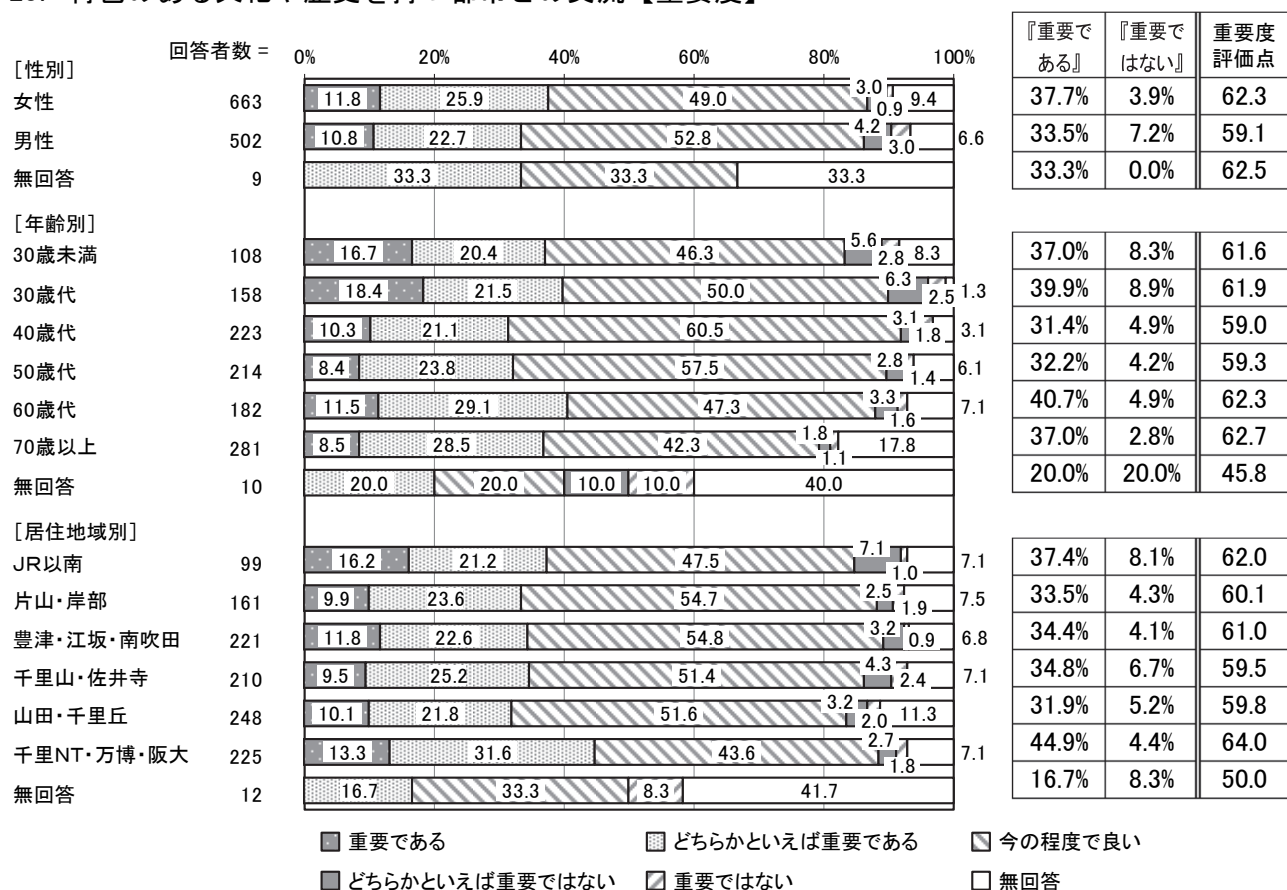
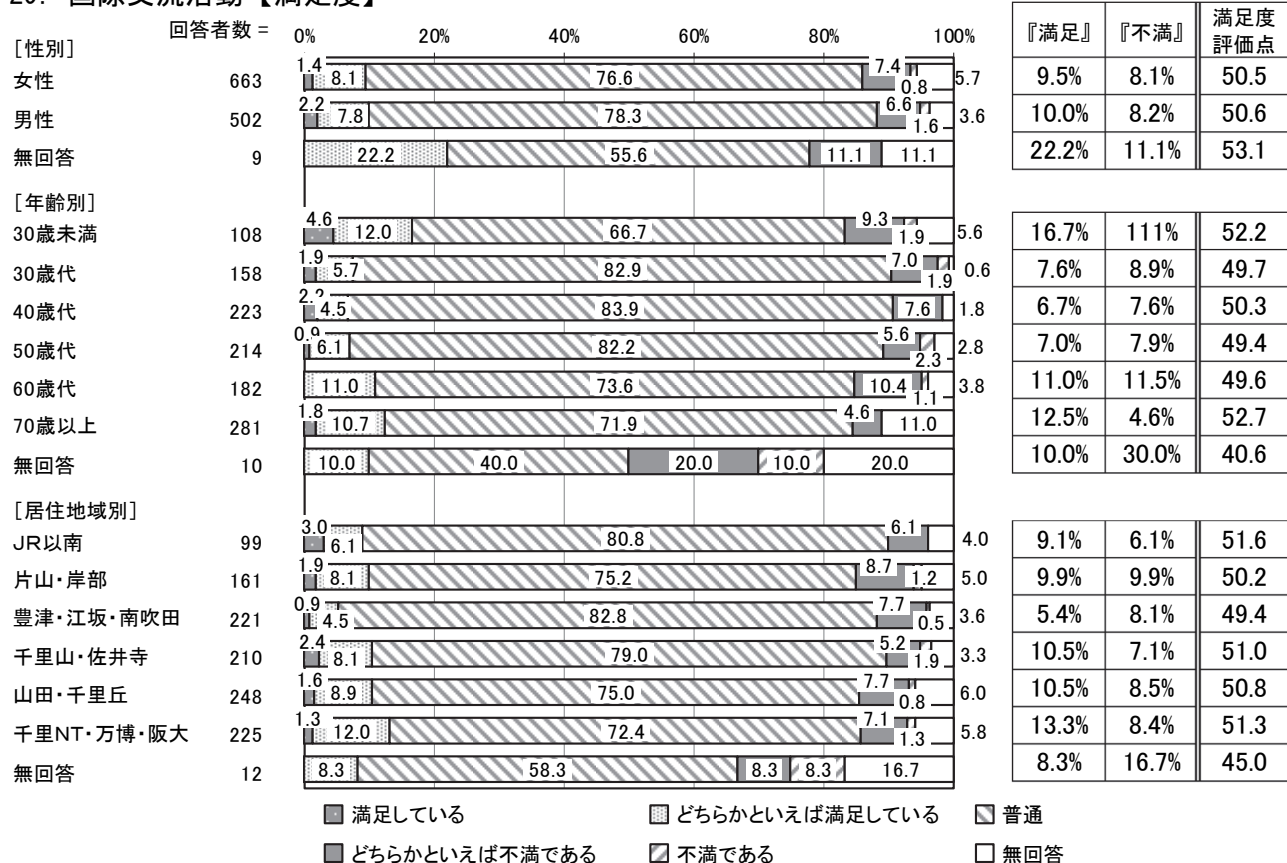


図 3.7.67 教育・文化についての満足度・重要度⑦(性別・年齢別・居住地域別)

29. 国際交流活動【満足度】



29. 国際交流活動【重要度】

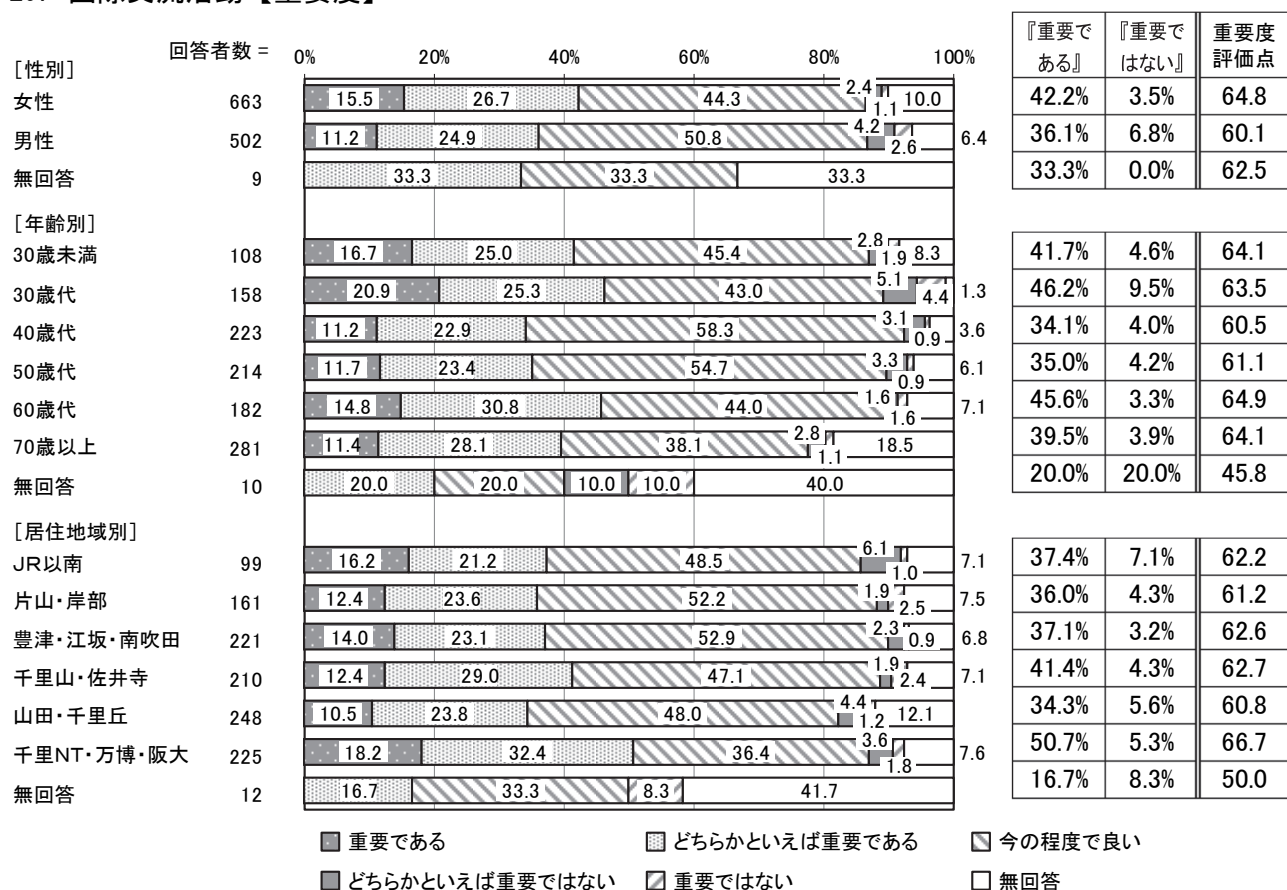
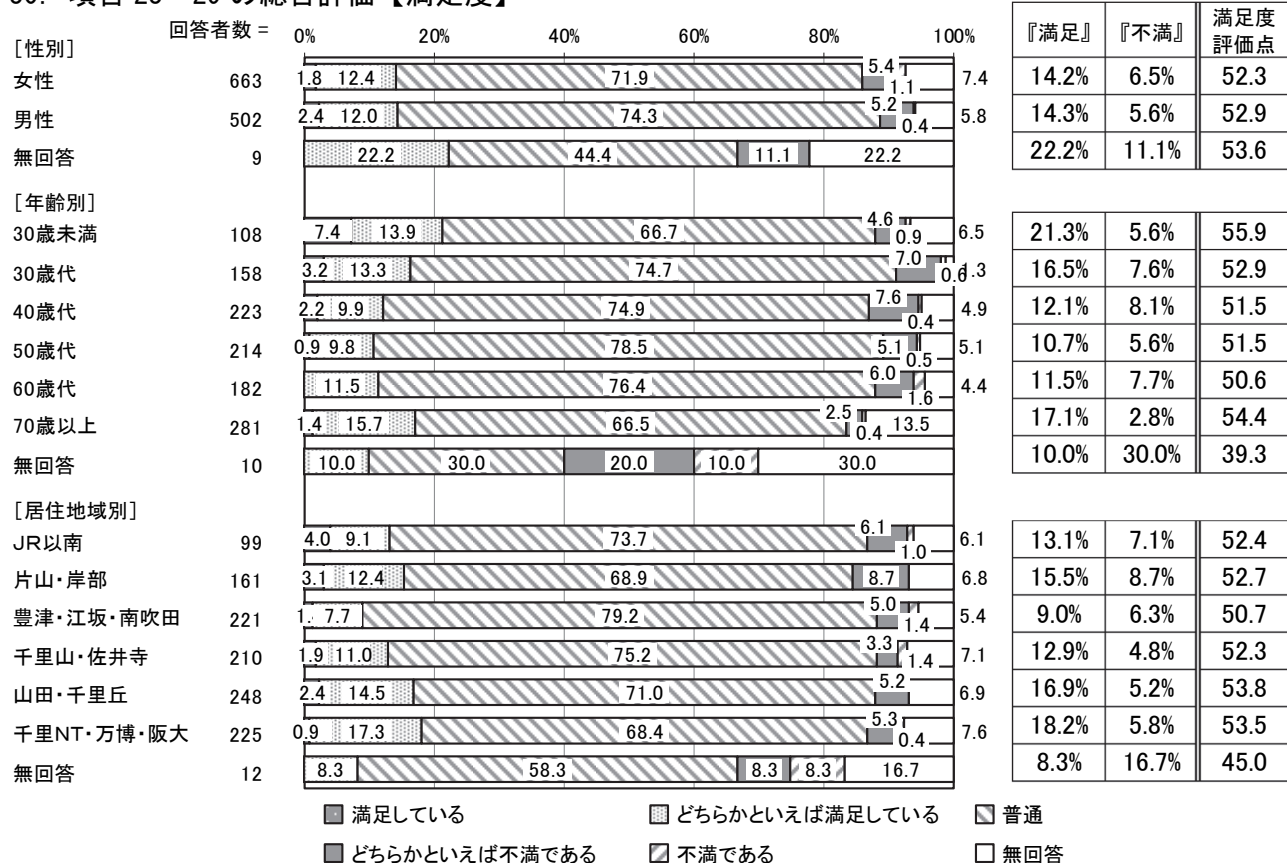
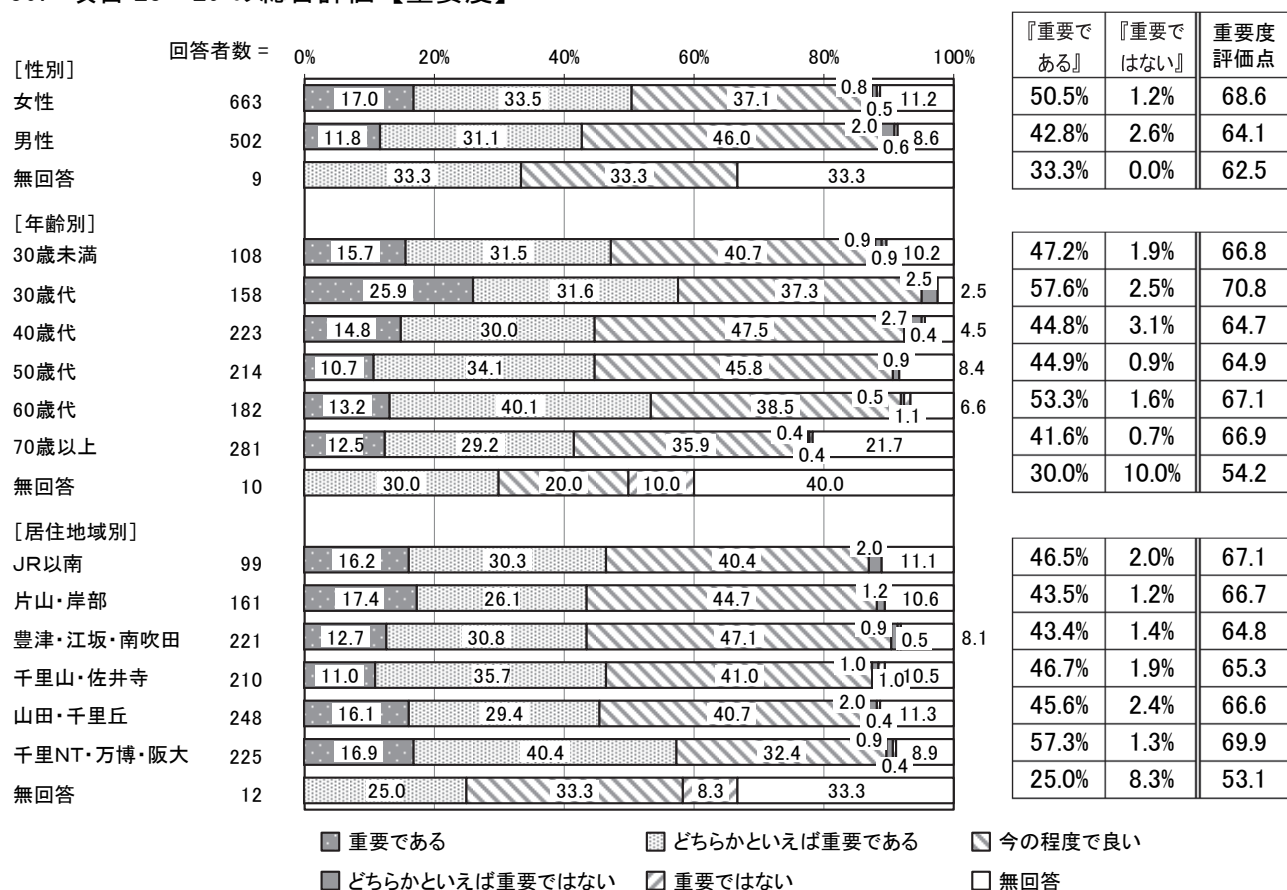


図 3.7.68 教育・文化についての満足度・重要度⑧(性別・年齢別・居住地域別)

30. 項目 23～29 の総合評価【満足度】



30. 項目 23～29 の総合評価【重要度】



[環境についての満足度・重要度]

図 3.7.69 環境についての満足度

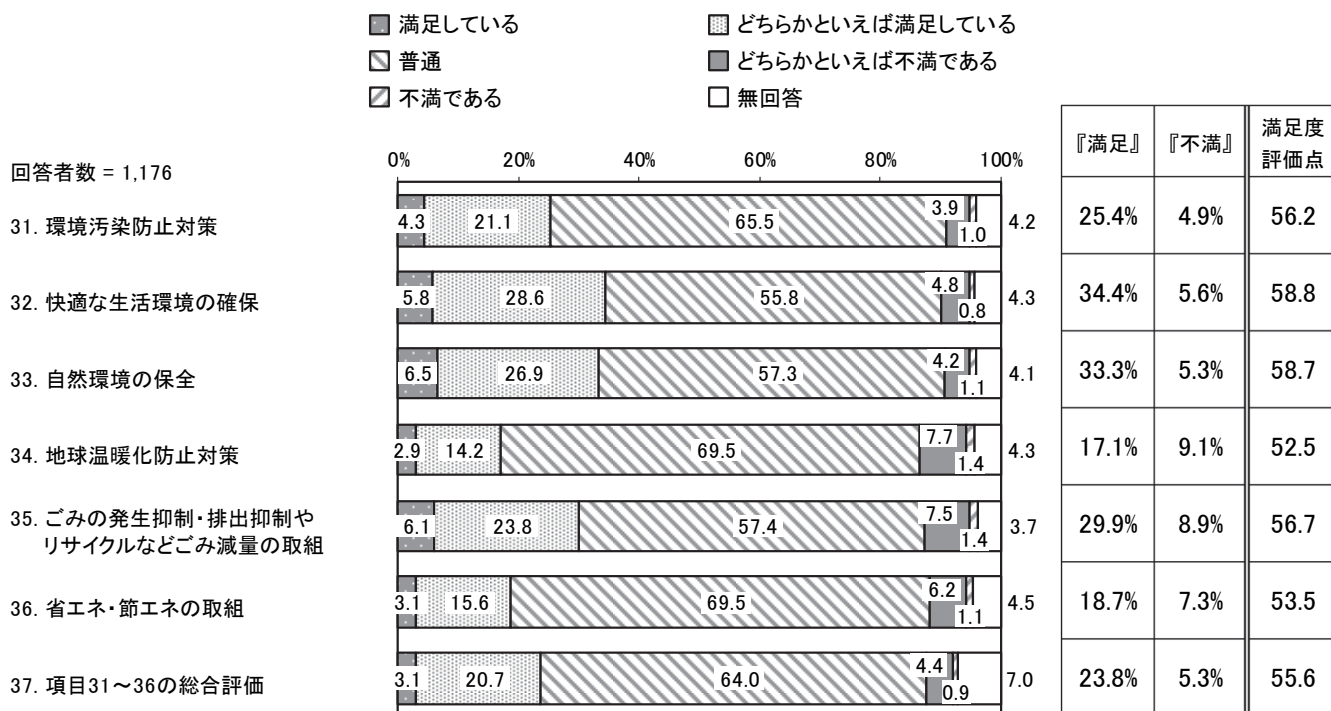


図 3.7.70 環境についての重要度

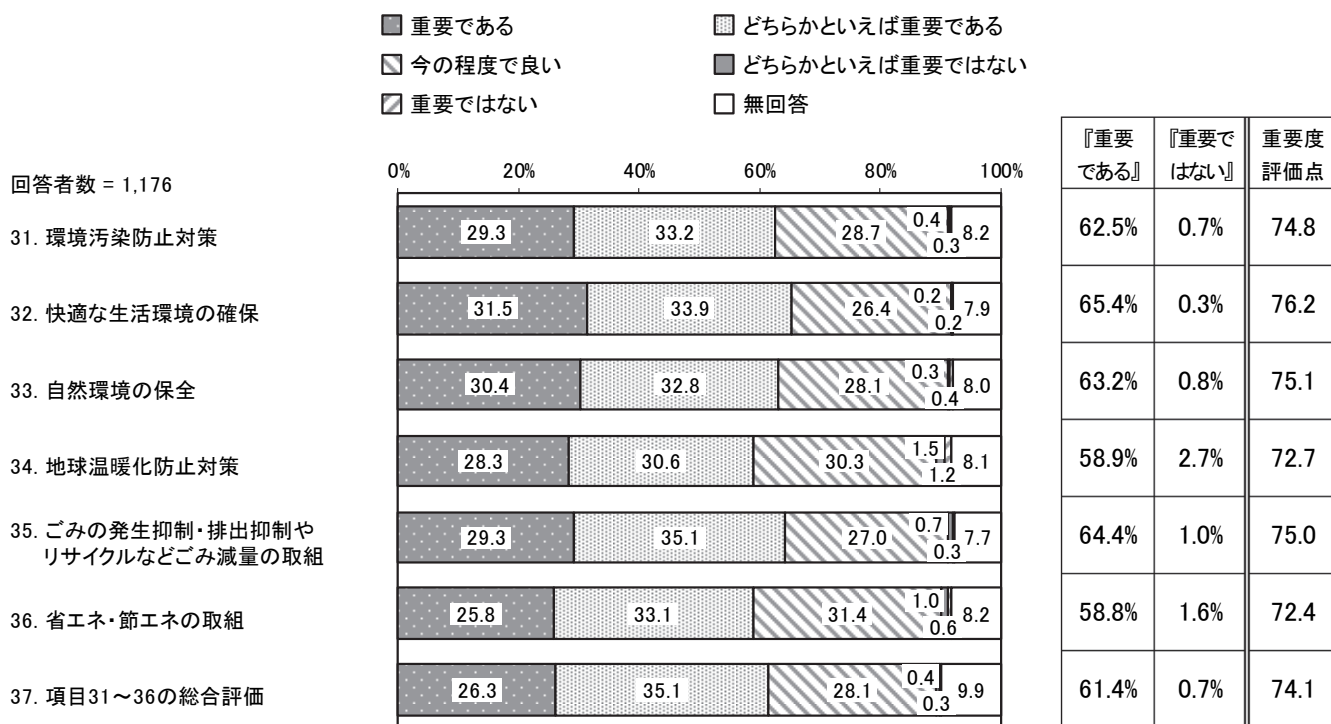


図 3.7.71 満足度評価点の経年比較

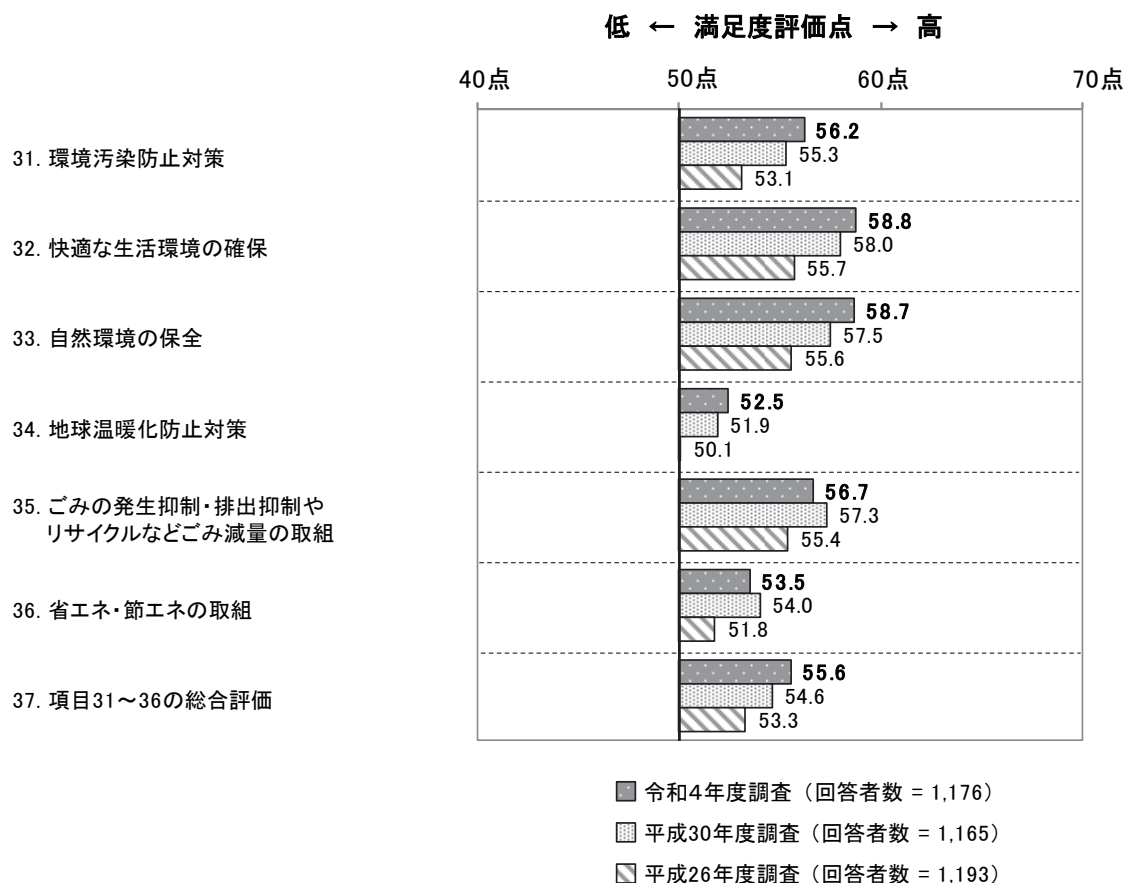
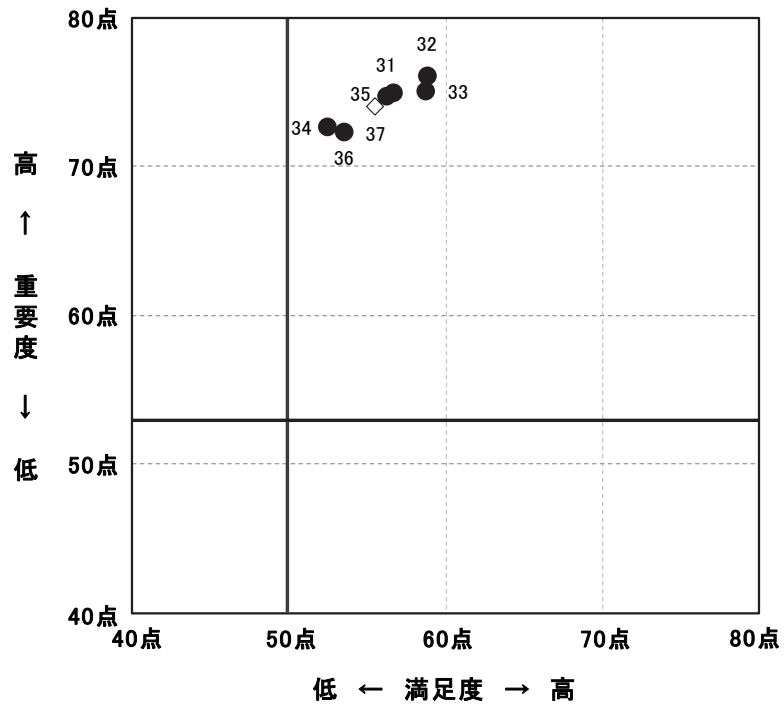


図 3.7.72 満足度と重要度の関係



- 31. 環境汚染防止対策
- 32. 快適な生活環境の確保
- 33. 自然環境の保全
- 34. 地球温暖化防止対策
- 35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組
- 36. 省エネ・節エネの取組
- ◇37. 項目31～36の総合評価

■満足度

環境についての満足度(図 3.7.69)は、全ての項目で「普通」の割合が最も高くなっています。また、全ての項目で『満足』の方が『不満』に比べ割合が高くなっています。特に、《32. 快適な生活環境の確保》(34.4%)、《33. 自然環境の保全》(33.3%)が他の項目と比べて高くなっています。

満足度の評価点は、《32. 快適な生活環境の確保》(58.8点)が最も高く、次いで《33. 自然環境の保全》(58.7点)となっていますが、いずれの項目でも50点台となっています。

平成30年度調査・平成26年度調査と比較(図 3.7.71)すると、《31. 環境汚染防止対策》、《32. 快適な生活環境の確保》、《33. 自然環境の保全》、《34. 地球温暖化防止対策》で増加傾向となっています。

性別に評価点(図 3.7.73~図 3.7.78)をみると、女性では《32. 快適な生活環境の確保》(58.2点)、男性では《33. 自然環境の保全》(59.8点)が最も高くなっています。

年齢別に評価点をみると、《35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組》、《36. 省エネ・節エネの取組》は70歳以上、それ以外の項目は30歳未満が最も高くなっています。また、《35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組》(70歳以上60.2点、40歳代54.5点)は年齢層による差が最も大きくなっています。

居住地域別に評価点をみると、全ての項目で千里ニュータウン・万博・阪大地域が最も高くなっています。一方、《31. 環境汚染防止対策》、《32. 快適な生活環境の確保》、《33. 自然環境の保全》ではJR以南地域が、その他の項目では片山・岸部地域が最も低くなっています。また、《32. 快適な生活環境の確保》(千里ニュータウン・万博・阪大地域63.8点、JR以南地域53.2点)、《33. 自然環境の保全》(千里ニュータウン・万博・阪大地域64.8点、JR以南地域52.9点)は地域による差が大きくなっています。

■重要度

環境についての重要度(図 3.7.70)は、全ての項目で『重要である』が5割以上となっています。特に、《32. 快適な生活環境の確保》(65.4%)、《35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組》(64.4%)が他の項目と比べて高くなっています。

重要度の評価点は、全ての項目で70点以上と高くなっています。特に、《32. 快適な生活環境の確保》(76.2点)、《33. 自然環境の保全》(75.1点)、《35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組》(75.0点)で評価点が高くなっています。

性別に評価点（図 3.7.73～図 3.7.78）をみると、女性・男性ともに《32. 快適な生活環境の確保》が最も高くなっています。また、全ての項目で男性より女性の方が評価点が高く、特に《34. 地球温暖化防止対策》（女性 75.3 点、男性 69.5 点）は差が大きくなっています。

年齢別に評価点をみると、《34. 地球温暖化防止対策》、《36. 省エネ・節エネの取組》で 70 歳以上が、それ以外の項目では 30 歳代が最も高くなっています。また、《34. 地球温暖化防止対策》（70 歳代 75.1 点、30 歳未満 67.5 点）は年齢層による差が最も大きくなっています。

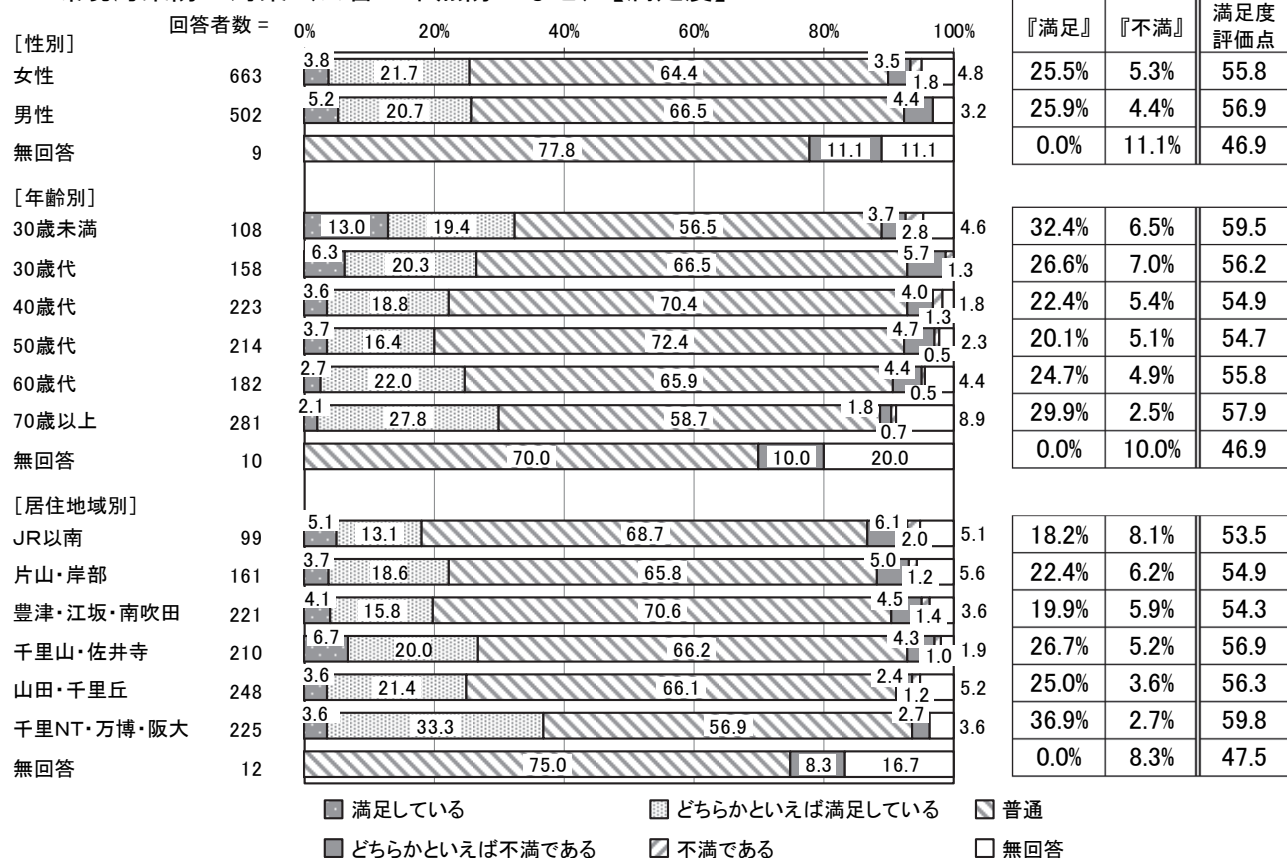
居住地域別に評価点をみると、全ての項目で千里ニュータウン・万博・阪大地域が最も高くなっています。また、《33. 自然環境の保全》（千里ニュータウン・万博・阪大地域 80.6 点、JR 以南地域 72.5 点）は地域による差が大きくなっています。

■満足度と重要度の関係

満足度と重要度の関係（図 3.7.72）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《34. 地球温暖化防止対策》（満足度 52.5 点、重要度 72.7 点、差 20.2 点）、《36. 省エネ・節エネの取組》（満足度 53.5 点、重要度 72.4 点、差 18.9 点）、《31. 環境汚染防止対策》（満足度 56.2 点、重要度 74.8 点、差 18.6 点）となっています。

図 3.7.73 環境についての満足度・重要度①(性別・年齢別・居住地域別)

31. 環境汚染防止対策（公害の未然防止など）【満足度】



31. 環境汚染防止対策（公害の未然防止など）【重要度】

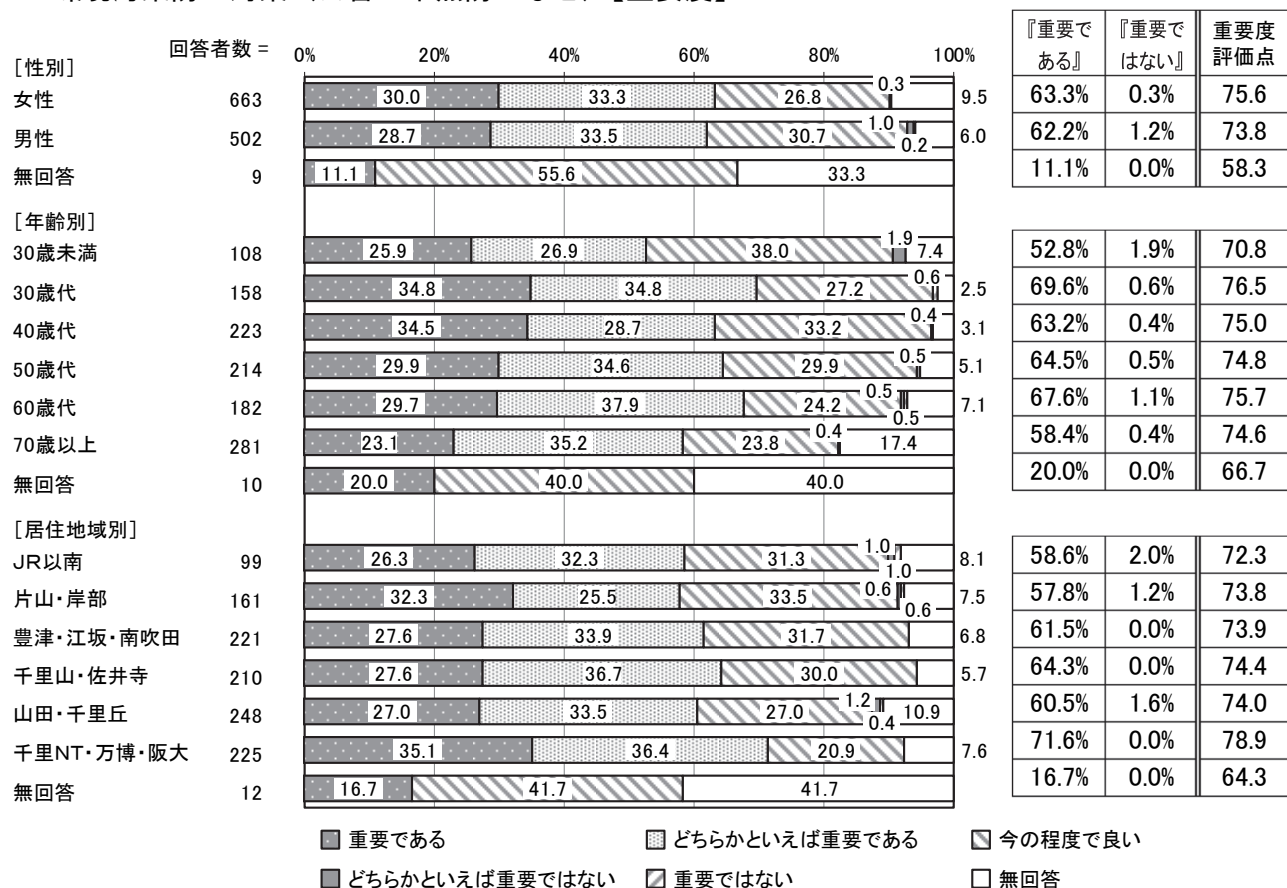
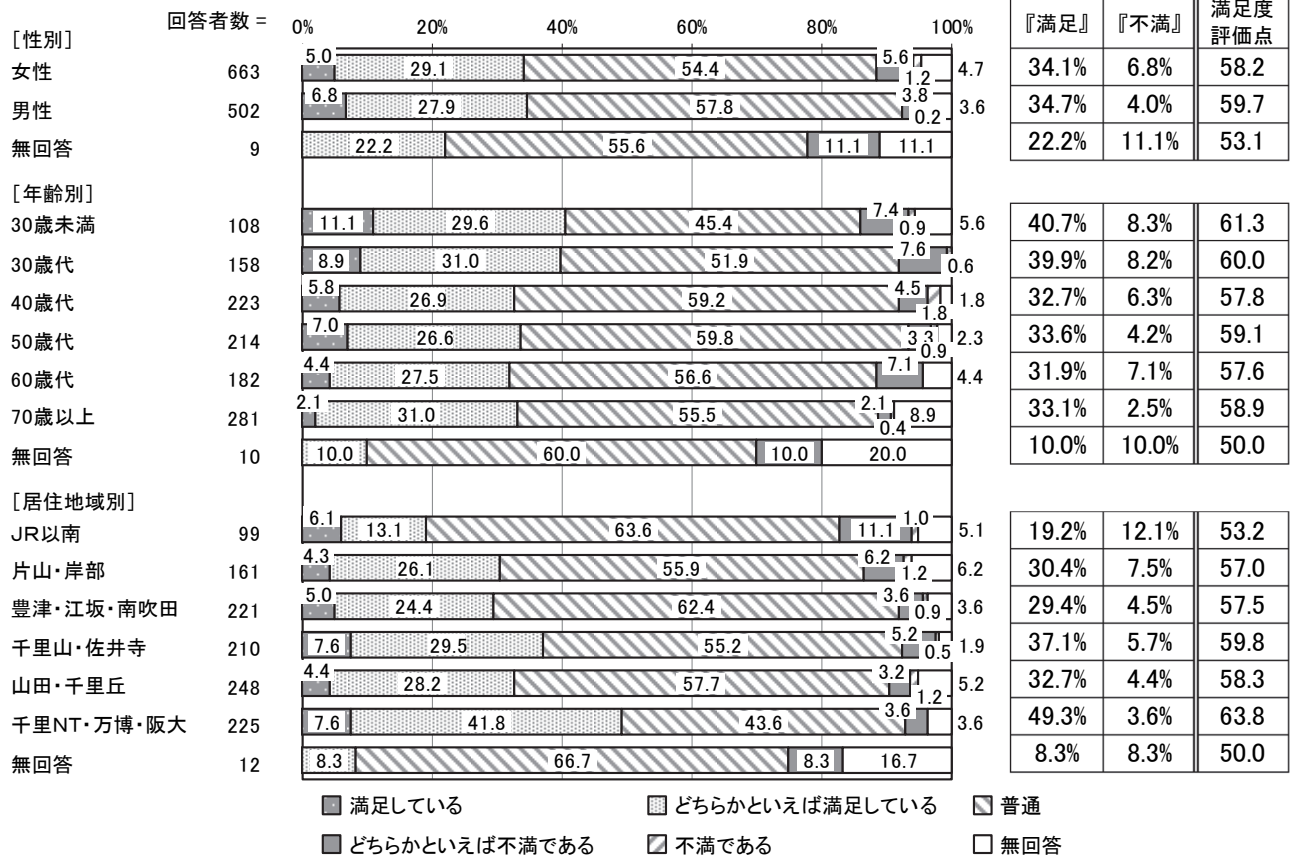


図 3.7.74 環境についての満足度・重要度②(性別・年齢別・居住地域別)

32. 快適な生活環境の確保【満足度】



32. 快適な生活環境の確保【重要度】

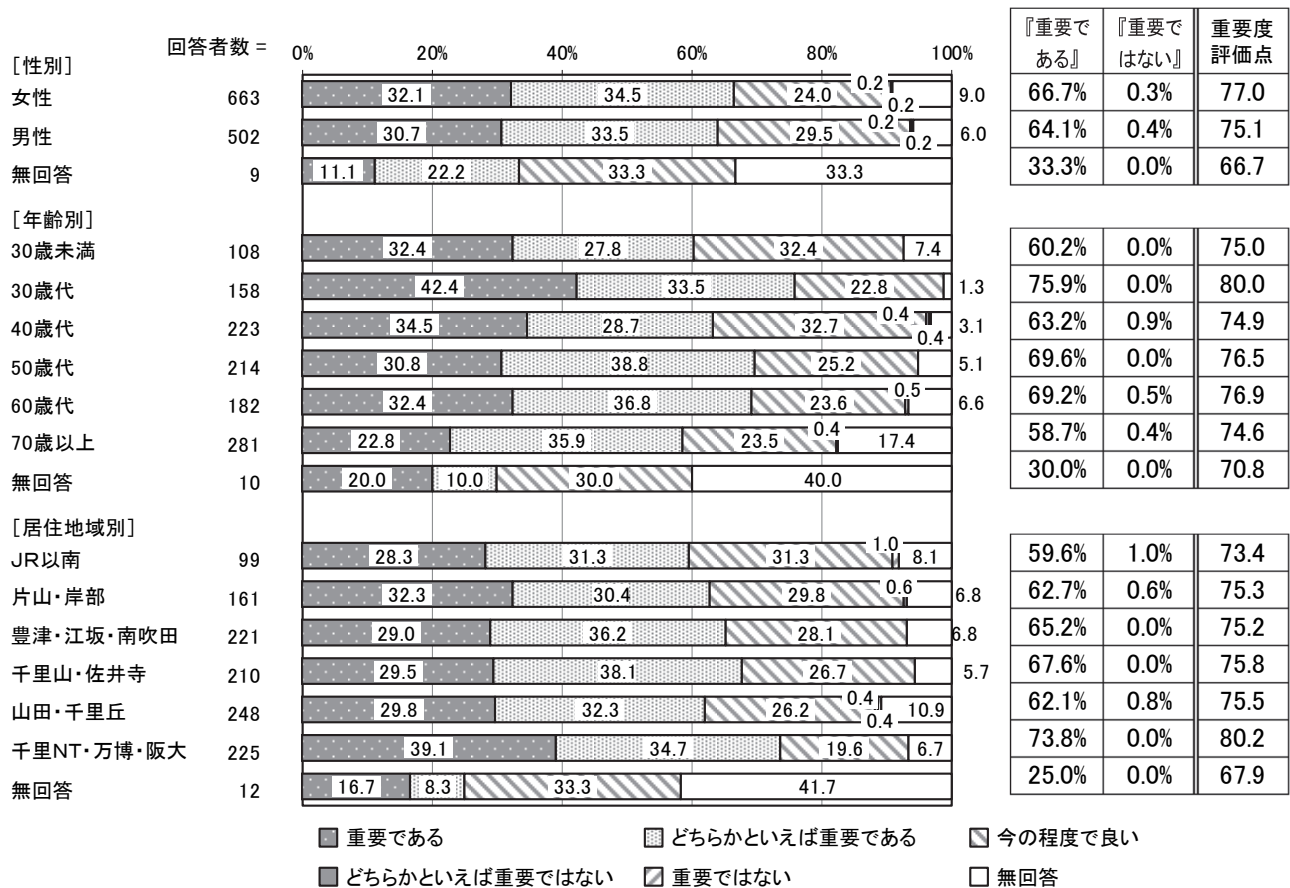
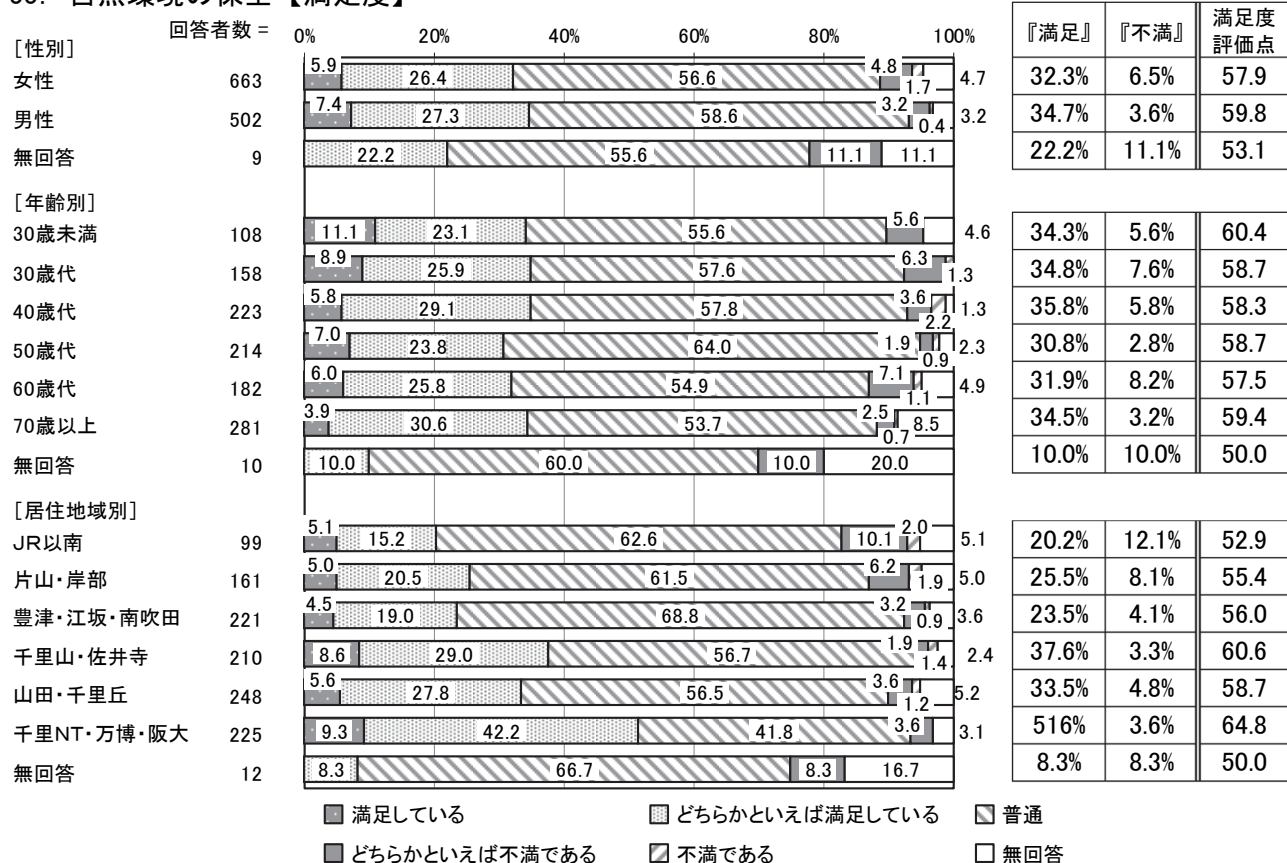


図 3.7.75 環境についての満足度・重要度③(性別・年齢別・居住地域別)

33. 自然環境の保全【満足度】



33. 自然環境の保全【重要度】

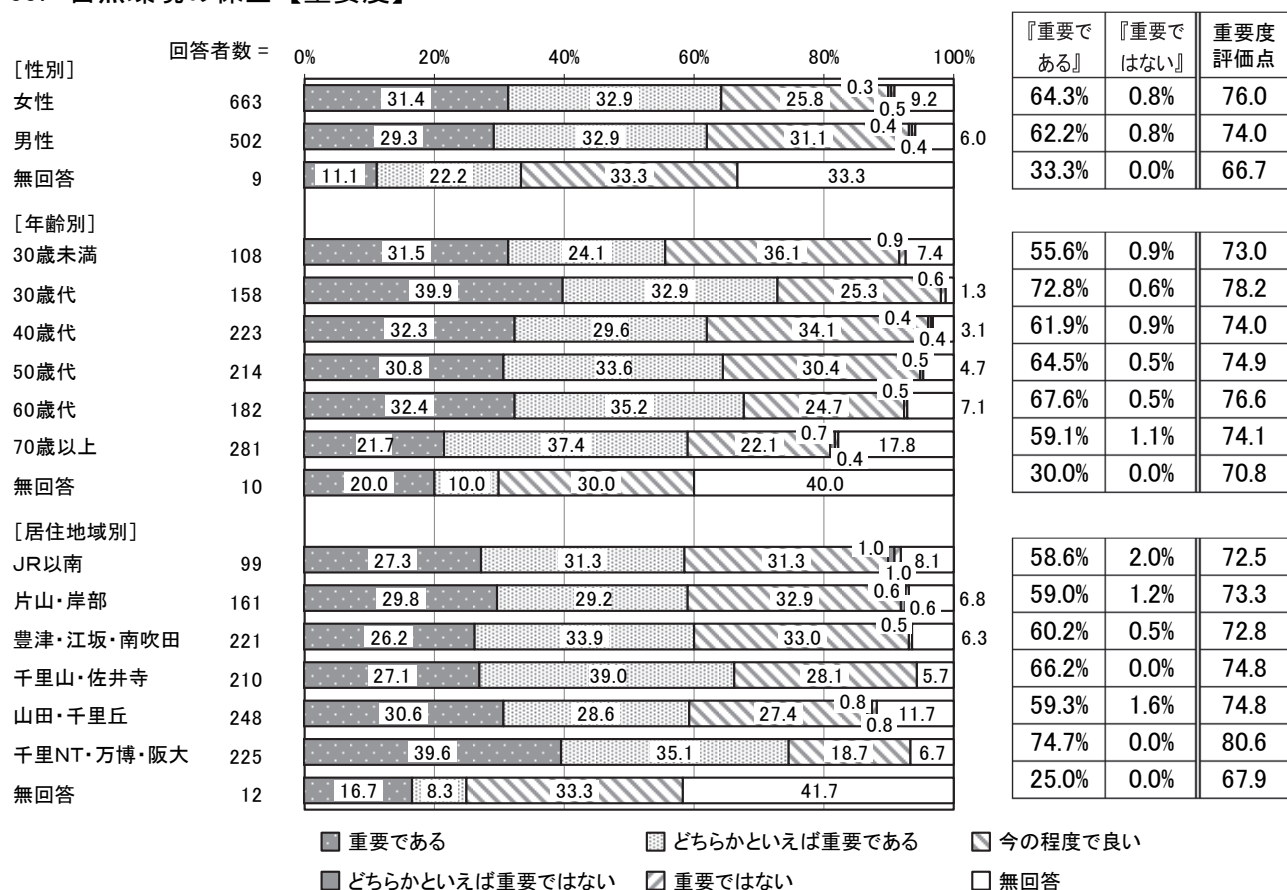
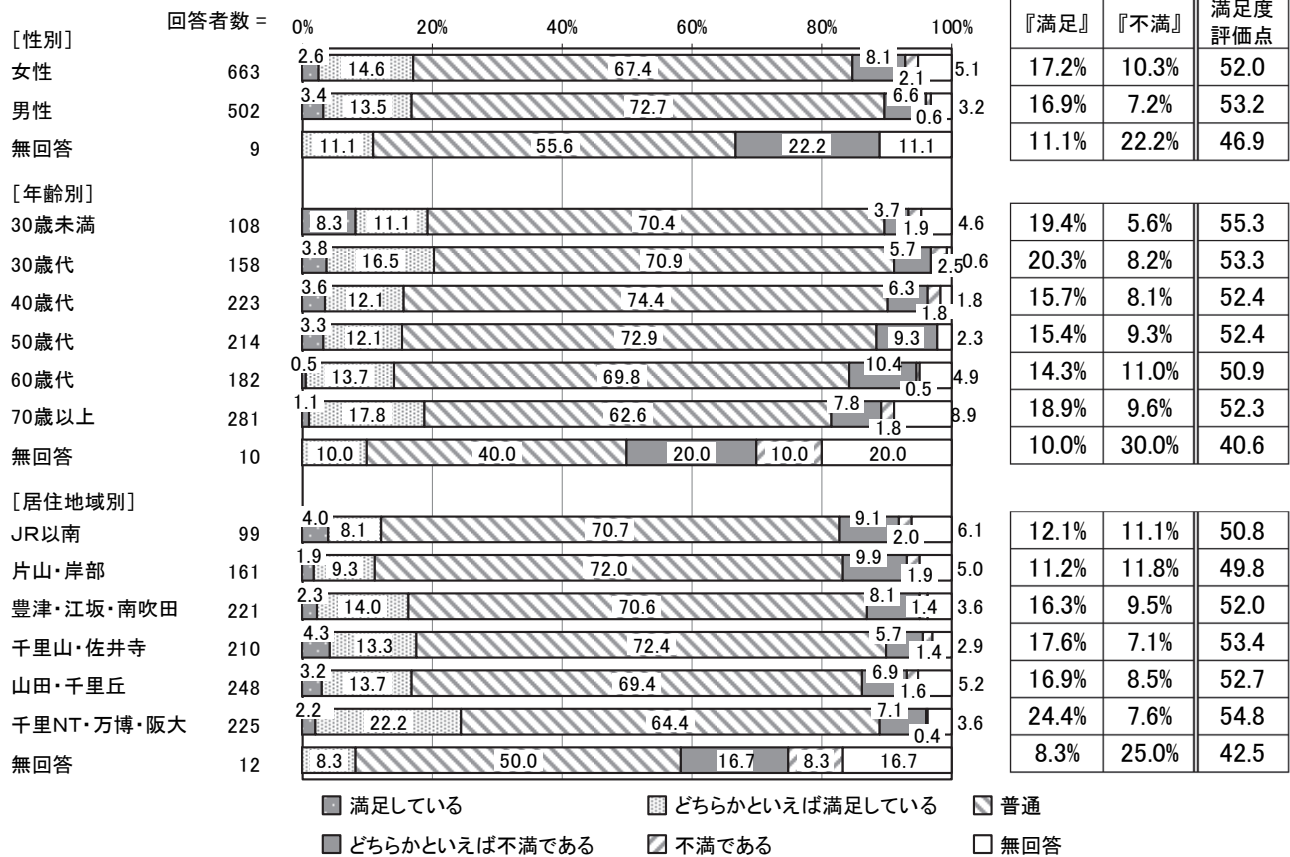


図 3.7.76 環境についての満足度・重要度④(性別・年齢別・居住地域別)

34. 地球温暖化防止対策【満足度】



34. 地球温暖化防止対策【重要度】

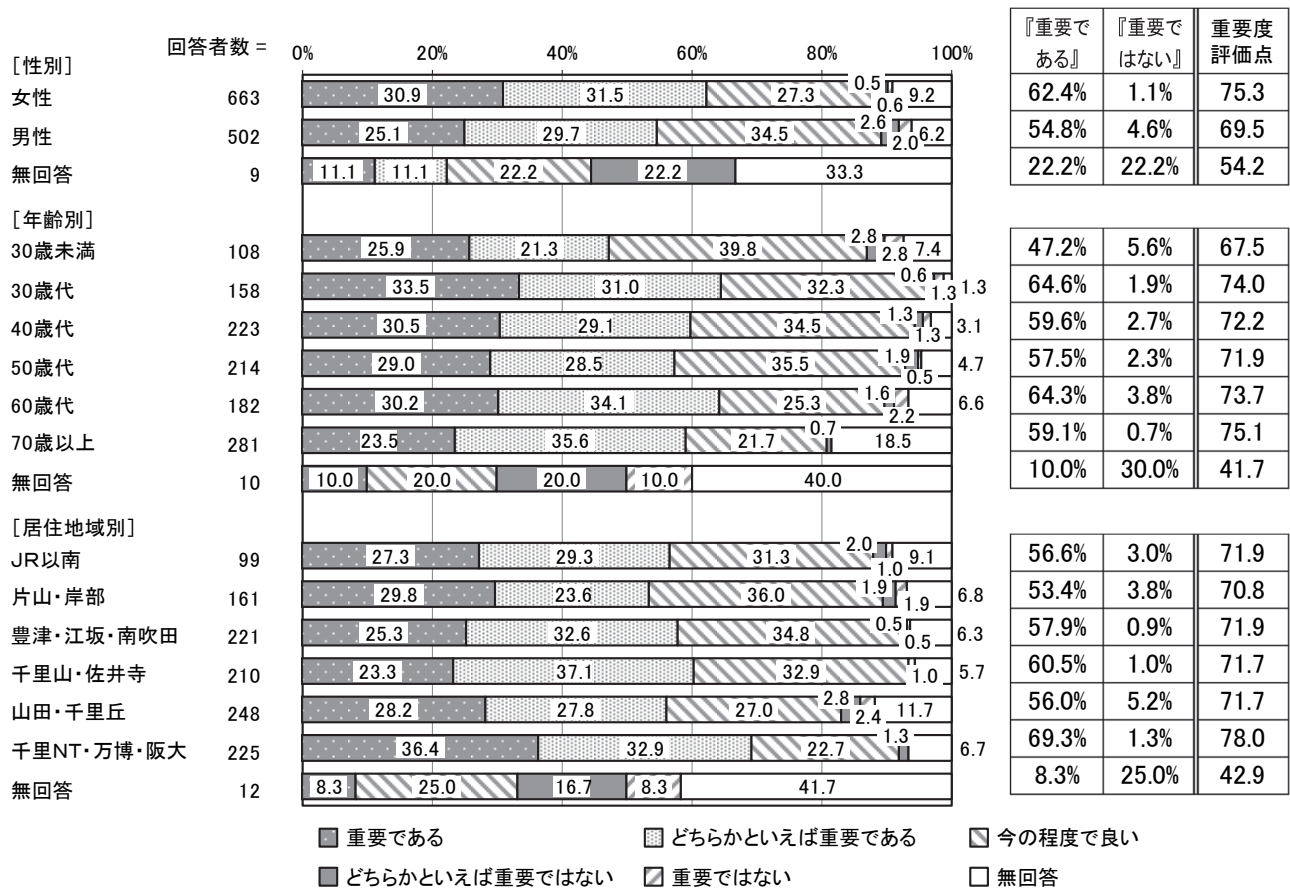
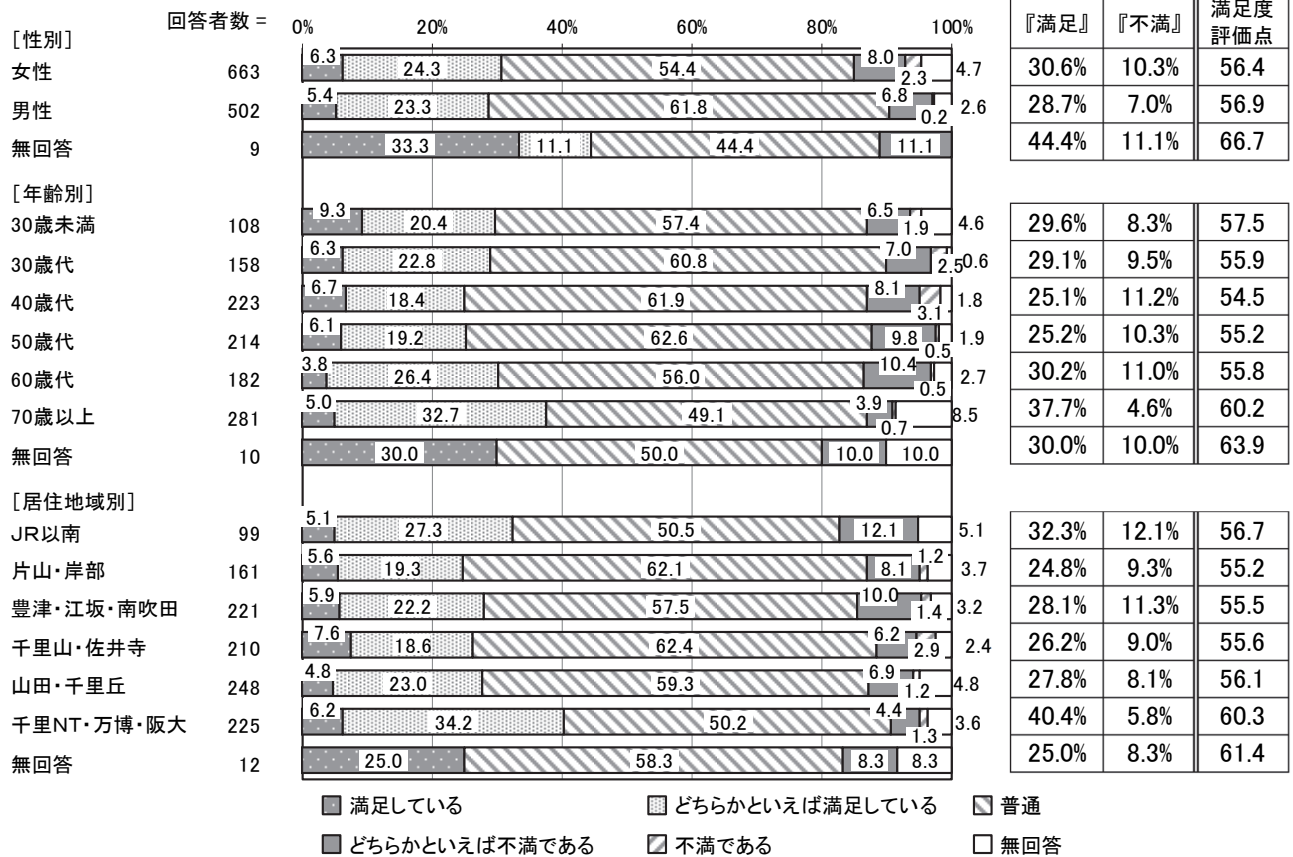


図 3.777 環境についての満足度・重要度⑤(性別・年齢別・居住地域別)

35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組【満足度】



35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組【重要度】

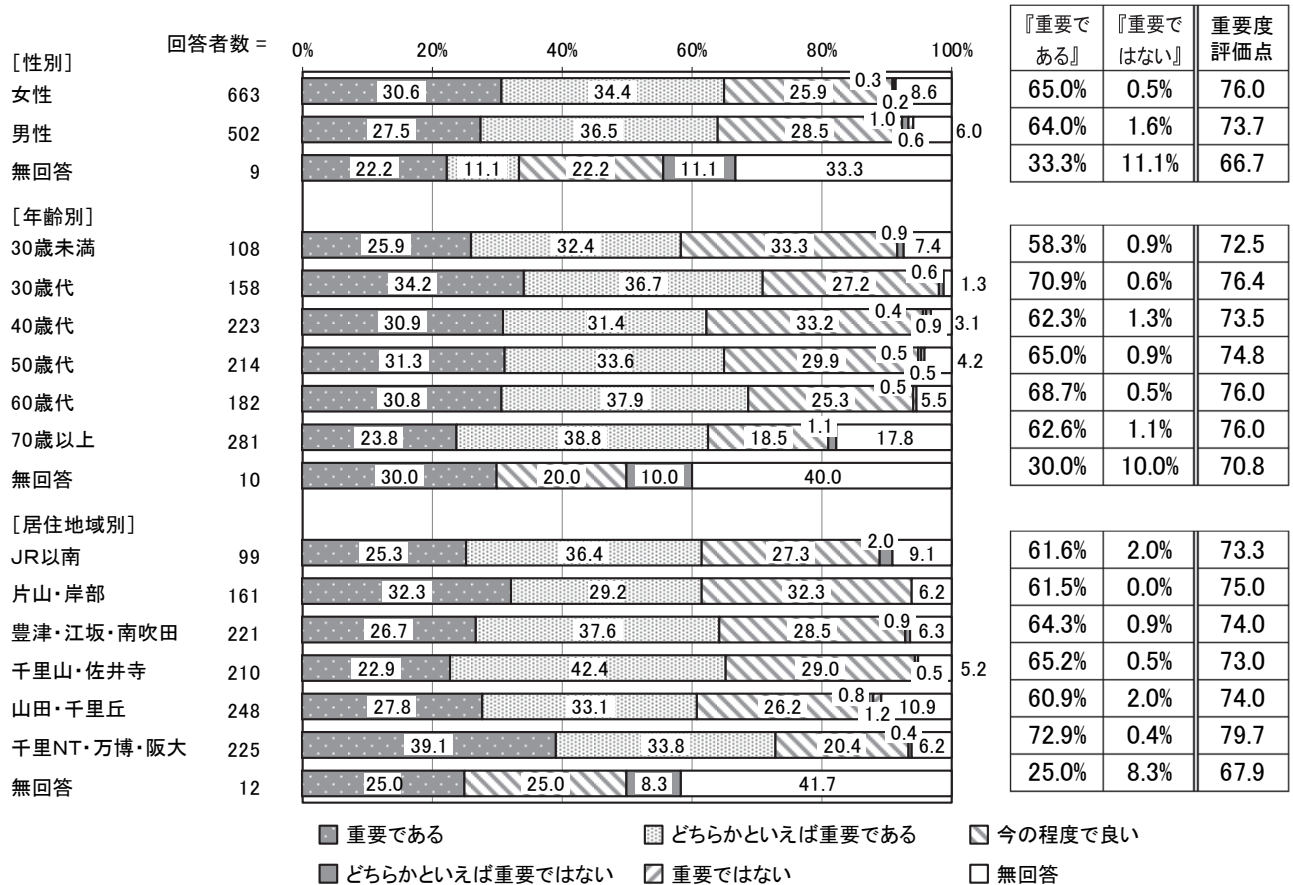
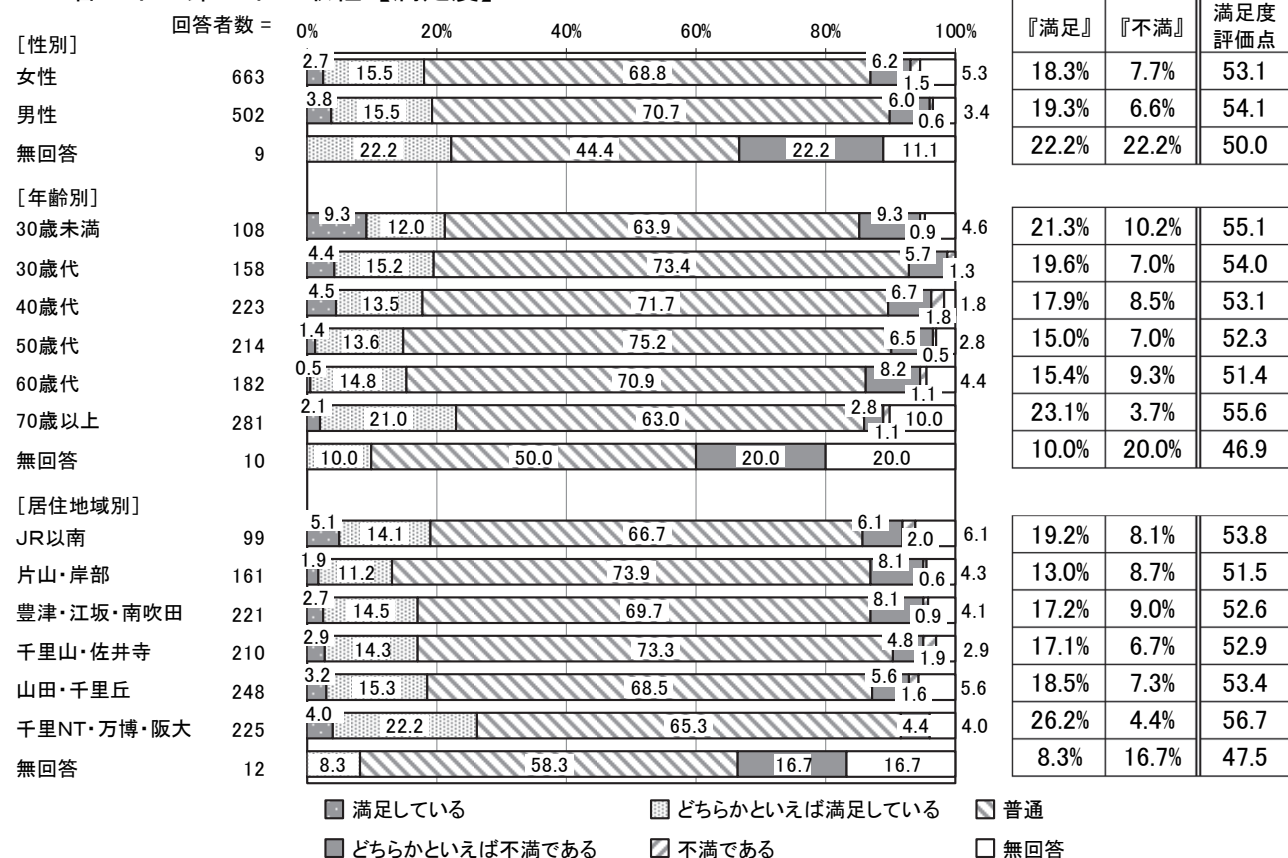


図 3.778 環境についての満足度・重要度⑥(性別・年齢別・居住地域別)

36. 省エネ・節エネの取組【満足度】



36. 省エネ・節エネの取組【重要度】

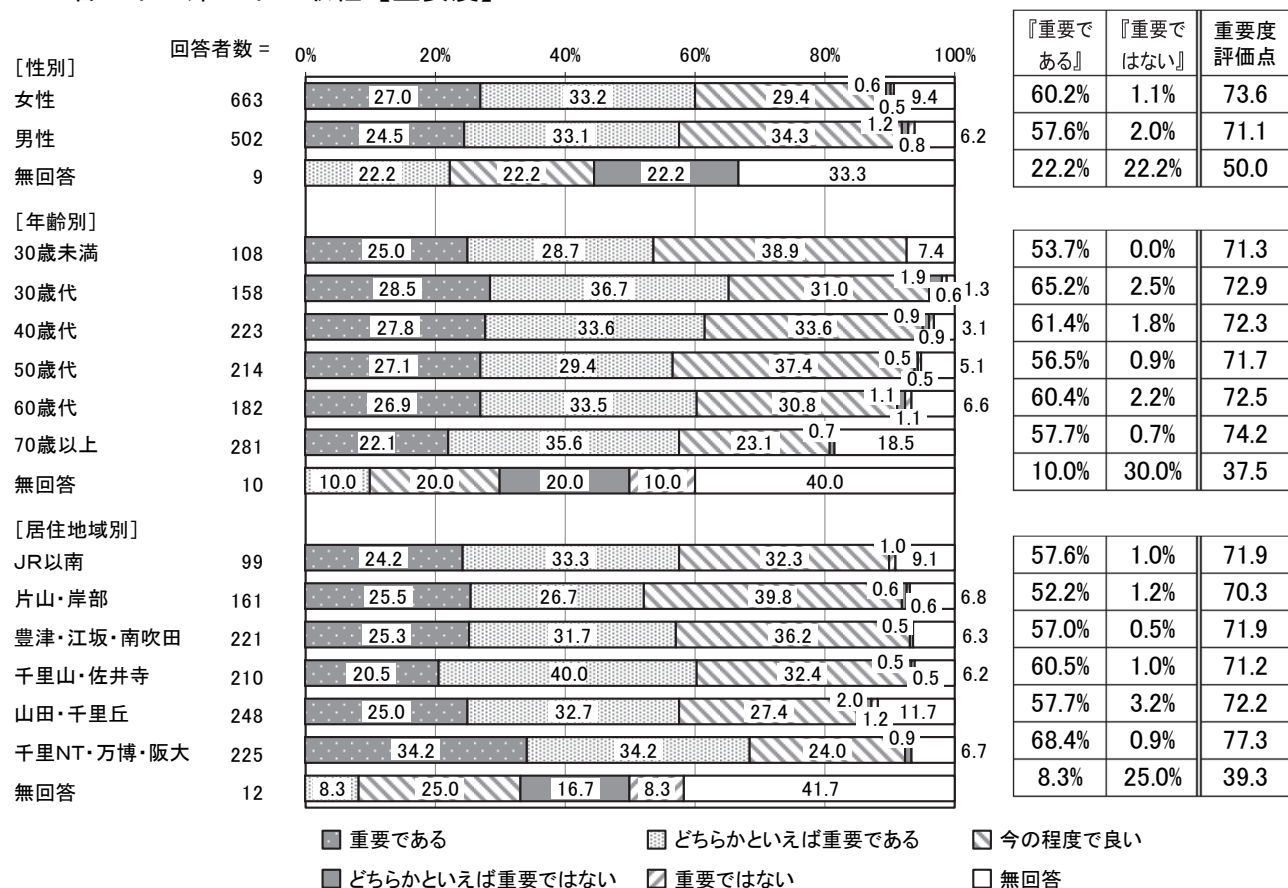
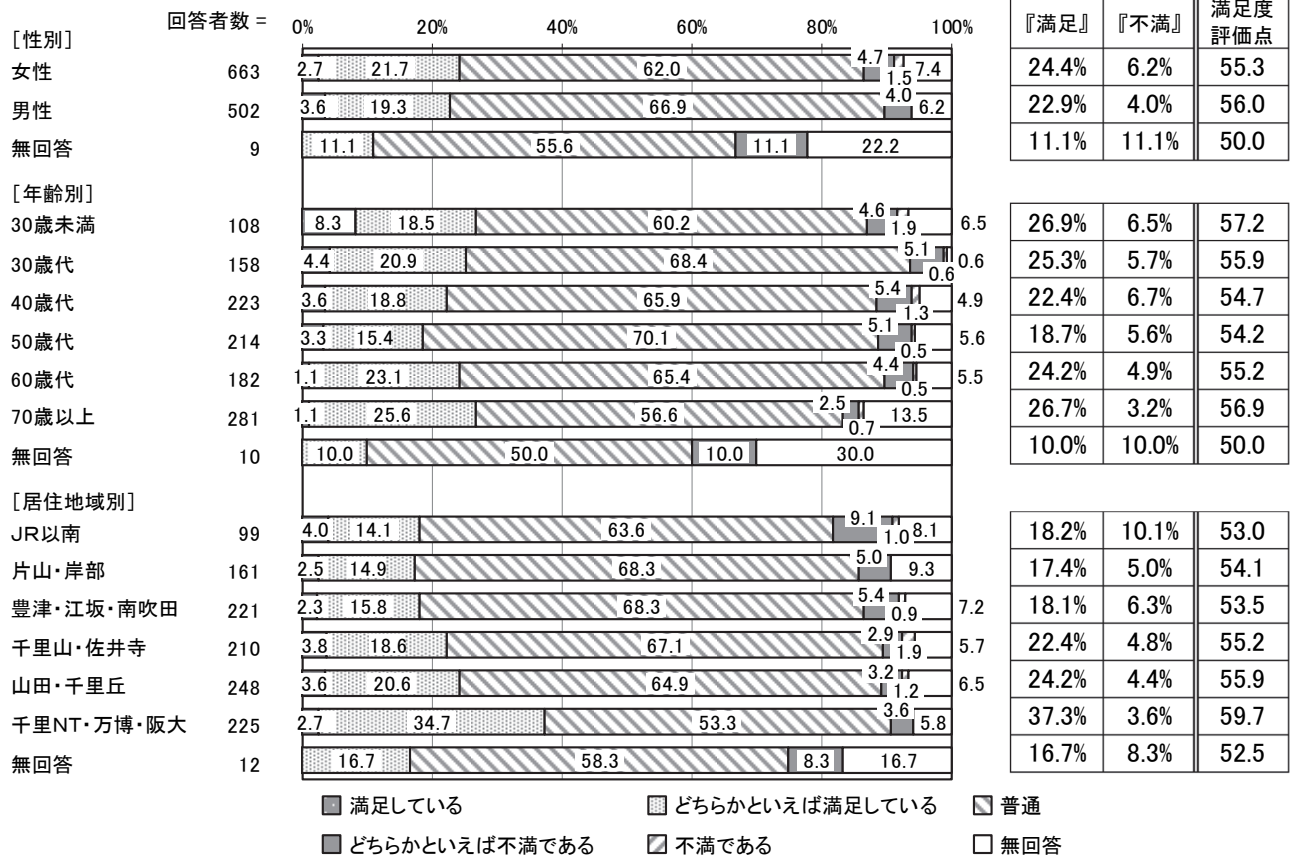
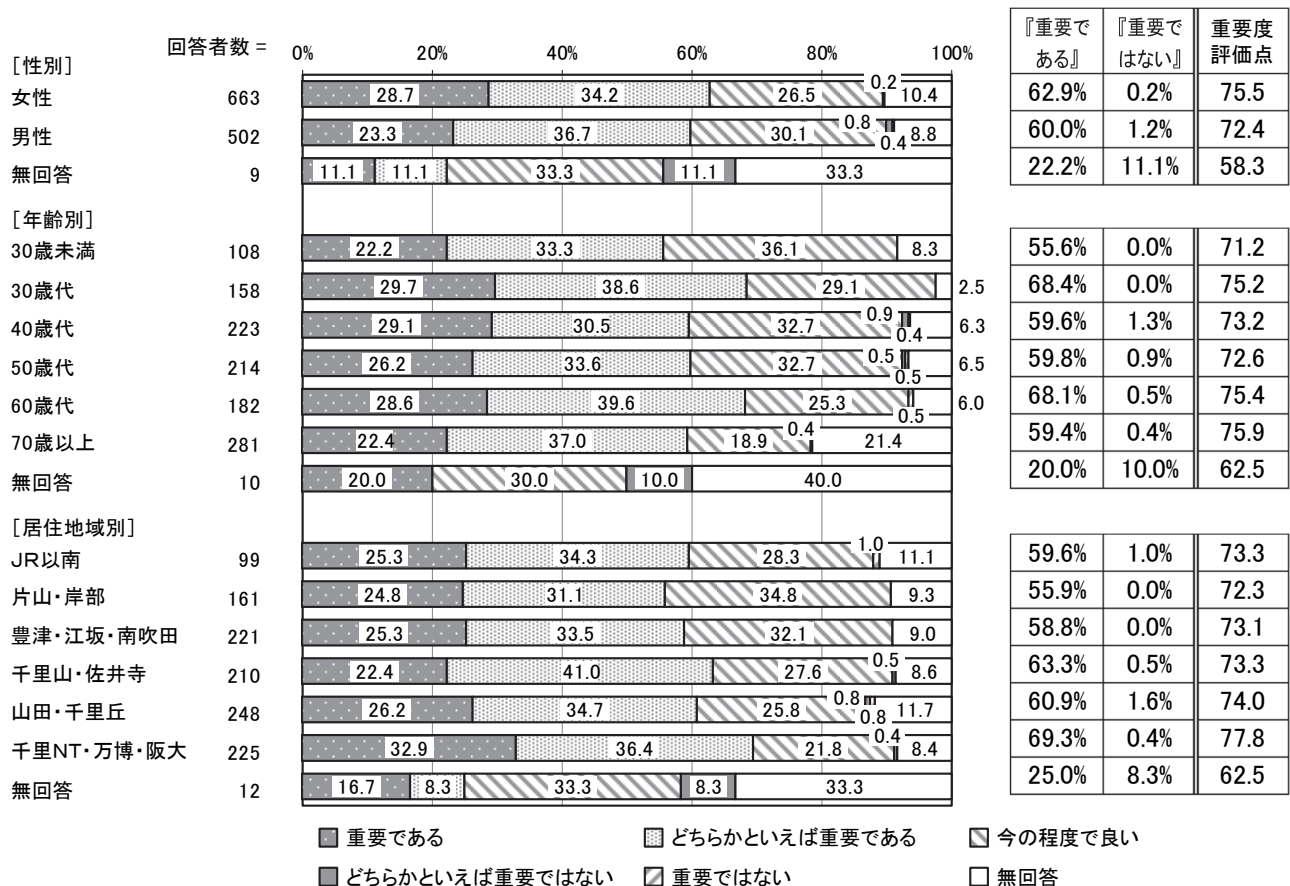


図 3.7.79 環境についての満足度・重要度⑦(性別・年齢別・居住地域別)

37. 項目 31～36 の総合評価【満足度】



37. 項目 31～36 の総合評価【重要度】



[にぎわいについての満足度・重要度]

図 3.7.80 にぎわいについての満足度

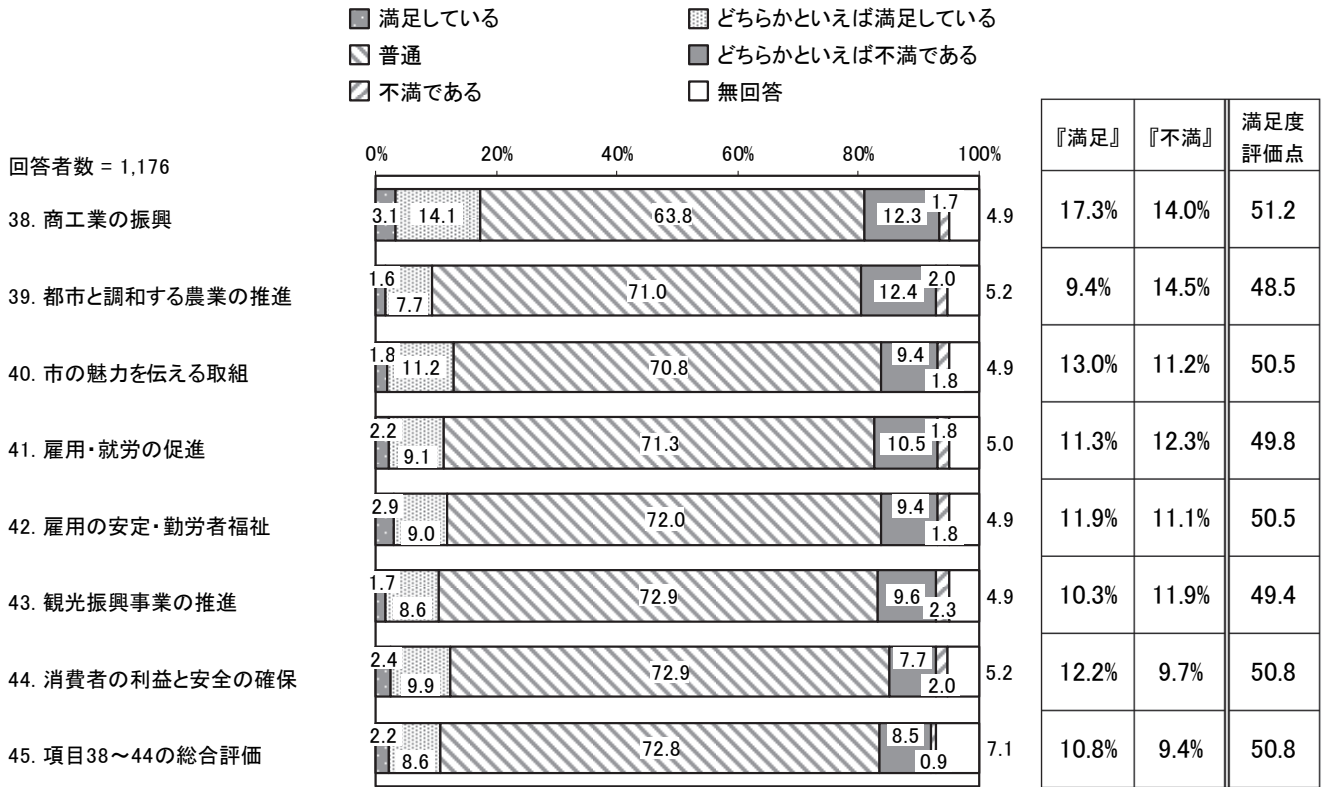


図 3.7.81 にぎわいについての重要度

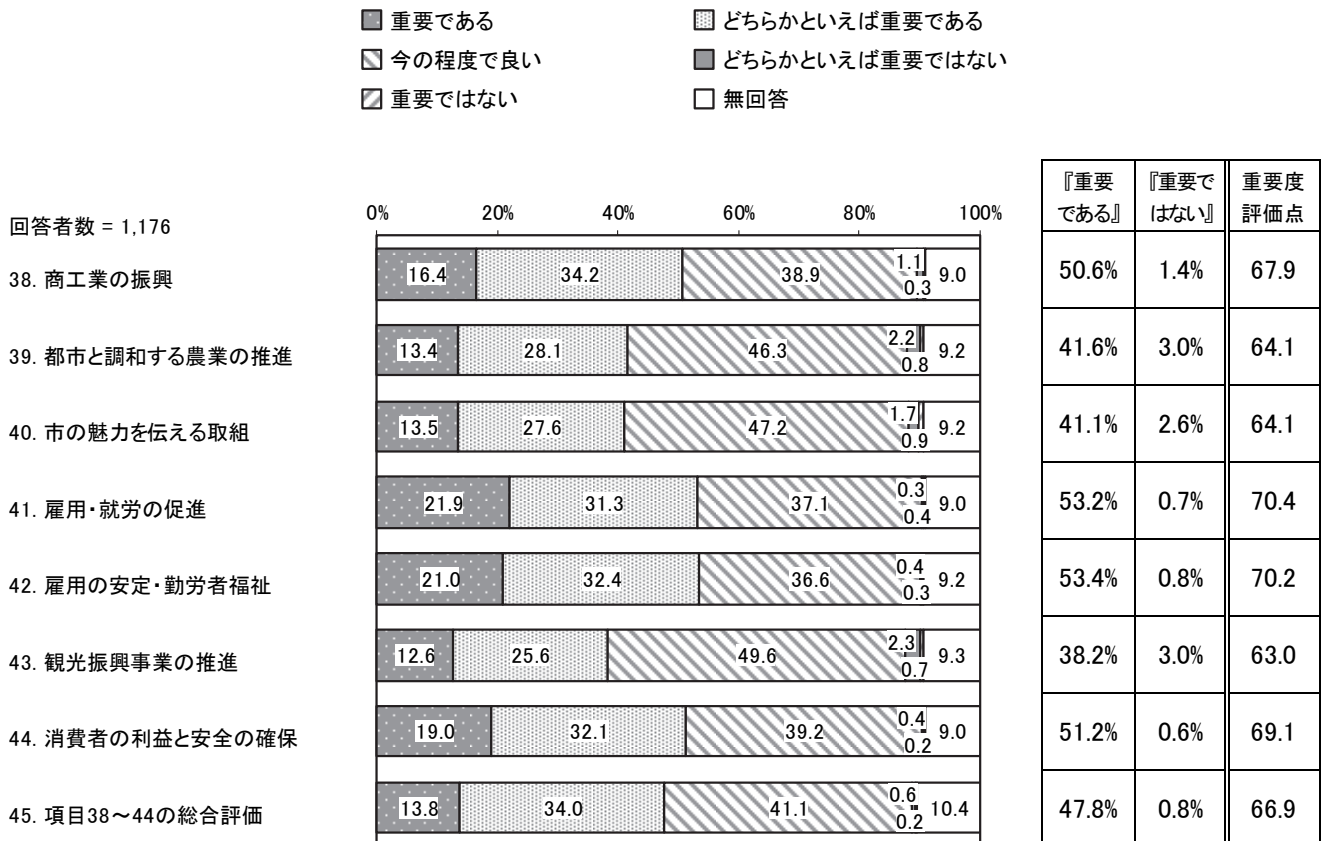


図 3.7.82 にぎわいについての満足度評価点の経年比較

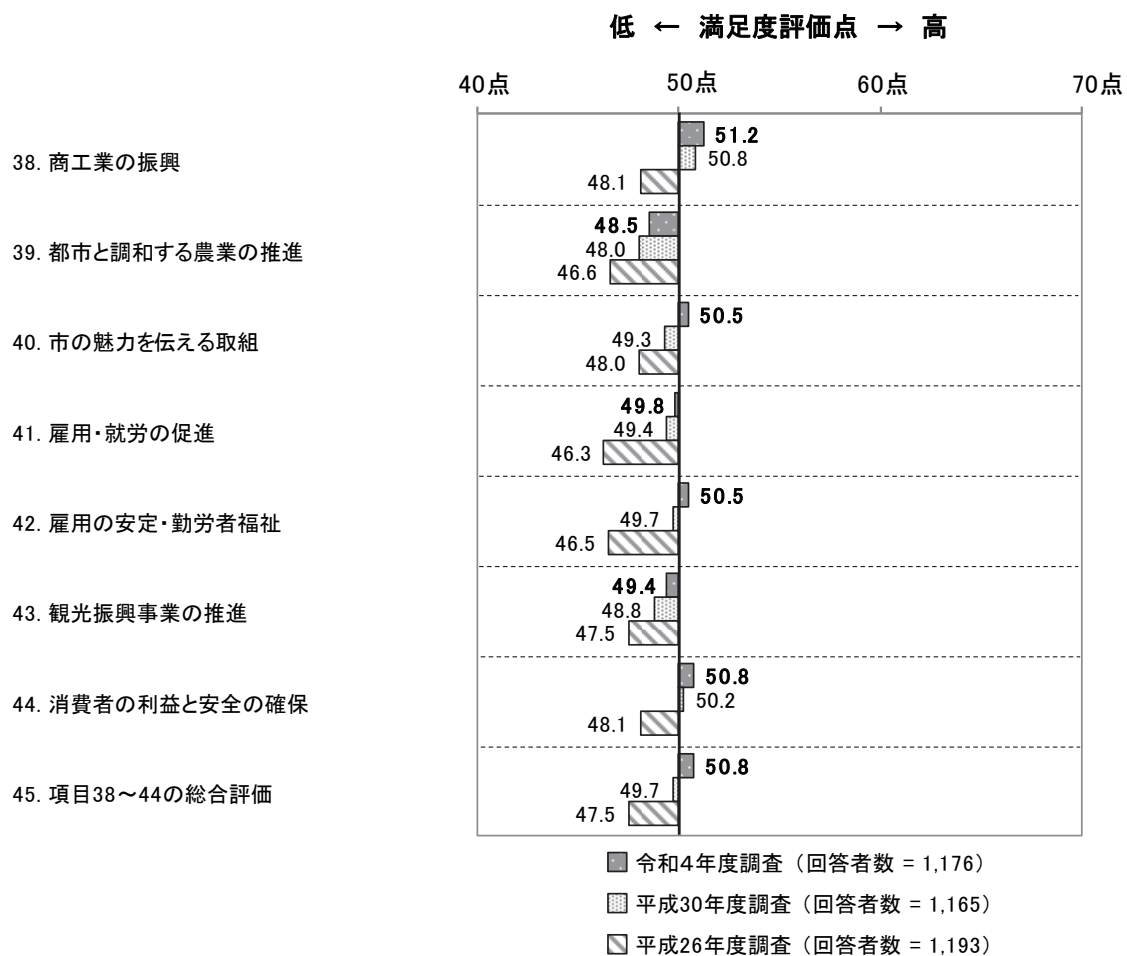
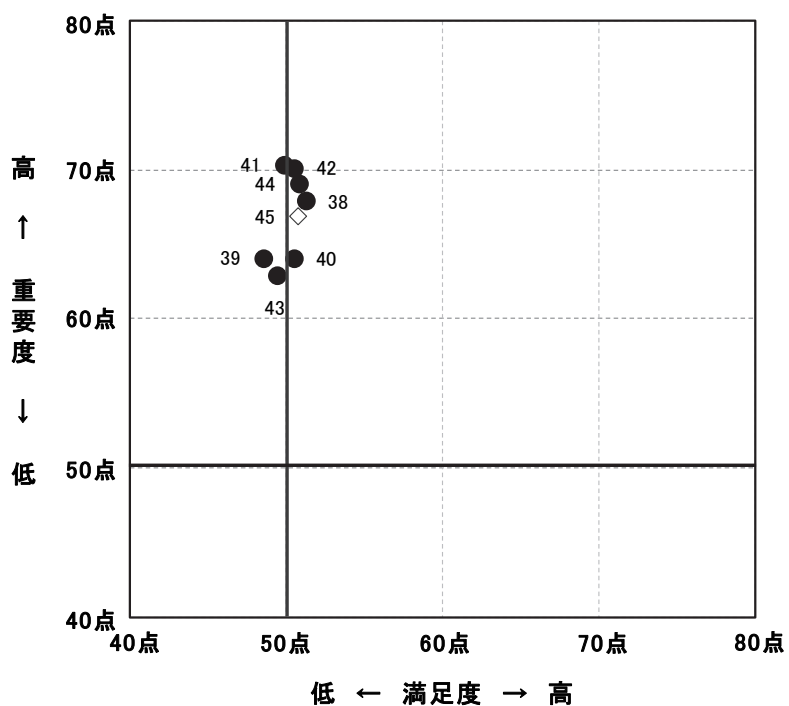


図 3.7.83 にぎわいについての満足度と重要度の関係



- 38. 商工業の振興
- 39. 都市と調和する農業の推進
- 40. 市の魅力を伝える取組
- 41. 雇用・就労の促進
- 42. 雇用の安定・勤労者福祉
- 43. 観光振興事業の推進
- 44. 消費者の利益と安全の確保
- ◇ 45. 項目38～44の総合評価

■満足度

にぎわいについての満足度(図 3.7.80)は、全ての項目で「普通」が6～7割を占めています。また、《39.都市と調和する農業の推進》、《41.雇用・就労の促進》、《43.観光振興事業の推進》で『不満』の方が『満足』に比べ割合が高くなっています。

満足度の評価点は、《38.商工業の振興》(51.2点)が最も高くなっているのに対し、《39.都市と調和する農業の推進》(48.5点)が最も低くなっています。

平成30年度調査と比較(図 3.7.82)すると、全ての項目で平成30年度調査よりも高くなっています。

性別に評価点(図 3.7.84～図 3.7.90)をみると、女性・男性ともに《38.商工業の振興》が最も高くなっています。

年齢別に評価点をみると、《39.都市と調和する農業の推進》では30歳代が、《40.市の魅力を伝える取組》では40歳代が、《43.観光振興事業の推進》では30歳未満と40歳代が、それ以外の項目では30歳未満が最も高くなっています。

居住地域別に評価点をみると、《38.商工業の振興》では豊津・江坂・南吹田地域が、《39.都市と調和する農業の推進》ではJR以南地域が、それ以外の項目では山田・千里丘地域が最も高くなっています。

■重要度

にぎわいについての重要度(図 3.7.81)は、全ての項目で『重要である』が『重要ではない』に比べ割合が高くなっています。特に、《42.雇用の安定・勤労者福祉》(53.4%)、《41.雇用・就労の促進》(53.2%)、《44.消費者の利益と安全の確保》(51.2%)が他の項目と比べて高くなっています。

重要度の評価点は、《41.雇用・就労の促進》(70.4点)、《42.雇用の安定・勤労者福祉》(70.2点)が高くなっています。

性別に評価点(図 3.7.84～図 3.7.90)をみると、女性は《42.雇用の安定・勤労者福祉》(72.1点)が最も高く、男性は《41.雇用・就労の促進》(68.5点)が最も高くなっています。

年齢別に評価点をみると、《40.市の魅力を伝える取組》では30歳未満が、《44.消費者の利益と安全の確保》では60歳代が、《41.雇用・就労の促進》、《43.観光振興事業の推進》では30歳代・60歳代が、それ以外の項目では30歳代が最も高くなっています。

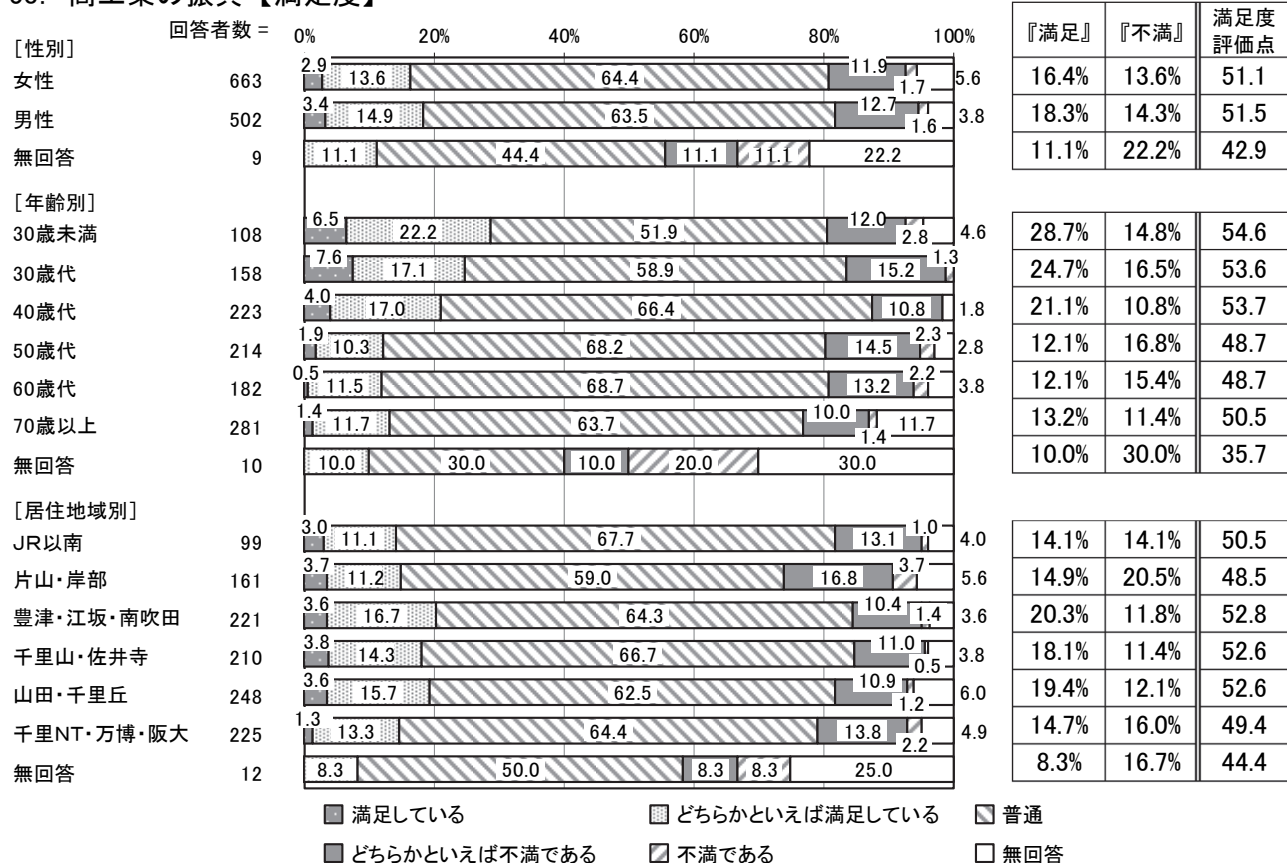
居住地域別に評価点をみると、全ての項目で千里ニュータウン・万博・阪大地域が最も高くなっています。また、《44.消費者の利益と安全の確保》(千里ニュータウン・万博・阪大地域 73.1点、JR以南地域 65.8点)は地域による差が大きくなっています。

■満足度と重要度の関係

満足度と重要度の関係（図 3.7.83）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《41. 雇用・就労の促進》（満足度 49.8 点、重要度 70.4 点、差 20.6 点）、《42. 雇用の安定・勤労者福祉》（満足度 50.5 点、重要度 70.2 点、差 19.7 点）、《44. 消費者の利益と安全の確保》（満足度 50.8 点、重要度 69.1 点、差 18.3 点）となっています。

図 3.784 にぎわいについての満足度・重要度①(性別・年齢別・居住地域別)

38. 商工業の振興【満足度】



38. 商工業の振興【重要度】

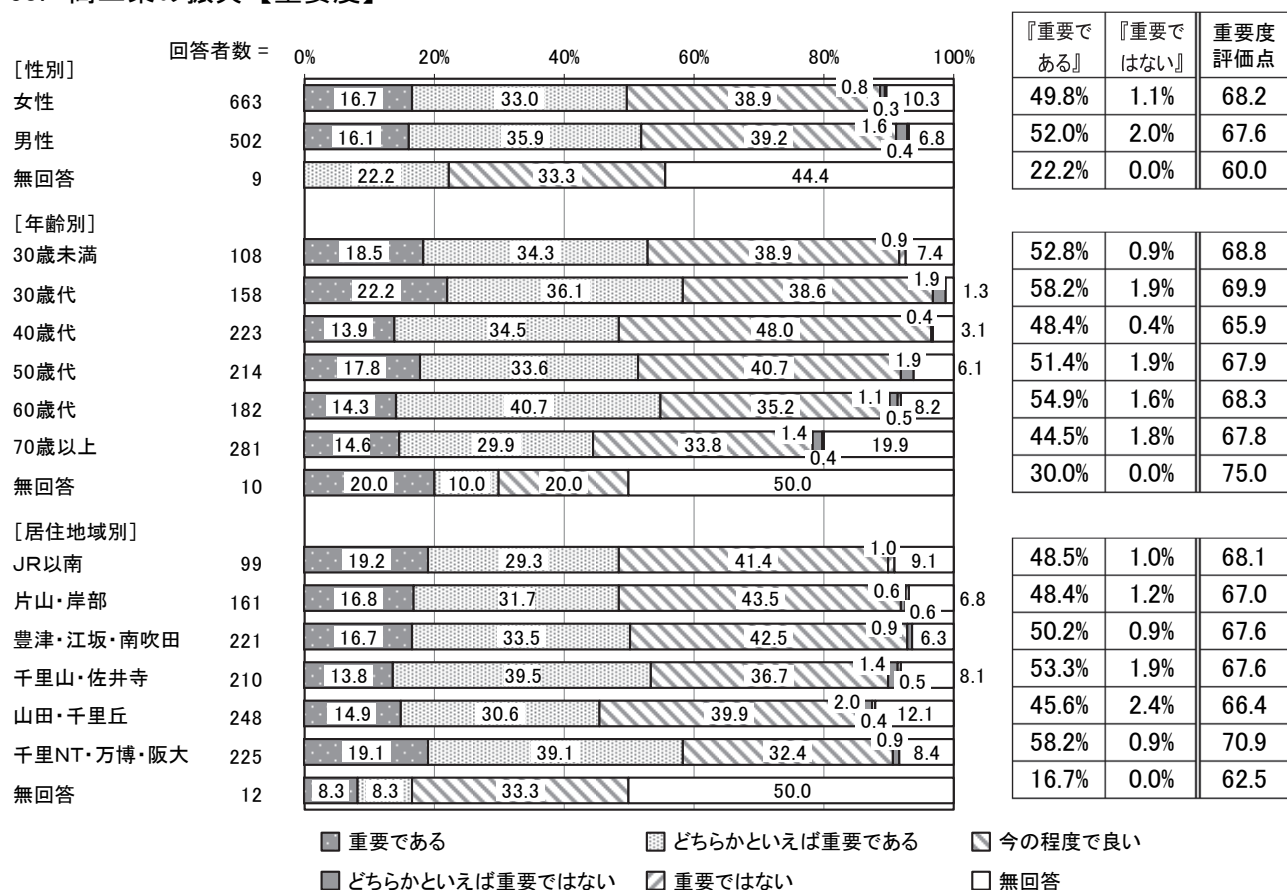
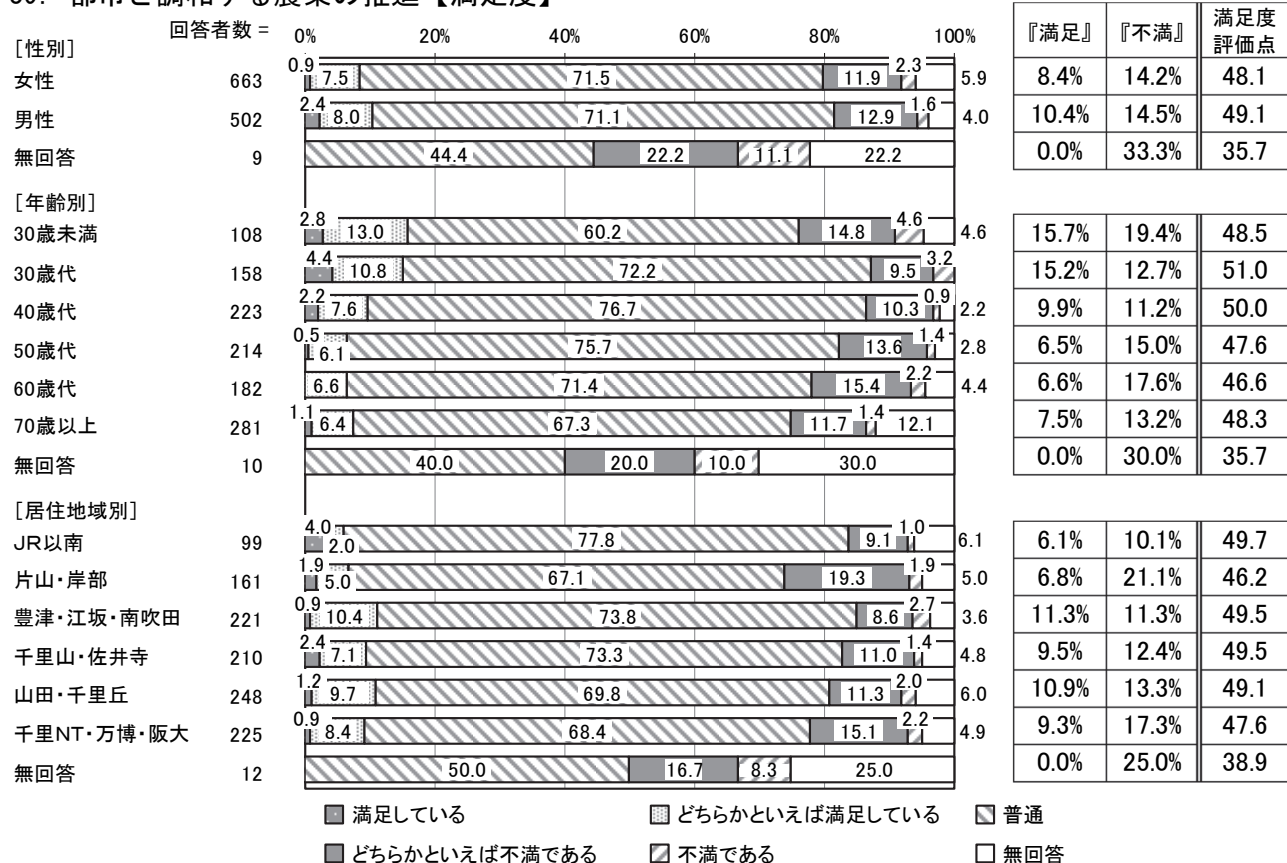


図 3.7.85 にぎわいについての満足度・重要度②(性別・年齢別・居住地域別)

39. 都市と調和する農業の推進【満足度】



39. 都市と調和する農業の推進【重要度】

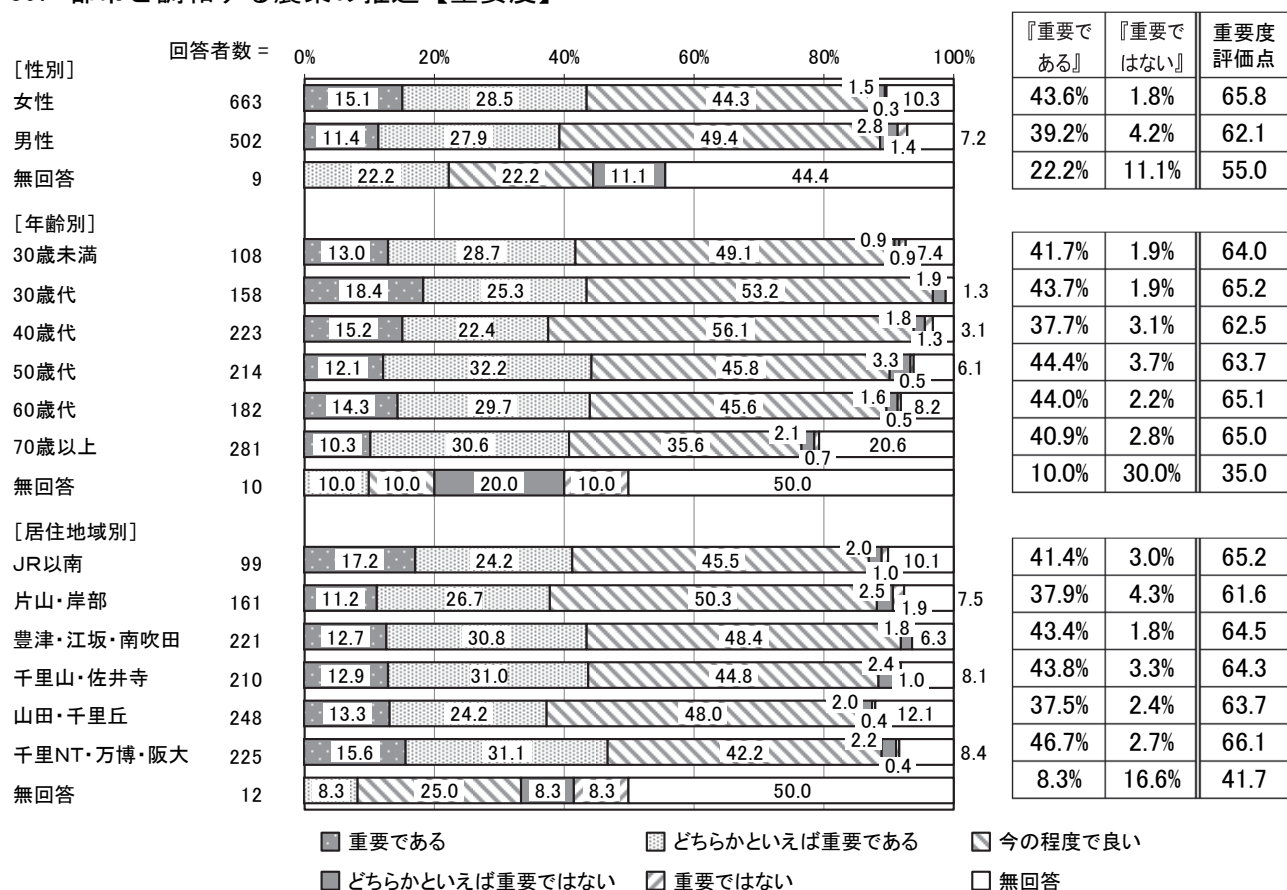
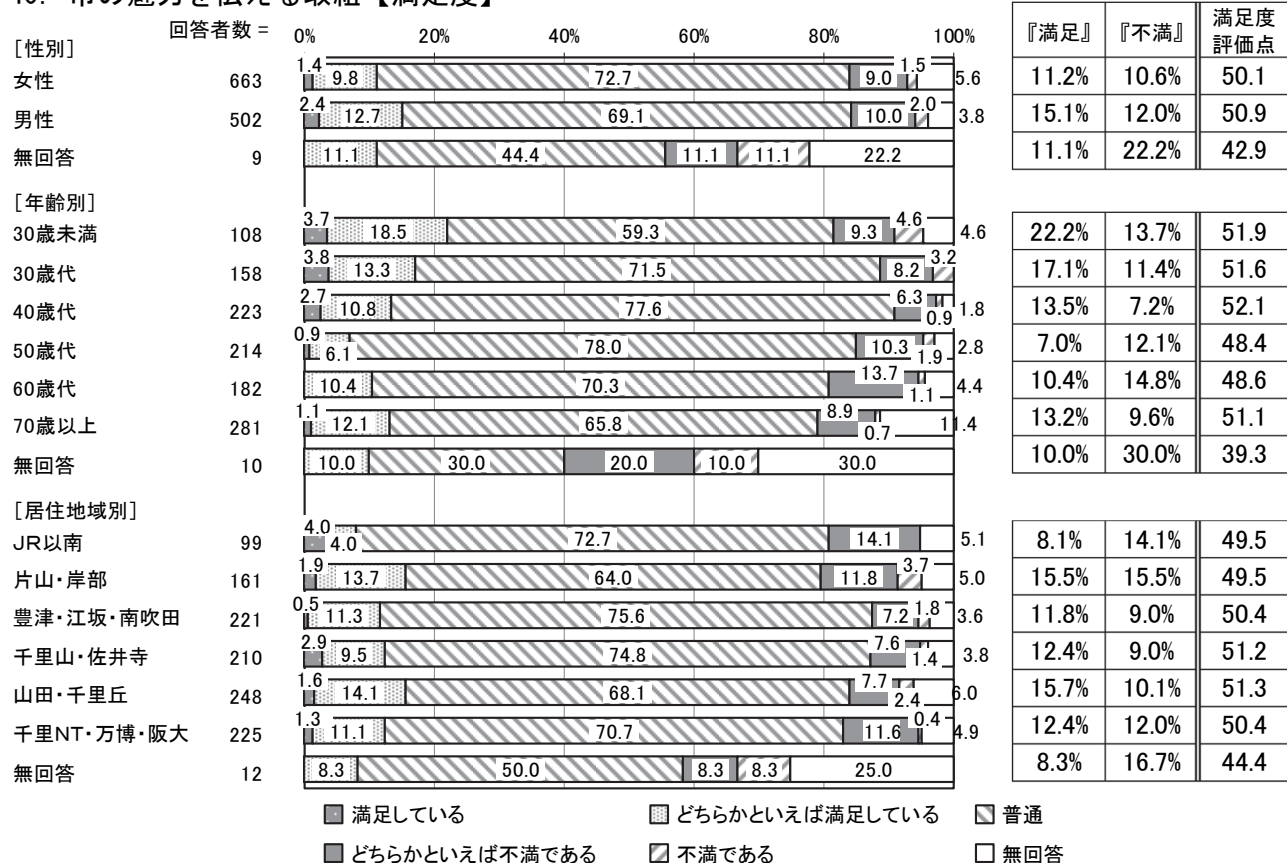


図 3.8.86 にぎわいについての満足度・重要度③(性別・年齢別・居住地域別)

40. 市の魅力を伝える取組【満足度】



40. 市の魅力を伝える取組【重要度】

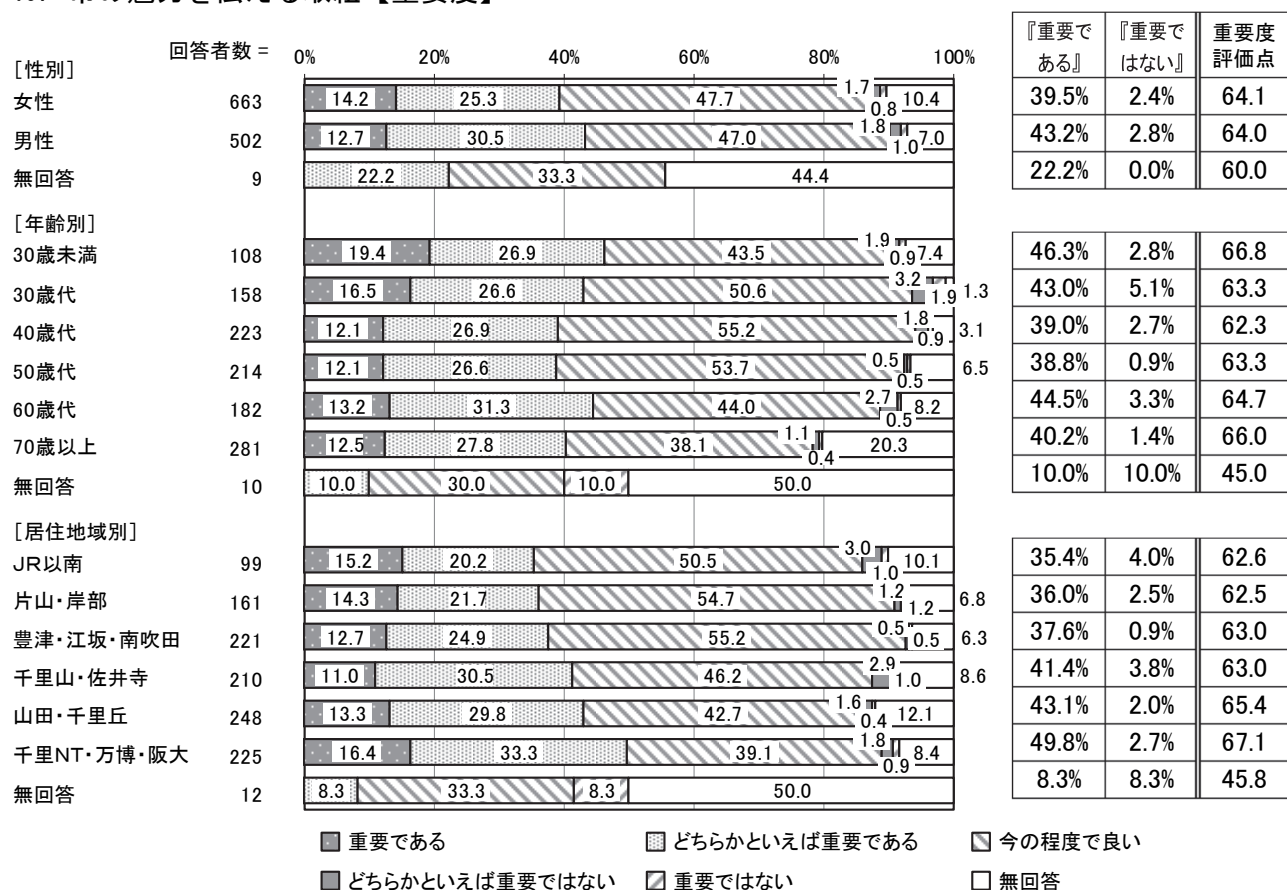
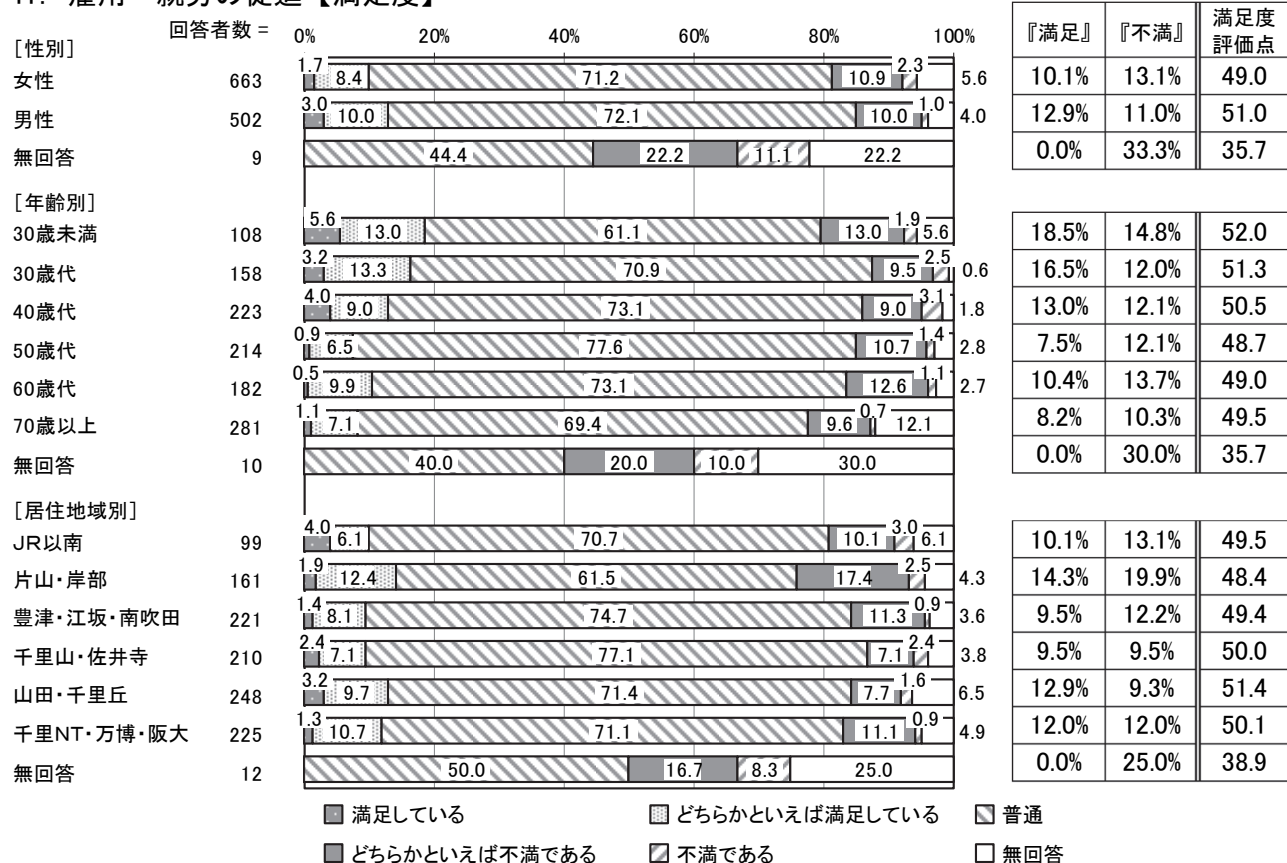


図 3.7.87 にぎわいについての満足度・重要度④(性別・年齢別・居住地域別)

41. 雇用・就労の促進【満足度】



41. 雇用・就労の促進【重要度】

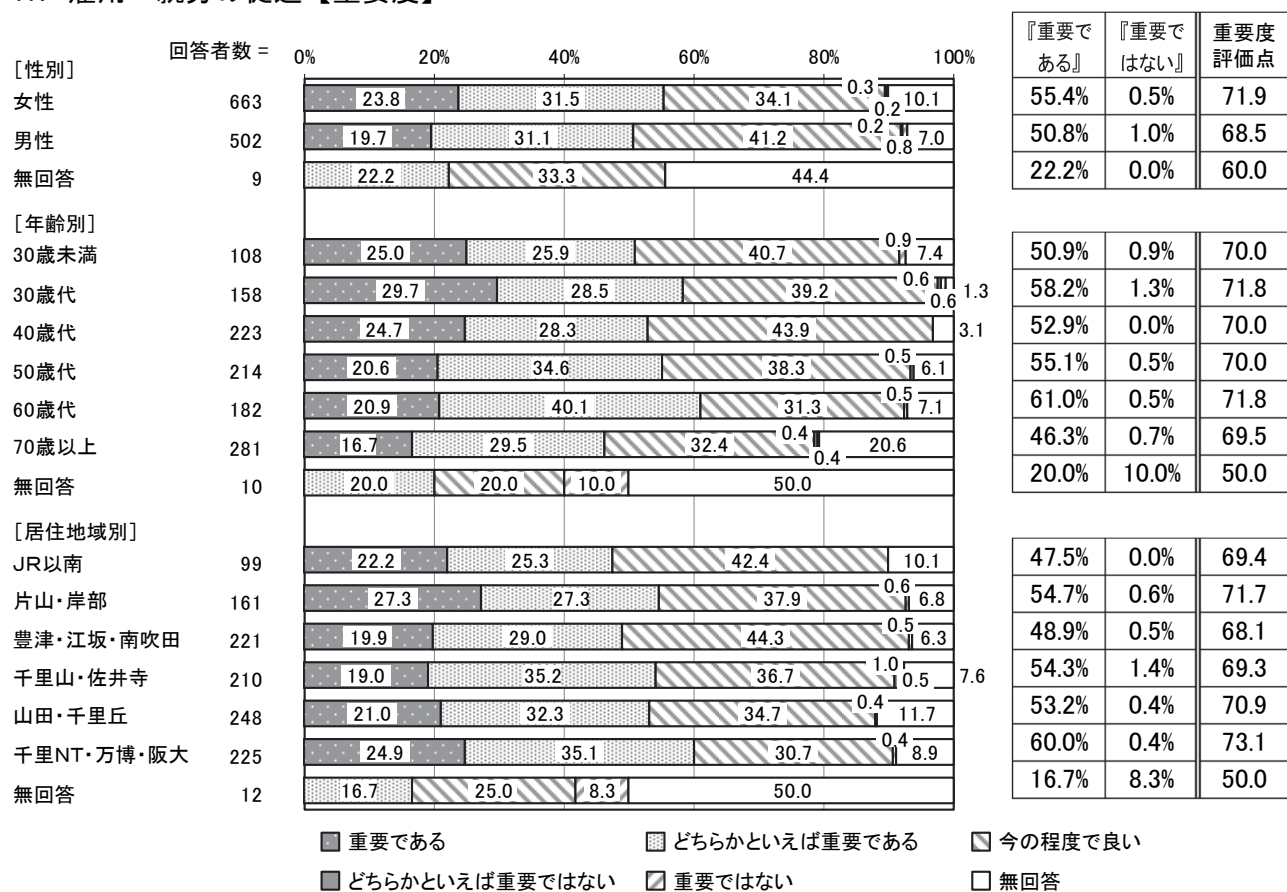
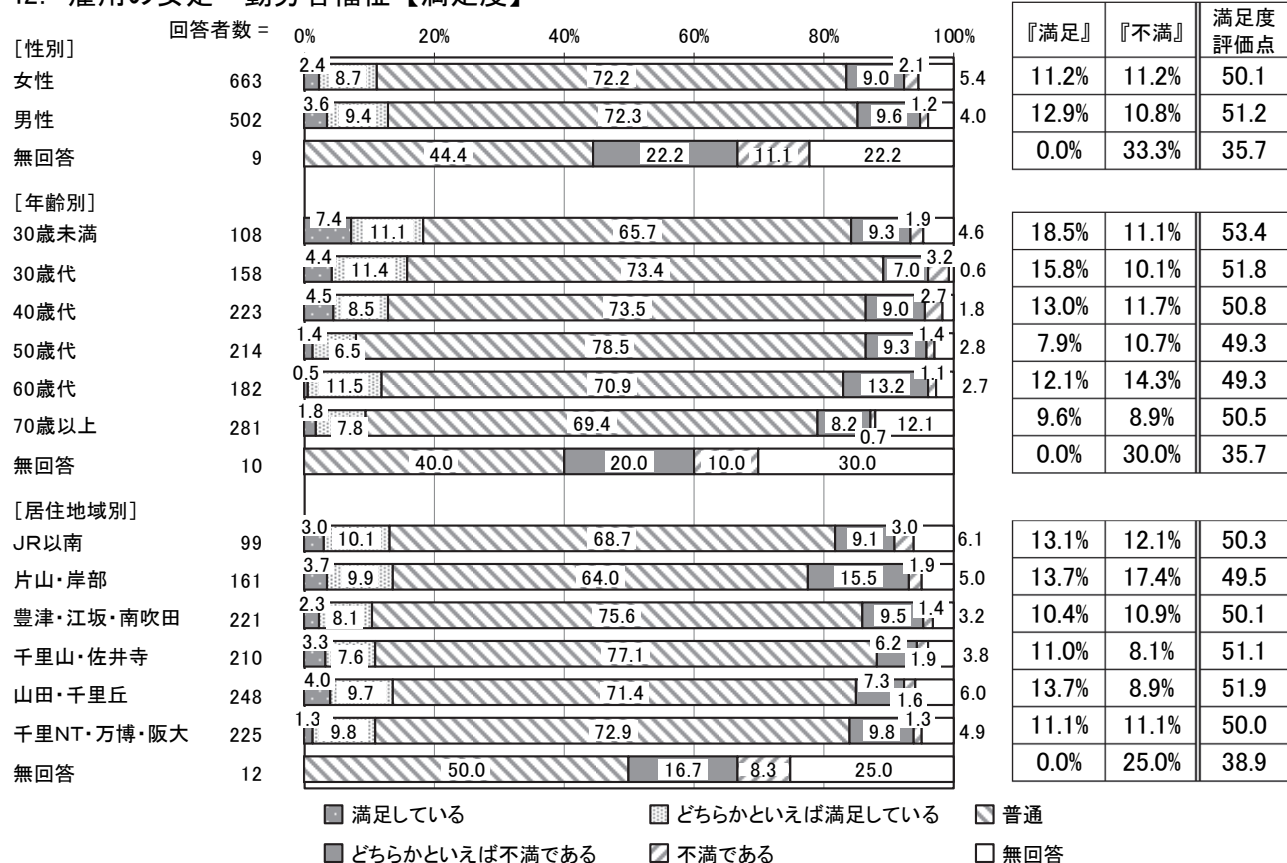


図 3.7.88 にぎわいについての満足度・重要度⑤(性別・年齢別・居住地域別)

42. 雇用の安定・勤労者福祉【満足度】



42. 雇用の安定・勤労者福祉【重要度】

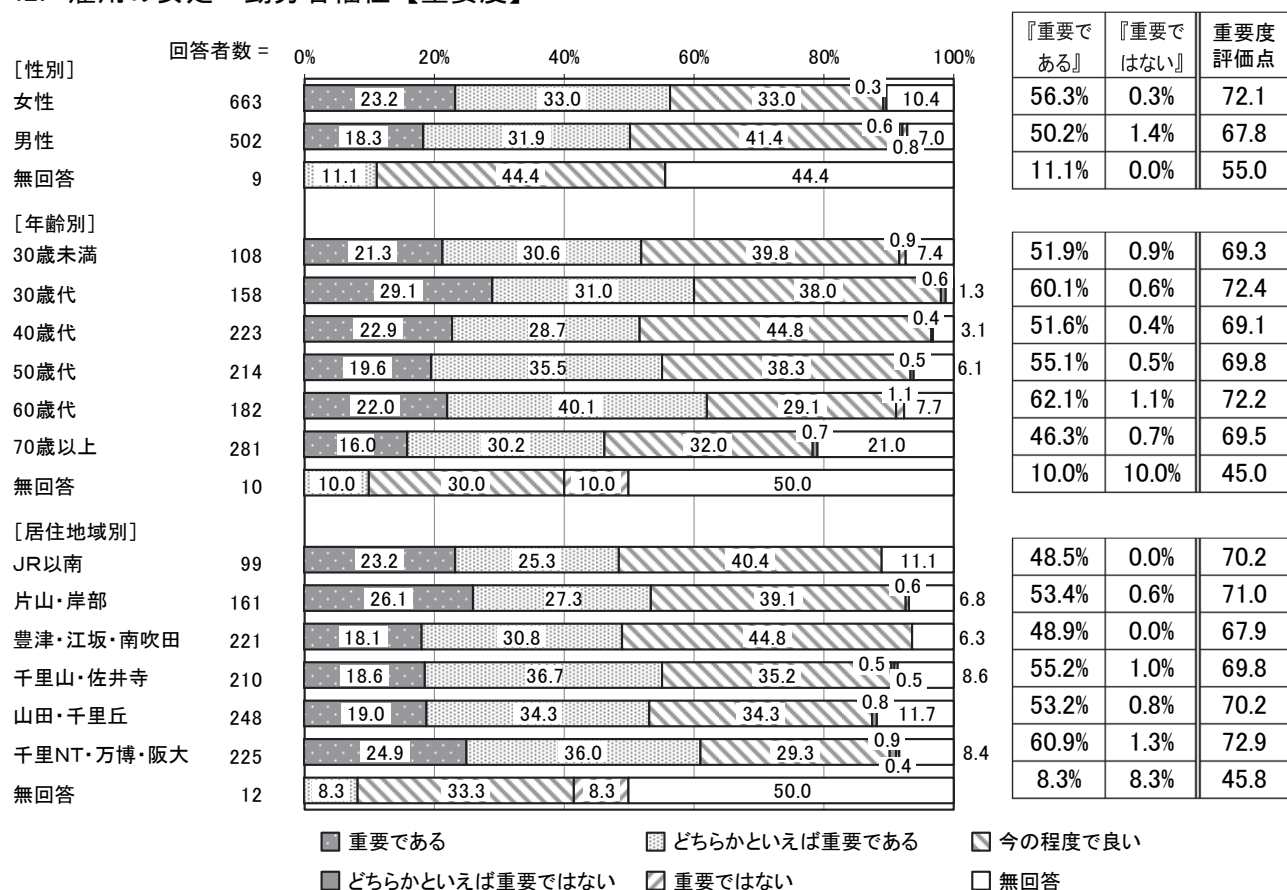
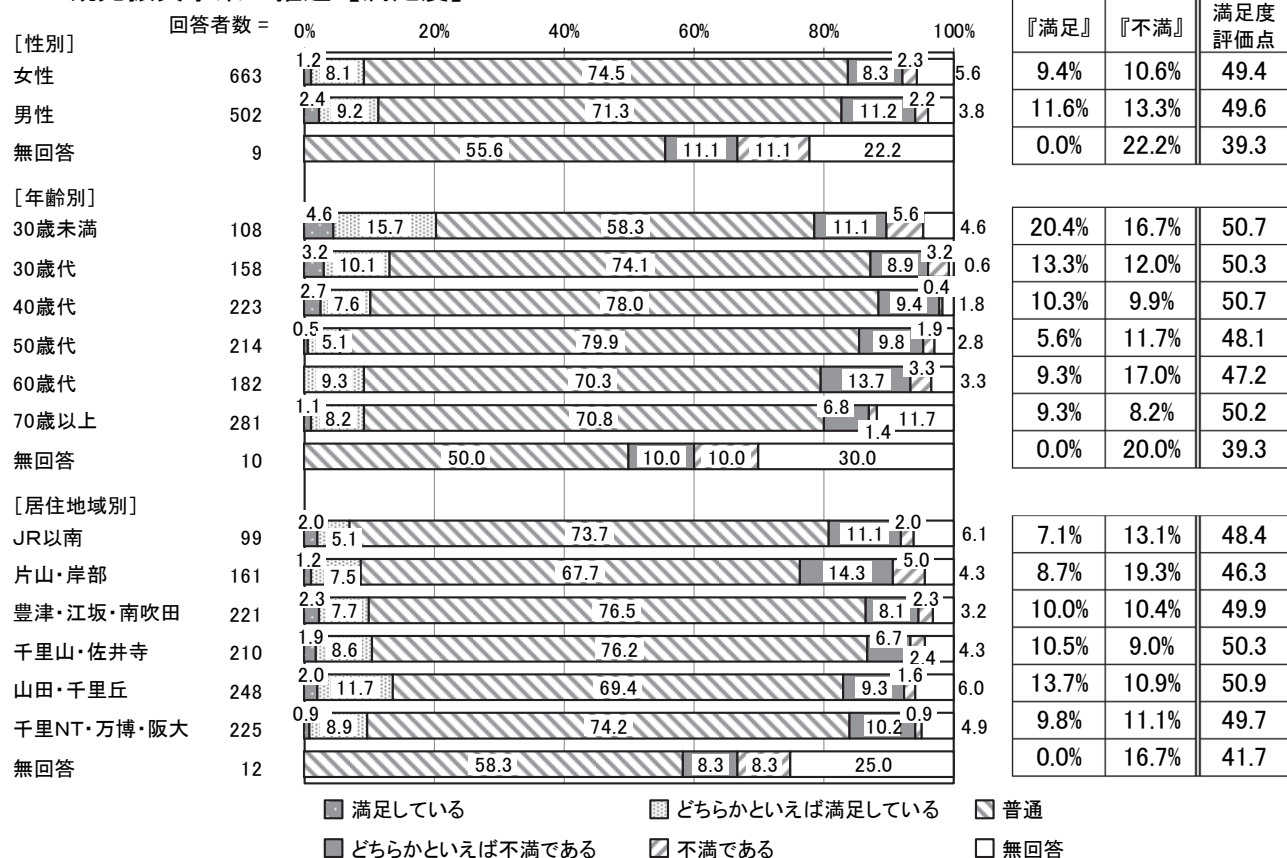


図 3.7.89 にぎわいについての満足度・重要度⑥(性別・年齢別・居住地域別)

43. 観光振興事業の推進【満足度】



43. 観光振興事業の推進【重要度】

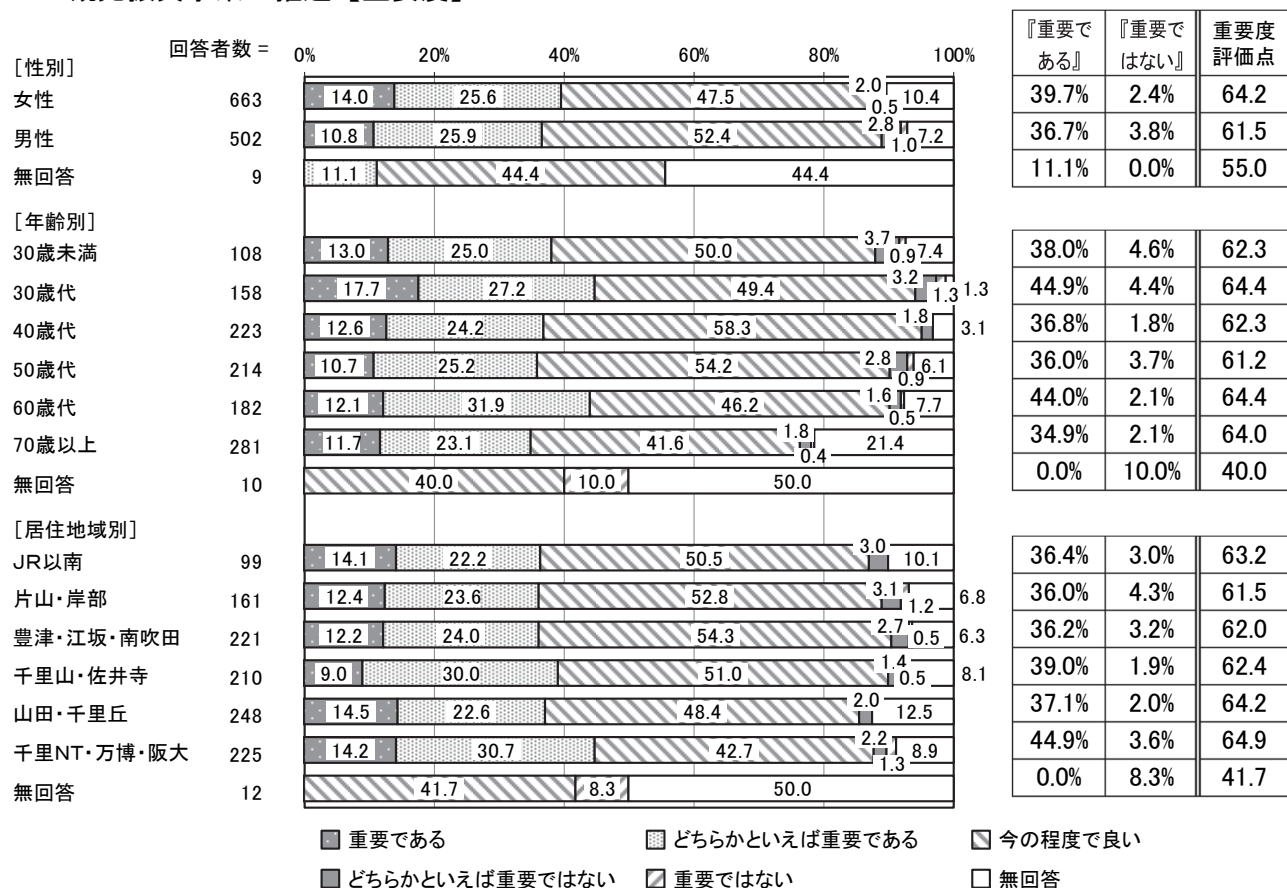
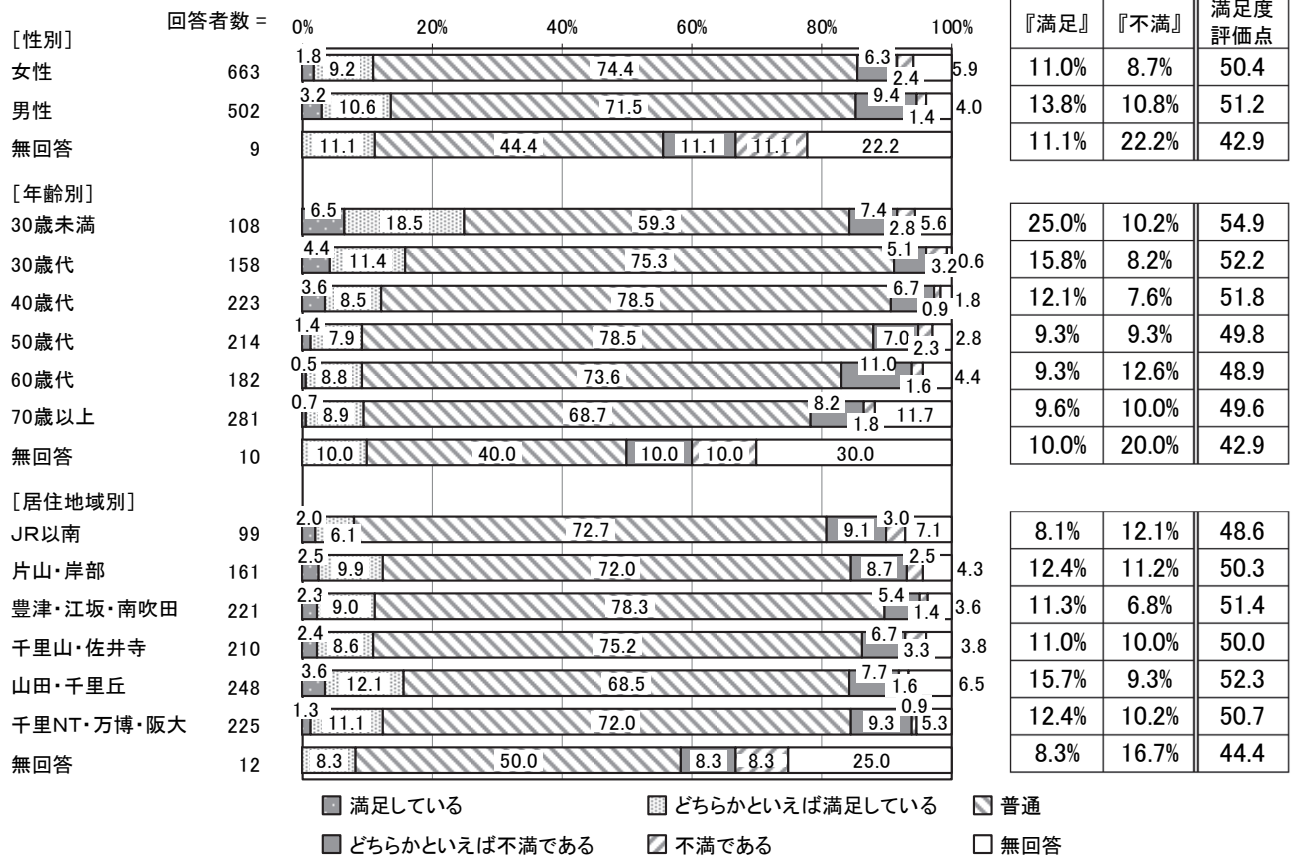


図 3.7.90 にぎわいについての満足度・重要度⑦(性別・年齢別・居住地域別)

44. 消費者の利益と安全の確保【満足度】



44. 消費者の利益と安全の確保【重要度】

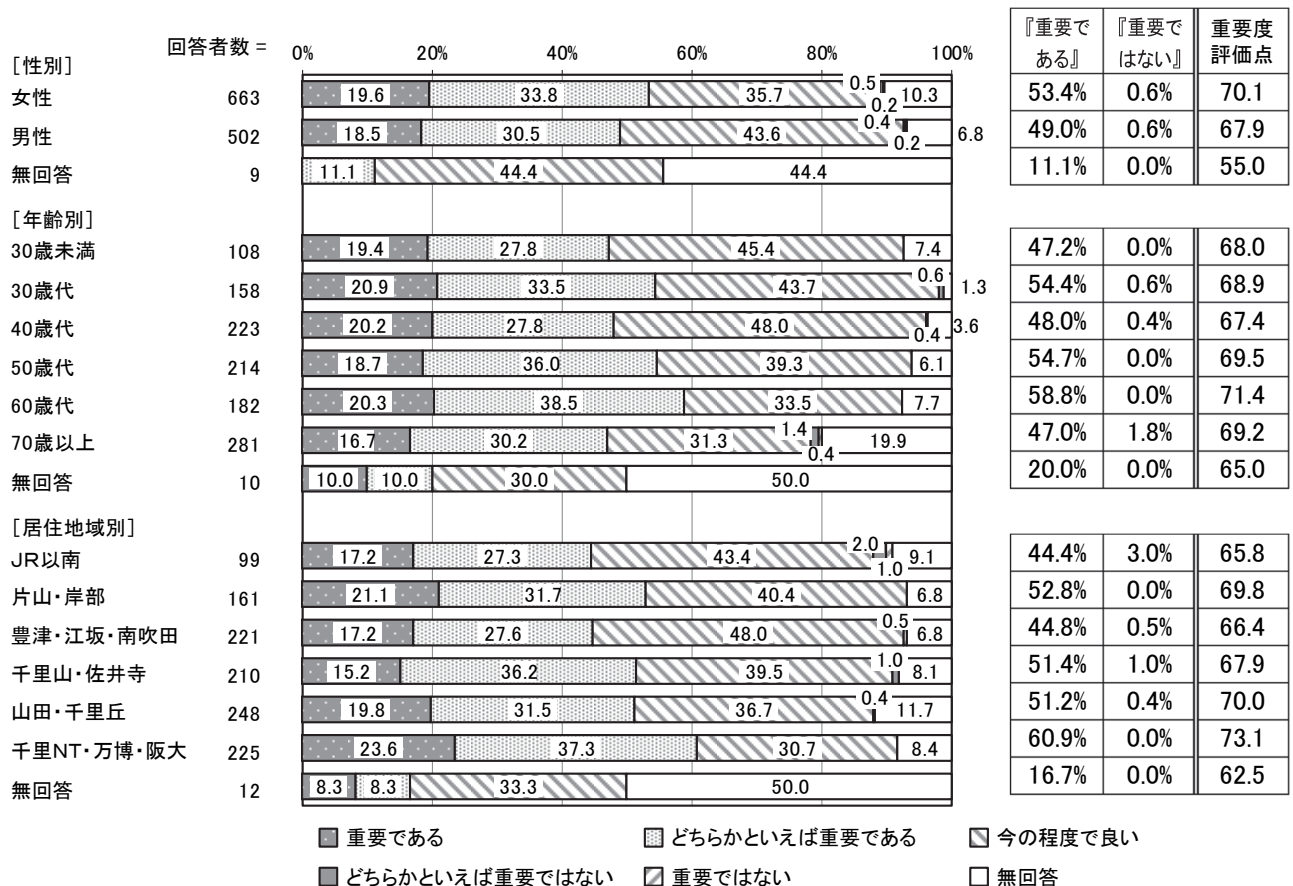
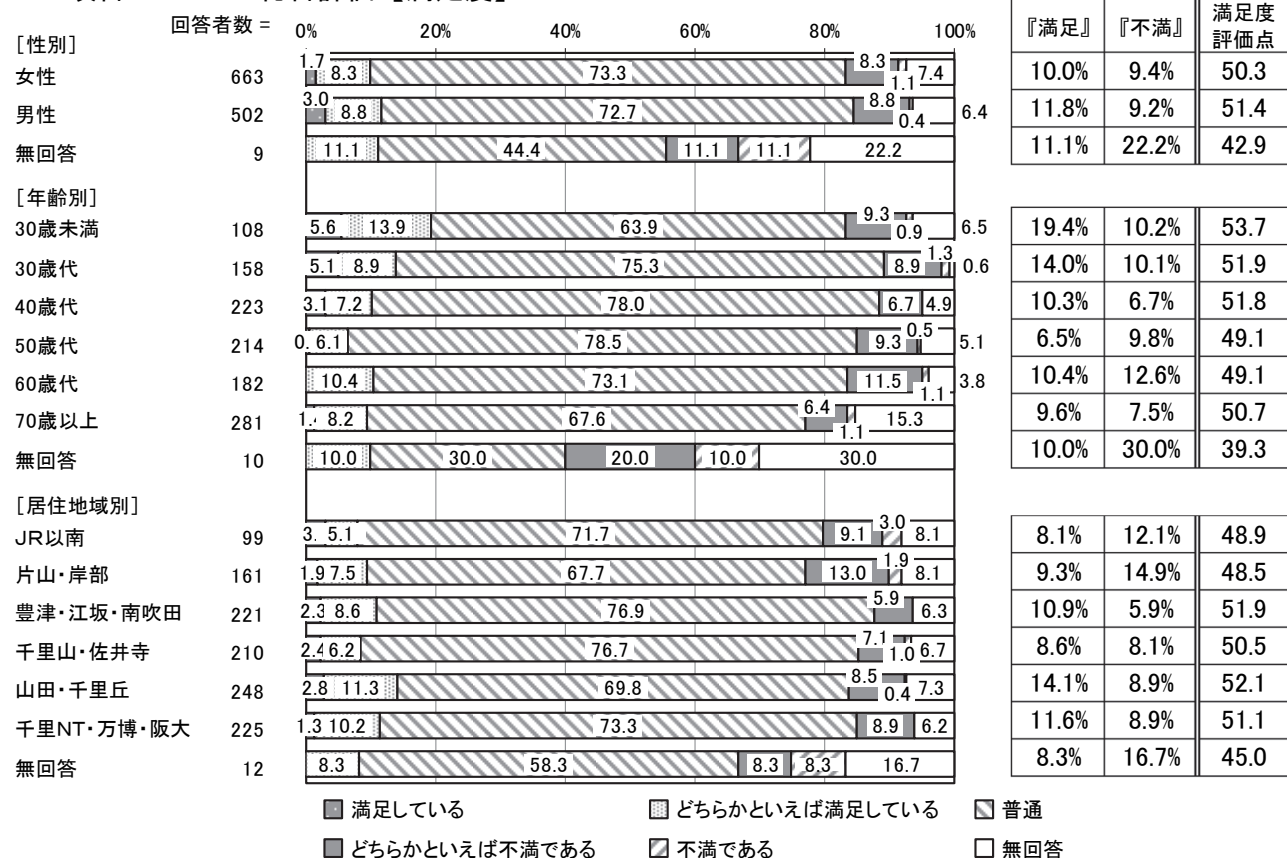
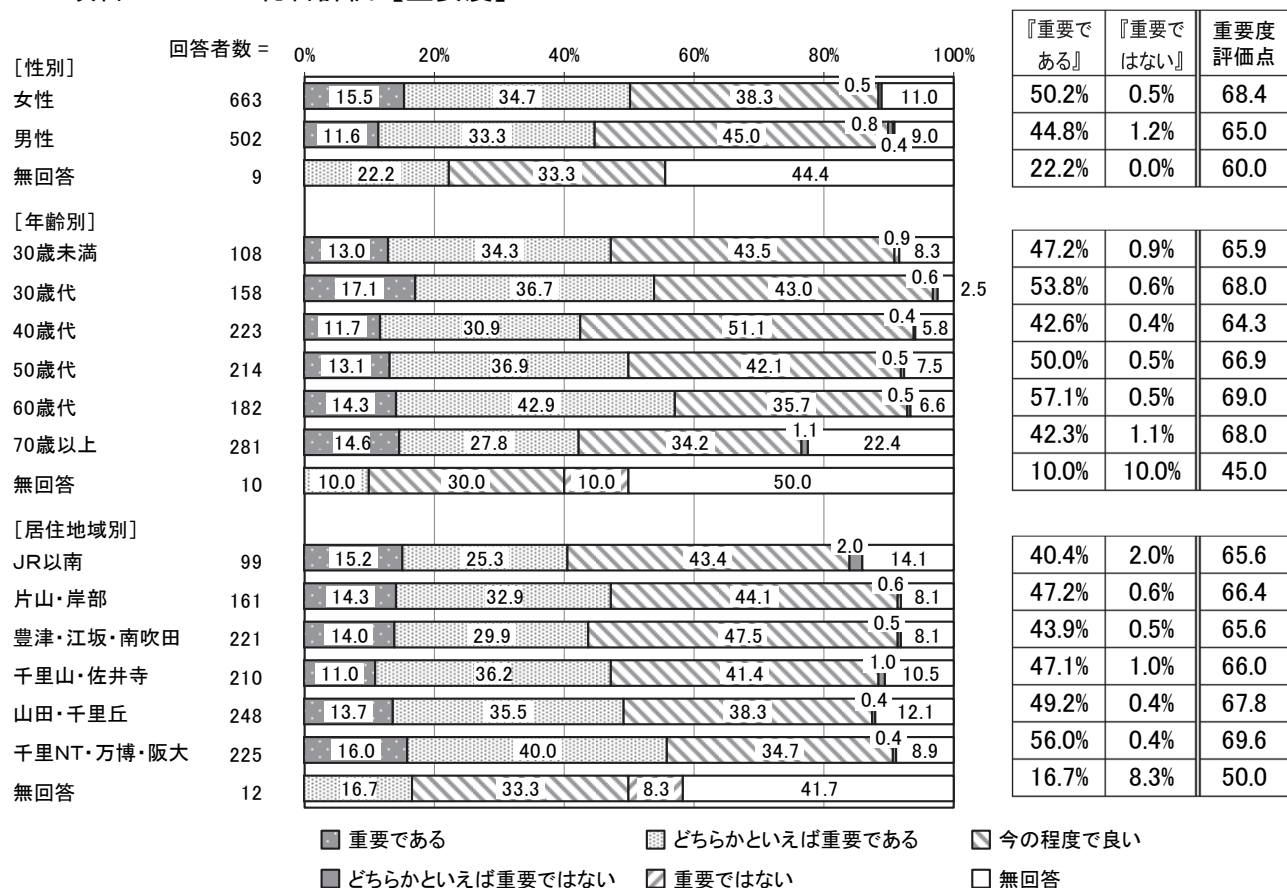


図 3.791 にぎわいについての満足度・重要度⑧(性別・年齢別・居住地域別)

45. 項目 38~44 の総合評価【満足度】



45. 項目 38~44 の総合評価【重要度】



[市政全般についての満足度・重要度]

図 3.7.92 市政全般についての満足度



回答者数 = 1,176

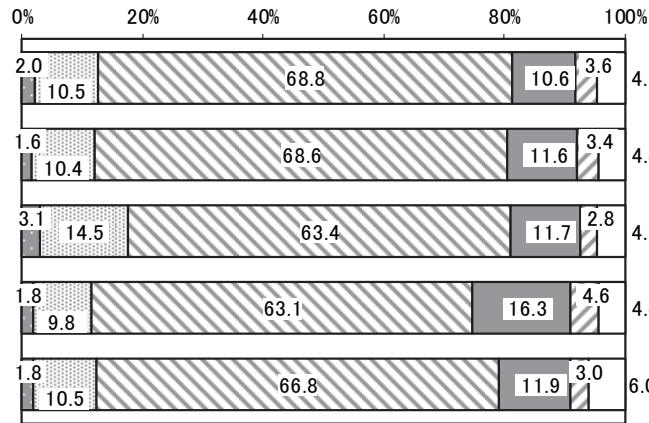
46. 効率的な行財政運営

47. 市職員の育成

48. 市の窓口サービス

49. 行政手続きのオンライン化や
キャッシュレス決済などのDXに
関する取組

50. 項目46～49の総合評価



『満足』	『不満』	満足度 評価点
12.5%	14.2%	49.1
12.0%	15.0%	48.8
17.6%	14.5%	50.9
11.6%	20.9%	46.8
12.3%	14.9%	49.0

図 3.7.93 市政全般についての重要度



回答者数 = 1,176

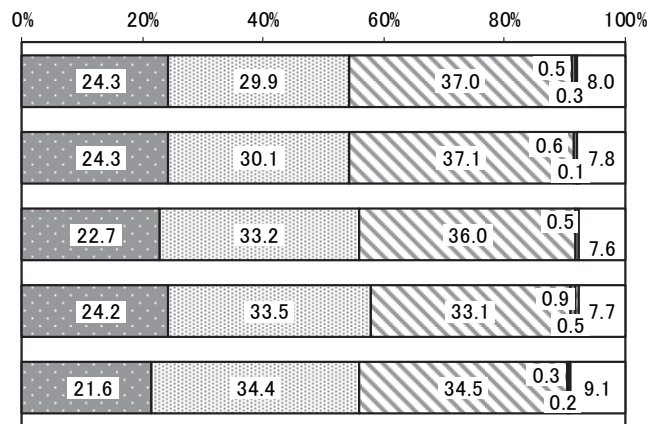
46. 効率的な行財政運営

47. 市職員の育成

48. 市の窓口サービス

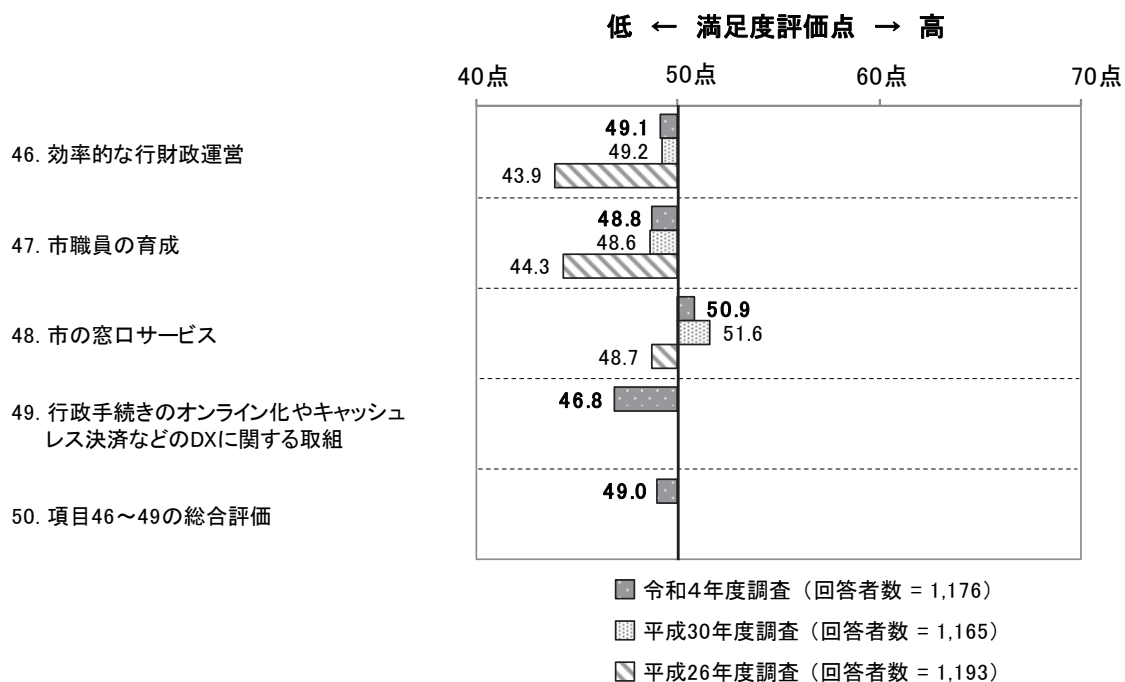
49. 行政手続きのオンライン化や
キャッシュレス決済などのDXに
関する取組

50. 項目46～49の総合評価



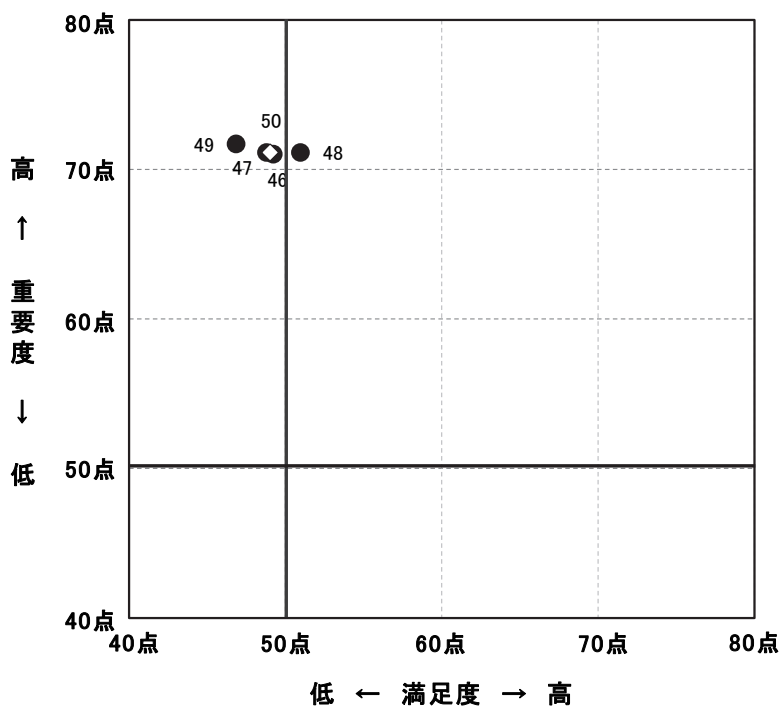
『重要である』	『重要ではない』	重要度 評価点
54.3%	0.8%	71.1
54.4%	0.7%	71.2
56.0%	0.5%	71.1
57.7%	1.4%	71.7
56.0%	0.4%	71.2

図 3.7.94 市政全般についての満足度評価点の経年比較



※「49. 行政手続きのオンライン化やキャッシュレス決済などの DX に関する取組」「50. 項目 46～49 の総合評価」は、令和4年度から追加

図 3.7.95 市政全般についての満足度と重要度の関係



- 46. 効率的な行財政運営
- 47. 市職員の育成
- 48. 市の窓口サービス
- 49. 行政手続きのオンライン化やキャッシュレス決済などのDXに関する取組
- ◇50. 項目46～49の総合評価

■満足度

市政全般についての満足度（図 3.7.92）は、全ての項目で「普通」が6割以上となっています。また、《48.市の窓口サービス》のみ『満足』の方が『不満』に比べ割合が高くなっています。

満足度の評価点は、《48.市の窓口サービス》（50.9点）が最も高く、50点台となっています。

平成30年度調査と比較（図 3.7.94）すると、大きな変化はみられません。

性別に評価点（図 3.7.96～図 3.7.99）をみると、全ての項目で女性より男性の方が高くなっています。特に、《46.効率的な行財政運営》（女性48.5点、男性50.0点）では差が大きくなっています。

年齢別に評価点をみると、《46.効率的な行財政運営》、《47.市職員の育成》は30歳未満、それ以外の項目は70歳以上が最も高くなっています。また、《48.市の窓口サービス》（70歳以上55.4点、40歳代48.1点）は年齢層による差が最も大きくなっています。

居住地域別に評価点をみると、全ての項目で千里山・佐井寺地域が最も高く、片山・岸部地域が最も低くなっています。

■重要度

市政全般についての重要度（図 3.7.93）は、全ての項目で『重要である』が『重要ではない』に比べ割合が高くなっています。特に、『49.行政手続きのオンライン化やキャッシュレス決済などのDXに関する取組』（57.7%）が最も高くなっています。

重要度の評価点は、全ての項目で71点台となっています。

性別に評価点（図 3.7.96～図 3.7.99）をみると、女性は《46.効率的な行財政運営》《47.市職員の育成》、《48.市の窓口サービス》が、男性は《49.行政手続きのオンライン化やキャッシュレス決済などのDXに関する取組》が最も高くなっています。

年齢別に評価点をみると、《49.行政手続きのオンライン化やキャッシュレス決済などのDXに関する取組》で30歳未満が、それ以外の項目では60歳代が最も高くなっています。また、《49.行政手続きのオンライン化やキャッシュレス決済などのDXに関する取組》（30歳未満76.8点、70歳以上66.0点）で年齢による差が大きくなっています。

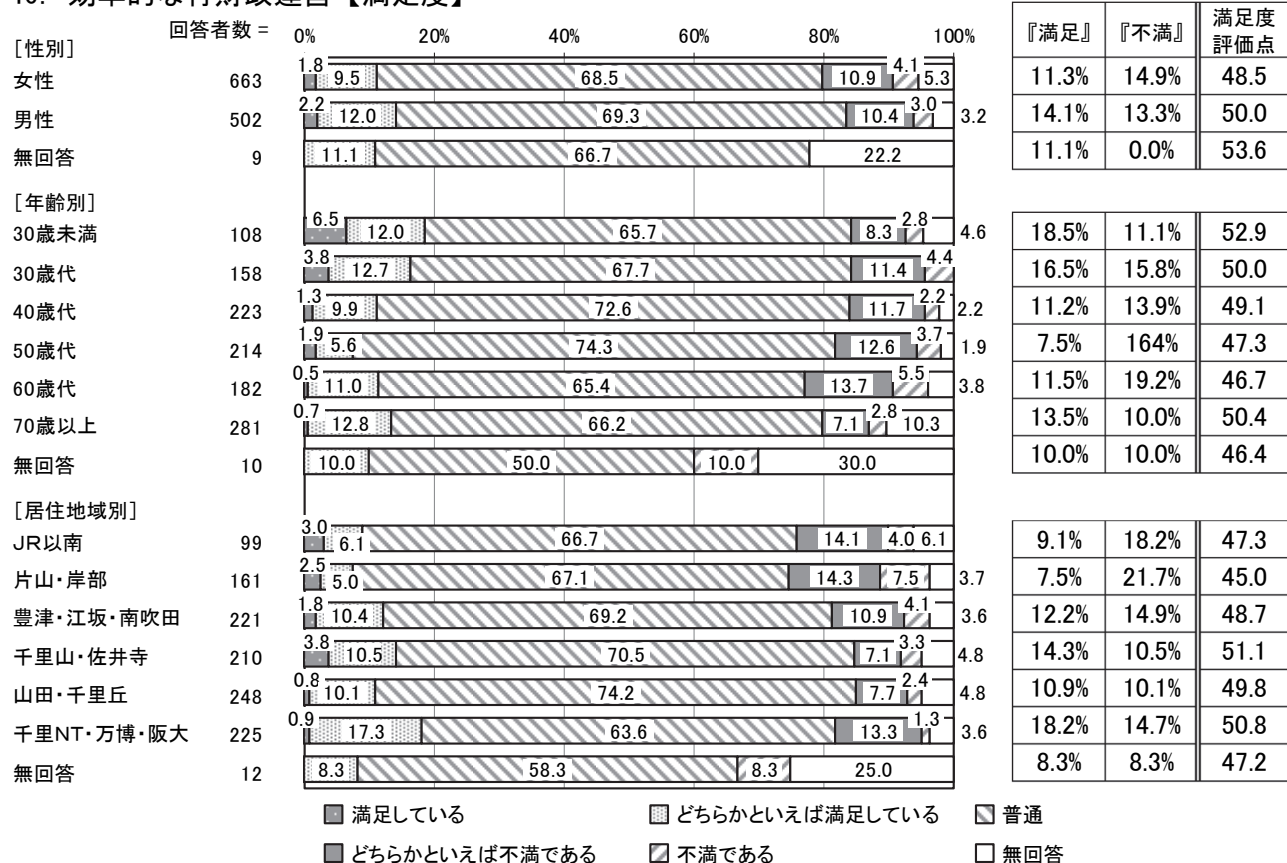
居住地域別に評価点をみると、全ての項目で千里ニュータウン・万博・阪大地域が最も高くなっています。

■満足度と重要度の関係

満足度と重要度の関係（図 3.7.95）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《49. 行政手続きのオンライン化やキャッシュレス決済などの DX に関する取組》（満足度 46.8 点、重要度 71.7 点、差 24.9 点）、《47. 市職員の育成》（満足度 48.8 点、重要度 71.2 点、差 22.4 点）となっています。

図 3.796 市政全般についての満足度・重要度①(性別・年齢別・居住地域別)

46. 効率的な行財政運営【満足度】



46. 効率的な行財政運営【重要度】

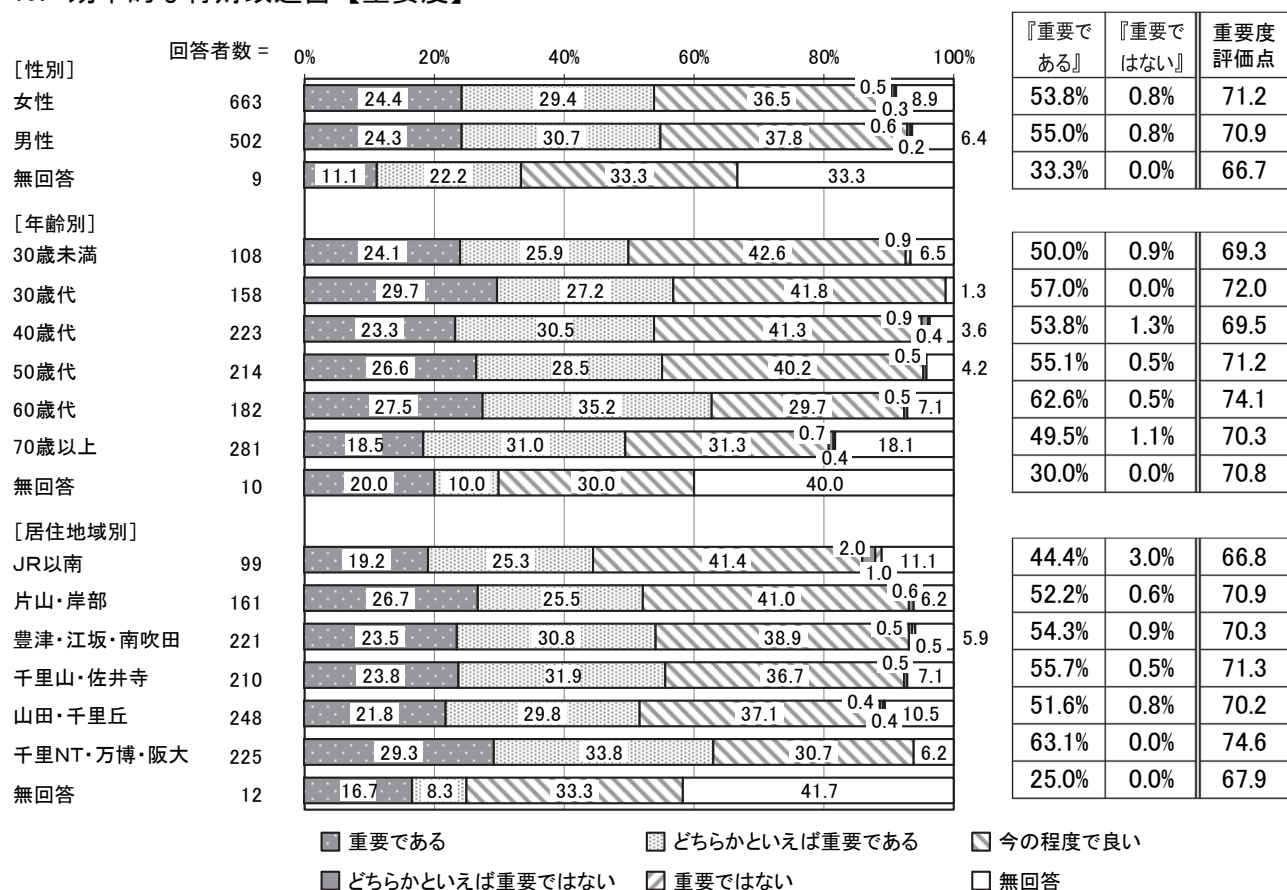


図 3.797 市政全般についての満足度・重要度②(性別・年齢別・居住地域別)

47. 市職員の育成【満足度】



47. 市職員の育成【重要度】

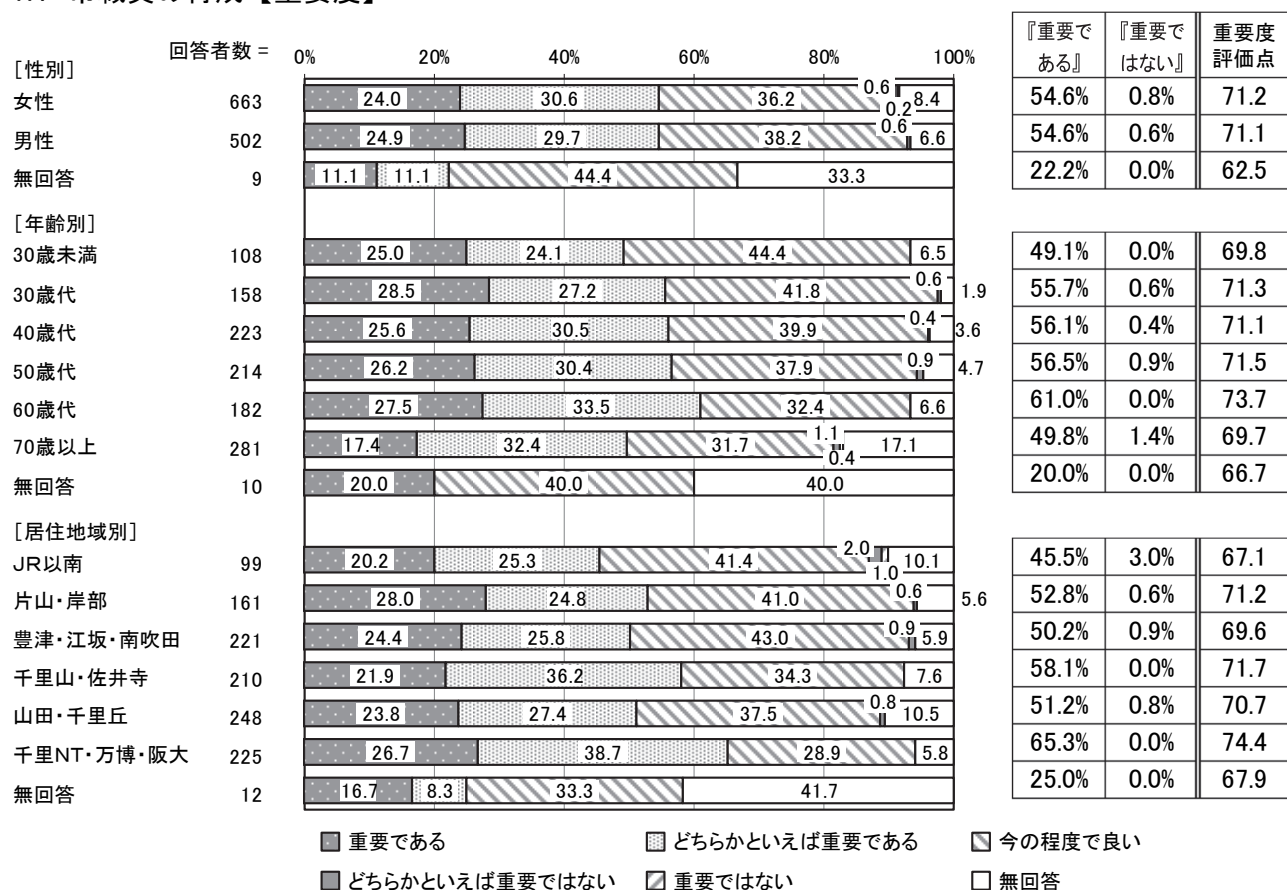
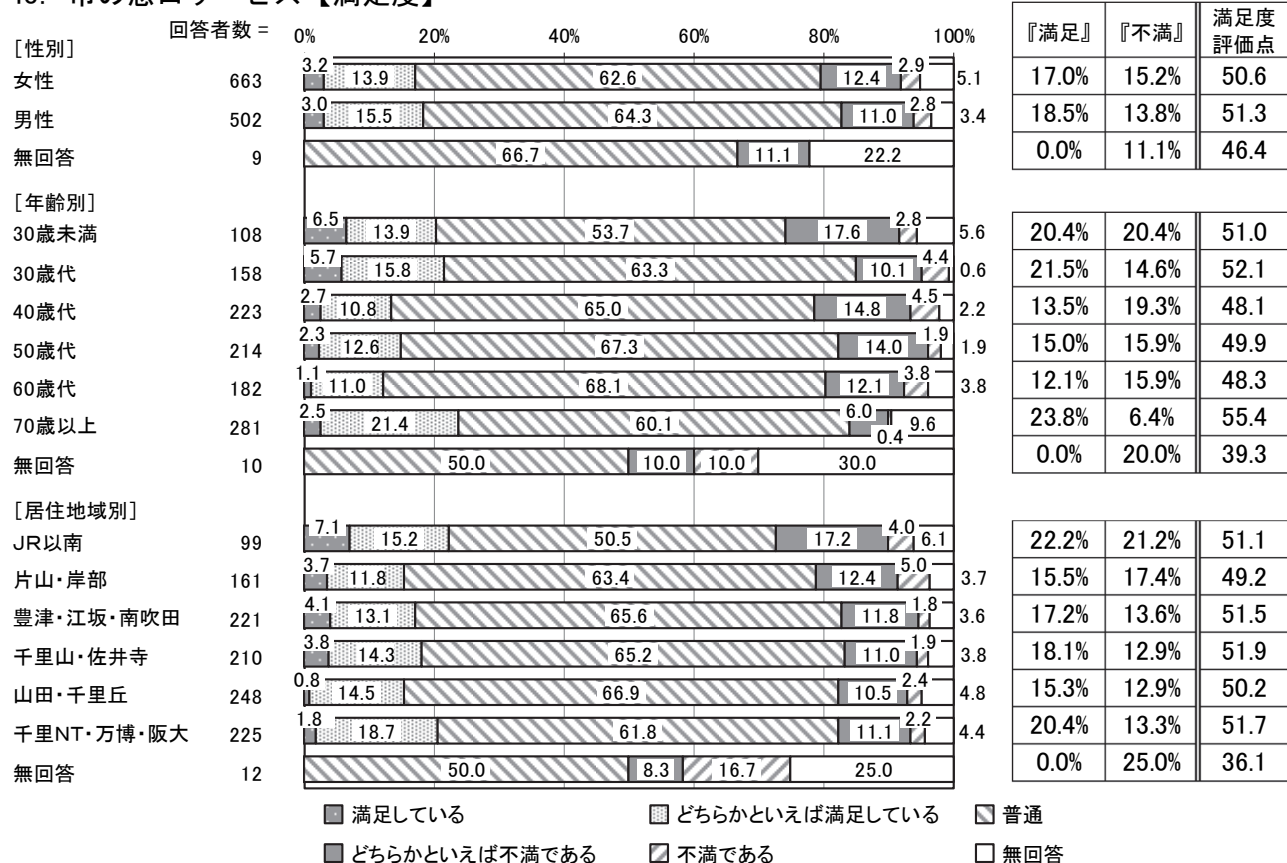


図 3.798 市政全般についての満足度・重要度③(性別・年齢別・居住地域別)

48. 市の窓口サービス【満足度】



48. 市の窓口サービス【重要度】

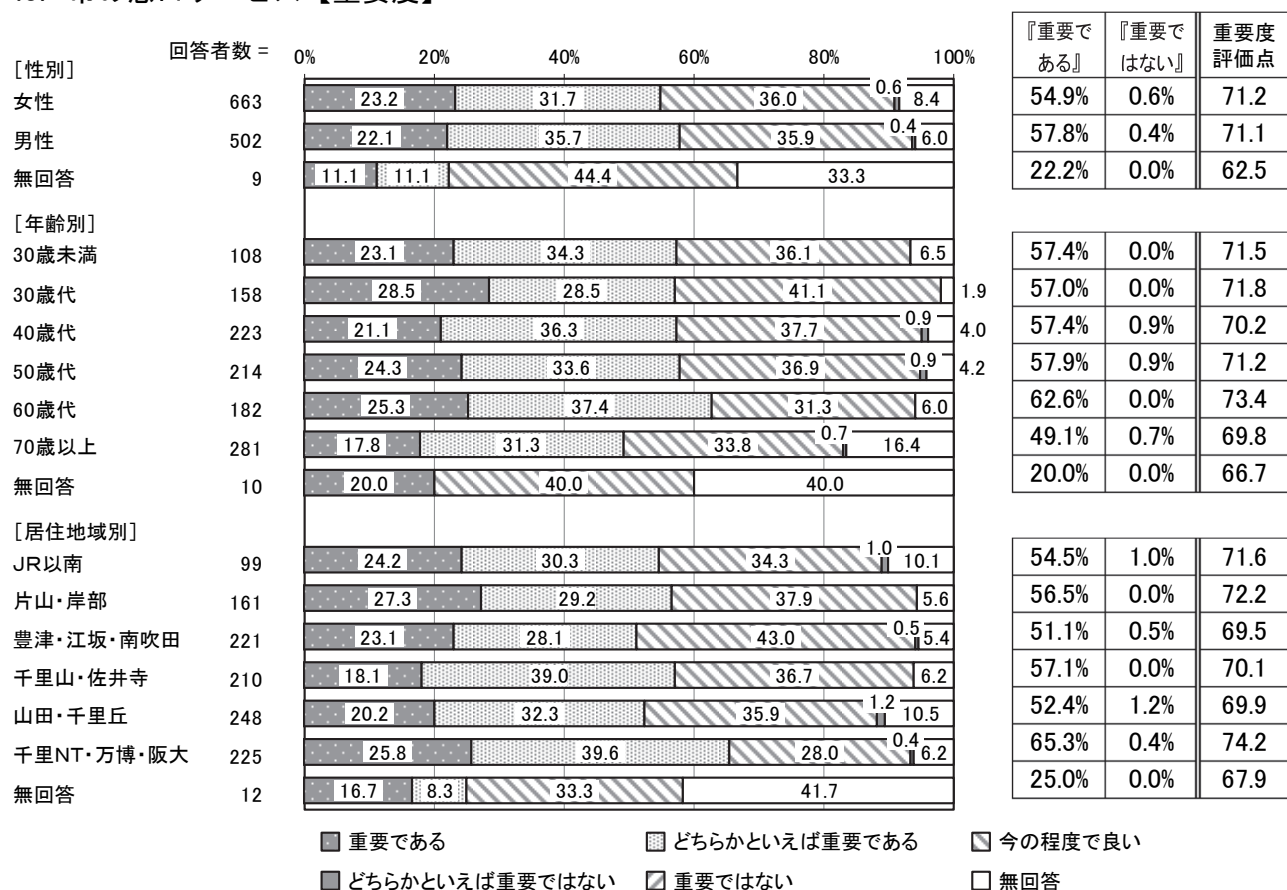
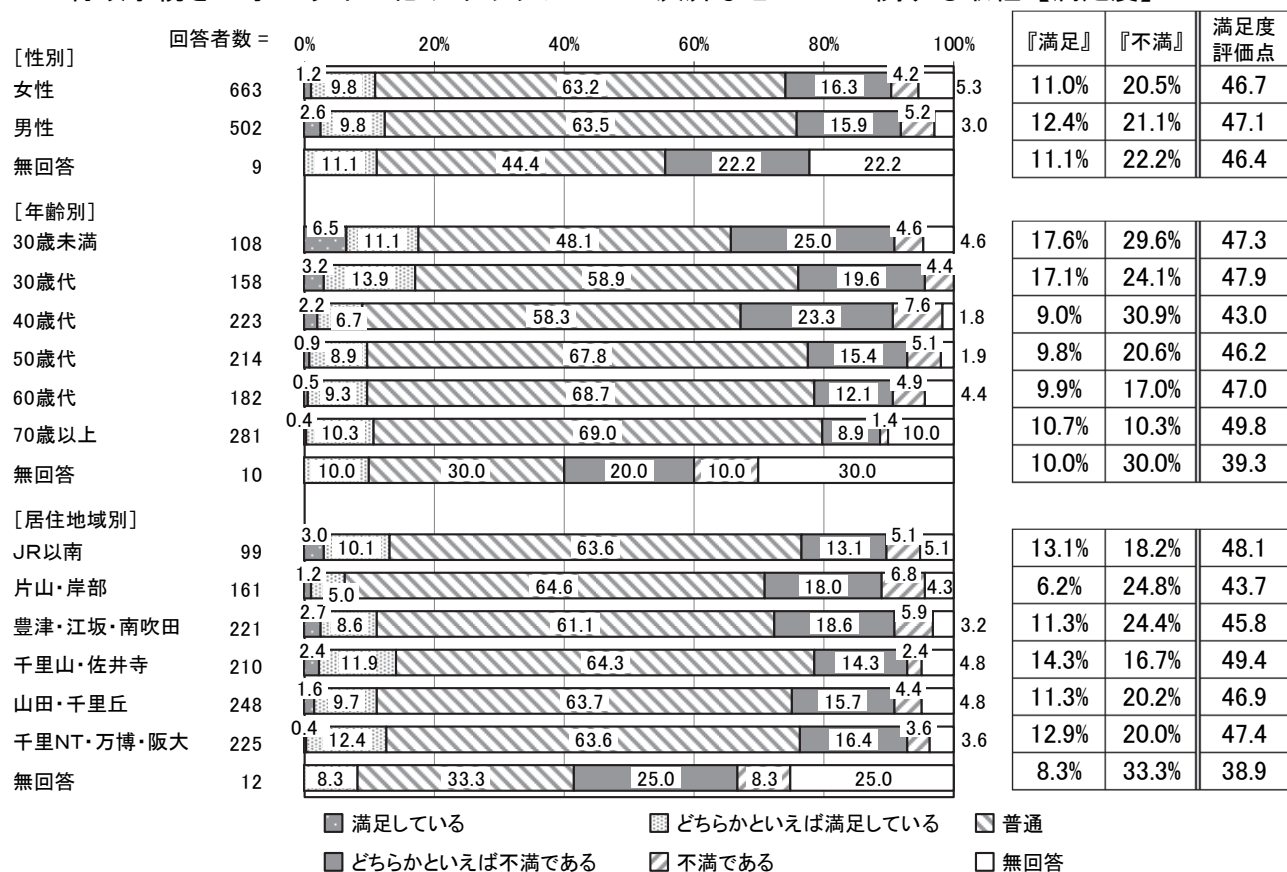


図 3.7.99 市政全般についての満足度・重要度④(性別・年齢別・居住地域別)

49. 行政手続きのオンライン化やキャッシュレス決済などのDXに関する取組【満足度】



49. 行政手続きのオンライン化やキャッシュレス決済などのDXに関する取組【重要度】

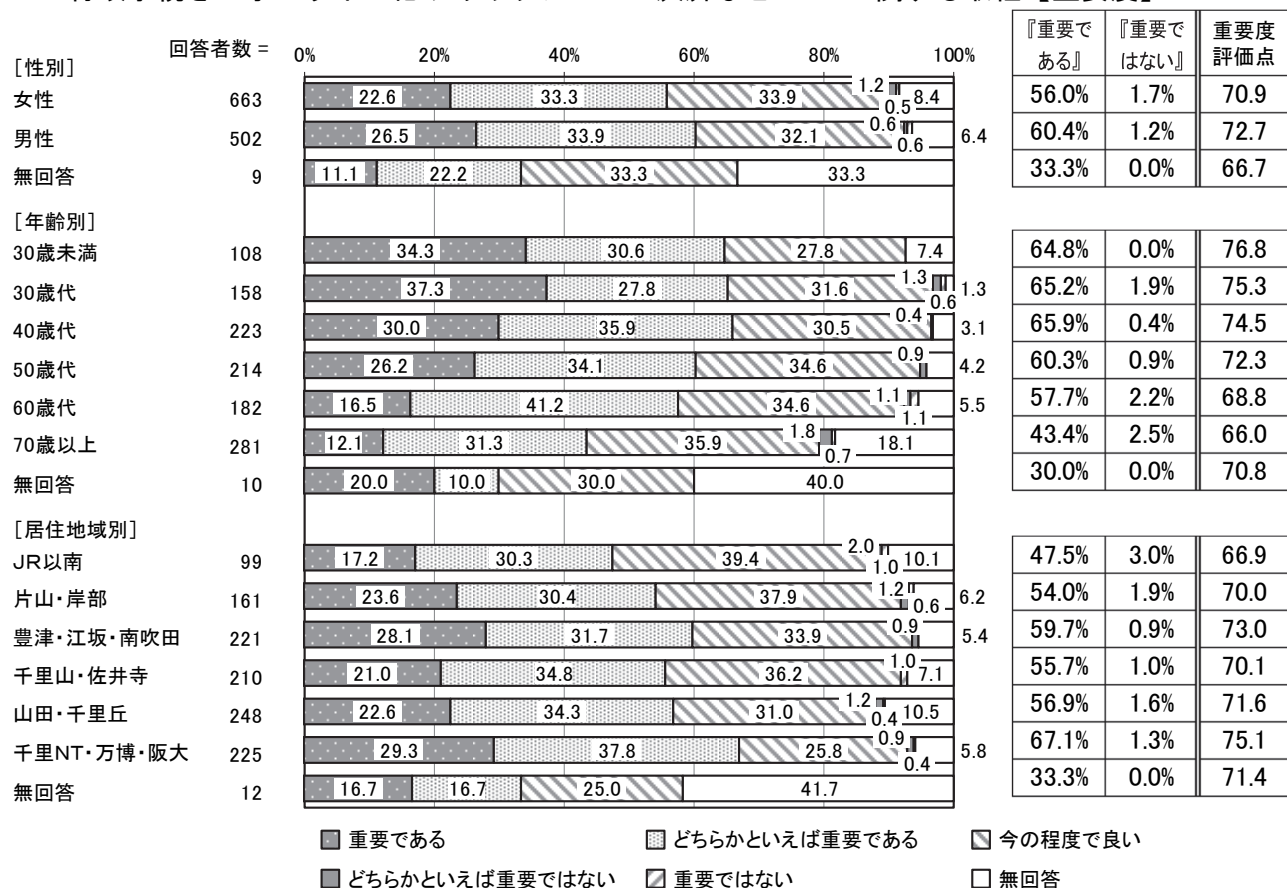
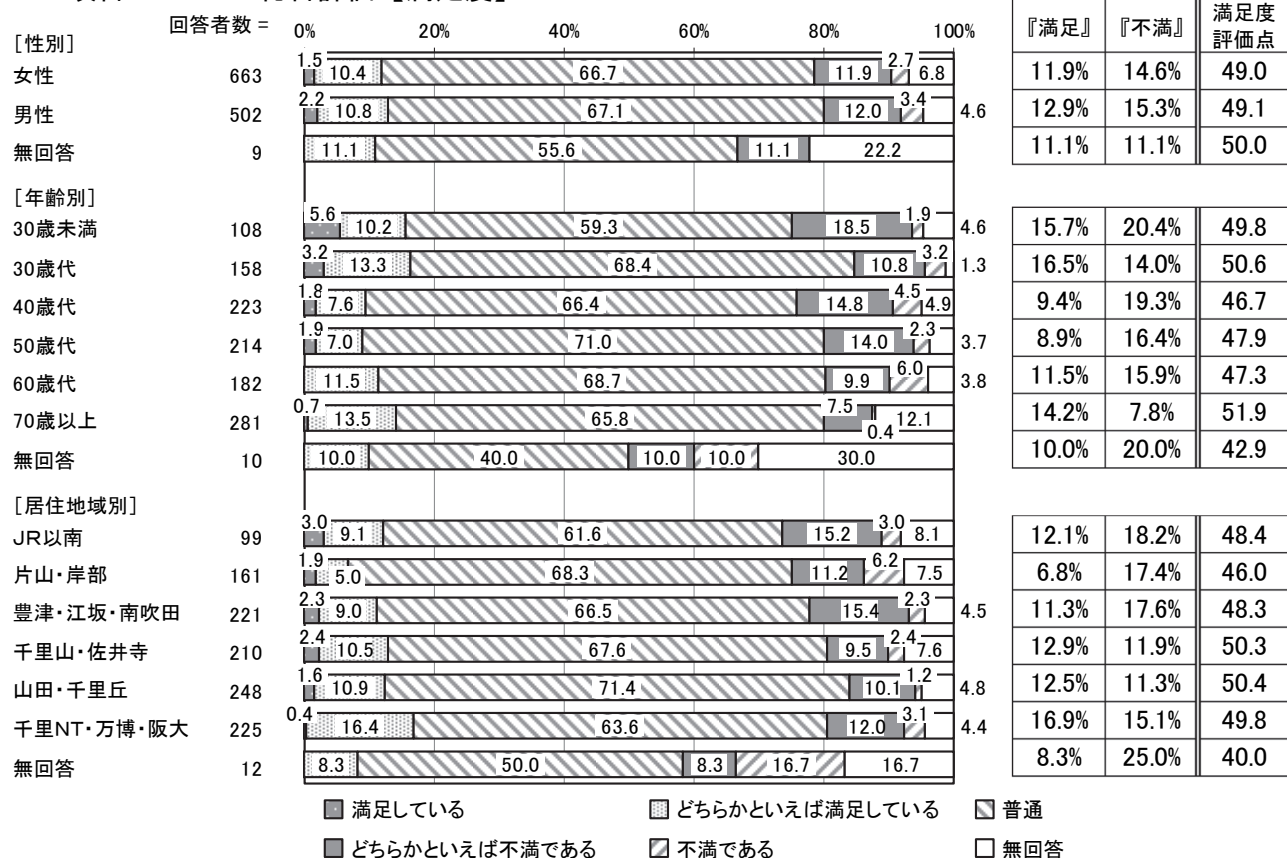
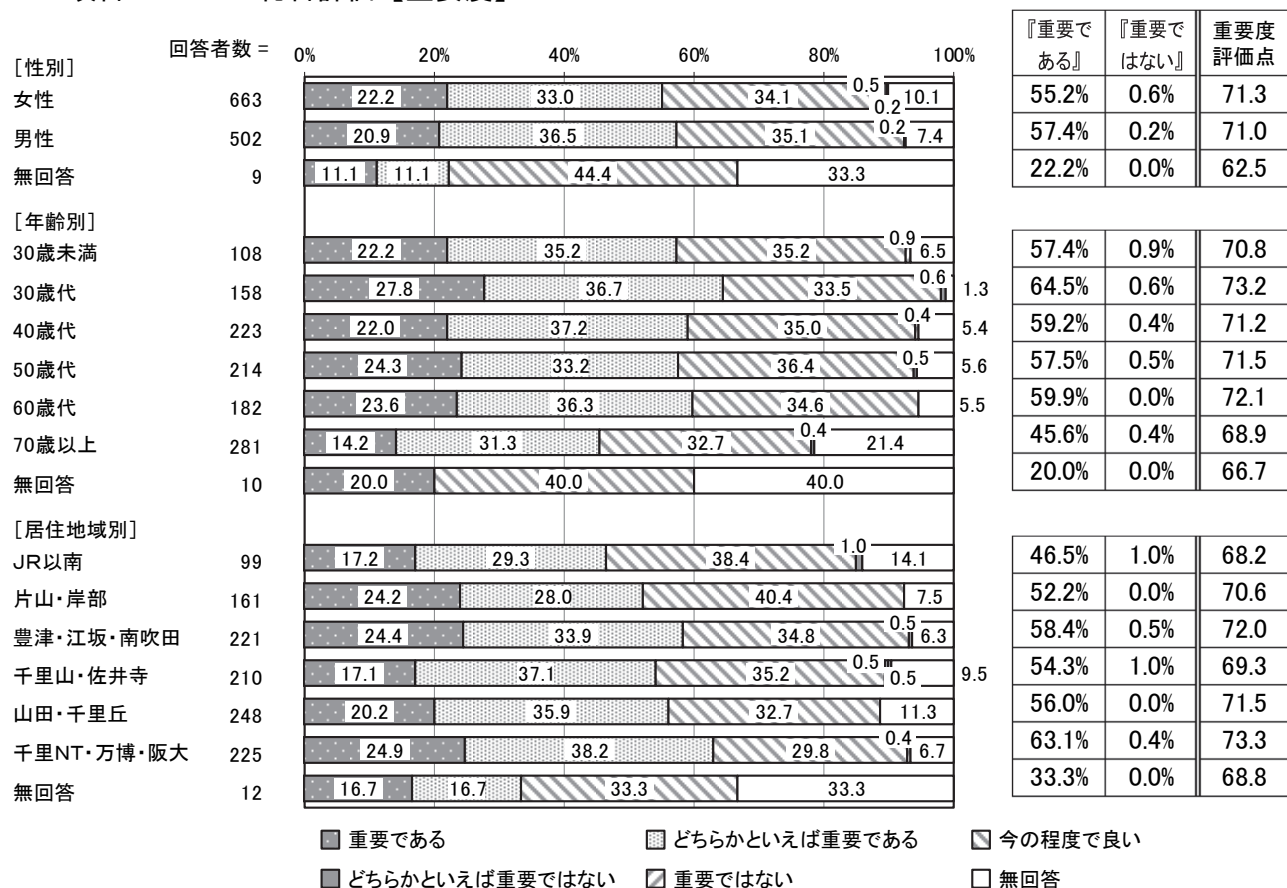


図 3.7.100 市政全般についての満足度・重要度⑤(性別・年齢別・居住地域別)

50. 項目 46～49 の総合評価【満足度】

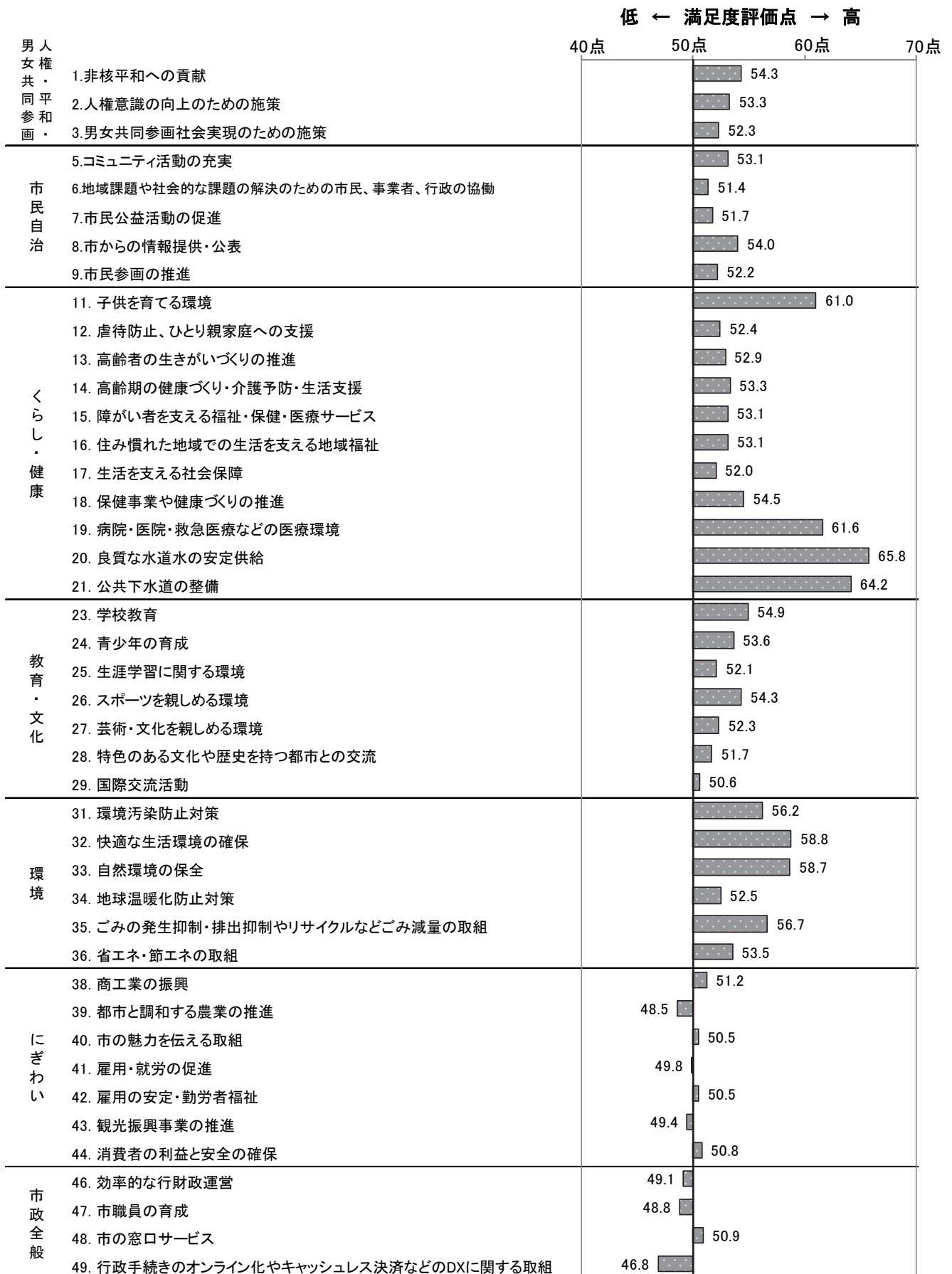


50. 項目 46～49 の総合評価【重要度】



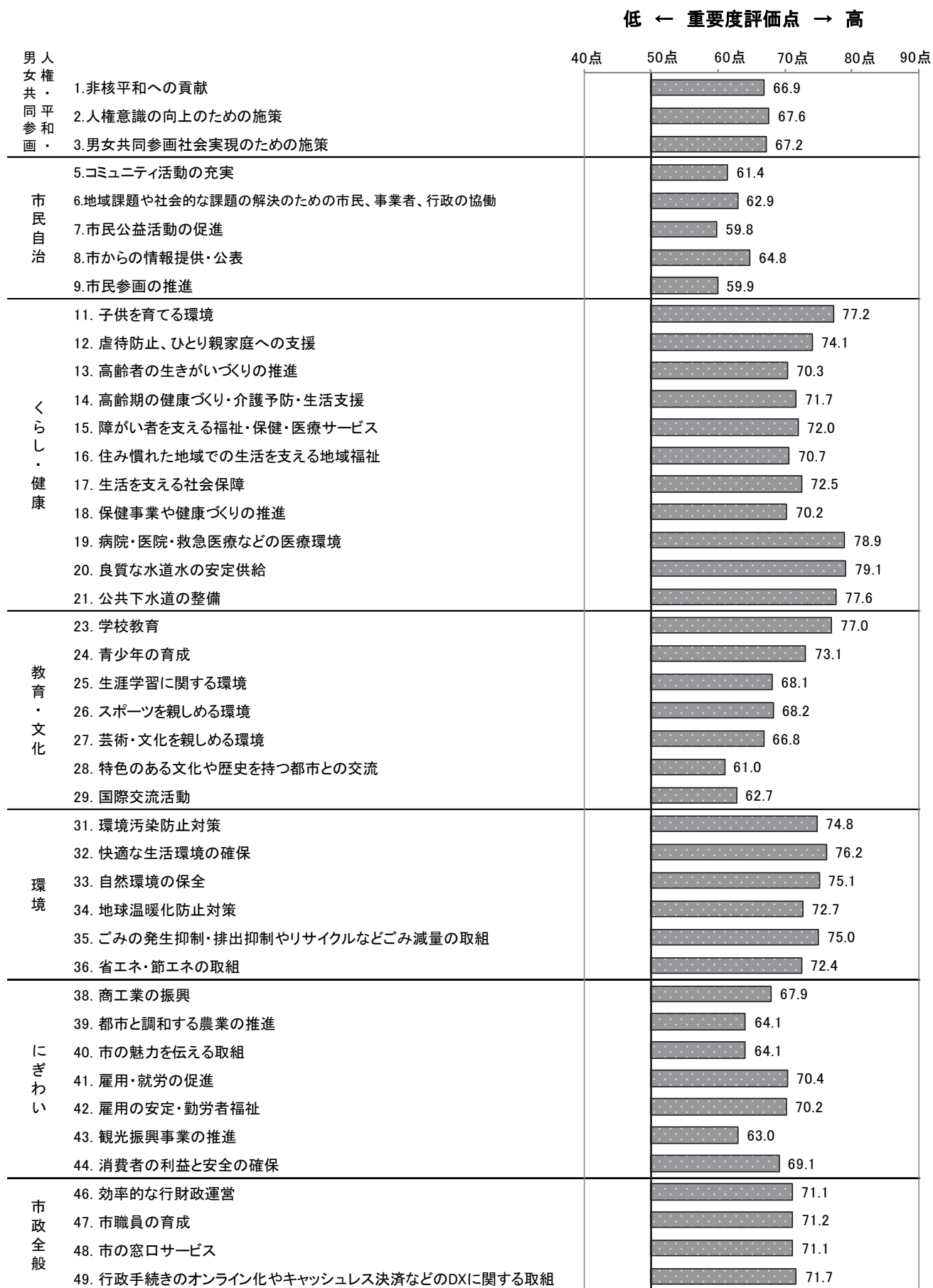
[全項目の満足度評価点・重要度評価点]

図 3.7.101 全項目の満足度評価点



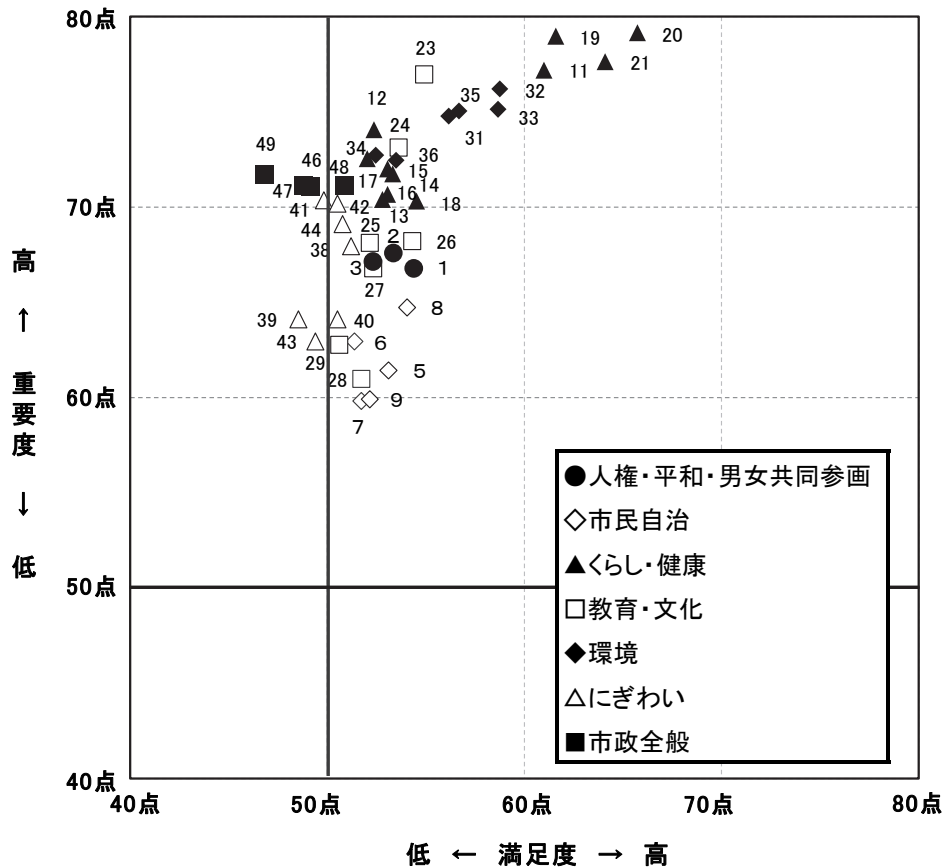
■ 令和4年度調査（回答者数 = 1,176）

図 3.7.102 全項目の重要度評価点



■ 令和4年度調査（回答者数 = 1,176）

図 3.7.103 全項目の満足度と重要度の関係



● 人権・平和・男女共同参画

- 1. 非核平和への貢献
- 2. 人権意識の向上のための施策
- 3. 男女共同参画社会実現のための施策

◇ 市民自治

- 5. コミュニティ活動の充実
- 6. 地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働
- 7. 市民公益活動の促進
- 8. 市からの情報提供・公表
- 9. 市民参画の推進

▲ 暮らし・健康

- 11. 子供を育てる環境
- 12. 虐待防止、ひとり親家庭への支援
- 13. 高齢者の生きがいづくりの推進
- 14. 高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援
- 15. 障がい者を支える福祉・保健・医療サービス
- 16. 住み慣れた地域での生活を支える地域福祉
- 17. 生活を支える社会保障
- 18. 保健事業や健康づくりの推進
- 19. 病院・医院・救急医療などの医療環境
- 20. 良質な水道水の安定供給
- 21. 公共下水道の整備

□ 教育・文化

- 23. 学校教育
- 24. 青少年の育成
- 25. 生涯学習に関する環境
- 26. スポーツを親しめる環境
- 27. 芸術・文化を親しめる環境
- 28. 特色のある文化や歴史を持つ都市との交流
- 29. 国際交流活動

◆ 環境

- 31. 環境汚染防止対策
- 32. 快適な生活環境の確保
- 33. 自然環境の保全
- 34. 地球温暖化防止対策
- 35. ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組
- 36. 省エネ・節エネの取組

△ にぎわい

- 38. 商工業の振興
- 39. 都市と調和する農業の推進
- 40. 市の魅力を伝える取組
- 41. 雇用・就労の促進
- 42. 雇用の安定・勤労者福祉
- 43. 観光振興事業の推進
- 44. 消費者の利益と安全の確保

■ 市政全般

- 46. 効率的な行財政運営
- 47. 市職員の育成
- 48. 市の窓口サービス
- 49. 行政手続きのオンライン化やキャッシュレス決済などのDXIに関する取組

■満足度

満足度評価点（図 3.7.101）は、全 43 項目（各項目の総合評価を除く）のうち 37 項目が 50 点以上となっています。

満足度評価点が高い順にみると、《20. 良質な水道水の安定供給》（65.8 点）が最も高く、次いで、《21. 公共下水道の整備》（64.2 点）、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（61.6 点）となっています。

一方、《49. 行政手続きのオンライン化やキャッシュレス決済などの DX に関する取組》（46.8 点）が最も低く、次いで、《39. 都市と調和する農業の推進》（48.5 点）、《47. 市職員の育成》（48.8 点）となっています。

■重要度

重要度の評価点（図 3.7.102）は、全ての項目が 55 点以上で、全 43 項目（各項目の総合評価は除く）のうち 25 項目が 70 点以上となっています。

重要度評価点が高い順にみると、《20. 良質な水道水の安定供給》（79.1 点）が最も高く、次いで、《19. 病院・医院・救急医療などの医療環境》（78.9 点）、《21. 公共下水道の整備》（77.6 点）となっています。

■満足度と重要度の関係

満足度と重要度の関係（図 3.7.103）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《49. 行政手続きのオンライン化やキャッシュレス決済などの DX に関する取組》（満足度 46.8 点、重要度 71.7 点、差 24.9 点）、《47. 市職員の育成》（満足度 48.8 点、重要度 71.2 点、差 22.4 点）となっています。

[各項目の総合評価についての満足度・重要度]

図 3.7.104 各項目の総合評価についての満足度

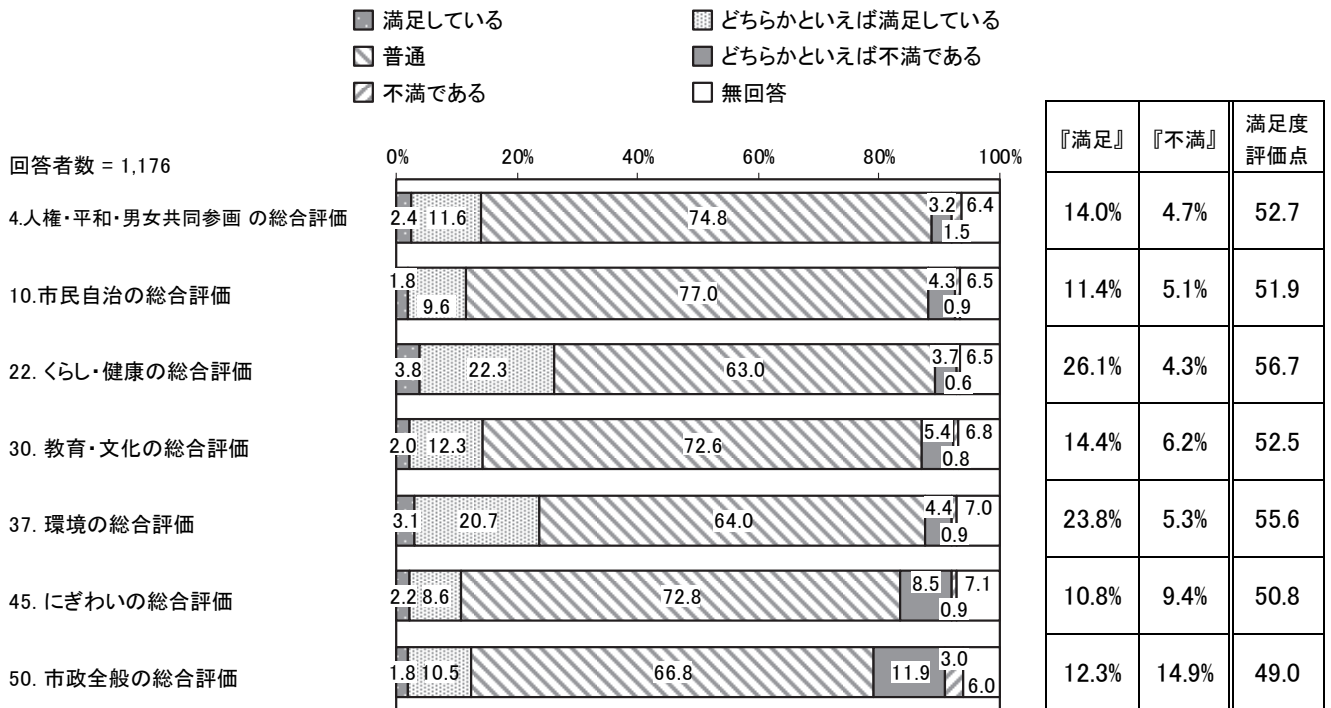


図 3.7.105 各項目の総合評価についての重要度

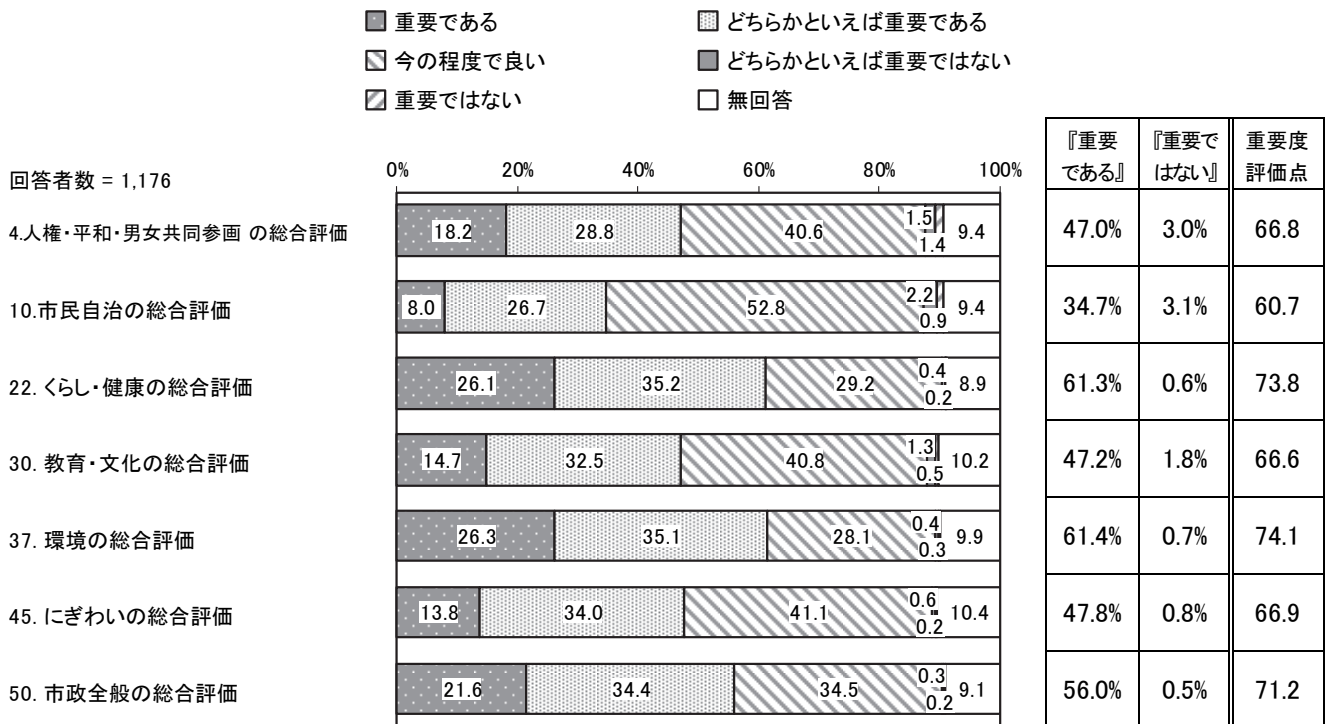
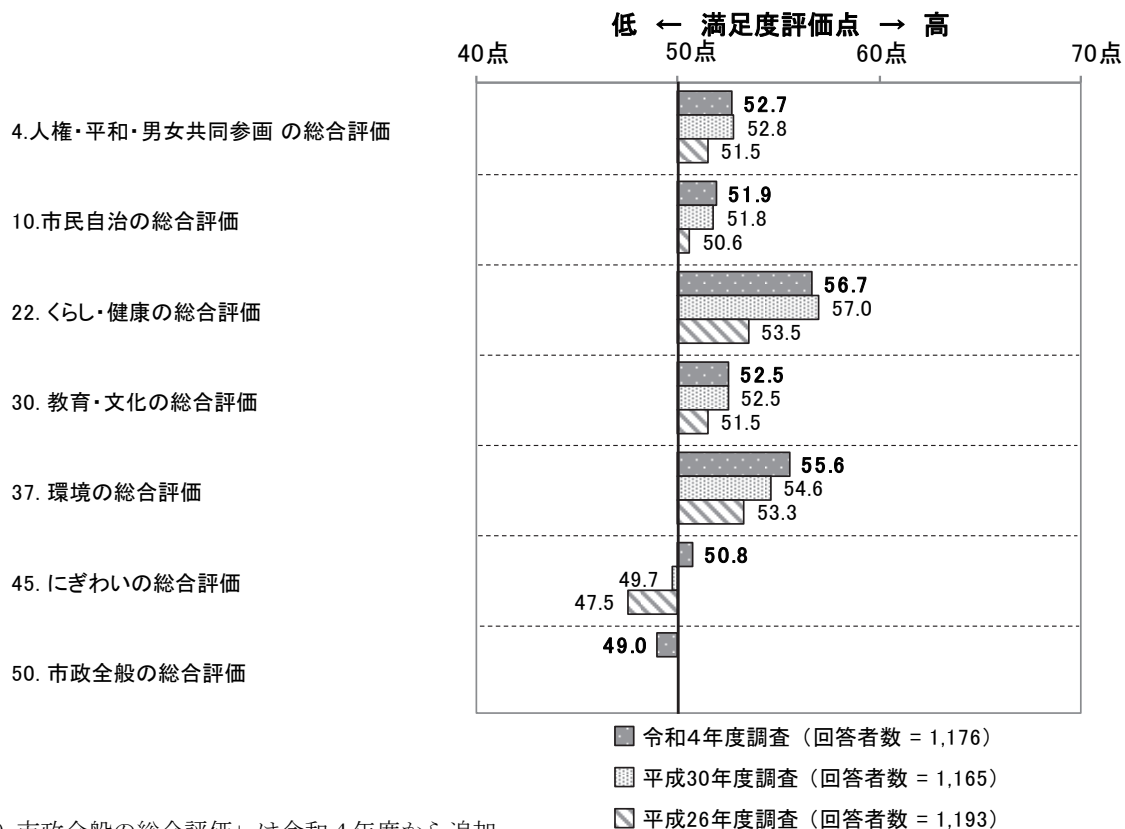
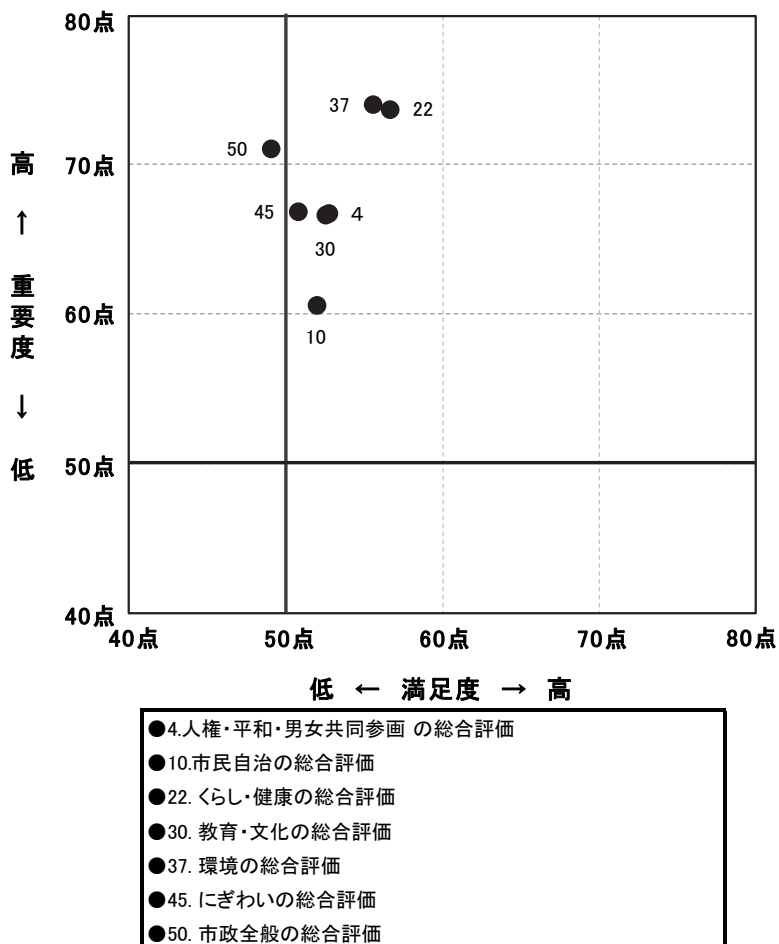


図 3.7.106 各項目の総合評価についての満足度評価点の経年比較



※「50. 市政全般の総合評価」は令和4年度から追加

図 3.7.107 各項目の総合評価についての満足度と重要度の関係



■満足度

各項目の総合評価の満足度（図 3.7.104）をみると、『満足』は《22. 暮らし・健康の総合評価》（26.1%）が最も高く、次いで、《37. 環境の総合評価》（23.7%）となっています。これに対し、《45. にぎわいの総合評価》（10.8%）が最も低くなっています。

満足度の評価点は、《22. 暮らし・健康の総合評価》（56.7 点）が最も高く、次いで、《37. 環境の総合評価》（55.6 点）となっています。一方、《50. 市政全般の総合評価》（49.0 点）が最も低く、50 点未満となっています。

平成 30 年度調査・平成 26 年度調査と比較（図 3.7.106）すると、《10. 市民自治の総合評価》、《37. 環境の総合評価》、《45. にぎわいの総合評価》で増加傾向となっています。

■重要度

各項目の総合評価の重要度（図 3.7.105）をみると、『重要である』は《37. 環境の総合評価》（61.4%）が最も高く、次いで、《22. 暮らし・健康の総合評価》（61.3%）となっています。

重要度の評価点は、《37. 環境の総合評価》（74.1 点）が最も高く、次いで、《22. 暮らし・健康の総合評価》（73.8 点）、《50. 市政全般の総合評価》（71.2 点）が 70 点以上となっています。

■満足度と重要度の関係

満足度と重要度の関係（図 3.7.107）について、重要と考えながら満足度が相対的にみて低い項目（重要度評価点が高く、かつ満足度の評価点が低いもので、両者の差が大きい項目）の上位をみると、《50. 市政全般の総合評価》（満足度 49.0 点、重要度 71.2 点、差 22.2 点）、《37. 環境の総合評価》（満足度 55.6 点、重要度 74.1 点、差 18.5 点）、《22. 暮らし・健康の総合評価》（満足度 56.7 点、重要度 73.8 点、差 17.1 点）となっています。